

K O M A Z A W A

2000 (平成12) 年度

# 講義内容

---

文学部

 駒澤大學

# 講 義 内 容

## 目 次

1. 専 門 教 育 科 目		
(1) 国 文 学 科	.....	9
(2) 英 米 文 学 科	.....	65
(3) 地 理 学 科	.....	121
(4) 歴 史 学 科	.....	181
(5) 社会学科 (社会学専攻・社会学コース)	.....	259
(6) 社会学科 (社会福祉学専攻・社会福祉コース)	...	291
(7) 心 理 学 科 社会学科(心理学コース)	.....	347
2. 他 学 部 履 修 科 目	.....	395
3. 随 意 科 目	.....	479
4. 「日本語」・「日本事情」科目	.....	493
5. 教 職 課 程 ・ 資 格 講 座 科 目	.....	515

専 門 教 育 科 目	国 文
	(英米文)
	地 理
	歴 史
	社会(社会学)
目	社会(社会福祉学)
	心理(社会心理学)
他学部履修科目	
随意科目	
日本語・日本事情科目	
教職・資格講座	

## (注 意)

講義内容に掲載している担当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、**社会学科・心理学科**については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

社会学科	社会学専攻	.....	社会
	社会学コース	.....	社会
	社会福祉学専攻	.....	福祉
	社会福祉コース	.....	福祉
	心理学コース	.....	心理
心理学科	.....	.....	心理

# 1. 專門教育科目

## (1) 国 文 学 科



# 1. 專門教育科目

## (1) 国文学科

基礎国語学	〈土井光祐〉	9
基礎国文学 I	〈高橋文二〉	9
基礎国文学 I	〈松井健児〉	10
基礎国文学 I	〈田中徳定〉	10
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	11
基礎国文学 II	〈高田知波〉	11
基礎国文学 II	〈勝原晴希〉	12
漢文学	〈今浜通隆〉	12
国語学概論	〈木村晟〉	13
国文学概論	〈村上光徳〉	13
国文学史 I (古典)	〈小野寛〉	14
国文学史 I (古典)	〈富士昭雄〉	14
国文学史 II (近現代)	〈勝原晴希〉	15
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	15
国語史	〈休講〉	
国語学史	〈大友信一〉	16
国語学研究 I	〈木村晟〉	16
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈小野寛〉	17
上代文学研究 II	〈金井清一〉	17
中古文学研究 I	〈高橋文二〉	18
中古文学研究 II	〈松井健児〉	18
中世文学研究 I	〈村上光徳〉	19
中世文学研究 II	〈田中徳定〉	19
近世文学研究 I	〈富士昭雄〉	20
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈山崎眞紀子〉	20
近代文学研究 II	〈高田知波〉	21
国語学特講 I	〈大友信一〉	21
国語学特講 II	〈田中章夫〉	22
国文学特講 I	〈三浦廣子〉	22
国文学特講 II	〈中村文〉	23
国文学特講 III	〈立石和弘〉	23
国文学特講 IV	〈多田圭子〉	24
国文学特講 V	〈神野志隆光〉	24
国文学特講 VI	〈立石和弘〉	25
国文学特講 VII	〈植田恭代〉	25
国文学特講 VIII	〈岡雅彦〉	26
国文学特講 IX	〈中村三代司〉	26
国文学特講 X	〈井上理恵〉	27
国文学特講 XI	〈近藤裕子〉	27
国語学演習 I	〈木村晟〉	28
国文学演習 I	〈小野寛〉	28
国文学演習 I	〈岡田豊〉	29

国	文	学	演	習	I	〈勝	原	晴	希	.....	29	
国	文	学	演	習	I	〈高	橋	文	二	.....	30	
国	文	学	演	習	I	〈高	田	知	波	.....	30	
国	文	学	演	習	I	〈田	中	德	定	.....	31	
国	文	学	演	習	I	〈林		達	也	.....	31	
国	文	学	演	習	I	〈富	士	昭	雄	.....	32	
国	文	学	演	習	I	〈松	井	健	児	.....	32	
国	文	学	演	習	I	〈村	上	光	徳	.....	33	
国	語	学	演	習	II・III	〈木	村		晟	.....	33	
国	文	学	演	習	II・III	〈植	田	恭	代	.....	34	
国	文	学	演	習	II・III	〈小	野		寛	.....	34	
国	文	学	演	習	II・III	〈岡	田		豊	.....	35	
国	文	学	演	習	II・III	〈勝	原	晴	希	.....	35	
国	文	学	演	習	II・III	〈神野	志	幸	恵	.....	36	
国	文	学	演	習	II・III	〈近	藤	裕	子	.....	36	
国	文	学	演	習	II・III	〈高	橋	文	二	.....	37	
国	文	学	演	習	II・III	〈高	田	知	波	.....	37	
国	文	学	演	習	II・III	〈田	中	徳	定	.....	38	
国	文	学	演	習	II・III	〈中	村		文	.....	38	
国	文	学	演	習	II・III	〈中	村	三	代	司	.....	39
国	文	学	演	習	II・III	〈林		達	也	.....	40	
国	文	学	演	習	II・III	〈富	士	昭	雄	.....	41	
国	文	学	演	習	II・III	〈松	井	健	児	.....	41	
国	文	学	演	習	II・III	〈村	上	光	徳	.....	42	
国	語	学	演	習	IV	〈木	村		晟	.....	42	
国	文	学	演	習	IV	〈小	野		寛	.....	43	
国	文	学	演	習	IV	〈岡	田		豊	.....	43	
国	文	学	演	習	IV	〈勝	原	晴	希	.....	44	
国	文	学	演	習	IV	〈高	橋	文	二	.....	44	
国	文	学	演	習	IV	〈高	田	知	波	.....	45	
国	文	学	演	習	IV	〈田	中	徳	定	.....	45	
国	文	学	演	習	IV	〈林		達	也	.....	46	
国	文	学	演	習	IV	〈富	士	昭	雄	.....	46	
国	文	学	演	習	IV	〈松	井	健	児	.....	47	
国	文	学	演	習	IV	〈村	上	光	徳	.....	47	
中	国	文	学	演	習	学	南	雲	智	.....	48	
比	較	文	学	学	学	〈満	谷	マー	ガ	レット	.....	48
児	有	職	学	学	学	〈山	口	節	子	.....	49	
日	本	民	俗	学	学	〈大	塚	英	子	.....	50	
日	本	信	仰	論	学	〈谷	口		貢	.....	51	
日	本	史	概	説	I	〈松	本	信	道	.....	52	
日	本	史	概	説	II	〈佐	藤	元	英	.....	53	
日	本	文	化	史	I	〈休		講		.....		
日	本	文	化	史	II	〈廣	瀬	良	弘	.....	53	
日	本	教	概	論	学	〈平	井	俊	榮	.....	54	
西	洋	思	想	史	学	〈末	木	恭	彦	.....	54	
西	洋	思	想	史	学	〈麻	生		建	.....	55	

美	術	史	概	說	〈矢	野	陽	子〉	.....	55
演	劇		概	論	〈井	上	理	恵〉	.....	56
書	道		概	論	〈金	子	卓	義〉	.....	56
書		道		史	〈那	須	隆	吉〉	.....	57
書	道	道	習	I	〈金	子	卓	義〉	.....	57
書	道	道	習	II	〈野	村	宙	弘〉	.....	58
書	道	道	習	III	〈那	須	隆	吉〉	.....	58
編	集		実	務	〈長	谷	川	孝〉	.....	59





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 語 学	と 井 光 祐 と い こう ゆう	国 文 1 必	4

講義のねらい

日本語を科学的に分析するための国語学の基本的知識を身につけることを目的とする。テーマの中心は日本語の文法であって、特に文法史に重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 文法とは
  - ・国語学の領域 ・文法と文法論 ・言語の単位 ・種々の文法学説 ・口語史と文語史 ・文法史の為の「国語資料」
- 構文論
  - ・学校文法における構文論の問題点 ・「文」と「成分」 ・「格」とは何か
- 品詞論
  - ・各品詞の概念規定の諸説 ・各品詞の史の変遷

履修上の留意点

多くの参考文献を紹介するので、図書館で積極的に確認し、学習して欲しい。

成績評価の方法

試験

教 科 書

和田利政・森昇一・岡崎真継著『国文法要説 文語篇』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	たか 橋 文 二 た か はし ぶん じ	国 文 1 必	4

講義のねらい

平安時代の女流歌人の勅撰集所載歌を読み、その文学的特質について考え、さらには日本古典文学史上の歌の意味あいを考察する。

成績評価の方法

出席の状況、レポートの提出（秋期）、期末テストの成績によって評価する。

教 科 書

高橋文二・浅井伸一編『平安鎌倉女流歌人集』（加藤中道館）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	まつ い けん し 松 井 健 児	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 I	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 1 必	4

講義のねらい

古典文学作品を、本文に即しながら読解し、併せて古典文学研究の方法を学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上代～近世の代表的な古典文学作品について、文学史の流れを考えながら読解する。その中で、文学作品と歴史・社会との関わりを考える。

履修上の留意点

専門科目の必修科目であるので、出席を基本とし、1/3以上欠席した場合には評価の対象としないことがあり得る。

成績評価の方法

授業時間内に行う小テストと前期末に課すレポート、および年度末試験。

教 科 書

増淵勝一他編『日本文学原典抄 第二版』（国研出版刊）1,600円

参 考 書 等

授業中に随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	おが だ ゆたか 岡 田 豊	国 文 1 必	4

講義のねらい

日本の近代小説の〈学としての読み〉の基礎的な学習と、研究方法についての基礎知識の習得を主たる目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

川端康成という有名作家の、よく知られた『伊豆の踊子』『禽獣』『雪国』を対象作品とする。有名な作家ほど〈神話〉がまとわりつく。その〈神話〉がいかなるもので、いかに作品の〈読み〉をも歪めるノイズとなるかを検討しておきたいからである。そのうえで、物語の中身のみを中心化せず、物語言説（出来事はどんな言葉で語られているのか）や物語行為（出来事はどのように語られ伝達されるのか）に注目しながら、〈読み〉の可能性を探る。また、自作自注の類が多いため、それらとの付き合い方を考えることにもなるうし、成立過程に目を向ける必要もでてくる。つまり、そういう作業を通して研究方法の一端に触れる授業である。

履修上の留意点

受講生は必ず作品を読んでくること。プリントを配付する時もあるので、それらもじっくり読んでくるのが必須の課題である。

成績評価の方法

成績は出席状況ならびに学年末の試験等を総合的にみて判定する。

教 科 書

川端康成『伊豆の踊子』『雪国』（いずれも新潮文庫）

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 1 必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は森鷗外の『舞姫』、第3期は村上春樹『ノルウェイの森』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨牀的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の《正解》というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだというを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教 科 書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫）  
森 鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
村上春樹『ノルウェイの森』

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 国 文 学 II	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	国 文 1 必	4

講義のねらい	近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使ってのアプローチの方法を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小説・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。また基本的な研究の手づきについて講義する。
履修上の留意点	文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。
成績評価の方法	レポート・平常点およびテストによる。
教科書	プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
漢 文 学	いま はま みち たか 今 浜 通 隆	国 文 1 必	4

講義のねらい	現存する中国最古の小説集と言われる『世説新語』について講義し、その文学性について言及し、漢文訓読の能力を養成する。
講義の内容・授業スケジュール	中国六朝時代の宋朝の劉義慶（403-444）の手になったとされる『世説新語』という文学作品について、その書誌・注釈書・日本文学への影響などについて、まずは概観する。また、その前段階で、同書が「小説」のジャンルに分類されていることから、中国および日本の古代の人々にとって、「小説」とはどのようなものと認識され、どのような価値観を持つものと意識されていたのかを論ずることとする。さらに、同上書はわが平安朝に早くから将来され、日本文学に大きな影響を与えたとされているが、その軌跡を具体的に見ていくことも本授業の重要な眼目としたい。以上の概説を終えてから、テキストを漢文訓読法によって実際に読み進めることになる。
履修上の留意点	教材は中国で出版された『世説新語校箋』をプリントして各自に配付する。各自はその原文に返り点や送りかな等を入れる作業を進めることになる。授業には漢和辞典を必ず持参のこと。予習も必要となる。
成績評価の方法	前・後期の定期試験の成績のほかに、レポートの提出、出席率を重視する。
教科書	随時プリントを配付。
参考書等	授業中に必要に応じて指定。
その他	授業への積極的な参加を要望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 概 論	き 木 村 晟 あきら	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くあるが、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期（4月～9月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。

後期（10月～1月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。

教 科 書

福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）800円

参 考 書 等

橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）  
時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）  
山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

そ の 他

その他各項目毎に授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 概 論	むら 村 上 光 徳 かみ みつ のり	国文1・2必	4

講義のねらい

授業の方法——講義の方式を採るが、必要に応じて討議する場合もある。  
国文学とは何か。日本文学の研究はどうあるべきか。また研究方法は、等の問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

古代から近代にいたるまでの各時代の研究方法や文献学とか民俗学、歴史科学的な方法等について整理してみたい。

履修上の留意点

テキストなしの講義になるから欠席しないように。

成績評価の方法

定期試験、出席状況による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史 I (古典)	おののひろし 小野寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本文学の発生からその成長・変遷・展開・発展を、日本文学の独自のジャンルである和歌について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

和歌の文芸としての確かな出発といえる『古今和歌集』の前後から時代をたどってゆく。

履修上の留意点

講義は毎時間、どんな話が出てくるかわからない。必ず出席して、ひたすらノートをとること。問題点は自ら積極的に調べる習慣を身につけてほしい。

成績評価の方法

前・後期2度の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国文学史 I (古典)	ふじあきお 富士昭雄	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

古典文学における文芸評論の系譜を講ずる。文芸評論は、詩歌論・物語（小説）論・演劇論に分けられる。また詩歌論は、詩論・歌論・連歌論・俳論に細分される。本年度は中世及び近世の評論の系譜を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

中世では、『毎月抄』『後鳥羽院御口伝』などの歌論、『無名草子』の物語論、『風姿花伝』『花鏡』の能楽論、『筑波問答』などの連歌論を取り扱う。近世では『去来抄』などの俳論、『源氏物語玉の小櫛』の物語論、『難波土産』聞書などの演劇論を取り扱う。

履修上の留意点

学年末の定期試験で評価するが、出席状況も考慮に入れる。

成績評価の方法

プリントを配布する。

教 科 書

○久松潜一著『日本文学評論史』全5巻（至文堂）『久松潜一著作集』第3～6巻（至文堂）  
○市古貞次編『日本文学全史』第3巻（中世）・第4巻（近世）（学燈社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 II ( 近 現 代 )	かつ 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。

講義の内容・  
授業スケジュール

明治期については簡略化し、大正・昭和を中心に代表的な詩人の詩作品を読んでいく。

成績評価の方法

前後二回の試験による。

教 科 書

適宜プリントを配布。

参 考 書 等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 II ( 近 現 代 )	おが だ 岡 田 豊	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本の近代文学の流れを、文体・メディア・時代状況等の各方面から考察する。まず最初に、前近代と近代との連続と不連続の問題から講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

いくつかの具体的な作品の表現に触れる機会をつくり、作品評や評論と引き合わせる作業を通して主題や文体の変遷を捉える。新聞・雑誌や出版界の動向、印刷・写真などのテクノロジーともかかわりを持たせてみてゆく。また、文学史から除外されがちな作家をも可能なかぎり掘り取ってみたい。

履修上の留意点

日頃、目にしない資料が出てくるが、それらを読むのに付き合ってもらおう。

成績評価の方法

出席状況と学年末の試験とをもって評価する。

教 科 書

山田有策編『近代文学Ⅰ』（学術図書出版社）を中心に進めるが、適宜プリントも配付する。

参 考 書 等

その都度教場で紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 史	おお とも しん いち 大 友 信 一	国文・2・3・4選必	4

講義のねらい

先人達が、日本語（国語）をどのような言語と認識し、より豊かで美しい言語にするために、日本語の特長をどのように研究したかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の順序で、講義が進められる。

序 国語学史の意義と方法

1. 古典解釈に伴う研究

①古語の意識 ②「日本紀私記」 ③「釈日本紀」 ④仙覚「万葉集注釈」

2. 歌学における研究

①歌学の成立 ②歌学の語学的価値 ③てにをはの研究 ④「手爾波大概抄」 ⑤連歌における研究 ⑥品詞分類の出發 ⑦活用の意義 ⑧仮名遣 ⑨定家仮名遣

3. 外国語との比較による研究

①漢語と国語 ②「新撰字鏡」 ③「倭名類聚抄」 ④「類聚名義抄」 ⑤「色葉字類抄」

⑥中世の辞書 ⑦音韻の研究と音図

4. 近世前期

①過度的研究 ②吉利支丹語学 ③その他の外国人の研究

5. 近世中期

①国学の成立 ②契沖 ③益軒・白石の研究 ④賀茂真淵 ⑤本居宣長 ⑥富士谷成章

⑦語彙の研究

6. 近世後期

①国学の分化 ②本居春庭・鈴木眼 ③上代特殊仮名遣の研究 ④義門 ⑤富樫広蔭

⑥蘭文法の影響 ⑦文字等の研究 ⑧語彙の研究

結び 今後の国語学の動向

履修上の留意点

積極的・主体的学習

成績評価の方法

試験の成績に平常点を加味する。

教科書

此島正年『国語学史概説』（おうふう）1,900円

参考書等

その都度、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 研 究 I	き むら あきら 木 村 晟	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『方言類釈』の語彙・語法研究を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

ソウル大学校蔵『方言類釈』を採り挙げ、近世口語の語彙・語法について考察する。外国資料のハンゲル資料の読み方も指導する。キリシタン資料の語彙とも比較対照させて考究する。

履修上の留意点

『下学集』『節用集』や『日葡辞書』などは常に参照する。

成績評価の方法

期末試験と出席状況により評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	おの の ひろし 小 野 寛	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 II	かな い せい いち 金 井 清 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上代日本文学作品のうち、韻文としての万葉集に対し、散文系の作品として古事記を取りあげ、その本質及び文学性を考察しながら古事記において両者が不可分の関係にあるのか、はたまた偶然に無関係に存在するのかについて考えを述べて行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は古事記と日本書紀とを比較しながらそれぞれの成立の事情と、主に神話の部分の相違を見てゆく。特に出雲系神話が古事記において詳細である所以を、古事記の本質との関係において考える。その他、古事記と日本書紀のそれぞれの神話が外形的に同じであっても決定的に異質であることを、いくつかの神話を取りあげて論じる。この問題は一部分が後期にまで持ちこされることになる。後期は前期にひきつづいて同じ問題を扱うが、範囲は古事記の中巻・下巻に移る。したがってテキストも別となる。ヤマトタケル物語と雄略天皇説話の考察を主に古事記の文学性がどこから生じてくるのかを追求してゆく予定。

履修上の留意点

履修する学生は、日本人の神信仰の問題に関心を持つ人、天皇の権威の歴史の変遷と現状に興味を覚える人、文学の発生のプロセスが世界的に普遍であるのか、それぞれ異なるのかについて考えたい人であって欲しい。授業は毎回出席をとる。質問用紙を配布するので、疑問はどしどし出して欲しい。私にも分からない問題は多くあるので、共に考えたい。

成績評価の方法

成績評価は定期試験、出席回数、良質の質問の有無などによる。

教 科 書

神田典城編『対照神代記紀』（笠間書院）1,400円主に前期用、倉野憲司『古事記』（岩波文庫）600円主に後期用

参 考 書 等

教室で随時指示。

そ の 他

講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅰ	高橋文二 <small>たか 橋 ぶん じ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教科書

高橋文二『源氏物語の時空と想像力』（翰林書房）

参考書等

講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究Ⅱ	松井健児 <small>まつ い けん じ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

王朝初期物語のなかから『竹取物語』を読む。『源氏物語』に「物語の出で来はじめの祖」と語られているように、『竹取物語』は「物語」という形態の原形的な要素を多分にもっている。神話や伝説、口承文芸などの遺産を受け継ぎながら、物語が黎明期の仮名文字との出会いを通じて展開していった、想像力の原初的なありようを探っていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文講読の形式をとる。近年の研究成果をふまえ、物語の時間、発想、話型など、物語を主体的に読むためのいくつかの術語を紹介しつつ、その概念や具体的な読みへの応用方法についても逐次説明する。

履修上の留意点

自主性と積極性

成績評価の方法

①論述を中心とした筆記試験 ②出席状況 ③その他を総合しておこなう。

教科書

野口元大・校注 新潮日本古典集成『竹取物語』（新潮社）

参考書等

小嶋菜温子『かくや姫幻想 皇権と禁忌』（森話社）他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	むら 村 上 光 徳 むら 村 上 光 徳	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	『徒然草』を講読し、兼好の物の考え方－自然観・人生観等にふれる。
講義の内容・ 授業スケジュール	テキストを使い関係ある章をたんねんに読み先学の説など参考にして考えてゆく。
成績評価の方法	①筆記試験 ②出席状況

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 II	た 田 中 徳 定 た 田 中 徳 定	国文2・3・4選必	4

講義のねらい	保元・平治の乱、源平の合戦に始まり、中世は戦乱の世であった。その中において、平安朝文学とはまったく異質の、軍記文学・説話文学・劇文学等が花開いていった。それら中世独自の文学について、中世という時代を考えながら考察していきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	中世文学の諸分野（和歌・連歌、日記、随筆、評論、軍記、説話、能、狂言、室町時代物語）における代表的作品を読みながら中世という時代を考える。
成績評価の方法	レポートによる（課題は授業中に指示する）。
教 科 書	岩佐美代子他編『新選中世の文学』（和泉書院）1,500円
参 考 書 等	授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究 I	富士 昭 雄	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧文学研究。本年度は『おくのほそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧紀行文の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『おくのほそ道』の主要な章段を中心に、『曾良旅日記』その他の資料を参照しながら、講読する。

成績評価の方法

学年末の試験により評価する。

教 科 書

萩原恭男校注『芭蕉 おくのほそ道』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究 I	山崎 眞 紀 子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

人は言葉を介して考えていることを伝達するが、心の中に生じたいろいろな感情や思いを的確に言語化するのは難しい。とりあえず自らが蓄積している語彙を用いて、抽象的な心の中を言葉として表に出し具象化するしかないだろう。語彙が貧弱であったりすると、思いと言葉とが一致しにくく、相手にもうまく伝わらず、自分自身も消化不良のようで居心地が悪い。また、考える力や現象を分析する力も育たない。言葉は生きていく上で大切なツールであるにも関わらず、それを磨くことを怠りがちである。豊かな語彙力、適切な単語の選択、具象化できるだけの文脈づくり、文章の構成力などを学ぶひとつの方法として日本の近代小説を読む、というのはいかがであるだろうか。

複雑な感情を一元化して何にでも「カワイイ」と表現してしまったり、安易に「超〜」「っていか」をつけて自分の世界を表現し得たように思いこんでしまう平板な言語力には、平板な世界観しか築けないだろう。それでは生きていてもつまらない。日本の近代小説には豊かな言葉が溢れている。言葉を磨くには恰好の教材になる。作品中に描かれている都市に注目して集められた日本近代小説のアンソロジーを読み、めまぐるしく変化している現代社会の都市の中に生きる私たちの感性と言言葉を磨くことがねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

泉鏡花、樋口一葉、田山花袋、谷崎潤一郎、芥川龍之介、江戸川乱歩、三島由紀夫、大江健三郎らの小説。アンソロジー所収以外の現代小説を読むこともある。

履修上の留意点

授業に臨む前にテキストを読み、感想や意見を述べられるように準備しておくこと。また、〈都市〉を解説するために、街を歩く際に観察力をもち柔軟な感受性のアンテナを立ててキャッチしておくこと。自らが感じとったことを口頭発表や文章化してもらう。なお、年間を通じて3分の1以上欠席した場合は単位は認定しないので注意すること。

成績評価の方法

出席や授業時の意見・発表などの平常点と前期と後期の論述テストにより評価。

教 科 書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説〈都市〉を読む』（双文社出版）2,000円

そ の 他

教科書以外のテキストを準備して貰うこともあり。ビデオも時に使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「一人称小説の構造」を年間テーマとする。  
作中人物の一人（複数の場合もある）が語り手を兼ねる「一人称小説」には、《地の文》というものが原理的に存在しない。語りにはすべてわたって、語り手の主観のフィルターがかかっている。本講義では、日本の近現代文学を眺望しながら、さまざまな一人称小説をとりあげ、この形式の小説の構造的特色に光をあててみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

特定の作品を精読するのではなく、いくつかの小説をサンプルとして駆使しながら、理論的問題を追求していく、という講義になるはずである。

履修上の留意点

作家・作品中心ではないので、最初はとまどうかも知れない。講義をよく聞き、不明な点があれば遠慮なく、積極的に質問してほしい。講義を真剣に聞かない学生は、講義のコンセプトがまったくつかめないまま一年が終わってしまうおそれがある。

成績評価の方法

期末試験の成績で評価を出す。リポートするか筆記試験にするかは、受講生の人数や反応をみながら決定する。

教科書・  
参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国語学特講Ⅰ	おお とも しん いち 大 友 信 一	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

言語生活における漢字の役割について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

伝具平親王の撰とされる『真名本伊勢物語』の国語学的研究を行なう。音韻・語法・仮名遣いの各方面から考察するのは勿論であるが、仮名文の「真名化」ということに重点をおいて、言語生活上の問題を考える。特に「真名本」の用字法については、真名本の『平家物語』（熱田本・平松本）とも比較対照して、『真名本伊勢物語』の表記の特徴を追究することとする。

履修上の留意点

『名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』などの古辞書類は常に参照する。

成績評価の方法

出席状況を重視し、期末試験によって評価する。

教科書

柳田忠則他編『真名本伊勢物語』（翰林書房）1,800円

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅱ	田中章夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

言語に様々な変容をもたらす位相と、それによって生ずる日本語の位相差について考察する。特に、日本語における位相差の実態と、その問題点を受講者自身の調査を通じて理解する。たとえば、手紙の文章ひとつをとっても、そこには男女による違い、年齢層による違い、あるいは、目的や相手による違いなど、さまざまな変容がみられる。言語表現に、こうした差異をもたらす要因を位相というが、位相による差異は、音声にも文法にも用語にも現われ、言語表現のバリエーションをかたちづくる。講義では、近代日本語の形成過程にみられる位相上の問題を、具体例に基づいて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

第1学期では、主として性差・世代差・階層差などの問題をとりあげ、第2学期では書簡・詩歌・談話など表現様式による差異を中心に考察する。さらに現代の問題として、放送・電話・新聞など伝達媒体に基づく言語表現の特性などにも触れたい。

履修上の留意点

講義では、位相上の特性の顕著な言語資料をプリントで配布し、受講者とともに、資料を解読し、分析していく。

成績評価の方法

第1・第2学期それぞれ一回ずつレポートを課して評価するが、出席も加味する。

参考書等

真田信治『日本語のバリエーション』（アルク社）1989  
 島田勇雄『位相論（講座・日本語の語彙・1）』（明治書院）1982  
 菊沢季生『国語位相論』（明治書院）1933  
 田中章夫『日本語の位相と位相差』（明治書院）1999

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅰ	三浦廣子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

曾我狂言を考える。江戸歌舞伎において、曾我狂言はその初期から終りに至るまで繰り返され上演され続けた狂言である。近代に入ってようやくその命脈を断つまで、初春の吉例として毎年新しく作られ続けたのである。その数はゆうに六、七百種に及ぶであろう。多様な様相を見せる曾我狂言の世界を考察して、江戸歌舞伎の本質を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

曾我狂言における局面や役柄の形成を検討しながら、江戸中期後期の曾我狂言を取り上げて読む。曾我狂言の二番目物として「助六由縁江戸桜」も取り上げる。

成績評価の方法

評価は課題についてのレポートによって行なう。年2回の予定。出席の状況も考慮して評価する。

教科書

プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅱ	なかむらあや 中 村 文	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

和歌に詠まれる光景や心情は、だいたい優雅で趣深いものと相場は決まっています、びっくりするような突飛な発想にはめったにお目にかかれませんが、また、和歌に用いられる言葉(歌語)も、伝統が積み重ねられるに従って、その範囲が決まってきました。こうした同じような発想や場面構成や言葉を用いることが繰り返されれば、そこに生まれる和歌は、美しくはあるけれど感動に裏付けされることのない、少し退屈なものに陥らざるをえません。古今集成成立から150年ほど経過した頃、こうした問題に自覚的に立ち向かおうとする歌人たちが現われてきました。マンネリズムを克服し、新しい和歌の世界を切り拓くために、歌人たちがどのように思索し、かつ試みたのかを、主に歌論・歌学書を対象として考えてみようと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

平安時代後期から鎌倉時代初めにかけて成立した、『俊頼髄脳』『袋草紙』『古来風体抄』『無名抄』『近代秀歌』等の歌論・歌学書を取り上げて、講義形式で読み進めます。この時代はちょうど政治社会的にも文学的にも、王朝的なものから中世的なものへと交替していく曲がり角の時代でした。歴史的背景などにも触れながら、時代の大きなうねりや変質を捉えてみたいと考えています。「歌論」などと言うと、とても難解な授業を想像するかもしれませんが、歌人にまつわる説話を多く取り上げ、また新しい試みをしようとした歌人たちの和歌作品の読解・鑑賞も行います。和歌に親しむことも、この授業の目的の一つと考えて下さい。

成績評価の方法

評価は、各期末に記述形式の試験を行って判定します。

教 科 書

テキスト・参考書は用いず、プリントを配布して授業を行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅲ	たていしかずひろ 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝の物語文学「源氏物語」の、現代における「流通・加工・消費」の様態について考察する。現代語訳、梗概書、演劇、映画、漫画へと加工されることで、『源氏物語』は、どのような表象、言説として再構成されていくのか。『源氏物語』という文化が消費されていくなかに形成される権力の問題も見すえながら、具体的な表現を通して考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに『源氏物語』の概説を簡単におこなう。その後、受容態分析として、加工媒体のメディア特性や具体的な表現の分析に移る。与謝野・谷崎・円地・田辺・橋本詠の特性、造本・装画・宣伝などにより形成される美的王朝幻想、『あさきゆめみし』と漫画文化、戦時下と戦後(特に20年代)の源氏物語、不敬とジェンダーをめぐる表象、映画・アニメーション・宝塚への再生など、複数の視点から源氏文化を対象化する。

成績評価の方法

出席とレポートによる。

教 科 書

毎回、プリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 IV	多 田 圭 子 <small>た だ けい こ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

貴族の政治と栄華に視点を据えた歴史物語にかわって、武士勢力の「武」の世界とともに歴史を捉えようとする中世の軍記物語は、その叙述に豊かな説話を抱え込んでいる。軍記物語における説話の諸相にふれながら、中世という時代における説話の意味について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の問題を考える際に必要と思われる軍記物語、説話についての基礎的事項を確認したうえで、『平家物語』を取り上げて、説話に重点を置きながら通読する。伝本間の相違、関連資料、また研究史などにも充分目を配って読んでゆきたい。

成績評価の方法

前期：筆記試験／後期：レポート  
出欠席も評価の対象に含める。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

『平家物語』使用テキストは初回に受講者の希望も考慮して決定する。  
必要に応じてレジュメを配布、参考書・参考文献を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 V	神 野 志 隆 光 <small>こうのし たかみつ</small>	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

天皇の神話の成立とその歴史について考察する。『古事記』『日本書紀』において天皇の神話が成り立つ。それは、もともと神話があつてまとめられたというようなものではなく、テキストにおいてはじめてかたちづくられたものと見るべきである。さらに、その神話が変換・更新されつつ生きてゆくことを見てゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

つぎのような構成で進める。1. 方法論について。2. 『古事記』の神話。3. 『日本書紀』の神話。4. 天皇の神話の多元的成立。5. 『古語拾遺』の意義。6. 講書をめぐって。7. 中世的転換。8. 宣長から近代へ。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席と時間内に実施する小テストによる。

教 科 書

『古事記』・『日本書紀』・『古語拾遺』（岩波文庫）  
神野志隆光『古事記と日本書紀』（講談社現代新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 VI	たて いし かず ひろ 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安時代以降の物語文学を対象として、個々の言説に「性差」「性愛」「身体」を読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に、性差・性愛・身体をめぐる研究史と方法論を概説する。定型化した「物語」とその「話型」の中に、制度化した性と身体が構造化している。その分析過程で、現代の我々の性をめぐる認識も反照されることだろう。両性具有性、異性装、仏教と性差、初体験の物語といったテーマを設定して、作品を読み進めることとする。

扱う作品は主に、『源氏物語』『堤中納言物語』『とりかへばや』とする。近現代を含む平安時代以外の作品、絵画・映画などの他メディアを参照することもある。

成績評価の方法

レポート提出と出席。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

適宜教室で指示する。

そ の 他

講義形式だが、意見を書いてもらう機会を用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 VII	うえ た やす よ 植 田 恭 代	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『紫式部日記』をとりあげる。

講義の内容・  
授業スケジュール

『紫式部日記』の構成を考え、具体的に読み進めながら作品の特質をさぐり、『紫式部集』『枕草子』『源氏物語』をも視野に入れながら紫式部と彰子サロンについて考える。

履修上の留意点

なるべく自分で作品を一読してほしい。

成績評価の方法

出席、試験等を総合して評価する。

教 科 書

山本利達校注『紫式部日記 紫式部集』（新潮社）

参 考 書 等

授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅷ	<small>おか</small> 岡 <small>まさ</small> 雅 <small>ひこ</small> 彦	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

近世前期小説、仮名草子の二、三の作品の読解を通して、仮名草子の特質を考察する。

教 科 書

授業中に適宜プリントを配布し、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅸ	<small>なか</small> 中 <small>むら</small> 村 <small>みよ</small> 三 <small>よし</small> 代 司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

昨年度に引き続いて、太宰治の作品を取り上げる。本年度は第一創作集『晩年』以後に成立した昭和10年代の代表作を精読しつつ、時代状況との関わりや坂口安吾・石川淳など同時代作家などの動向を視野に入れながら、それぞれの作品のモチーフやテーマについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、「創世記」「二十世紀旗手」「富嶽百景」「女生徒」などを、後期は、書き下ろし創作集『愛と美について』の収録作品や「駈込み訴え」「走れメロス」などをそれぞれ読む予定である。

履修上の留意点

次回取り上げる作品を指示するので、必ず読んでから受講すること。

成績評価の方法

年2回（前期・後期）のレポート、及び出席状況を勘案して評価する。

教 科 書

『太宰治全集』第2巻（ちくま文庫）定価680円  
同 第3巻（ちくま文庫）定価680円

参 考 書 等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 X	井 上 理 恵	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

日本近代・現代戯曲を取り上げ、そのドラマトウルギーを検討しながら戯曲研究の方法を考える。これまで戯曲は文学作品として研究されることが少なく上演と関連づけて検討されることが多かった。本講座では文学としての戯曲という視点で近代・現代戯曲にアプローチする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には、近代戯曲の傑作とみなされている久保栄の「火山灰地」を取り上げる。  
後期には、現代戯曲（清水邦夫・別役実・唐十郎・寺山修司・つかこうへい・三谷幸喜・平田オリザ…等）を可能なかぎり数多く取り上げるつもりである。

履修上の留意点

戯曲の舞台化はビデオ視聴するつもりだが、本講座を選択する者には実際の舞台を見に行ってもらうことを義務付ける（前期一回、後期一回）。

成績評価の方法

成績評価は、発表・レポート（2回観劇批評）・テストで評価する。

教 科 書

前期教科書『火山灰地』（社会評論社）3,000円。後期はプリントで配布。

参 考 書 等

井上理恵著『久保栄の世界』（社会評論社）4,120円。日本近代演劇史研究会編『20世紀の戯曲』（社会評論社）4,700円。

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や学生の発表もあり。第二回までに教科書を用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 XI	近 藤 裕 子	国 文 2・3・4 選 必	4

講義のねらい

1980年から現在までに発表された諸作品（主として短編を取りあげる）を対象に、作品を構成するモチーフやテーマ、人間関係や時空構造などを分析する。特に、文体に内在する揺れや、表層の物語を裏切るような身体性（癖・無意識の発話や行為・夢）に注目し、現代文学が描きだそうとしている〈わたし〉が、いわゆる「近代的自我」と呼ばれているものとどのように異なっているかを考える。分析と考察にあたっては、臨床心理学や精神病理学など、人間の無意識の働きを扱う近接領域の発想や方法も援用したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

各回の前半は受講者が提起する、現代的事象や現代的自己のありようについてのトピックスをめぐって、自由にディスカッションする。後半は、ひとつの作品を取りあげ具体的に分析したうえで、上記の観点から講義を行なう。今年度は、村上春樹、村上龍、吉本ばなな、多和田葉子、笙野頼子、松浦理英子などを取りあげる予定だが、受講者の希望も考慮して選択決定したい。

履修上の留意点

現代文学の入手は、文庫化されたものでも案外時間がかかるので、早めに注文し読んでおいて欲しい。また、発言発表など積極的に能動的な参加を望む。

成績評価の方法

出席率、授業への貢献度、学年末テストを総合して評価する。

教 科 書

必要に応じて、その都度紹介する。

参 考 書 等

近藤裕子ほか編『大江からはななまで』（日外アソシエーツ）2,500円ほか

そ の 他

授業前半は受講生のスピーチをめぐるフリー・ディスカッション。後半は講師作成のレジュメをもとにした講義。可能であれば、映画化された作品をビデオ上映し、メディアの違いについても考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 I	木 村 歳 <small>きむら あきら</small>	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

中近世の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『かながき論語』を「抄物」、「キリシタン資料」などと対照させ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぶようにする。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。

成績評価の方法

平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

大友信一他編『仮名書き論語』（翰林書房）1,800円

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	小 野 寛 <small>おの ひろし</small>	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

万葉集をよむ。

講義の内容・  
授業スケジュール

万葉集巻一の歌から選んで各自分担し、その歌の本文はどうなっているか、訓みはどうか、語句の意味・用法、作歌の背景など、くわしく調べて、一人ずつ報告・発表し、全員で検討する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、レポートの提出、学年末の筆記試験によって評価する。

教 科 書

鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう刊）  
小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	おおかたゆか 岡 田 豊	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

演習という授業に慣れていない学生を対象に、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎トレーニングを行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

永井荷風と谷崎潤一郎の作品をいくつか取り上げ、報告者の提起した問題をめぐって、演習生が一丸となって討論する。報告者は読解に基づいて何らかの問題を示し、調査・考察の末に得た見解を述べる。それに続く質疑応答、討論を通して演習生各自がそれぞれの〈読み〉を深めてゆく。

履修上の留意点

報告者以外の者も必ず作品を読んでくれるのはもちろんのこと、自分なりの考えを持って参加しなければならない。最初のうちは戸惑うことも多いと思うが、トレーニングを重ねる過程で討論の進行状況をつかむ力が養われるので、毎回意欲的に参加して欲しい。

成績評価の方法

報告内容はもちろん、討論での発言回数やその内容等の演習参加の姿勢および学年末のレポートを総合的にみて判定する。

教 科 書

扱う作品のリストを最初の授業でプリントにして配付し、担当者を決定し年間のスケジュールを形作る。テキストはその都度指示する。

参 考 書 等

最低限必要と思われる参考書については最初の授業時に紹介する。それ以外は折にふれ紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	かつはらはるき 勝 原 晴 希	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい

演習における研究報告と質疑応答の具体的な方法習得をねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

芥川龍之介の作品を分担、報告をしてもらう。

履修上の留意点

学生自身の積極的な参加が必要である。

成績評価の方法

平常点並びにレポートによる。

教 科 書

芥川龍之介『戯作三昧・一塊の土』（新潮文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

上佐（左）日記を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の日記文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめの3～4回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。

履修上の留意点

研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめなして臨む。

成績評価の方法

年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。

教 科 書

- 影印本『土左日記』（新典社）
- 字典『かな』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 2 必 国 文 2 選	4

講義のねらい

夏目漱石とその時代について学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

夏目漱石の代表的作品を、学生の分担発表と、演習生全員によるディスカッションを軸にしながら読んでいく。

成績評価の方法

年度末のレポートと、平常点を総合して評価を出す。

教 科 書

夏目漱石『坊っちゃん』・『三四郎』・『それから』・『行人』・『こころ』（いずれも新潮文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	た 田    なか    のり    さだ 田    中    徳    定	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい	古典文学を読解・調査していくための基本的な文献を学び、それらの文献によって実際に古典文学作品を読解する方法を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	『宇治拾遺物語』をとりあげ、説話集中に登場する人物調査の方法や歴史的史料の扱い方を学ぶ。また、他作品における同類話との比較から、個々の作品の性格と話の伝承形態を探求する。
成績評価の方法	授業時間内に行う口頭発表とその内容をまとめたレポートによる。
教科書	新潮日本古典集成『宇治拾遺物語』（新潮社）3,500円
参考書等	授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	はやし    たつ    や 林    達    也	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『伽婢子』研究。</li> <li>・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどういう手続きが必要か、などのことがらについて、身をもって修得することを目的とする。</li> </ul>
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。</li> <li>・適切な辞書の使い方を覚える。</li> <li>・参考文献の探し方・利用方法を身につける。</li> <li>・効果的な発表方法を考え、実行する。</li> </ul>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習であるので、出席を義務とする。</li> <li>・授業には積極的に参加しなければならない。</li> <li>・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。</li> </ul>
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方と学年末提出のレポートの二点によって評価する。</li> </ul>
教科書	4月開講時に指示する。
参考書等	4月開講時に指示する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はレポーターの発表を中心に進める。</li> <li>・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。</li> </ul>



科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	ふ じ あき お 富 士 昭 雄	国文2 必 国文2 選	4

講義のねらい	近世小説演習。上田秋成の『雨月物語』の読解を通して、近世小説の特色を理解する。
講義の内容・授業スケジュール	『雨月物語』九章の中の主要な章の、的確な読解を進める。担当者を決め、その読解を踏まえて、時には講読を加え、考察を深める。
履修上の留意点	演習なので、担当者は言うまでもなく、各自予習を済ませておくこと。
成績評価の方法	出席状況・発表内容を勘案し、特に授業最終日の試験の成績で評価する。
教科書	水野稔・校注 校注古典叢書『雨月物語』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅰ	まつ い けん し 松 井 健 児	国文2 必 国文2 選	4

講義のねらい	平安時代物語の研究を自立的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。
講義の内容・授業スケジュール	受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』「須磨」「明石」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を展開できる技術を養う。
履修上の留意点	演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。
成績評価の方法	受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。
教科書	石田稔二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 二』（新潮社）
参考書等	参考書は授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	国 文 2 必 選 国 文 2 選	4

講義のねらい	『平家物語』巻五、巻六を中心に読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	巻五、巻六の主な句を取りあげ、読み、解釈、観賞から人物の考察、史実との関係等にもふれる。
成績評価の方法	出席重視、他にレポート、発表方法など評価の対象とする。
教 科 書	『平家物語抄』（桜楓社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 II	き 木 むら 村 あきら 晟	国文3必・国文3選	4
国 語 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	国語語彙史の研究を行なう。
講義の内容・ 授業スケジュール	『漢和三五韻』（貞享3年刊）の豊富な和訓を採り挙げ、中近世の語彙史研究を行なう。実証的ならしめるため、多くの文献を参照する。また、関連する論文もいくつか採り挙げ読むこととする。
履修上の留意点	『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。
成績評価の方法	平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。
教 科 書	プリントを用意する。
参 考 書 等	授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	うえ た やす よ 植 田 恭 代	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

『源氏物語』「柏木」巻を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

本文の多角的な検討と表現に密着した分析をとおして、時代に生きる人々の心性や思想を探り、『源氏物語』の特質を明らかにし、物語史における位置づけを考えてゆく。

2～3名のグループを組み、毎回担当範囲を決めて発表してもらい、それにもとづく討論を行なう。

履修上の留意点

あらかじめ予習をしておくこと。

成績評価の方法

発表、授業への参加態度、出席、レポートによる総合評価とする。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 五』（新潮社）

参考書等

授業時に指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	お の ひろし 小 野 寛	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

本文、注釈、作品論、作家論などについての正確な結論を得るためには、大量の情報をしっかりと整理する必要がある。その情報処理の能力を養ってもらうことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

古事記から万葉集までを対象として、各自が選んだ作品の本文研究と解釈について発表し、出席者全員で討論することによって進行する。

履修上の留意点

遅刻・欠席すると自分一人おくれ、皆の進歩から取り残される。何が何でも出席すること。

成績評価の方法

発表・質疑に対する応答と、討論への参加、学年末に提出するレポートによる。

教科書

万葉集は、鶴久・森山隆編『万葉集』（おうふう）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	お 田 豊 か だ ゆん	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	近年、〈家族〉をめぐる問題（言説）が噴出している。そこでこの演習では〈家族〉を前景化して日本の近現代小説を読んでゆく。
講義の内容・授業スケジュール	ごく大雑把に〈家族〉を定義すれば、血縁や婚姻で結ばれた生活や生計をともにする人々の集まりということになる。その家族成員相互の関係（親子、夫婦、兄弟・姉妹等）の中でくり広げられる物語を読み取ってゆく。そのためには法制度、教育、経済機構、メディア等の家族を取りまく外部環境との相関で見てゆくことになろうし、ジェンダーの視点からのアプローチも有効であろう。ともあれ、様々な角度から〈家族の物語〉を引き出して欲しい。
履修上の留意点	報告者は討論の材料になる問題を設定し、見解を提出する。他の演習生との質疑応答ののち、全員で討論する。よって作品を必ず読み、意見が出せるようにしておかなければならない。
成績評価の方法	出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数や内容等の演習参加の姿勢に加えて学年末のレポートを総合的にみて評価する。
教科書	扱う作品のリストをプリントして配付し、担当者が決定した後にテキストを指示する。
参考書等	その都度教場で指示する。家族論関係の参考書は主要なものについて著者、書名を明記したプリントを配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	か 原 晴 希 つ ば ら はる き	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	個々人の卒論とは直接連動させず、代表的な文学作品についての研究報告と質疑応答によって、作品研究への実践的、主体的なアプローチの方法を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	数回のオリエンテーションに引きつづき、個々人の研究報告と質疑応答によって進めて行く。なお対象作品はあらかじめ選定されたテキストから選んでもらう。
履修上の留意点	研究史（先行論）を踏まえたうえで独自の視点で分析を行なえるよう、積極的に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	平常点並びに最終レポートによる。
教科書	授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	こうのし さちえ 神野志幸恵	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

万葉集巻三の作品を一首ずつ講読していく。注釈書や論文を参看しながら丁寧に読んでいくことを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

各人が一つの作品を担当し、発表する形で進めるが、それに先立って講義の形で問題点を整理したものを参考にしながら行なう。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

平常点と学年末のレポートによる。

教科書

鶴久、森山隆編『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業の時々指示する。事典として、稲岡耕二編『万葉集事典』（別冊国文学、学燈社）が便利なので推奨する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	こん とう ひるこ 近藤裕子	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

心が病むということ（神経症）と、健康であるということとの間に境界はない。しかし、病いによってその人が持っていた心の傾向はより強く打ち出される。すなわち病いとは、その人のその人らしさを顕在化させてくれるひとつの契機だと考えることもできよう。人は病いを通して自己に向き合うのである。本演習では、このような観点に立ち、心の病いをモデルにしながら1920～90年代の作品を読み解いてゆこうとするものである。あわせて〈わたし〉とは何かという問題についても考えてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

対象作品は「教科書」の項目を参照。そのほか授業参加者の希望を入れて選定したい。受講者は年二回のグループ・レポーターを担当し、分析結果と考察を発表する義務を負う。授業はその発表を中心とした受講者全員によるフリー・ディスカッション。

履修上の留意点

自分自身を問い直すことも含め、積極的な発言を望む。

成績評価の方法

年間二回の発表と授業中の発言及び学年末レポートの成果により評価。

教科書

尾崎翠『ちくま日本文学全集 尾崎翠』（筑摩文庫）、庄野潤三『プールサイド小景・静物』（新潮文庫）、村上春樹『ノルウェイの森』『ダンス・ダンス・ダンス』（講談社文庫）、笹野頼子『母の発達』（河出文庫）、吉本ばなな『キッチン』（角川文庫）『とかけ』（新潮文庫）、小川洋子『完璧な病室』（福武文庫）。

参考書等

斎藤学『家族の中の心の病』（講談社+アルファ文庫）、西澤哲『子どものトラウマ』（講談社現代新書）、鷲田清一『じぶん・この不思議な存在』（講談社現代新書）、木村敏『時間と自己』（中公新書）、永井均『〈子ども〉のための哲学』（講談社現代新書）など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	たか はし ぶん じ 高 橋 文 二	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	『源氏物語』の「幻」巻を読み、光源氏晩年の文学世界の意味あいを考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	はじめの4～5回は概論風の講義をし、「幻」巻の問題点について触れる。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。
履修上の留意点	語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細かい方法等については授業時間内に指示する。
成績評価の方法	研究発表の内容、年二回のリポート、出席の状況などを勘案して評価する。
教 科 書	影印本『幻』（新典社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	たか た ち なみ 高 田 知 波	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	近代小説の名作を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	明治から昭和前期までの小説の中から、学生の希望を尊重して代表的な作品を選び、学生の分担任発表と演習生全員によるディスカッションを軸にしながら読んでいく。
成績評価の方法	年度末のリポートと、平常点を総合して評価を出す。
教 科 書	教場で学生と相談して決める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	たなかのりさだ 田中徳定	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

仏教の教えが説かれていく際に、さまざまな説話が、例証としてまた譬喩として語られることがある。そのような説話について、どのような出典によっているのか、また、どのように改変されて語られているのか、という点について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

『宝物集』をとりあげ、この中に引用されている説話の出典確認と、『宝物集』における改変の様相を探る。その作業により、『宝物集』において説話がどのように扱われているのかを探っていききたい。

履修上の留意点

仏教に関する説話を多く扱うことになるため、必然的に経典類や他の仏教書を調査することになることを承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

授業時間内に行う口頭発表とそれをまとめたレポートによる。

教科書

山田昭全他編『宝物集』（おうふう）2,900円

その他

授業は演習形式で、受講生がレジュメを作成し、口頭発表する形で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	なかむらあや 中村 文	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

鎌倉時代の初頭に編纂された第七番目の勅撰集『千載集』を読む。和歌に用いられる言葉〔歌語〕には、長い伝統の中で様々なイメージが貼り付けられている。そうした言葉の一つ一つにこだわりながら、イメージのゆるやかな結びつきの上に成り立つ豊穡な和歌の世界を読み解いていきたい。また、千載集は治承・寿永の内乱という未曾有の内戦の後に成立した勅撰集である。天皇家の命によって編纂される歌集に、時代背景がどのような影響を与えているのかについても考察を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

和歌読解のための基本的な調査方法に習熟し、和歌の読み方に親しみ慣れることを第一の目標とするが、本人の取り扱い方や伝記・歌壇史研究の方法、或いは近年急速に研究が進展している歌学的なアプローチ等についても随時ふれていきたい。

履修上の留意点

一人二首程度を担当してもらい、その報告によって授業を進める。受講者は必ず報告を行わなければならないが、担当に当たっていないときにも積極的に発言してもらいたい。

成績評価の方法

学年末に一首の和歌を課題としてレポートを提出して貰う。報告とレポートの内容に、授業にどれだけ積極的に関わったかを加味して判定する。

教科書

久保田淳校注『千載和歌集』（岩波文庫）

参考書等

松野陽一『千載集 勅撰和歌集はどう編まれたか』（平凡社）2,000円、小林幸夫他編著『「うた」をよむ三十一文字の詩学』（三省堂）2,000円。報告に際して参照すべき文献については、授業開始時にプリントを配布して説明する。

その他

報告の具体的なやり方については、最初の授業時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅱ	なかむらみよし 中村三代司	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

前期は、明治40年代の森鷗外・夏目漱石等、大正期の芥川龍之介・谷崎潤一郎・志賀直哉・有島武郎・佐藤春夫等、昭和初年代の江戸川乱歩・夢野久作等の主要作品を、後期は履修者の希望作品（時代は問わない）をそれぞれ読み、作品研究の方法を考える。また、作品を研究する場合の参考文献の調べ方、レジユメの作成法、分かりやすい発表の技術等も併せて習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1作品につき、2名程度がレジユメを準備してレポートする。そして、その発表に基づいて討議を行なう。また、レポーター以外の履修者には、予習の意味を含めて当該作品の簡単なレポート（400字以内）を毎回提出してもらう。なお、取り上げる作品については開講時に指示する。

履修上の留意点

毎回取り上げる作品を読了した上で演習に参加するのはいうまでもないが、作品をいかに読んでくるかが重要である。問題意識をもって演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

前・後期各1回の発表、出席状況を重視して評価する。また、授業中の発言も勘案する。

教科書

各社文庫本。作品毎に指定する。

参考書等

取り上げる作品毎に異なるので、その都度指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅱ	はやし 林	国文3必・国文3選	4
国文学演習Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい

- ・『俳諧七部集』を読む。
- ・本年は「ひさご」の連句を読み、連句の作られ方、連句の楽しみ方を知ることが目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・俳諧の本来は連句にある。連句に親しみ、俳諧の世界を探る。
- ・「わび」だとか「さび」だとか、抽象的な言葉は、この演習では禁句にする。
- ・言葉を確実に捉えるところから始める。
- ・各句の意味、光景を把握した上で、前句と付句の関係を理解し、そこに展開する世界を具体的に理解する。
- ・俳諧の世界と和歌の世界の違い、俳諧の語法と和歌の語法の違いにも注意を払う。
- ・注釈の歴史を知る。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・レポーター（発表者）は、参考資料を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方。
- ・学年末提出のレポートの二点によって評価する。

教科書

『芭蕉七部集』（岩波文庫）

参考書等

- ・幸田露伴『評釈 芭蕉七部集』（岩波書店）
- ・島居 清『芭蕉連句全註解』（おうふう）
- ・復本一朗編『芭蕉連句評釈』（雄山閣）
- ・安東次男『連句入門』『風狂始末』『続風狂始末』（筑摩書房）
- ・新古典文学大系『芭蕉七部集』（岩波書店）

その他

授業は、レポーターの発表を中心に行う。  
レポーターは古注釈に至るまで充分理解し、発表すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	ふ じ あき お 富 士 昭 雄	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい 近世文学演習。西鶴の町人物、『日本永代蔵』を、演習形式の授業を通して解明する。

講義の内容・授業スケジュール 発表担当者の読解を中心に考察する。

履修上の留意点 発表者以外の者も、予習をしておくこと。

成績評価の方法 演習の出席状況・発表内容を勘案し、演習最終日の試験の成績で評価する。

教科書 前田金五郎編『日本永代蔵』（大修館書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅱ	まつ い けん し 松 井 健 児	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 Ⅲ		国文4必・国文4選	

講義のねらい 『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・授業スケジュール 受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の玉鬘十帖を扱い、具体的には「行幸」「藤袴」「真木柱」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究をおこない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点 演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法 受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合しておこなう。

教科書 石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 四』（新潮社）

参考書等 授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 II	むら 村 上 光 徳 むら 村 上 光 徳	国文3必・国文3選	4
国 文 学 演 習 III		国文4必・国文4選	

講義のねらい	『平治物語』－中巻－を読む。昨年上巻に続いて写真版で読む。この乱は源平両氏の対立が中心だが、とくに中巻は戦の場面であるので、注意深く読みたい。
講義の内容・授業スケジュール	写真版のテキストを用い、学生主体ですすめる
成績評価の方法	出席重視、その他レポート、発表方法などに注意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 IV	き 木 村 晟 き 木 村 晟	国 文 4 必	4

講義のねらい	国語学を専攻する学生の卒業論文の指導をする。
講義の内容・授業スケジュール	国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。
履修上の留意点	卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せず、たびたびすること。
成績評価の方法	平常点により評価する。
教科書	特に使用しないが、プリントは用意する。
参考書等	授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	お の ひろし 小 野 寛	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文に上代文学を選ぶ者に対する指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は演習形式で、各自が卒業論文に選んだテーマに沿って作品を選び、詳細な本文研究と確かな解釈の上に立つ作品研究を報告し、みんなで討議する。

履修上の留意点

卒業論文のテーマを一日も早く決定する。4月の開講時には各自の卒業論文の計画書を提出してもらおう。

成績評価の方法

卒業論文提出のあと、学年末にレポートを提出する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	おか だ ひろたか 岡 田 豊	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導をし、助言を与える。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①学生各自の研究対象・研究テーマに沿った個別指導をする。
  - ②書く練習と進行状況の把握、論点の明確化等を兼ねて数度にわたりレポートを提出(期限付き)してもらおう。
  - ③中間発表会を開催し、質疑応答と討論の過程で報告者は自説の補強に役立て、他の演習生も参考にして学ぶものを得て刺激を相互に受ける。
- 以上の3本立てで演習を運営する。

履修上の留意点

相談に来ること。そして約束された作業をしっかりとこなすよう努めてもらう。

成績評価の方法

卒業論文作成に対する態度と卒業論文の内容を評価軸とする。

教 科 書

テキストはその都度学生との相談で決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	かつ 勝 原 晴 希	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文を作成するための、実践的な指導を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文提出までのスケジュールの作成、調査研究の方法、書誌等のツールや図書館等の利用方法、中間報告と質疑応答、卒論の構成等々、具体的な作業に必要な事項についての講義、個別指導、演習形式での授業等を行なう。

履修上の留意点

明確な目標を持つこと、具体的な作業を行なうこと。

成績評価の方法

卒論作成の過程が評価の対象となる。卒論提出後、卒論ノート提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか 高 橋 文 二	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

各自のテーマに応じて作品を読み、夏休み前に一度研究発表をする。

履修上の留意点

問題点を整理し、資料(用語例など)調査の中間報告を夏休みの課題リポートとして提出する。九月中に卒論の構想を示すこと。

成績評価の方法

研究発表と課題リポートで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒業論文のテーマの絞り方や、参考文献蒐集の方法等に重点を置き、後期は具体的な論の展開に重点を置く。

履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価を出す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	た なか のり さだ 田 中 徳 定	国 文 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

全体的には、卒業論文作成に必要な調査方法や諸手続きについて指導を行う。また、個々の卒業論文のテーマにあわせ、個人ごとの指導を行っていく。卒業論文の論題提出時までに、研究計画書を提出してもらい、卒業論文作成過程においては、卒論中間発表会においてその内容を口頭発表してもらう。

成績評価の方法

卒論中間発表会における口頭発表とそれをまとめたレポートの内容によって評価を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	はやし 林 たつ や 達 也	国 文 4 必	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文指導のための授業である。  
近世文学及び中・近世和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

5月連休明けまでに、卒業論文の対象を決める。  
6月中に対象をどれだけ理解しているか、どういう点に興味をもっているのか、などについて、第一回目のレポート（400字原稿用紙10枚）提出。  
前期末までに、前期提出レポートについて教師と面談。  
10月末までに、第二回目レポート（30枚）提出。  
11月中旬、卒業論文目次提出。  
12月10日 卒業論文提出。

履修上の留意点

講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守れば、慌てずに、よい卒業論文を書ける。  
講義のねらいと講義の内容・授業スケジュールの日程を守らない学生については、責任をもたない。

成績評価の方法

一般的には、卒業論文による。  
論文作成までの道程も評価の対象とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	ふ じ 昭 雄 あき お 雄	国 文 4 必	4

講義のねらい

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の演習。併せて卒業論文の指導もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講生の卒業論文のテーマと関連する近世文学の作品を選定して、演習形式で発表者の研究発表を中心に考察を深める。

履修上の留意点

演習であるから課題の予習を行うこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験のほか、平生の学習状況から総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	まつ い けん じ 松 井 健 児	国 文 4 必	4

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

①研究論文としての形式的要件を備えていること。②問題意識にそって本文が十分に読み込まれていること。③研究史をふまえてつ个性化的論述が明晰に展開されていること。以上を総合しておこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 IV	むら かみ みつ のり 村 上 光 徳	国 文 4 必	4

講義のねらい

鴨長明『無名抄』を読み、当時の和歌の世界をみる。

講義の内容・  
授業スケジュール

六条源家の歌論や幽玄について学ぶ。学生主体ですすめる。合わせて卒業論文指導も行なう。

成績評価の方法

出席中心。他にレポートを課す。

教 科 書

『方丈記 無名抄』（双文社出版）1,800円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 文 学	南 雲 智 <small>なぐも さとる</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい	詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつがれていったのかを考えていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。
成績評価の方法	評価はレポートによっておこなう。
教 科 書	講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	満谷マーガレット <small>みつたに</small>	国文2・3・4選	4

講義のねらい	文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讚美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちがシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義課目ではあるが、授業中、なるべくたくさんテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。
成績評価の方法	前期、後期と試験を行う。
教 科 書	プリント
参 考 書 等	秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995 『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991 西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やまぐち せつこ 山 口 節 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	おお つか ひて こ 大 塚 英 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の年中行事

1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。

後期 A、『源氏物語絵巻』と服飾

1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解読を試みる。

B、平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時出席しないと修得はむづかしい。

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教 科 書

河鱈実英『有職故実』（塙書房）1,900円  
コンパクト版『日本の絵巻1』（中央公論社）1,400円、及びプリントを使用。

そ の 他

OHP・ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼 — 出産と子育て —
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民間信仰論	谷口 貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史概説 I 〔古代・中世〕	松本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教科書

『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）2,900円

参考書等

青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会）1,650円 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会）

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 Ⅱ 〔近世・近代〕	ま とう もと えい 佐 藤 元 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組をつくりあげていくことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講述し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

参 考 書 等

佐藤元英『近代日本の外交と軍事——権益擁護と侵略の構造——』  
池井優『日本外交史概説』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	国文2・3・4選	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。  
 序 章 仏教とは何か  
 第1章 仏陀の生涯  
 第2章 仏の本質  
 第3章 法-仏教の真理観-  
 第4章 一切法-法の分類-  
 第5章 輪廻と業と煩惱  
 第6章 悟りへの道  
 第7章 心-実践の主体  
 第8章 修行者の理想像  
 第9章 戒律と教団の組織  
 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。  
 1. 試験又はレポート（年1回以上）  
 2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）  
 3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	あ 麻 生 けん 建	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。  
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教 科 書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参 考 書 等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	や の よう 子 矢 野 陽 子	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参 考 書 等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	いの 井 上 よし え 恵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は「国文学特講Ⅹ」を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）による。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 概 論	かね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい

古今の書の作品を鑑賞し、書芸術に対する理解を深め、書に親しむ心を養う。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオ、スライド、コピーなどを用い、なるべく視覚的な授業を行う。歴史的に重要な作品から、現代の書まで幅広く鑑賞することにより、書の流れや本質を理解してゆく。

成績評価の方法

年間10回程度の復習試問の小テストを行い、また展覧会などの鑑賞レポートを提出して採点の基とする。

教 科 書

高校用教科書『書道Ⅱ』（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 史	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい	東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。
講義の内容・授業スケジュール	殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。
履修上の留意点	遅刻をしないように、又教場での私語を慎しむように。
成績評価の方法	出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。
教 科 書	伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。
参 考 書 等	随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	かね こ たか よし 金 子 卓 義	国文2・3・4選	4

講義のねらい	書の歴史を探りながら、古典の臨書を中心に学び、表現技術の習得と、書に対する理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	楷書、行書、漢字仮名交じりの書を学習する。主に半紙で学び、毎回提出する。用具のことは、はじめの授業で説明する。
教 科 書	高校用教科書『書道I』（光村図書出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 II	の 野 村 宙 弘 のむらおきひろ	国文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨・硯・筆・文鎮・下敷・半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法・正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教 科 書

王 羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 III	な す たか よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隸書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

隸書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古來文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教 科 書

コピーによる。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	は せ がわ 長 谷 川 孝	国 文 2・3・4 選	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることができれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらうほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教 科 書

プリントを使用します。



# 1. 專門教育科目

## (2) 英米文學科



# 1. 専門教育科目

## (2) 英米文学科

作品講読 I 〈東 雄一郎〉	65
作品講読 I 〈高野正夫〉	65
作品講読 I 〈佐藤千春〉	66
作品講読 I 〈河崎征俊〉	66
スピーチ・アンド・コミュニケーション I 〈サンダース, L. P.〉	67
スピーチ・アンド・コミュニケーション I 〈マーティン, S. F.〉	67
スピーチ・アンド・コミュニケーション I 〈レイン, R. V.〉	68
作品講読 II 〈河崎征俊〉	68
作品講読 II 〈佐藤千春〉	69
作品講読 II 〈中岡 洋〉	69
作品講読 II 〈東 雄一郎〉	70
スピーチ・アンド・コミュニケーション II 〈ブランケン, D. L.〉	71
スピーチ・アンド・コミュニケーション II 〈サンダース, L. P.〉	72
スピーチ・アンド・コミュニケーション II 〈ハバード, W. D.〉	73
英語学概論 〈荒井良雄〉	74
英語表現法 〈高野正夫〉	74
英語表現法 〈河崎征俊〉	75
英語表現法 〈佐藤千春〉	75
英語表現法 〈東 雄一郎〉	76
アメリカ文学史 〈佐藤千春〉	76
イギリス文学史 I 〈河崎征俊〉	77
イギリス文学史 II 〈中岡 洋〉	78
英語史 〈荒井良雄〉	79
イギリス文学特講 I 〈逢見明久〉	80
イギリス文学特講 II 〈高野正夫〉	81
イギリス文学特講 III 〈岡崎寿一郎〉	81
イギリス文学特講 IV 〈中岡 洋〉	82
イギリス文学特講 V 〈富士川 義之〉	82
イギリス文学特講 VI 〈丸小 哲雄〉	83
演 劇 特 講 (イギリス・アメリカ) 〈前期: 荒井良雄〉	84
〈後期: 落合和昭〉	
演 劇 演 習 (イギリス・アメリカ) 〈逢見明久〉	85
アメリカ文学特講 I 〈東 雄一郎〉	85
アメリカ文学特講 II 〈杉浦銀策〉	86
アメリカ文学特講 III 〈前期: 足田和人〉	86
〈後期: 川崎笑佳〉	
アメリカ文学特講 IV 〈杉浦銀策〉	87
アメリカ文学特講 V 〈杉浦銀策〉	87
イギリス文学演習 I 〈富士川 義之〉	88
イギリス文学演習 II 〈高野正夫〉	88
イギリス文学演習 III 〈増田 恵子〉	89
イギリス文学演習 IV 〈増田 恵子〉	89
イギリス文学演習 V 〈富士川 義之〉	90
アメリカ文学演習 I 〈川崎 浩太郎〉	90



アメリカ文学演習Ⅱ	〈サンダース, L. P.〉	91
アメリカ文学演習Ⅲ	〈川崎笑佳〉	91
アメリカ文学演習Ⅳ	〈古富猛〉	92
アメリカ文学演習Ⅴ	〈前期:足田和人〉	92
	〈後期:川崎笑佳〉	
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	93
商業英語	〈町井靖〉	93
ラテン語	〈佐藤玖美子〉	94
ギリシヤ語	〈長谷川岳男〉	94
英米文化	〈広川治〉	95
外国文学	〈加藤節子〉	95
英米思想史	〈麻生享志〉	96
現代美術	〈矢野陽子〉	97
日本文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本文化史Ⅱ	〈廣瀬良弘〉	98
放送英語	〈大庭直樹〉	99
英作文演習	〈東雄一郎〉	100
英作文演習	〈大森絵美子〉	100
英語学演習Ⅰ	〈荒井良雄〉	101
英語学演習Ⅰ	〈ピアス, D. M.〉	101
英語学演習Ⅱ	〈杉浦銀策〉	102
英語学演習Ⅲ	〈町田尚子〉	103
英語学演習Ⅳ	〈桧山晋〉	104
英語学演習Ⅴ	〈ブランケン, D. L.〉	105
オーラル・イングリッシュ	〈ナトウシュ, B. A.〉	106
オーラル・イングリッシュ	〈ハバード, W. D.〉	107
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	108
オーラル・イングリッシュ	〈レイン, R. V.〉	109
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈東雄一郎〉	109
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈荒井良雄〉	110
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈河崎征俊〉	110
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈佐藤千春〉	111
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈サンダース, L. P.〉	111
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈杉浦銀策〉	112
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈高野正夫〉	112
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈中岡洋〉	113
3年次ゼミ・4年次ゼミ	〈富士川義之〉	114

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	あづま 東 ゆう いち ろう 雄 一郎	英米文 1 必	2

講義のねらい

アメリカの短篇小説を読みます。成績は平常点とレポートによって評価します。

教科書

テキスト *The Penguin Book of American Short Stories* (英潮社) 2,900円

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	たか の まさ お 高 野 正 夫	英米文 1 必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

その他

授業は演習形式で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読 I	佐藤千春	英米文 1 必	2

講義のねらい

アメリカ文学の作品を講読する。作品は年度により異なる。本年度は授業開始時に連絡する。

講義の内容・  
授業スケジュール

作品の精読、内容の分析・解釈を織りまぜる。

履修上の留意点

事前に発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法

授業内での発表、前期・後期のテストの結果で決定する。なお、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので注意すること。

教科書

授業開講時に連絡する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品講読 I	河崎征俊	英米文 1 必	2

講義のねらい

Arnold Bennett の文学論を読みながら、文学一般のみならず英文学の本質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

文学の目的、古典の本質とその読み方、内容と文体の問題、及び読書法等を年間を通してできるかぎり読み進める予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年 2 回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教科書

英文ベネット『文学案内』（英宝社）1,500円位。

参考書等

授業時に指示する。

その他

参考資料のプリントを時々配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, followed by short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and / or recitation, two tests (one at the end of each semester).

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Martin, Steven Franklin. (マーティン, S. F.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This class is designed to allow students to access and build upon existing knowledge of English through task based listening and speaking activities.

講義の内容・授業スケジュール

Students are expected to engage in activities using pair work, group work, and individual speaking. A variety of games, music, literature, and newspaper, video, and radio derived materials will be used in addition to the text. The class approach is heavily biased toward humanistic, values clarification type exercises drawing on the personal lives of the students.

成績評価の方法

Student Evaluation will be based on attendance, homework (when applicable), class performance, and occasional quizzes, as well as an exam at the end of each semester.

教科書

*Getting By – Basic Conversations for Communication*  
by Diane Nagatomo  
Kinseido Ltd.  
ISBN 4-7647-3634-9

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	Lane, Ronald Vincent (レイン, R. V.)	英米文 1 必	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, formulate opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be provided with handouts of newspaper and magazine articles dealing with high-interest cultural issues. Students are expected to have read the handouts carefully before class such that during each class students will be able to discuss the content of the handout intelligently with direction and support from the instructor. At the conclusion of the discussion of each handout, students will prepare a short class presentation on a topic to be assigned by the instructor.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on class preparation, participation and the quality of class presentations.

教科書

handouts

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	かわ 河 崎 征 俊 <small>かわ さき まさ とし</small>	英米文 2 必	2

講義のねらい

Lafcadio Hearn の英文学入門書を読む。これは平易な言葉で日本の学生たちに語りかけた文学と人生の優れた指針の書でもある。また、イギリス・ロマン主義文学への入門書としても定評がある。この名エッセイを読みながら、英文学の魅力について語りたい。

講義の内容・授業スケジュール

Lafcadio Hearn の *Intepretation of Literature* をテキストに用いながら、文学解釈上のさまざまな問題を指摘する。

履修上の留意点

履修者にはあらかじめ分担箇所をあてておくので十分な予習をして出席してほしい。

成績評価の方法

出席は毎回とる。成績は試験ないしレポートによって評価する。

教科書

Lafcadio Hearn (池田雅之編注), *Life and Literature* (北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英 米 文 2 必	2

講義のねらい

アメリカ文学史で扱われている作家の作品を講読するが、作家および作品は、その年度により異なるし、また扱う作家も複数の時もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

作品の精読、内容の分析・解釈・他の作家の作品との比較などを織りまぜる。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時間における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

教 科 書

テキスト、参考書、その他注意すべきことは、授業開講時および授業内において連絡、指示する。

英  
米  
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	なか おか ひろし 中 岡 洋	英 米 文 2 必	2

講義のねらい

何を讀んだか後になってもわかるような英語作品の読み方をすることがねらい。論語読みの論語知らずにならないように、作品がきちんと記憶されるように勉強してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には20世紀作家 Barbara Whitehead の *The Girl with Red Suspenders* を材料して学生が順次順番を決めて一ページ一ページ読み進む。一年間で一作品を最初から最後まで完全に読み終えたいと思っている。

履修上の留意点

出席に励むこと。必ず予習すること。自分の割り当てだけやって、他のことは知らないという態度は許さない。

成績評価の方法

出席回数と試験の成果と受講態度によって評価する。

教 科 書

Barbara Whitehead, *The Girl with Red Suspenders* (The Headline Book) 1992年

参 考 書 等

その都度教場で指示する。

そ の 他

特に試験だけを重視して成績評価をするわけではない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読Ⅱ	あずま 東 ゆう いちろう 雄一郎	英米文2必	2

講義のねらい

ジョン・スタインベックの『怒りのぶどう』を読みます。成績は平常点とレポートによって評価します。

教科書

テキスト *The Penguin Book of The Grapes of Wrath* (英潮社) 3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文 2 必	2

## 講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings – they will record themselves in various speaking situations – and conversation with the instructor.

 講義の内容・  
授業スケジュール

The schedule will be as follows. :

Spring Semester

Fall Semester

Week 1 : Vetting of student oral proficiency  
 Wks 2 & 3 : *English on the Move* (EOM), Unit 1  
 Wks 4 & 5 : EOM, Unit 2  
 Wks 6 & 7 : Outside material & activities (1)  
 Wks 8 & 9 : EOM, Unit 3  
 Wks 10 & 11 : EOM, Unit 4  
 Wks 11 & 12 : Outside material & activities (2)  
 Week 13 : Book check : makeup work  
 Week 14 : Final Examination

Fall Semester overview  
 EOM, Unit 5  
 EOM, Unit 6  
 EOM, Unit 7  
 Outside material & activities (3)  
 EOM, Unit 8  
 EOM, Unit 9  
 Book Check : makeup work  
 Final Examination

## 履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, *English on the Move*. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text : it will take the form of puzzles, games, music and simple reading-and-speaking activities. The presentation of *English on the Move* will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the *Schedule for the Semester*. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential. The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course : students are obliged to prepare and perform the latter.

## 成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria : (1) classwork, using *English on the Move* : 30% ; (2) classwork, using supplemental materials : 20% ; (3) attendance and weekly speaking performance : 30% ; and final Examination : 20%

## 教 科 書

Name : *English on the Move*  
 Authors : Baxter and Pustulka  
 Publisher : Metropolitan English Publications, 1999  
 Price : 2,200円

## 参 考 書 等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required : the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 2 必	2

英米文

講義のねらい

Course will be based on developing practical speaking skills for the intermediate level student.

講義の内容・  
授業スケジュール

Daily classroom work will focus on pairwork exercises and small group activity. 2 exams, a mid-term and a final, will be given at the designated time.

履修上の留意点

Students must attend class regularly and make every effort to participate in activities with enthusiasm.

成績評価の方法

Will be based on class attendance, participation, and exam results. Homework assignments will also count.

教 科 書

*Everybody's Talking :*  
*Devetoping Botter Speaking Skills*, by Date Fuller, Clyde W. Grimm

参 考 書 等

Other supplementary material may be

そ の 他

provided, as needed.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文 2 必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level II or III tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

In the first semester (class periods 1–12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester (class periods 13–24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P (EIKEN) oriented and will help the student prepare for the such tests as the EIKEN level II or III.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2).

教 科 書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文2必	4

## 講義のねらい

English Linguistics と English Philology のさまざまな研究分野に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。

1. Outline of the History of English Language (英語史概説)
2. Lexicology (語彙論)
3. Phonology (音韻論)
4. Morphology (形態論)
5. Syntax (統語論)
6. Semantics (意味論)
7. Lexicography (辞書学)
8. Etymology (語源学)
9. Dialectology (方言学)
10. Stylistics (文体論)

## 成績評価の方法

7月と12月の試験(小テスト)と学年末試験の成績で評価する。

## 教科書

Joanne Kenworthy 著『現代英語学概説』*Language in Action* (ロングマン社・英潮社) 2,800円

## 参考書等

英語学事典および各研究分野に関する参考書は、講義の進行に合わせて、教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	たか の まさ お 高 野 正 夫	英米文2必	4

## 講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

## 履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

## 成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

## 教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文2必	4

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけでなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的で意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教科書

小沢準作『英作文演習』（南雲堂）1,300円位

参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	さとうちきはる 佐藤千春	英米文2必	4

講義のねらい

この授業で扱う英文はすべて日常会話のものばかりである。いわゆる書き言葉なるものは一つとしてない。口語英作文と考えてもらえばよい。初めに基本となる表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程の短い文を与え、基本が身についているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し英語訳を行う。この授業で扱う表現はすべて実際の会話に役立つものばかりである。できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現ができるようになること、これが授業のねらいと目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記にあげるテキストのPartⅡより始める。それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionsの説明、及びテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明して行く。この後はすべて学生諸君に一問ずつ質問に答えてもらう。Writing Practiceはあらかじめあておくので準備をし、板書をしてもらう。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。

教科書

*The Road from Writing to Speaking*  
『コミュニケーションのための口語英作文』（成美堂）

参考書等

授業内にて紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現法	あずま ゆう いち ろう 東 雄 一 郎	英米文2必	4

**講義のねらい** 基本的な英作文を修練します。Hearing の力も高めます。毎回、小テストを課しますが、思いの英文を作って下さい。テストと言っても、それは自己表現の場に他なりません。日常の英語は、単語を並べただけでも、相手に通じますが、それでも、簡単な手紙やレポートは書けなければなりません。言葉は、Parole ですが、日常的言語行為以上のものである側面も持っています。凡ての presentation の糧です。表現法と言っても、原理や原則がある訳ではありません。それぞれの自己が、原理なのです。英作には読解力も必要です。成績は、平常点とレポートで、評価します。

**教科書** テキスト『オフビート U.S.A』(南雲堂出版) 約1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学史	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2・3選必	4

**講義のねらい** 一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

**講義の内容・授業スケジュール** アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしぼり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

**履修上の留意点** 講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

**成績評価の方法** 毎回ではないが出席をとる。場合によってはレポートの課題も与え、期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。

**教科書** 井上謙治編『アメリカ文学史入門』(創元社)

**参考書等** 講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史 I	かわ 河 崎 征 俊	英米文2・3選必	4

## 講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような順序で行う。

- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
- (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
- (3) 中世後期の文学の内容と特質
- (4) チョーサー文学
- (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
- (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
- (7) シェイクスピア文学
- (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
- (9) ジョン・ダン文学
- (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
- (11) ジョン・ミルトン文学
- (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
- (13) 新古典主義文学
- (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
- (15) アレキサンダー・ポープ文学
- (19) 市民社会と小説の隆盛
- (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
- (21) ロマン主義文学への曙光

## 履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけでなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

## 成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

## 教科書・参考書等

教科書：『イギリス文学史概説』（英潮社）3,200円  
参考書については、授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

## その他

参考資料を時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	なか 中 岡 洋	英米文2・3選必	4

講義のねらい

ロマン主義文学以降のイギリス文学の歴史をたどり、時代や社会の価値観を知って、歴史的感覚を養うとともに、教養を深め、資質を向上させることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

ロマン主義の台頭から現代まで、約250年間イギリスの文学がたどってきた歴史を跡づけ、歴史のうねりを広範囲に取り扱う。それは社会そのものの動きであり、変化である。文学は時代・社会の反映であり、人間は時代の子であらざるを得ず、文学がその如実な表現であることを知ることになる。

具体的にはロマン主義の黎明期から取り扱う。まず Romantic Revival といわれる所以を説明し、それがさらに大きな歴史のうねりの一部であることを理解し、William Wordsworth (1770-1850)をはじめとする湖畔派詩人から、George Gordon Byron (1788-1824) らのきらびやかなイギリス詩人たちについて語る。またいかにして Realism 小説が生まれてきたかを、小説の発生から Jane Austen (1775-1817) へ、さらにロマンティックな趣をたたえる小説の歴史を Sir Walter Scott (1771-1832) から Charlotte Brontë (1816-55) らの姉妹へと語っていく。ウィクトリア朝作家・詩人として Charles Dickens (1812-70)、William Makepeace Thackeray (1811-63)、Alfred Lord Tennyson (1809-92)、Robert Browning (1812-89) らの巨匠たちを調べた後は、George Eliot (1819-80) の近代小説の始まりについて語り、ラファエロ前派から象徴主義へ移り、世紀末の Oscar Wilde (1854-1900) の唯美主義について語り継ぐ。Wilde は小説、童話、戯曲、エッセイを書き、世紀末の文学を代表する。William Butler Yeats (1865-1939)、Lady Isabella Augusta Gregory (1852-1932)、John Millington Synge (1871-1909)、Sean O'Casey (1880-1964) らの Irish Renaissance が起こり、イギリスの美意識はよりゆたかになった。また Thomas Hardy (1840-1928)、Henry James (1843-1916) らの小説は世紀末を越えて、20世紀文学に引き継がれ、Joseph Conrad (1857-1924)、Herbert George Wells (1866-1946)、John Galsworthy (1867-1933)、Arnold Bennett (1867-1931)、Edward Morgan Forster (1879-1970) の小説の展開を述べ、やがて James Joyce (1882-1941)、Virginia Woolf (1882-1941)、David Herbert Lawrence (1885-1930) らの「意識の流れ」小説に繋ぐ。詩歌の面では Georgian Poets、Imagists らの登場、Thomas Stearns Eliot (1888-1965) の詩的革命について語る。二度の大戦と絡みながら Auden Group の活躍、演劇の面では一大金字塔 George Bernard Shaw (1856-1950) の出現と、それに続く傑出した多くの劇作家について語り、社会問題意識を明らかにする。時代の先端を走り、戦争の苦しい時代を生きのびたイギリス文学は着々とその富を蓄え、Aldus Huxley (1894-1963)、George Orwell (1903-1950)、Graham Greene (1904-91)、Edith Sitwell (1887-1964)、Dylan Thomas (1914-1953)、John Boynton Priestley (1894-1984) らの文人について語る。第2次世界大戦後の「怒れる若者たち」(Angry Young Men) は時代の歪みに対して激しく抵抗し、Kingsley Amis (1922-95) の Lucky Jim (1954)、John Osborne (1929-94) の Look Back in Anger (1956) は戦後の価値観の変化を実感的に写し取り、当時の社会を代表した。その後こうした伝統と変化は Philip Larkin (1922-85)、John Wain (1925-94)、Ted Hughes (1930- ), Seamus Heaney (1939- ) らを生み出した。次に Muriel Spark (1918- ), Doris Lessing (1919- ), Iris Murdoch (1919- ), Edna O'Brien (1932- ), Margaret Drabble (1939- ), Susan Hill (1942- ) らの女性作家、William Golding (1911-93)、Lawrence Durrell (1912- ), Anthony Burgess (1917-93) らの新風と、Samuel Beckett (1906-89)、Harold Pinter (1930- ), Arnold Wesker (1932- ) の新しい劇について講ずる。

履修上の留意点

受講学生は出席に励み、まじめに受講し、知識が知恵となるよう真剣に勉強してほしい。

成績評価の方法

出席回数、受講態度、授業への積極的参加、および各種レポートや学年末における試験によって習熟度を測り、評価する。決して試験の結果のみにて判定することはない。

教科書

『ペンギン・最新イギリス文学史』(南雲堂) 3,990円

参考書等

イギリス文学史については各種の参考書があり、枚挙にいとまがない。従って教場で適宜指摘するので、聞きもらさないよう注意すること。それぞれの作品についても同様であるのでその都度必要な書物は読むように心がけること。

その他

授業は発表形式でおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 史	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4

## 講義のねらい

世界の人々をつなぐコミュニケーションの手段としての英語は、万国共通の国際語として、その地位を実質的に確立している。したがって、国際社会で活躍するためには、英語の運用能力に堪能になる必要があつて、その基礎として、英語史の正確な知識は不可欠である。この講義では、今や世界語になりつつある英語の生成発展過程や、語彙と構造と発音の歴史的变化を、文化史、文学史、社会史などを背景にすえて明らかにし、国際交流に役立てる英語の実力養成の一助としたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

英語の語形、音韻、語彙、辞書などの歴史を、Old English, Middle English, Early Modern English, English Around the World に大別し、戯曲、詩歌、演説、小説、随筆、日記、手紙などを材料にして考察する。主な講義内容は下記の通り。

1. From Runes to Printing
2. Old English (*Beowulf*)
3. Middle English (Geoffrey Chaucer)
4. Shakespeare's English
5. The Authorized Version
6. Dr. Johnson's Dictionary
7. The Older Scottish Tongue
8. The Language of Old Ireland
9. Noah Webster's Dictionary
10. Cockney
11. Yinglish (Yiddish and English)
12. British and American English
13. English around the World
14. English Today

## 履修上の留意点

*The Oxford English Dictionary* (O. E. D.) をはじめ、*Webster's Third International Dictionary* ほか、多くの英語辞書や参考書を駆使して、英語史や英語学や音声学の世界へ、少しでも深く踏み込むための興味を喚起し、基礎を養いたい。

## 成績評価の方法

前期の最終講義と、12月の最終講義と学年末試験の3回の試験の結果で評価する。7月と12月の試験で合格点に達しなかった学生にはレポートを課す。

## 教 科 書

Heiner Gillmeister 著、小野茂訳『英語史の基礎知識』〔SERVICE〕(開文社出版) 1,200円

## 参 考 書 等

Gerry Knowles 著、小野茂・小野恭子訳『文化史的にみた英語史』(*A Cultural History of English Language*) (開文社) 2,000円  
 David Crystal 著、久保内端郎・山縣宏光・馬場彰・編注『クリスタル：英語史入門』(*The History of English*) (金星堂) 2,700円  
 R. W. バーチフィールド著、加藤知己訳『オックスフォード英語史概論』(オックスフォード大学出版局) 2,800円  
 ロバート・マクラム他著／岩崎春雄他訳『英語物語』(*The Story of English*) (文芸春秋)  
 R. McCrum 他著、*The Story of English* [Special Complete Edition] (マクミラン・ランゲージハウス) 1,650円

## そ の 他

例文の朗読に英米の専門家や俳優の録音テープを、必要に応じて使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	お う 逢 み あ き ひ さ 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

シェイクスピアの原作からその友情観を探る。併せて、シェイクスピア映画にみとめられる友情の主題も扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 講義内容の説明
- 第2回 プラトン以来の友情の伝統
- 第3回 『ソネット集』における友情の主題
- 第4回 『ヴェローナの二紳士』のヴァレンタイン
- 第5回 ・BBC版『ヴェローナの二紳士』
- 第6回 『ロミオとジュリエット』のマーキュリオとロミオ
- 第7回 ・MGM版『ロミオとジュリエット』
- 第8回 ・カステラーニ版『ロミオとジュリエット』
- 第9回 ・ゼフィレリ版『ロミオとジュリエット』
- 第10回 ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』
- 第11回 『ヴェニス商人』のアントーニオとバッサーニオ
- 第12回 ・ミラー版『ヴェニス商人』
- 第13回 プラナー版『ヘンリー5世』のフォールスタッフとハル王子
- 第14回 前期レポート試験
- 第15回 『ハムレット』のホレーシオとハムレット
- 第16回 ・オリヴィエ版『ハムレット』
- 第17回 ・リチャードソン版『ハムレット』
- 第18回 ・BBC版『ハムレット』
- 第19回 ・ゼフィレリ版『ハムレット』
- 第20回 ・プラナー版『ハムレット』
- 第21回 ・黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』の西と板倉
- 第22回 ナン版『十二夜』のヴァイオラとオーシーノー
- 第23回 『二人の血縁の貴公子』のアーサイトとパラモン
- 第24回 『二人の血縁の貴公子』
- 第25回 後期レポート試験

成績評価の方法

レポートから判断する。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

## 履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

## 教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしいちろう 岡崎寿一郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

## 成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

## 教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

## 参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか <small>なか</small> 岡 <small>おか</small> 洋 <small>ひろし</small>	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがたくなっているプロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

## 教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

## 参考書等

教場で適宜指示する。

## その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらおう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ <small>ふ</small> じ <small>じ</small> 川 <small>かわ</small> 義 <small>よし</small> 之 <small>ゆき</small>	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

## 講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

## 履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

## 成績評価の方法

レポートと試験。

## 教科書

コピーを配布する。

## 参考書等

適宜指定する。

## その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	英米文2・3・4選	4

英米文

講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みに関しての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば、作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路をいかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくかの手順を批評的ディスカールとして説き明かしてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構の世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- イ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
- ロ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	前期：荒井良雄 後期：落合和昭	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

イギリス演劇とアメリカ演劇を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容も視界に入れて講義する。とくに20世紀の英米演劇の劇作家と作品を重点的に取り上げる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、シェイクスピアを中心に、イギリス演劇を荒井が講義する。Comedy of Manners、オスカー・ワイルド、20世紀のイギリス演劇を代表する劇作家と作品を、時代順に取りあげる。後期は、20世紀のアメリカ演劇を落合が講義する。Eugene O'Neill, Thornton Wilder, Tennessee Williams, Edward Albee, Sam Shepard などの劇作家論と作品研究を中心に授業を進める。

## 履修上の留意点

前期のイギリス演劇は荒井、後期のアメリカ演劇は落合が担当することを承知の上で受講すること。

## 成績評価の方法

前期は7月に試験、後期は定期試験の形ではなく、レポート課題（原稿用紙5枚程度）を3回以上提出してもらう。出席に関しては、出席率は三分の二が必要である。

## 教科書

前期 特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。  
後期 プリント、また、必要があれば、教室で指示。

## 参考書等

荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円  
太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

## その他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	おう 見 明 久 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

主に50年代アメリカの劇壇で活躍した劇作家ウィリアム・インジの未翻訳的一幕劇を取り上げる予定です。

## 成績評価の方法

レポートと授業中における発表の結果から判断します。

## 教科書

プリント配布。

## その他

読物としてではなく芝居として作品をとらえることを徹底します。そのためには、演じる側の立場でテキストを読み込まなければなりません。履修者はテキストを綿密に読み込んだうえで、どのような演出がなされるべきかを事前に考察し、それを具体的に説明しなければなりません。そうして、各自が最終的に到達した作品解釈をレポート提出することになります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 雄 一 郎 東 雄 一 郎	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

アメリカの1640年の *The Bay Psalm Book* から現在にかけて、子供たちに読み継がれてきた詩を読みます。イギリスから渡ってきた人々は聖書とマザーグースを新世界にもたらしました。植民地時代の子供たちは、教会や学校で、大人たちと同じく、信仰心にあつい詩を読み、それを教材としました。子供たちはロングフェロー、ホイッティアー、ブライアントなどの詩を暗誦しました。独立革命の *The New England Primer* のアルファベットの W は“Whale”から“Whashington”に変わりました。19世紀になると、女性詩人たちが様々な雑誌に、自作の詩を掲載し、家族を支えました。夫に先立たれた女性、なまけ者の夫をもつ女性、病気の両親を養う女性、おさない弟や妹のめんどうをみなければならなかった女性たちでした。19世紀のアメリカの児童文学は、現在のディズニーランドもはるかに及ばない大輪の花を咲かせていました。シゴニーは、先住民の悲惨な生活を訴え続けました。ナサニエル・グラハム・シェファードは南北戦争の兵士の死を人類の死滅と訴えました。この一方で、アメリカの子供たちの詩には、実に楽しい言葉あそびの詩、ナンセンス詩も多くあります。その代表は、ジェイムズ・ホイットコム・ライリーです。永年、アメリカにはライトヴァースは存在しないなどと吹聴されてきましたが、それはウソです。そして、文学は、ウォレンス・ステューブンスが言う、至高のウソです。虚構は現実を超越します。そして、現実人間の想像世界よりも常に先んじてしまいます。この想像の森の中のしげみの中で、子供たちの詩はその未知の訪問者を待っています。アメリカの子供たちは、その当初から、大人の世界を共有してきたのです。そこには大人と子供の境界線などありません。ジョン・レノンの〈イマジン〉の世界があるだけです。

## 教科書

*The Oxford Book of Children's Verse in America*

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅱ	すぎ 杉 浦 銀 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ白人作家の小説作品に見られる黒人像。

講義の内容・授業スケジュール

- a) アメリカの歴史における黒人奴隷制の成立。
- b) 1831年ヴァージニア州に起こった黒人奴隷 Nat Turner の反乱がもたらした波紋を中心に Edgar Allan Poe, *The Narrative of Arthur Gordon Pym* (1838), Herman Melville, "Benito Cereno," (1855), William Styron, *The Confession of Nat Turner* (1967) 等について。
- c) 黒人奴隷解放の文学的原動力となった Mrs. Stowe, *Uncle Tom's Cabin* (1852) について。
- d) Mark Twain, *Adventures of Huckleberry Finn* (1884; 1885) および *The Tragedy of Pudd'n-head Wilson* (1894) を中心にこの作家における黒人像を探る。
- e) William Faulkner におけるアメリカ南部の黒人問題。

成績評価の方法

出席および試験。

教科書

プリント配布。

参考書等

教場にて紹介する。

その他

授業方法は講義形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	前期：あし 田 和 人 後期：かわ 崎 笑 佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

教科書

プリント配布

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	すぎ 杉 　 うら 浦 　 ぎん 銀 　 さく 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における批評。
講義の内容・ 授業スケジュール	アメリカ文学史におけるロマン主義、リアリズム、自然主義、モダニズム、ポストモダニズム等の概念について西欧文学との対比において講義を行い、同時にニュー・クリティシズムおよびデコンストラクションについても解説する。
成績評価の方法	成績評価の方法は出席と試験。
教 科 書	教科書はなし。必要に応じてプリント配布。
参 考 書 等	教場にて指定する。
そ の 他	授業の方法は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅴ	すぎ 杉 　 うら 浦 　 ぎん 銀 　 さく 策	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	アメリカ文学における古典的名作を歴史的に順を追って解説することによって受講者諸君に文学史的潮流を把握してもらうのが狙い。
講義の内容・ 授業スケジュール	取り上げる作品は Nathaniel Hawthorne, <i>The Scarlet Letter</i> (1850) ; Herman Melville, <i>Moby-Dick</i> (1851) ; Henry James, <i>The Wings of the Dove</i> (1902) ; Theodore Dreiser, <i>An American Tragedy</i> (1925) ; F. Scott Fitzgerald, <i>The Great Gatsby</i> (1925) ; Ernest Hemingway, <i>A Farewell to Arms</i> (1929) 等。
履修上の留意点	受講者は翻訳で作品を読んでおくことが望まれる。
成績評価の方法	出席および試験。
教 科 書	原文引用のコピーを配布。また西田実著『アメリカ文学史』（成美堂）を駒大書房にて購入すること。
参 考 書 等	教場で紹介する。
そ の 他	授業方法は講義形式。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅰ	富士川 義之 <small>ふじかわ よしゆき</small>	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

Shakespeare から Thomas Hardy まで、英文学の精髓である英詩の中から、その最も代表的なものを選んで読む予定。比較的やさしい詩を中心にしてできるだけ英語に親しんでもらうことを目標とする。英詩案内風な授業になるだろう。

## 講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、詩人について、また、時代背景などについて、かなり詳しく説明する予定である。

## 履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

## 成績評価の方法

レポートと試験。

## 教科書

最初の授業時に指示する。

## 参考書等

適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	高野 正夫 <small>たかの まさお</small>	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつは、ポーブやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわば Romanticism への移行期の詩人とも言える、グレイ、クーバー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

## 教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

イギリス・ロマン派詩人たちの作品を読んで鑑賞する。  
ロマン派の偉大な先駆者、ウィリアム・ブレイクからはじめて、バーンズ、ワーズワス、コウルリッジへと読み進めていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をしてもらおう。また詩人や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

## 履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

## 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

## 教科書

『イギリス名詩選』（開文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

19世紀のイギリス小説を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

今回はアン・ブロンテの『ワイルドフェル・ホールの住人』を読む。アン・ブロンテは有名な二人の姉、シャーロットとエミリの影に隠れて、これまであまり注目されることのなかった作家である。またこの作品も発表当初から小説のテーマがヴィクトリア朝の道徳基準に合わなかったために酷評され、のちには姉のシャーロットにまで失敗作とみなされたので、しばらく正当な評価を受けることがなかった。しかしながら今日では、地味で穏やかな作風の処女小説『アグネス・グレイ』よりも物語性豊かな『ワイルドフェル・ホールの住人』がアン・ブロンテの代表作として挙げられることが多い。

この作品を研究することによって『アグネス・グレイ』だけでは計り知れない作家としてのアンの本質や彼女の実像を探っていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

各章を学生に割り当てるので、担当する者は英語のテキストに独自の訳をつけ、解釈をほどこし、そこから何が読み取れるかを発表する。それに対して参加者全員が意見や質問を投げ掛け、活発な議論のうちに、それぞれが自分の作品論、作家論を見出していくことが望ましい。

## 履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。なお今年度は小説の後半から読み始めるので、あらかじめテキストを購入し、内容を把握しておくこと。

## 成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

## 教科書

Anne Brontë, *The Tenant of Wildfell Hall* (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習 V	富士川 義之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

童話や民話や神話を下敷きにした現代英国作家アンジェラ・カーターの幻想的な短篇を読みながら、幻想文学の可能性について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、作者や短篇についての説明を毎回行う。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

アンジェラ・カーター、富士川義之訳『血染めの部屋』（ちくま文庫）、富士川義之訳『シンデレラあるいは母親の靈魂』（筑摩書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習 I	川崎 浩太郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の全体的な流れを把握すること、および、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。また、詩とは何かについてクラス全体で考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、2～3人のグループで発表してもらう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。授業中に読んだ作品から一編を選び400字詰め原稿用紙5枚ほどのレポートを前期と後期の最後に提出してもらう。

履修上の留意点

アメリカ文学のおおよその流れを把握していることが望ましい。

成績評価の方法

年2回のレポートと、授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する。

参考書等

新岩俊一著『アメリカ詩入門』（研究社出版）2,200円  
『アメリカ名詩選』（岩波文庫）670円

その他

授業は基本的に、議論を中心に進めて行くつもりなので、活発な発言を期待している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅱ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

- 講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。Bobbie Ann Mason, Douglas Coupland, Maya Angelou and William Gibson.  
また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。
- 成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。
- 教科書

プリントを配布する。
- その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわ 川 崎 えみ か 佳	英米文2・3・4選	4

- 講義のねらい

J. D. Salinger の作品をいくつか講読し、それぞれの作品を通して彼の思想や作風、時代精神等を考察していく。
- 講義の内容・授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらう。その際問題と思われる箇所、疑問点等について発表してもらいそれらについて考えていく。また、各作品を読み終える毎にレポートを提出してもらう。
- 履修上の留意点

単語の意味等をきちんと辞書で調べて内容を吟味して来ること。
- 成績評価の方法

授業態度（授業中の発表）とレポートをもとに評価する。
- 教科書

*The Laughing Man and Other Short Stories* (南雲堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅳ	古 <sup>こ</sup> 富 <sup>とみ</sup> 猛 <sup>たけし</sup>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ社会の成り立ちを考える時、ピューリタン・ピルグリムファーザーズと呼ばれる人達の移民以来、建国というよりも自らの夢と希望を実現するために発揮したエネルギーのすさまじさに、改めて驚ろかさされ、さらに詳しく彼等の歴史を勉強したい欲求に駆られる。白人を主体とした移民のアメリカンドリームを達成せんがための欲望の背後に、ほとんどの日本人が理解していない、ネイティブアメリカンの悲劇があることも、今や無視できない状況であろう。歴史は常に真実を求めるからだ。アメリカ文学を読むにあたってそのあたりから考え、主にロスト・ジェネレーションを中心に、特に戦後の日本人に思想的影響を少なからず与えたことを、もう一度再認識し、混迷する日本社会の何らかの解決へのヒントを得たい。

講義の内容・授業スケジュール

主にフォークナーの作品によって、19世紀末のモダニズム的影響を色濃く受けたことを実証し、同じく新世紀へのはざまを経験している我々と照らし合わせ何らかの作品の持つ意味を検証したい。

履修上の留意点

演習ですので人数を限定し、いずれ発表形式にしたいので了承してもらいたい。

成績評価の方法

発表とペーパーテストによって評価（場合によって出席点も加味する）

教科書

*Three Famous Short Novels* by Wiliam Faulvmer (vintage) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅴ	前期：足 <sup>あし</sup> 田 <sup>だ</sup> 和 <sup>かず</sup> 人 <sup>ひと</sup> 後期：川 <sup>かわ</sup> 崎 <sup>さき</sup> 笑 <sup>えみ</sup> 佳 <sup>か</sup>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

Mark Twain の短編を読みすすめ、彼の語りの本質を探る。

講義の内容・授業スケジュール

作品を読みながら、ディスカッション形式で授業を行う。

履修上の留意点

予習を前提に授業をすすめる。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言や小レポートを平常点とし、前期・後期あわせて2回のレポートを加えて、年間の評価とする。

教科書

『マーク・トウェイン選集』（研究社）

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。 Intertextual Analysis のメソッドで行う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。
成績評価の方法	年に2回テストを行う。
教科書	教科書は使用せずプリントを配布する。
その他	ビデオを使用する。授業は英語で行う。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業英語	まちい靖 町井靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい	「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト「ビジネス英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。 貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。
履修上の留意点	全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。
成績評価の方法	前期、後期の試験成績と出席による。
教科書	町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）
参考書等	教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ラテン語	佐藤 玖美子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進捗に従って、簡単な物語りの講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教科書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ギリシャ語	長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違いますが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 文 化	ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

主に映画、演劇を通して英米の文化の諸相を学ぶ。可能な限り多くの映画や演劇をレポートを通じて見て視野を広げてもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の項目を講義内容の予定とするが、受講者の知識や興味、あるいは上映になる映画や上演される舞台など、東京で見ることのできる様々な英米関連のイベントや作品に応じて、講義内容は追加、変更していく。

- ・イギリス王室の歴史と映画
- ・アメリカ大統領の映画
- ・映画に見る英米の主要都市、地域文化
- ・Shakespeare 劇の上演と映画化
- ・ロンドン、ブロードウェイの現代演劇、ミュージカル
- ・英米のロック、ポップスのアーティスト
- ・英米文化の背景として重要な聖書とギリシア神話、およびそれらの映画化
- ・'99年度アカデミー賞受賞式
- ・20世紀の名作・名監督・名優を振り返る

## 履修上の留意点

初回の授業でレポートの課題や提出の方法、成績等について説明するので必ず出席すること。4月の授業内で必ず履修の許可を得た上、登録すること。

## 成績評価の方法

レポートを中心に評価する。詳細は授業内にて説明する。

## 教科書

プリント配布の予定

## 参考書等

授業内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 国 文 学	か とう せつ こ 加 藤 節 子	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

前期はフランス文学の流れを、その時代、社会背景と共に概観して、その特徴とは何かを考察する。後半は十九世紀の作家ギュスターヴ・フロベールの作品『ボヴァリー夫人』『感情教育』を中心として講読する予定である。

## 成績評価の方法

レポートにより評価する。

## 教科書

必要に応じてプリントを配布し、参考書を指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
英米思想史	あさ 麻 先生 たく 享 志	英米文2・3・4選	4

## 講義のねらい

英米に思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

## 講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、哲学だけに偏らないようにする。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から1950年頃までを予定します。

## 履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義（初回）において、英米（広く英語圏で可）の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名（ないしそれ以上）あげ、その思想内容について論じてもらいますので、そのための準備を（出来るだけ早期から）しておいて下さい。

後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

## 成績評価の方法

年度末のレポートに平常点を加味しますが、講義途中に発表を行った場合などにレポートの免除をすることがあります。

## 教科書

教科書はありません。

## 参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

## その他

後半では、講義の経過や様子によっては、学生の発表を中心とした演習形式を採ることも考えています。

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻五分前のいずれかに出席して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。

参 考 書 等

参考図書：美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ せ 瀬 りょう 良 弘	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放送英語	おおば なおき 大庭直樹	英米文3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

このクラスでは、ネットで流れている「大庭直樹のホームページ」(www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/gaikoku.html)上の「Lecture notes 2000」に従って課題をこなしていく。

第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道(CNN, New York Times)をコンピュータでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探索し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく(例えば、ニュース・サイト Pathfinder (<http://pathfinder.com/>)にあるTime誌、アメリカの日刊紙USA Today, New York Times,あるいはエンターテインメント・サイト(<http://www.imdb.com/>)にある映画のデータベース、そしてCNN ニュースなど)。ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

次の課題は、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

Windowsのネットワーク(リモートアクセス、ファイルの共有、Fax機能、電子メール、LAN)を理解して、それらの機能を活用することである。受講生は、コンピュータの操作と通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学ぶ。各自全員がEメール・アドレスを取得し、英語で電子メールの交換をする。

最後に、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー」を使って自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

## 成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

## 教科書

受講者が購入するものは教場で指示する。

## その他

受講生は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	<small>あずま</small> 東 <small>ゆう いち ろう</small> 雄 一 郎	英米文3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の現代の随筆の英訳を試みます。またショートショート<sup>①</sup>の英訳も試みます。プリントを配布しますので、テキストはありません。成績は平常点とレポートによって評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 作 文 演 習	<small>おお ちり え み こ</small> 大 森 絵 美 子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英作文を通して英語力を養うことがこの講義の目的です。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テスト、及び日常の授業参加姿勢を考慮して評価します。

教科書

教科書は、教場にて指示致します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 I	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語音声学の演習を、Speech in Action の理論と実践を中心におこなう。前期は英語の Rhythm の研究 (Hearing から Speaking へ)、後期は Rhythm と Stress [Emphasis] の研究 (Speaking から Reading へ)。Public Reading と Public Speaking と Oral Interpretation の演習である。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、音声教材として、演説、演劇の名場面、映画シナリオの名場面、長篇小説の名場面、短篇小説、随筆、聖書などの技粋集と、その録音資料を使って、リズムと強勢の研究をおこなう。

履修上の留意点

講義でなく、演習なので、毎時間、英文の効果的な音声表現法の実習をおこなう。英語を聞く力と英語音声表現法を探究し習得したい学生の参加を期待する。

成績評価の方法

平常の授業の発表とレポートの両方で評価する。学年末試験はおこなわない。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

*Speech in Action*, by Karl F. Robinson and Charlotte Lee, Scott, Foresman and Company

そ の 他

Old English の *Beowulf* から Ronald Reagan の Second Inaugural Address まで、テープや LP に録音された資料を使ってリズムと強勢の分析をおこなう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 I	ピアス, D.M.	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members in this class are very special students ; this is an important opportunity to learn to speak English fluently. This course is career-oriented. The class is to prepare you for a lifetime career as an English specialist : possibilities range over careers as English teachers, interpreters, translators, travel agents, television announcers, and international businessmen. It is presumed that, since the students of this class major in English-American literature, they plan to use English their whole lives in their work. Without the ability to speak English, no such English-related career is a real possibility. It is expected that the students who enter this class will make great efforts to improve their ability ; students will have to speak English for the full ninety minutes of every period. Very intensive practice will be focused on listening comprehension, composition, conversation, grammar, and reading, so that students who complete the course can make a very good impression with their English ability in employment interviews. It is also hoped that students will use this course in preparation for foreign travel, one-month intensive English programs overseas, and one-year overseas study programs.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 II	すぎ 杉 うら 浦 ぎん 銀 さく 策	英米文3・4選	4

講義のねらい	英語の文法構造のより深い理解によって英文解釈と和文英訳の正しい手掛かりを習得してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の例文や練習問題を中心に授業を進めるので、毎回辞書の持参が必要。
履修上の留意点	予習を怠らぬこと。
成績評価の方法	試験。
教 科 書	小西友七著『実用高等英文法——学校文法から科学文法へ』（英宝社）を駒大書房にて購入のこと。
そ の 他	授業方法は演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅲ	まち だ なお こ 町 田 尚 子	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語はどのような言語でしょうか。「英語の歴史は侵略 (invasion) の歴史である」と言われるのはなぜでしょうか。ヨーロッパの諸言語と比べ、語形変化でことばの約束事=文法を示すことがとても少なくなり、語順や助動詞、前置詞などの比重が高くなっています。語彙数は世界の言語の中で最も多い50万語。そのうちの約3割強が語属を異にするロマンス語のフランス語とラテン語からの借入語です。借入による同義語の多さは、英語の表現力を豊かにすると同時に、微妙な使い分けを直感的に求めることにもなりました。外国人の英語学習者にとっては、殊に厄介な問題です。また、英語を母語とする人達も煩雑だと認める綴字と発音の不一致は、なぜ生じたのでしょうか。「ことばは変わる」という観点から英語の諸特徴を歴史的に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

Charles Barber, *The English language : a historical introduction* と Stanley Hussey, *The English Language ; Structure & Development* を主テキストとし、言語学・英語学の基礎知識を復習した後、次の項目を中心に授業を進めて行きます。

- 1) 英語の歴史的概観
  - 2) 英語の語彙：言語接触と借入
  - 3) 文法
  - 4) 語の意味
  - 5) 発音と綴字
  - 6) 標準語と方言：辞書：規範文法
- また、資料に基づく簡単な課題提出をもとめます。

成績評価の方法

前期末と後期末の筆記（論述）試験、授業中の課題レポートの成績で評価します。

教科書

Charles Barber, *The English language : a historical introduction* (Cambridge U. P.) (ISBN 0521 42622 7 paperback) 2,500円（予定）  
Stanley Hussey, *The English Language ; Structure & Development* (Longman)  
ハンドアウト・プリント コピー

参考書等

A. C. Baugh T. Cable, *A History of the English Language* (4th edition) (Routledge)  
松浪有（編）『英語学コース〔1〕：英語史』（大修館書店）  
その他、問題に即した参考書をその都度、授業中に指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅳ	ひやま すずむ 椛 山 晋	英米文3・4選	4

英米文

講義のねらい	基本文法を学びながら、初歩的な古英語文献を読む。
講義の内容・授業スケジュール	基本文法を最初の約1ヶ月で終え、古英語文献の読解に入る。細かい文法等の解説は読解と並行して扱う。最初の1ヶ月でどれだけ基本文法を習得できるかが鍵になる。
履修上の留意点	中途半端な現代英語の知識は全く役に立たない。新たに外国語を学ぶ覚悟で受講して欲しい。
成績評価の方法	基本的に「全授業日数の3分の1以上を欠席した者は不可」ではあるが、出席しているだけでは単位は保証できない。遅刻は減点。毎時間何度も発言を求める。予習が最重要。準備ができていない状態で出席しても時間の無駄になる。単位だけを求めている人にはこの授業は勧められないし歓迎もしない。
教科書	森田貞雄・三川基好・小島謙一「古英語文法」(大学書林)。別途古英語のテキストを利用する可能性もあるが、これについては適宜教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習 V	Blanken, David L. (ブランケン, D. L.)	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability : (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability : and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・授業スケジュール

Spring Semester

Fall Semester

Week1 : TOEIC materials & methods  
 Week2 - 6 : Presentation of topics : drills  
 Week7 : Sample TOEIC Test 1  
 Week8 - 12 : Presentation of topics : drills  
 Week13 : Sample TOEIC Test 2  
 Week14 : Analysis of test performance

TOEIC materials & methods  
 Presentation of topics : drills  
 Sample TOEIC Test 1  
 Presentation of topics : drills  
 Sample TOEIC Test 2  
 Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30 - 45 minutes a day. Homework will be checked : the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week : reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students : You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30 - 45 minutes each day is enough - you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25% : (2) classwork, attendance and performance, 25% : (3) homework, amount of exercises and readings done, 25% : and (4), test performance in terms of progress shown, 25%.

教科書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参考書等

Materials : Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.  
 Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Natusch, Barry A. (ナトウシュ, B. A.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・  
授業スケジュール

Warm Up Activities  
Students converse using simple telephone dialogues to practice listening, note taking, pronunciation and speaking skills. (Pair work)

Vocabulary Expansion

Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)

Fluency Development

Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)

Listening for Main Points

Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two written tests at end of Semesters 1 and 2, video project.

教 科 書

*Real Life Spoken English Series 2* (3 small workbooks)  
Photocopied materials will also be used.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Hubbard, William D. (ハバード, W. D.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

The aim of this course is to address the special needs of Japanese college-age students in developing their language skills further by giving them opportunities to practice using English they already know. Topics are dealt with in a refreshing and unique manner so as to keep students interested and motivated throughout the academic year.

講義の内容・  
授業スケジュール

Topic covered during the academic year :

- ・ Exchanging personal information
- ・ Making friends
- ・ Hometowns
- ・ Talking about the past
- ・ Personal experiences
- ・ High school days
- ・ Appearances
- ・ Describing people
- ・ Vacations
- ・ Money
- ・ Weekend activities
- ・ The future
- ・ Sports
- ・ Traveling in Japan
- ・ Interesting lifestyles

成績評価の方法

Final grade will be determined by attendance, class participation, and test scores.

教 科 書

Class textbook is *Changing Times* by Dale Fuller and Linda A. Fuller.  
Published by Macmillan Languagehouse Ltd., Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade 1 by the end of the academic year or early in the following year :

講義の内容・授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above-mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people. As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year : one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two. This will constitute the final grade.

教 科 書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials : tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	Lane, Ronald V. (レイン, R. V.)	英米文3・4選	2

講義のねらい

This class will provide students with the opportunity to improve their reading and speaking ability with an emphasis on the usage of American idioms.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will consist of two parts. The first [approximately 30 minutes] consists of drill activities of basic language patterns based on handouts provided by the teacher. The second [approximately an hour] consists of activities derived from the textbook. Here students will work both individually and in pairs creating stories using idioms from the text and making class presentations of both original stories and advertisements using American idioms.

成績評価の方法

Students will be graded regularly during the year on both the drill activities and class presentations. Additionally, there will be an exam at the conclusion of each semester on the idioms studied from the textbook.

教 科 書

*The Idiom Advantage* by Dana Watkins. Addison-Wesley Publishers

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あずま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	英米文3必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文4選	

講義のねらい

19世紀のアメリカ詩人、Emily Dickinson (1830-86) の作品を精読し、その世界を考察します。「白熱した魂を見たいですか」と問いかけるこの詩人は、愛の歓喜と悲しみ、孤独と失意、生の希望と絶望、不安と危機、自立と抑制などを、伶俐な言葉で歌っています。感傷性を排した硬質な「稲妻の旋律」が、彼女の詩の特徴です。この「稲妻の旋律」はまた大胆な自己表白と斬新なスタイルを生み出します。

「魂のすばらしい瞬間は独りである時に現われる」と歌う詩人は、カール・サンドバーグ、ハート・クレイン、リチャード・エバーハート、ジョン・ペリマン、アドリエンス・リッチなどがオマージュをささげたアメリカ詩のイブ、そして女性詩人の原型でもあります。現在では、Dickinson の影響を受けていないアメリカの女性詩人はいないとさえ言われています。

成績評価は、授業内における発表とレポート（年一回）によって行ないます。テキスト並びに参考書は開講時指示します。レポートはゼミ論集に掲載します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	あらいよし 荒井良雄	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

英語文化ゼミナールの研究主題は、「シェイクスピアと聖書の英語」(Early Modern English)である。Shakespeare's *HAMLET* と *The Holy Bible* (The King James Version) をテキストにして、朗読法を含めた英語学的研究、文学的研究、演劇的研究、映画化作品研究などをおこなう。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの語学的研究、夏休みにはレポート(400字10枚前後)の作成、後期はレポートの発表を中心にした共同研究をおこなう。

## 成績評価の方法

毎時間の発表とレポートと学年末試験の成績を総合して評価する。

## 教科書

小津次郎・注、*HAMLET* (研究社小英文双書)、1,600円  
*The Holy Bible* (日本聖書協会、教文館他)

## 参考書等

*The Complete Works of Shakespeare* (Alexander Text), Collins.  
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社)ほか

## その他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。ゼミ論集出版のため前期と後期に小論文を提出することになる。以上の点を覚悟の上で、ゼミに参加するかどうかを判断すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	かわきまさとし 河崎征俊	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

## 講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

## 履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

## 成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

## 教科書

教科書は、A. C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

## 参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

19C. アメリカ・ルネッサンスには二つの流れがある。一方はエマソンを代表とするオプティミスティックな思想、もう一方はホーソンを中心としたペシミスティックな思想である。これが特にホーソンの場合、その人間観、世界観などにどのような形で表われているか、他の作家たちとも比較しながら調べ、さらにアメリカ・ルネッサンスという時代の特徴を探ることを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。

## 履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、ならびに難解な部分の説明を求める形式で進めて行く。

## 成績評価の方法

授業の最終時に、作品の和訳ならびに作品の解釈上の説明を求める形式のテストを予定し、あわせて原稿用紙(400字詰) 5~10枚程度の課題を出し、これにもとづいて評価する。

## 教科書

*Nathaniel Hawthorne, Selected Tales & Sketches*  
(Penguin Classics)

## 参考書等

授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	英米文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英米文 4 選	

## 講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。この授業では次の3つの点に注目する - regionalism, multiculturalism, and technoculture.

1つの点につき2人の作家の作品を学習していく。それらは、Bobbie Ann Mason and Raymond Carver; Alice Walker and Maya Angelou; Douglas Coupland and William Gibson である。最終的には文学と文化(映画、芸術、音楽など)の理解を深めていく。

## 成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

## そ の 他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	すぎ杉 うれ浦 ぎん銀 さく策	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

アメリカ中西部はアメリカ国民の標準的な価値観をよく表してきた地域であるが、同時にまたこの地方の田舎町に住む人々の孤独感ということもこれまでさまざまな文学作品に取り上げられてきた。このゼミでは Sherwood Anderson の名作 *Winesburg, Ohio* (1919) を味読する。

講義の内容・授業スケジュール

この作品に収められた各短編の英語および内容について丹念に検討してゆく。なお英語は比較的阅读しやすい。

履修上の留意点

翻訳（新潮社文庫その他）を各自購入し、内容の把握につとめること。

成績評価の方法

レポート提出。

教科書

受講者は西川正身解説注釈 *Winesburg, Ohio (A Selection)* [研究社] を駒大書房にて購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	たかの野 まさお夫	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

講義のねらい

行動する詩人として、文学や詩の果たす役割を考察していた1930年代の W.H. オーデンにとって、政治的な関心は彼の詩における一つの大きな力であった。しかし、社会改革に対する情熱は、現実の大きな時代のうねりに翻弄され、第二次大戦勃発前の彼は、愛や宗教に新たな拠り所を見出そうとしていた。そして、1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であったオーデンは、1939年1月にアメリカに渡った後アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出していた。このように自由奔放に生きたオーデンの1948年以降の作品を読んでいく予定です。

成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

教科書

W. H. Auden, *Collected Shorter Poems 1927~1957* (Faber) を使用する。

その他

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	なか おか ひろし 中 岡 洋	英米文3必	4
4年次ゼミ		英米文4選	

## 講義のねらい

イギリス小説を扱いながら、それを分析研究する知識と方法を身につけていくことをねらいとする。ただしただ単に小説を読み、物語を知るだけにとどまらず、文学全体、さらには学問全体に眼を開き、柔軟な発想ができるようになることが望ましく、そのためにはたくさんの本を読むことを心がけてほしい。方法論は各種さまざまなものがあるけれども、自分ももっとも有効に使いこなすことができるのはどのような方法であるかを発見してもらいたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) を材料にして、学生が順番を決めて順次各章から感銘ふかい箇所を選び、テキストを読み、解釈をほどこし、感想を述べ、みんなで討論する。英語のテキストを正確に読みこなすのは当然、そこから何を読み取るかという主体的問題にまで勉強を深めていく。腰を落ち着けてじっくりと勉強するのも学生時代には特に重要なことである。なお学年末に「中岡ゼミ論集」を発行し、これが勉強の成果として形に残る。すでに先輩たちの残したものが多数あるので、参考になるであろう。またそれらがそれなりの伝統を形成しており、その伝統に進んで参加されるよう希望する。

## 履修上の留意点

出席に励むこと。毎年の経験であるが、3年次から4年次への急激な成長ぶりは驚嘆すべきものがあり、単なる知識の詰め込みに終わらないよう各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

## 成績評価の方法

出席回数と発表成果によって評価する。

## 教科書

Charlotte Brontë, *Jane Eyre* (Penguin Classics)

## 参考書等

非常に豊富な資料があるので、教場で適宜指示する。

## その他

ゼミは学生の所属クラスであるから、そのまま卒業論文に繋げるように努力しよう。4月には新入ゼミ生歓迎会、夏休みには夏合宿、秋には秋合宿、2月には謝恩会、3月には卒業祝賀会を行う予定で、そのための費用がかかる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	英 米 文 3 必	4
4 年 次 ゼ ミ		英 米 文 4 選	

講義のねらい

オスカー・ワイルドの童話と短篇研究。ワイルドの代表的な童話と短篇を精読しながら、ワイルドの文学についてさまざまな角度から考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、適宜課題を与えて発表してもらうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポート。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

適宜指定する。

# 1. 專門教育科目

## (3) 地 理 学 科



# 1. 専門教育科目

## (3) 地理学 科

自然地理学概論〈小池一之〉	121
自然地理学概論〈中村和郎〉	122
人文地理学概論〈桜井明久〉	122
人文地理学概論〈竹内啓一〉	123
自然地理学実習(地図学実習含む)〈早船元峰〉	124
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)A]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈市川清士〉	124
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)B]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈高木正博〉	125
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)D]	
自然地理学実習(地図学実習含む)〈中村和郎〉	125
[平成9年度以前入学生:自然地理学実習(地図学実習含む)E]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈藤島範孝〉	126
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)A]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈桜井明久〉	126
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)B]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈土谷敏治〉	127
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)C]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈小田匡保〉	128
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)D]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈須山聡〉	128
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)E]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈橋詰直道〉	129
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)F]	
人文地理学実習(地図学実習含む)〈佐藤哲夫〉	129
[平成9年度以前入学生:人文地理学実習(地図学実習含む)G]	
地理学調査法(現地調査含む)A〈休講〉	
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)B〈桜井明久〉	130
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)C〈休講〉	
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)D〈須山聡〉	130
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)E〈休講〉	
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)F〈小田匡保〉	131
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)G〈早船元峰〉	131
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)H〈佐藤哲夫〉	132
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む)I〈休講〉	
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	

地理学調査法(現地調査含む) J <中村和郎>	132
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地理学調査法(現地調査含む) K <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学調査法(現地調査含む)]	
地域概論 <須山聡>	133
[平成9年度以前入学生:地誌学概論]	
地理学演習 I A <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I B <高木正博>	133
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I C <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I D <竹内啓一>	134
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I E <土谷敏治>	134
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I F <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I G <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I H <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I I <休講>	
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I J <橋詰直道>	135
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 I K <藤島範孝>	135
[平成9年度以前入学生:地理学演習 I]	
地理学演習 II <小田匡保>	136
地理学演習 II <小池一之>	136
地理学演習 II <桜井明久>	137
地理学演習 II <佐藤哲夫>	137
地理学演習 II <高木正博>	138
地理学演習 II <竹内啓一>	138
地理学演習 II <土谷敏治>	139
地理学演習 II <橋詰直道>	140
地理学演習 II <早船元峰>	140
地理学演習 II <藤島範孝>	141
地理学演習 II <中村和郎>	141
巡検 A <須山聡>	142
巡検 D <竹内啓一>	142
地学 <柳瀬訓>	143
図学実習 <清水長正>	143
日本地誌 <橋詰直道>	144
外国地誌特講 <梅原弘光>	144
文化生態学 <中俣均>	145
アジア地誌 <佐藤哲夫>	146
アメリカ地誌 <須山聡>	147

久	明	井	桜	誌	地	パ	ッ	口	一	日					148
進		沢	生	学	理	理	地	濟	濟	經					148
聰		山	須	講	学	学	地	地	地	經					149
孝	範	島	藤	学	学	理	地	落	村	地					149
正	長	水	清	学	学	学	形	地	地	地					150
正	長	水	清	学	学	理	学	会	地	地					150
勉	侗	口	宮	学	学	理	学	通	社	地					151
治	敏	谷	土	学	学	理	学	書	交	地					151
夫	哲	藤	佐	読	学	講	学		外	地					152
郎	和	村	中	学	学	候	学	候	気	地					153
郎	和	村	中	学	学	実	学	候	気	地					154
道	直	詰	橋	学	学	理	学	市	水	水					155
篤		友	大	学	学	理	学	口	都	水					156
保	匡	田	小	学	学	理	学	史	人	水					156
保	匡	田	小	学	学	理	学	地	歴	水					157
誠		田	柳	学	学	理	学	球	歴	水					158
子	和	原	漆	学	学	理	学	壤	地	水					159
和	善	水	清	学	学	理	学	地	土	水					160
峰	元	船	早	学	学	理	学	地	生	水					161
一	啓	内	竹	史	学	理	学	地	環	水					162
治	敏	谷	土	学	学	理	学	地	地	水					163
治	敏	谷	土	学	学	理	学	地	計	水					164
之	一	池	小	学	学	理	学	地	計	水					165
夫	哲	藤	佐	学	学	理	学	地	測	水					166
保	匡	田	小	学	学	理	学	地	リ	水					166
彦	毅	木	鈴	学	学	理	学	地	文	水					167
博	正	木	高	学	学	理	学	地	第	水					167
平	修	野	今	論	学	理	学	地	応	水					168
司	祐	山	村	論	学	理	学	地	地	水					169
均		川	長	論	学	理	学	地	現	水					170
道	直	詰	橋	I	講	理	学	地	地	水					171
進		沢	生	II	講	理	学	地	地	水					171
男	行	野	沖	III	講	理	学	地	地	水					172
一	啓	内	竹	IV	講	理	学	地	地	水					173
郎	和	村	中	V	講	理	学	地	地	水					174





科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概論	こ 池 一 之 こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地理 1 必	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

1. 自然地理学の基礎的概念
2. 地球の歴史と第四紀、
3. 第四紀の気候変化と海面変化
4. 人間活動と自然環境の変化
5. 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修しなかった学生にも理解できるように出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを3割ほど加味する。

教科書

小池・太田編『変化する日本の海岸』（古今書院）2,884円

参考書等

日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円  
 小池一之・坂上寛一ほか著 『新版地学教育講座⑨「地表環境の地学－地形と土壌」』（東海大学出版会）2,575円  
 小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

プリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学概論	なかむらかずお 中村和郎	地理1必	4

講義のねらい

日本の自然は、世界のほかの地方と比べて、どんな特色をもつのだろうか。自然は人間にとって美しく、やさしい一面をもつと同時に、激しくて、一瞬にして多数の人命を奪う恐ろしさも持っている。人文地理学で扱う諸現象と違って、長い時間スケールで初めて理解できるものもある。日本人はその自然をどのようにとらえ、自然とどのようにつきあってきたのだろうか。この講義では、自然そのものの理解を深めるだけでなく、多くの研究者達が自然現象の何に注目して、どんな研究をしてきたのかということも学んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール

探険と自然地理学、地球と大地、太陽エネルギーの恵み、水の惑星、大気の流れ、自然の変化、人間が変えた自然、「人工の自然」

履修上の留意点

講義を聴きっぱなしにするのではなく、参考書を読み、自ら進んで学んだことを示してほしい。

成績評価の方法

時々実施する小テストと、数回のレポートによって評価する。提出期限に遅れたレポートは受け取ることができないので注意すること。

教科書

杉谷隆・平井幸弘・松本淳（1993）『風景のなかの自然地理』古今書院

参考書等

貝塚爽平（1990）『富士山はなぜそこにあるのか』（丸善）  
 小泉武栄（1993）『日本の山はなぜ美しい』（古今書院）  
 杉村新（1973）『動く大地をさぐる』（岩波書店）  
 阪口豊ほか（1995）『日本の川』（岩波書店）  
 中村一明ほか（1995）『火山と地震の国』（岩波書店）  
 中村和郎（1991）『雲と風をよむ』（岩波書店）  
 正井泰夫ほか（1999）『日本地図探険術』（PHP 研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概論	さくらいあきひさ 桜井明久	地理1必	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、人文地理学の特色を考える。つまり、事象と場所（位置、方位）、事象間の距離、縮尺：事象群の分布と密度、領域・地域と地球、地域的複合、地域系（地域構造）といった問題を考え、「地図」で考えるという意味について検討したい。後期には、本学の先生方の研究などを具体的に取り上げながら、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、本学で人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座1 地理学への招待』（古今書院）2,500円

参考書等

『地理学講座3 環境と生態』（古今書院）2,800円  
 『地理学講座4 地域と景観』（古今書院）2,800円  
 『地理学講座5 立地と空間的行動』（古今書院）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概論	竹内啓一	地理1必	4

#### 講義のねらい

現代の人文地理学の全貌を体系的に提示するとともに、人文地理学という学問を勉強するためのモラル、すなわちその実社会への応用はいかになされるべきか、調査はいかになされるべきかということについても考えてもらう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

毎回講義の要旨、参考文献を記したプリントを配布する。下記の教科書を受講者全員が持つこと。必要に応じてこの教科書の読むべき箇所を指示する。

#### 履修上の留意点

授業時間中に出欠をチェックすることはしないが、レポート内容および返却レポートの受理状況から、講義への出席状況がおのずと判断される。レポートにはすべて朱をいれて返却する。これは私にとって大変な仕事であるから、私のコメントを参考にして、レポートの改善に努めること。また、学年末試験は授業に出席していないと解答できないような出題をするのが私の理想である。

#### 成績評価の方法

講義でふれられたことについて、自由にトピックを選ぶかプリントで指示した文献の要旨、あるいは、教科書に記されている内容について、それらをさらに深めた勉強の成果を、年間を通じて6回レポートとして提出してもらう。さらに、学年末には持ち込み一切自由の筆記試験を行う。配点は、6回のレポートが60点、学年度末試験が40点である。

#### 教科書

浮田典良編『ジオグラフィックパル、地理学便利帳 最新版』海青社

#### 参考書等

教科書に多くの文献が掲げられており、これらの文献にはできるだけ目を通してもらいたい、それ以外に下記の文献を講義全般にわたる参考書として指示しておく。

- 西川治(編)『地理学概論』(総観地理学講座 第1巻)(朝倉書店)
- 坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』(大明堂)2,600円
- グールド、矢野・立岡・水野訳『現代地理学のフロンティア(上)(下)』(地人書房)
- 川島哲郎『経済地理学』(総観地理学講座 第13巻)(朝倉書店)
- 山本健児『経済地理学入門』(大明堂)3,450円
- 矢田俊文(編著)『地域構造の理論』(ミネルヴァ書房)
- 石井素介(編)『産業経済地理、日本』(総観地理学講座 第14巻)(朝倉書店)
- 山本正三(編)『産業経済地理、世界』(総観地理学講座 第15巻)(朝倉書店)
- ハーヴェイ(水岡訳)『都市の資本論』(青木書店)7,725円
- クラヴァル(竹内訳)『現代地理学の論理』(大明堂)1,854円
- 竹内啓一『とぼろうぐ』(古今書院)2,900円
- ハーヴェイ(竹内・松本訳)『都市と社会的不平等』(日本ブリタニカ)
- ハーヴェイ(松石・水岡ほか訳)『空間編成の経済理論 上、下』(大明堂)
- スミス(竹内監訳)『不平等の地理学、みどりこきははずこ』(古今書院)
- 大島・浮田・佐々木(編著)『文化地理学』(古今書院)
- 高橋・田林・小野寺・中川『文化地理学入門』(東洋書林)2,575円
- ジャクソン・スミス(浜谷訳)『社会地理学の探検』(大明堂)
- ノックス(小長谷ほか訳)『都市社会地理学上、下』(地人書房)
- 吉原直樹『都市空間の社会理論、ニュー・アーバン・ソシオロジーの射程』(東大出版会)
- 吉原直樹『都市の思想、空間論の再構築にむけて』(青木書店)
- 柴田徳衛『現代都市論』(改訂版)(東大出版会)
- 柴田徳衛『都市経済論』(有斐閣)
- テイラー(高木訳)『世界システムの政治地理』(大明堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習舎七) (前期)(後期)	はや ぶね げん ぼう 早 船 元 峰	10以降入学生/地理1 必	1
自然地理学実習(地図学実習舎七) A (前期)(後期)		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・帯状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- 調査器械・器具の使用法
- 空中写真判読(裸眼実体視)
- 微地形・表層地質調査(ボール・ハンドレベル・ハンドボーリングステッキ・標準土色帖など使用) 班分け

履修上の留意点

地形図や製図用具は各人用意してもらう。  
現地での班行動や共同室内作業があるので努めて出席をこころがけること。  
成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習舎七) (前期)(後期)	いち かわ きよ し 市 川 清 士	10以降入学生/地理1 必	1
自然地理学実習(地図学実習舎七) B (前期)(後期)		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい

自然地理学(特に地形学)を学ぶために必要な地形図の読図や製図、空中写真判読、調査器材の取り扱いなどの基礎的な作業技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 実習は次のような作業を予定している。
- 1) 1/2.5万地形図の読図。
  - 2) 1/2.5万地形図を用いた主題図の作成。
  - 3) 地質図の読図、地質断面の作成。
  - 4) 簡易測量による図面の作成。
  - 5) 空中写真による地形の判読。

履修上の留意点

授業には出席し、課題は期限内に必ず提出すること。

成績評価の方法

成績の評価は出席状況・提出物の内容などをもとに総合的に評価する。

そ の 他

地形図・製図用筆記具は個人で購入してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)D(前期)		9以前入学生/地理1必	

## 講義のねらい

地形図読図や空中写真判読をととして、自然地理学を学ぶために必要な基礎的技術を修得する。

## 講義の内容・授業スケジュール

次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。

- 1) 地形図の読図(等高線から地形断面や河川地形などを読む)
- 2) 地形図を使用して水系図、起伏量図など主題図を作成する。
- 3) 空中写真の実体視・判読ならびに主題図の作成(空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める)
- 4) 資料・計測結果の整理と製図(水文データの解析など)

## 履修上の留意点

成果は期日までに提出する。

## 成績評価の方法

出席状況、作業の進捗状況、提出物の内容、提出口を総合的に評価する

## 教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

## 参考書等

必要に応じて紹介する。

## その他

地形図、製図用筆記具は個人で購入してもらう。30cm程度の定規、図面保護筒は必需品。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	なか むら かず お 中 村 和 郎	10以降入学生/地理1必	1
自然地理学実習(地図学実習含む)E(前期)		9以前入学生/地理1必	

## 講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要ないくつかの基礎的な技術の習得を目標とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

1. 自然現象の観察  
大学周辺の身近な自然を観察し、地図に表現する。
2. 地形図の作業  
地形図の線種、文字、色の種類。位置・距離・方位の計測など。
3. 等値線図の作成と読み取り  
等高線図、等圧線図など。
4. 製 図  
製図用ペンを用いて、地図やグラフを描くための基礎的技術を習得する。

## 履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、教科書の知識を暗記するのではなく、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものの見方考え方を習得するように心がけること。机の上の作業ばかりでなく、屋外に出て行うこともあるので遅刻したり、欠席したりすると、実習を受けられないことがあるので注意。

## 成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習（地図学実習含む）（後期）	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	10以降入学生/地理1 必	1
人文地理学実習（地図学実習含む）A（後期）		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい	東京都と周辺の人文地理学的諸問題の探究、殊に行政区域と人びとの生活、商業と交通体系との関係について考えるものとする。
講義の内容・授業スケジュール	東京都と周辺のレクリエーションの地域現況、宅地造成、流通地区の配置・交通施設の整備、道路の構造など図式して表現する。
履修上の留意点	人文地図化を試みるので複写用紙、トレンシングペーパーなど用意しておくこと。
成績評価の方法	講義ノート整理、毎回地図化を要求するので、適切な表現方法を考える。
教 科 書	東京都とその周辺の地図を携持していること。都内交通図など用意しておくことが望ましい。
そ の 他	講義と実技（地図化）と現地調査報告文を作成する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習（地図学実習含む）（後期）	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	10以降入学生/地理1 必	1
人文地理学実習（地図学実習含む）B（後期）		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい	人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	地形図の利用、土地利用図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、ワープロの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。
履修上の留意点	実習であるので、とりわけ授業に出席することが必要となる。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える予定であるが、欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生にあらためて確認しておくこと。
成績評価の方法	授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。
そ の 他	様々な地域の地形図、色鉛筆、定規、ロットリング、計算機などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (後期)	つち たい とし はる 土 谷 敏 治	10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地図学実習含む)C(後期)		9以前入学生/地理1必	

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

9・10月：コンピュータによって資料の基礎的な統計分析を行う。  
11～1月：用意した資料を用いてデータの整理・図表作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。主な実習項目は、次のとおりである。

- ① コンピュータによるデータ処理  
コンピュータを用いて、統計データの整理・集計を行うとともに、その結果をグラフ化・地図化する。
- ② 地域の年齢別人口構造  
大都市内部、衛星都市、農村地域の人口ピラミッドを作成し、年齢別人口構造の特色やその要因について分析する。
- ③ 都市の順位規模分布と都市システム  
対数グラフを用いて、都市の順位規模分布を図化し、国別・年代別の都市システムの特色を考察する。
- ④ 中心地の階層構造  
通勤・通学人口移動データによって、日常的な都市システムの階層構造を分析する。
- ⑤ 土地利用と都市の地域構造  
野外調査の実習として土地利用調査を行い、土地利用と都市の地域構造の関係について分析・考察する。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。製図の実習にあたっては、製図用のペンやスケールなどが必要となるが、地理学科の学生として最低限必要と思われる製図用具については、授業時に説明する。また、コンピュータを使用するので、総合情報センターの使用登録を行う必要があるが、その方法についても授業時に指示する。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1：1の比重とする。休み中の課題は、それまでの学習成果のまとめであり、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。  
浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』(海青社)  
中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)  
菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行者『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)



科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	小 田 匡 保	10以降入学生/地理1 必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) D (前期)		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文献利用の方法、②参考図書、③地形図、④統計、⑤主題図の作成、⑥グラフの作成

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。提出された課題のできればとも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

その他

製図ペン・定規・計算機などを使用することになる。詳細は、授業時に随時指示する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む) (前期)	須 山 聡	10以降入学生/地理1 必	1
人文地理学実習(地図学実習含む) E (前期)		9以前入学生/地理1 必	

講義のねらい

人文地理学の調査研究に必要な資料収集・統計解析・図的表現の方法を体得する。今年度はコンピュータによる統計地図の作製に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 文献の検索法
- (2) 地形図・空中写真の利用
- (3) フィールドノート作成
- (4) 統計データの種類と利用法
- (5) 統計データの分析と図的表現
- (6) コンピュータを使った統計地図の作製 (Photoshop、Illustrator の使い方) など基礎的な技法を中心に進める。

履修上の留意点

受け身の講義ではなく室内作業が中心となるので、受講者諸君の主体的な参加を望む。

成績評価の方法

毎回の授業で課されるレポートと出席をもとに判断する。

教科書

毎回資料を配布する。

その他

フロッピーディスクを使用するので、事前に購入する必要がある。また、地形図・空中写真の購入にも実費がかかる。コンピュータの知識は不要。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地区学実習含む) (後期)	はし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地区学実習含む) F (後期)		9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

具体的には、①地理学文献の検索方法、②地図・空中写真・地理データの入手方法、③調査課題の設定と現地調査の方法(アンケートやフィールドノートのとり方)、④入手した地理データの処理方法(地理データの地図化・グラフ化などの手法、パソコンを用いた基礎統計分析手法)、⑤調査レポート(プレゼンテーション)作成方法などについて学ぶ。

#### 履修上の留意点

必修科目であり、課題中心の授業となるので、課題への取り組みはもちろんのこと、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加態度も重視される。課題レポートはワープロ使用。課題の提出期限を厳守すること。

#### 成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートや成果品、授業への出席状況(一定基準以上)や授業への参加態度などを総合的に評価する。

#### 教科書

とくに定めませんが、実習課題に関連する参考書は随時授業で紹介する。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

#### その他

総合情報センター利用登録を済ませておくこと。製図用ロットリングペンなどの購入(詳細は最初の授業で連絡する)が必要となる。  
人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学習する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学実習(地区学実習含む) (前期)	さ 佐 とう 藤 てつ 哲 お 夫	10以降入学生/地理1必	1
人文地理学実習(地区学実習含む) G (前期)		9以前入学生/地理1必	

#### 講義のねらい

この実習では、PCを用いて人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標とする。図表やレポートの体裁、地図作製や統計分析などの基礎的技術とともに、地域論の基礎的理論についても学ぶ。題材として東京23区を取り上げる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 以下の予定に従うが、受講者の理解度を見て調整しながら進める。
- 情報の検索 : 地理の資料、文献の検索、インターネットの利用
  - 論文要旨の作成 : ワープロ(ワード)を使う、発表要旨の体裁
  - 地図の作成 : 図形処理ソフト(ペイント)を使う、地図の体裁
  - 様々な主題図 : 分布図、濃淡図、流線図
  - Geographic Matrix : 表ソフト(エクセル)を使う、統計情報の地理的整理
  - 基本統計量の利用 : 平均と標準偏差、特化係数
  - 地域区分 : 度数分布と階級区分、地域区分
  - 時系列変化 : 指数、グラフと表の体裁
  - モデルと回帰分析 : 回帰分析
  - 調査とそのまとめ : フィールドワーク、論文・レポートの構成と体裁

#### 履修上の留意点

PCによる実習なので、自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録を行い、自習室を利用すること。毎回、課題が出る。これまでの例では、作業課題は授業時間内に終わらないことが多く、自宅に持ち帰って仕上げてもらっている。

PCやソフトの操作法についてはあまり時間をかけず、作業の意味や原理について説明したい。従って、すでにPCの操作に習熟している人は、積極的に初心者の方の手助けをして欲しい。また、わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問して欲しい。

#### 成績評価の方法

各回の課題の提出状況で評価する。出席も取るが、これは主に各人の進捗を把握するためのものである。課題提出の最終的な締め切りは7月19日であり、遅れた場合は不可となる。

#### 教科書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) B	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	人文地理学の調査方法について実践を通じて学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、農村地域の調査方法について概略を学び、各人ないしは各グループでテーマを決め、討論を通じて、調査の設計をし、大田原市周辺(予定)で事前調査を実施する。後期は現地本調査を行い、その結果を報告書にまとめる。
履修上の留意点	実習・演習型の授業であり、グループでの活動が多くなるので、欠席は厳しく扱う。
成績評価の方法	出席、討論への参加の状況、報告書を総合して行う。
教科書	正井泰夫・小池一之編(1994)『卒論作成マニュアル』(古今書院)
参考書等	必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) D	す やま さとし 須 山 聡	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	1つの対象地域を現地調査することをきっかけに、研究課題の設定・事前調査・調査計画の立案、現地でのフィールドワーク、収集資料の分析、報告書の作成といった一連の過程を経験し、そのなかから地理学調査の具体的な方法を学びとる。
講義の内容・授業スケジュール	現地調査を前期に実施する。対象地域は、日本最後の炭鉱がある長崎県の池島を予定している。今年度は地理学の基本である景観の観察方法と土地利用調査の実習を中心とする。
履修上の留意点	調査地域が遠方であるため交通費・宿泊費に多額の出費が見込まれる。また、天候によっては船の欠航があり、予定が立てにくい。本当に関心のある学生のみに参加してもらいたい。
成績評価の方法	参加の積極性と報告書の達成度を規準とする。
教科書	正井泰夫・小池一之編(1994)：『卒論作成マニュアルーよりよい地理学論文作成のためにー』(古今書院) 214p. 市川健夫(1985)：『フィールドワーク入門ー地域調査のすすめー』(古今書院) 237p. 上野和彦編(1990)：『地域研究法』(大明堂) 191p.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) F	お だ ま や 小 田 匡 保	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	この科目は、①人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をすること、②収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をすること、の2点をねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	現地調査に出かける前に、文献・統計などの資料を収集し、簡単な事前レポートにまとめる。現地では、資料収集のほか、関係者に聞き取り調査を行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的なレポートにまとめる。
履修上の留意点	レポートはワープロ書きとする。体裁・内容の不十分なレポートは、できるまで何度でも再提出してもらう。
成績評価の方法	成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポートの内容を総合して判断する。
教科書	使用しない。
その他	調査地は秋田県、現地調査の期日は9月下旬を考えているが、詳細は4月のオリエンテーション時に発表する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) G	は や ふね げん ぼう 早 船 元 峰	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい	文献目録の作成方法・資料データの収集・測定方法・分析方法や現地調査の方法を修得、さらに教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象(自然的・人文的)を、学生自らの現地での体験(観察・調査)を通じて理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	<p>現地調査 北海道</p> <p>期日 6～7月あるいは9～10月(3泊4日)予定</p> <p>自然班・土地利用(農業)班・リゾート班に分れ行動する。</p> <p>現地集合・現地解散の予定(公共交通機関を利用すること)</p> <p>目的～自然と人間とのかかわりあい</p> <p>地形図より主題図作成・当日レポート・個人レポート(実施後)を課し、成果集を作成する。</p>
履修上の留意点	班作業もあり、欠席なきよう努めること。
成績評価の方法	事前調査(地形図の作業・資料収集・整理)・現地調査・成果口頭発表・レポートなどにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) H	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

この調査法では、景観を手がかりにして地域の研究にとりかかる方法を学ぶ。私たちがよく知っている「日本」とは異なった自然環境や歴史的・文化的背景を持った地域を知ろうとする時、景観は大きなヒントを与えてくれる。そのヒントを解き明かすために、どのように観察したらよいか、現地調査の対象地域を沖縄本島として、その方法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

事前準備としては、

1. 沖縄の自然や、文化・歴史など、地域理解のための基本的知識を学ぶ。  
開講後、数回、沖縄について講義を行なう。その後、参加者が分担して参考文献を読んで報告し、共通の理解を深める。
2. 地図や写真の利用など、景観観察に必要な地理学的技法を学ぶ。  
まず駒沢周辺で、地図や写真を利用しながら景観の観察・記録を行なってみる。さらに土曜日や休日を利用して横浜方面などで徒歩での景観観察を実施し、技法を身につける。
3. 参加者の関心に従い、各自が沖縄で調査するテーマ、調査地を決め、情報を収集する。  
テーマに関連する文献を探して調査内容を絞り込む。さらに地形図や空中写真も利用・分析しながら、より詳細な調査地域の情報を集め、調査ルートなどを計画する。

現地調査は11月3日～6日(3泊4日)を予定している。  
帰京後、直ちに写真レポートの発表会を行ない、調査結果をまとめる。

履修上の留意点

レポートなどは全てワープロでの作成を義務付ける。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、現地での調査の積極性、調査報告の内容などを総合的に評価する。

教 科 書

当面、国土地理院 1万分の1地形図「自由が丘」を購入すること。

参 考 書 等

堂前亮平『沖縄の都市空間』(古今書院) 2,500円 ほか。必要な資料は配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学調査法(現地調査含む) J	なか むら かず お 中 村 和 郎	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学調査法(現地調査含む)		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

小地域の調査法を学ぶ。事前の文献調査、現地における観察と観測、事後の報告書作成の3段階がある。全員が協力して行う共同調査によって成果をまとめることをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 事前調査：情報の収集・整理、地形図の作業
2. 現地調査：観察と観測、聞き取り調査など
3. 調査報告書の作成：オリジナルマップの作成など

履修上の留意点

各自、対象地域の問題を見出し、事前調査と現地調査を合わせて成果をまとめる。報告書の作成まで協力的であってほしい。

成績評価の方法

事前調査のレポートと、現地調査を終えた後の調査報告書の提出を求める。平常の取り組み方と合わせて評価する。

参 考 書 等

市川健夫『フィールドワーク入門 地域調査のすすめ』(古今書院) 1985

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域概論	す 須 やま さとし 山 聡	10以降入学生/地理2・3・4選	4
地誌学概論		9以前入学生/地理2必	

## 講義のねらい

地誌学は地域をひとまとまりとして捉え、そこに展開するさまざまな自然・文化現象を総合的に理解できるきわめて魅力的な学問である。本講義ではその視点・概念・方法論を紹介し、地域の理解のしかたを修得することを目的とする。

## 講義の内容・授業スケジュール

本講義は(1)地誌学の目的・理念、(2)基本的概念、(3)方法論を主に講義する。なかでも、景観に関する諸概念と実証研究を重点的に論ずる予定である。また、受講者に「書く」技術を身につけてもらうため、毎回短いエッセイを課する。予定は以下の通りである。

1. 地誌学の目的（地域性・地域差・空間認識）
2. 地誌学の対象（「地域」の概念）
3. さまざまな「地域」（等質地域・結節地域）
4. 土地利用と景観
5. 立地・分布・拡散
6. 地域構造
7. 認知と行動

また、今年度は都合により前期に1年分の講義を行うので週2回の開講となることに注意されたい。

## 履修上の留意点

出席を厳格にとる。

## 成績評価の方法

学年末試験（60%）、出席状況（40%）で判定。

## 教科書

適宜資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I B	たか ぎ まさ ひろ 高 木 正 博	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

## 講義のねらい

水文学や水の地理学に関する論文を読み、研究の動向や論文の書き方などを修得することが目的である。前・後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして意識を高めてゆく。場合によっては現地調査（巡検）も考慮する。卒業論文の研究テーマを見つけてほしい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自が関心のあるテーマを提起し皆で討論する。あらかじめ発表テーマ・発表日を決めておき、発表当日は要旨をまとめたレジュメをもとに全員でその内容を討論する。

後期も同様に発表形式をとるが、論文紹介に重点を置く。論文は各自の研究テーマと関連したものを選択し、その内容および各自のテーマとの関連性について詳しく説明する。または、夏休みの調査結果などを報告してもよい。

## 履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。  
発表者は無断欠席しないこと。

## 成績評価の方法

発表内容、レポート、討論への参加状況などの平常点で決める。

## 参考書等

肥田 登『秋田の水——資源と環境を考える——』（無明舎出版）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I D	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

手分けして内外の人文地理学の専門的研究論文を読んで論文要旨を作成し、各自が読んだ論文について順に報告してもらい、全員で討議して地理学を勉強するための足腰を鍛えてもらう。イギリスの Open University の講義をビデオで聞き取ってもらう時間ももうける。また都内の日帰り巡検にも参加してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、人文地理学の各分野に関しての資料を配布し、翌週までにそのテーマに関する文献をひとつ読み、その要旨を提出してもらい、誰かに報告してもらう。文献は、各自がデータベース、CD-ROM などから検索してきて読み報告してもらう。段階的に、自主的かつ自立的に勉強する態度を身につけてもらう。

履修上の留意点

演習であるので、出席し、積極的に参加（報告および討論への参加）することが重要である。

成績評価の方法

出席状況、文献の探し方、論文要旨と報告の内容、および討論への積極的かつアグレッシブな参加の状況による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I E	つち たに とし はる 土 谷 敏 治	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

都市・商業・交通・人口などを主要なテーマとして、論文の講読によって、論文の検索方法や読解力を養い、さらに現地調査実習を通して、研究テーマの設定、資料の収集、調査の準備と実践、調査結果の整理と分析を行って、卒業論文作成に向けての総合的な能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4月～7月）  
論文の講読を行う。毎回担当者を決め、その担当者が、要旨や資料を用意した上で論文要旨を発表する。その後、取り上げた論文の内容、長所、問題点などについて参加者全員で討論する。  
後期（9月～1月）  
前期の学習成果をふまえ、現地調査を行う。各自あるいはグループごとに、調査テーマを設定し、資料収集、調査計画作成、調査準備をした上で、現地調査を行い、調査結果を整理・分析し、調査報告書にまとめる。また、前期同様、調査内容・調査結果について発表する機会を設け、全員で討論する。現地調査地は、長野県か静岡県 of 都市を取り上げる予定であるが、できるだけ受講者の希望も考慮したい。

履修上の留意点

必ず4月の第1回目の授業に出席すること。その際に、前期の発表の方法や担当者を決定するとともに、後期の現地調査について説明する。  
演習科目であるため、毎回必ず出席するとともに、発表内容、討論や準備・分析作業への積極的参加が重要である。また、前期の論文講読に際しては、全員が事前に当該論文を読んでおくことを前提とする。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、報告書の内容、現地調査の準備・分析作業への参加状況、討論への参加状況を総合して、評価する。

教科書

教科書はとくに指定しないが、前期は各時間に取り上げる論文が、教科書に相当する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I J	ほし 橋 つめ 詰 なお 直 みち 道	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

人文地理学に関する近年の研究動向を専門分野の論文を講読することで把握し、各自の地理学研究における専門性を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は人文地理学に関する論文の講読を中心に行う。前期は主に都市地理学・経済地理学関係の論文を輪読する。夏季休業中にも論文の講読課題を課す。後期は各自（全員）が人文地理学関係の課題論文を複数編レビューし、レポートにまとめ、発表することで、今日の研究動向を把握するとともに、地理的地域の捉え方、分析方法・まとめ方などについて学習する。課題論文は、原則として1995年以降の地理学評論、人文地理、経済地理学年報、地理科学、季刊地理学に掲載された論文の中からレビューすることになる。

履修上の留意点

必修科目であり、課題論文も多く出されるので、出席（遅刻をしないこと）状況や授業への参加姿勢も重視される。課題論文輪読・発表に関する年間スケジュールが作成されるので特に出席が大切になる。

成績評価の方法

期間中に出される課題論文に関するレポートや発表内容、授業への出席状況（一定基準以上）や授業への参加態度などを総合的に評価する。

教科書

とくに定めませんが、前期課題論文の詳細は4月に連絡する。夏期休業中の課題論文及び後期の課題論文についても4月以降授業で連絡する。

参考書等

随時授業で紹介する。

その他

課題論文のレビュー結果はレポートにまとめ、全員に配布（各自でコピー）した上で発表していただく。『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献調査が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習 I K	ふじ 藤 しま 島 のり 範 たか 孝	10以降入学生/地理2・3選	4
地理学演習 I		9以前入学生/地理3必	

講義のねらい

中国の古道の研究、殊に南方絲綢路といわれる西南古道について、交通貿易、文化交流等と少数民族の関わりを追求する。

日本文化の源流を考える上で重要な地域といわれているので、ルートを各自確認することと、蜀文化の源流、日本文化のルーツ、中国少数民族の解明を行い、水稲信仰と儀礼、高床建築、貫頭衣、歌垣、妻問婚、桑樹崇拜、養蚕と紡績等究明し、作図し報告して貰う。

教科書・参考書等

教科書として、孔健『秘境・西南シルクロード』（学生社）1,700円を使用。参考書として、司馬遼太郎『中国・蜀と雲南のみち』街道をゆく20巻（朝日新聞社）、飯倉照平編『雲南の民族文化』（研文出版）等読まれたし。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地 理 4 必	4

講義のねらい

この科目のねらいは、①卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること、②人前でわかりやすく発表できること、③他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること、の三つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、従来の研究史を中心に、各自が自分の卒論の構想について発表する。後期は、現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を再度行なう。卒論提出後、簡単な卒論発表会をする。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。特に4月最初の授業は必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地 理 4 必	4

講義のねらい

地形学を含む自然地理学の基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論課題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域（本年度は房総半島を予定）を決め、共同調査を行う。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期にゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教 科 書

演習進行時に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理 4 必	4

講義のねらい

農村・農業地理学を中心とする人文地理学、地理教育などに関する卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のはじめに、論文作成の方法・スケジュールについて簡単に説明し、その後、各自、研究テーマと研究方法、調査の具体的手順を考えてもらい、ゼミ形式でそれを深め合う。後期には、毎回、簡潔に調査結果の中間報告を行い、研究を深め合う。卒論完成後は、要旨集を作り、発表会を行う。

履修上の留意点

卒業論文は各自の研究ではあるが、互いに研究を助言し、仲間同士で研究を深め合うことが求められる。欠席する場合は、事前に、各自の研究の進捗状況をレポート用紙に簡単にまとめて提出しておくこと。論文、ゼミ資料はワープロで作成する。

成績評価の方法

卒業論文の成果、ゼミへの出席、討論への貢献の程度、他の人の研究への助言の適切さなどから、総合的に行う。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学演習Ⅱ	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理 4 必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文作成の方法を指導する。参加者の研究の進行状況に合わせて、個人別に、研究を進める上での課題を適宜与える。ただし研究計画の立案と進行は各自の責任で管理する。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象地域を決定し、調査地域をカバーする国土地理院の地形図を直ちに購入しておくこと。できれば現地を踏査して、概況を把握しておいてほしい。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進めてもらう。5月の段階では3まで、10月の段階では5までを目標に進める。

- 1 研究対象地域を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行う。
- 2 文献調査で研究の目的・方法を限定する。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定し、調査計画を作成する。
- 4 現地調査などにより、仮説の検証に必要な資料を収集する。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てる。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進める。

卒論提出までに、履修者全員による発表・報告会を何回か開催する。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとることが必要である。学期中は最低でも3週間に1回は連絡をすること。Eメールを通じた指導も可能であるので、積極的に利用してほしい。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してこること。文章に書くことで頭の中が整理できる。また小さな積み重ねで、あとあと楽になる。

成績評価の方法

積極性（例えば報告の頻度や、課題の達成度）で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	たかぎまさひろ 高 木 正 博	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、①適切な論文のテーマを設定すること、②研究成果の要旨をまとめて発表すること、③論文作成の具体的な方法を指導することなどである。授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や製図作業などを課題として指示する。また、前期と後期の発表では、参加者相互に活発な討論をして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いていた構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。

後期は、現地調査や文献・資料から得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。

受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論内容など、平常点で決める。

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

基本的には教場を使用するが、少人数の時や文献調査が必要な時は教員研究室も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	たけうちけいいち 竹 内 啓 一	地 理 4 必	4

講義のねらい

教場における演習を卒業指導と切り離して、7月、9月、10月に行う。その内容は、各自が自分の関心にしたがって、地理学と関係はあるが狭義の地理学以外の複数の専門書を読み、その内容を、地理学にひきつけて批判的に紹介し、全員で討論する。

夏休み中の課題として、卒論のテーマとは別の複数の読みものである本の書評、旅行記、ビデオ作品の製作などをしてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒論作成指導のために、以下の日程で、2泊3日の、卒論についての発表・討論会を行うので万難を排して参加すること。

第1回 4月30日(日)13:30集合 5月2日(火)13:00解散

場 所：八王子セミナーハウス

費 用：1万2千円(飲食費込み)

各自、卒論の構想について約20分報告してもらう。

第2回 10月下旬または11月初旬、大学祭の頃

場 所：駒澤大学富浦セミナーハウス

費 用：1万円(飲食費込み)

あと卒論の指導は、随時個別指導のかたちで行う。

成績評価の方法

成績評価の基準は、卒論に関しては、まず卒論の内容、2回の合宿における報告内容と討論への参加状況、そして最終口述試験におけるディフェンス(私からの質問に対する答弁)による。演習IIに関しては、主として夏休みの課題による。仲間の報告に対して活発に討論を展開することを期待する。

そ の 他

4月の第1回目の授業時間の時には、年間の予定についていろいろ相談すること、指示することがあるので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	つち なた とし はる 土 谷 敏 治	地理 4 必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。
- 5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。
- 7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。
- 8月：各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。
- 9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。
- 11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。
- 1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括をするとともに、各自が研究成果を自己評価する。

地  
理

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となる。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成のための具体的な指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

4～5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う（年間スケジュールの提出）。  
6～7月は、それまでの文献調査などの成果を中心にした中間発表を個人別を実施する。  
9～10月は、夏休中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を随時行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。  
11～12月の提出日までは、論文の構成、図表、文献の引用などに関する指導を中心に行う。論文提出後、内容構成など不完全なものは再度書き直しや修正を要求する。  
1月には卒論要旨集原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。2月の第1週には卒論発表会を実施する。この発表会には橋詰講習Ⅰ履修者および3年生の次期橋詰演習Ⅱ履修予定者も参加していただく。

履修上の留意点

卒業論文はワープロで作成する。卒業論文の提出後にこの授業の一環として、卒業論文要旨集を作成、さらに発表会も行うので、これを含めて積極的な研究姿勢がのぞまれる。

成績評価の方法

演習Ⅱ（発表会を含む）の授業への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参 考 書 等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院） 2,060円

そ の 他

事前に『地理学文献目録』（図書館）などを利用した十分な文献調査が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習 II	はや ふね げん ぼう 早 船 元 峰	地 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成および口頭発表の指導をおこなう。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半には論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理などの方法について講じる。後半には卒業論文のテーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関係した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、出来るかぎり出席すること。活発な討論がなされるよう積極的な態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表状況などで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の指導、口頭発表など行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

論文作成の方法・調査方法、現地での研究成果、文献資料の整理方法など指導、年間研究スケジュールについて計画表の作成。統計及び図表など表現に関する取扱い方。

成績評価の方法

研究成果の途中での報告、発表、出席状況で判断する。

参考書等

その都度研究分野について紹介する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習Ⅱ	なか むら かず お 中 村 和 郎	地理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技能とを全部活かして作成するものである。自分で選んだ課題について、必要な情報を収集・処理して、誰もが納得できる説明を自らの力で見出す。

講義の内容・  
授業スケジュール

一人々々に次の報告を求め、全員で討論する形で進める。

1. 論題と研究計画
2. 文献検索と論文紹介
3. 研究経過
4. 成果の発表

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。個人々と接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰ったりしたときこそ、頻繁に相談に来てほしい。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。就職活動などを理由に無断欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

平常の研究への取り組み方と、授業への参加態度を重視する。

参考書等

浮田典良『ジオグラフィックパル 地理学便利帳』（海青社）  
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座5 実践と応用』（古今書院）  
正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 A ( 前 期 )	す 須 <sup>やま</sup> 山 <sup>さとし</sup> 聡	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

現地へ赴き、地域の観察方法や視点を修得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期中に1日巡検を実施する。対象地域は日系ブラジル人が人口の10%を占める群馬県大泉町を予定している。日系人が集中したりしたことにより、町の景観や諸機能がどのように変化したかを現地で観察・確認する。

履修上の留意点

授業時間に関わらず、前期中に何度かミーティングをもって現地調査の準備をする。日程は追って掲示する。

成績評価の方法

積極性を評価の基準とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
巡 検 D ( 後 期 )	たけ 竹 <sup>うち</sup> 内 <sup>けい</sup> 啓 <sup>いち</sup> 一	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

都内日帰り巡検を2回行うことにより、「江戸・東京研究」へ関心を持ってもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回は多摩ニュータウンと武蔵野新田、第2回はウォーターフロント開発と浅草・吉原・山谷。日取りは未定、受講者と相談して決める。

履修上の留意点

両国の江戸東京博物館をまだ見学していないものは、別途必ず見学しておくこと。

成績評価の方法

討論への参加とレポートの出来による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 図 学	柳 瀬 訓 <small>やな せ さとす</small>	地理2・3・4選	4

講義のねらい

土地・地域に関する自然的・人文的事象を記述し、伝達する手段としての地図。その基本である地形図利用のための基礎、および基本的な主題図作成方法について講義する。また、空中写真判読の基礎についてもふれたい。

講義の内容・授業スケジュール

地図の種類、地形図の作り方と精度、地形図の図式と読図のための注意点、地形図を使った各種計測法、地図記号から判読される地域特性、メッシュデータ化など地図情報のデジタル化とその利用、データ（地理統計）の解析と作図法、空中写真判読の基礎など

成績評価の方法

期末試験（またはレポート）を主に行うが、授業中に行う小テスト、出席状況などをこれに加味する。

教科書

なし

参考書等

授業中に紹介する。

その他

理解を容易にするため地形図（コピーで配布）上で簡単な図上作業を行うことも考えているので、20cm直線定規、2色鉛筆などを用意してもらおう場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
図学実習（後期）	清水 長 正 <small>しみず ちやう せい</small>	地理2・3・4選	1

講義のねらい

本実習では、地形図図式の理解、地図製図や編集に関する種々の技術の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の内容について、ミニ試験、各種の成果品の作製などをベースに実施する。
- ① 現在・2万5千分1地形図は地理調査等の基図として最も利用されている。この地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』である。地理調査を行うための利用者としても、地形図の性質を知ることが意味のあることと思われるので、ここでは『地形図図式』を読み合わせ、ミニ試験などを実施しながら、その内容の理解を深めてもらう。
  - ② 実際の地形図を用いて、各種読図・地図編集作業を実施する。
  - ③ 作図ソフトを用いた地図製図法や数値地図の利用法について実習を行う。

履修上の留意点

地図学・測量学などの講義は、事前または同時に履修していることが望ましい。

成績評価の方法

ミニ試験、成果品等により評価する。

教科書

使用テキスト：『昭和61年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参考書等

使用する地形図等は実習中に指示する。

その他

半期の実習で、時間が少ないので、②③は実習中または冬休みの宿題となろう。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 地 誌	はし 橋 つめ なお 直 みち 道	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の都市と農村は、いかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の空間構造の特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①日本列島の自然環境の特性とその利用（気候景観、水・地下資源の利用、二次林と里山の利用、水田の環境保全機能）、②農山村地域の変容（兼業化の進展、自立農業経営と輸送演芸、中山間地域の諸問題）、③都市周辺地域の変容（都市農業と近郊農業）、④工業地域の変容（工業団地、農村工業）、⑤観光・リゾート地域の変容（ふるさと運動、農村観光、観光・リゾート開発、東京都湯沢町）。これらの項目について、最近の地理学的研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

出席状況（毎時間）や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験（1月）の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めない。

参 考 書 等

山村順次編『図説日本地誌』（大明堂） 2,750円  
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』（古今書院） 2,527円  
その他の参考書は授業で紹介する。

そ の 他

講義は配布プリントを中心に行い（スライド・OHPも使用）、課題や小テストも実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 地 誌 特 講	うめ 梅 はら ひろ 弘 みつ 光	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

フィリピン共和国が戦後歩んだ社会経済発展の過程を振り返りながら、全体として社会がどう変わり、いかなる地域変化があったか、その実態とメカニズムを考察する。前半では、東南アジア地域全体の歴史的経過と現状に注目、後半でフィリピンに焦点を当てた地誌を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半：東南アジアの地理的位置、稲作発祥と伝播、植民地支配、農民世界、巨大都市形成、観光と環境、  
後半：フィリピンの農村社会不安、社会経済開発（工業化、農地改革、「緑の革命」）、社会変容（都市化、農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域変化（森林破壊、アップランドの居住地域化、地域間格差拡大）

履修上の留意点

1回ごとの読み切りではないので、出来るだけ連続して授業を聞いて欲しい。

成績評価の方法

平均点と夏休み中のレポートおよび期末試験

教 科 書

授業中に指示する。

参 考 書 等

授業中に指示する。

そ の 他

講義が中心となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 生 態 学	なが 中 俣 また 均 ひとし	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

「文化」ということばと「生態」ということばとは、どうして結びつくのだろうか。しかもそれが、地理学の一分野として、あるいは少なくともこのように地理学科の選択科目として、提供されるということは、どのような意味があるのだろうか。この講義では、そうした問題についてまず考えてみることから始めて、「文化」を地理学ではどのように把握すべきか、どのような見方がありうるのか、といった点について、わたしなりの整理をしてみたい。前期は、こうしたいわば概論的なことを、できるだけ具体的に講義し、後期にはいわば応用編として、わたしのフィールドである「沖縄」を対象にした各論を展開する。

履修上の留意点

うるさく出席をとる趣味はもたないので、教室には意欲のある学生だけが存在していると考えられる。よって、教室内における私語は、ぜひ慎まれない。

成績評価の方法

学期末および学年末の「試験」（形式については未定）による。

教 科 書

あえて指定はしない。毎回、プリント教材を配布し、それをもとに講義を進める。

参 考 書 等

- 一般的なものとして、下記をあげておくので、講義理解のための参考にされたい。
- ・高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）1995
- ・歴史教育者協議会編『知っておきたい沖縄』（青木書店）1998

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 地 誌	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、タイランドに焦点を合わせて東南アジア地誌を講じる。東南アジアのなかでのタイランドの特徴をとらえながら、タイランド国内の小地域研究の実例を学ぶ。地理学における外国地域研究のあり方、とくに地理学的方法的特徴である「複数の地域スケールによる地域理解」の意味を知ってほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

序章 東南アジア地誌研究の流れ

第1部 東南アジアの中のタイランド

第1章 自然景観と地域

1. 東南アジアの気候 1) 大気の大循環 2) モンスーン 3) ドライゾーン
2. 東南アジアの地形 1) プレート運動 2) 地塊と山脈・島弧 3) 河川と海岸
3. タイランドの自然地域 1) 季節と暦 2) チャオプラヤ川流域の自然  
3) メコン川流域の自然 4) マレー半島部の自然

第2章 人々の生活様式

1. 東南アジアの農耕 1) 森林と耕地 2) 農耕文化 3) 農業的土地利用
2. 東南アジアの稲作 1) 稲作の拡大 2) 伝統的農村 3) 稲作技術の改良
3. 東南アジアの諸民族 1) 言語から見た民族 2) 民族と宗教 3) 華人とインド人
4. タイランドの諸民族 1) タイ族の分布 2) タイ族とタイランド 3) 少数民族

第3章 都市の文化景観

1. 東南アジアの伝統都市 1) インドの影響 2) イスラムの伝播 3) 中国との関係
2. 東南アジアの近代都市 1) 貿易拠点の形成 2) 植民地都市の建設
3. 東南アジアの巨大都市 1) 都市問題の深刻化 2) 工業化の胎動 3) 巨大都市化
4. タイランドの都市景観 1) 古代都市と王都 2) バンコクの建設と発展  
3) 都市システムの変動 4) タイランドの国内地域区分

第2部 タイランドの諸地域

第4章 タイランドの5つの地域

1. バンコク 1) 運河と集落 2) 都心と郊外の拡大 3) バンコク郊外
2. 首都圏周辺 1) 中部地方北部の平原 2) 東部地域 3) 西部地域
3. 北部地方 1) 山地と盆地 2) ランナータイの文化 3) 北部地方の農村
4. 東北地方 1) 氾濫原と台地 2) タイラーオの文化 3) 東北地方の農村
5. 南部地方 1) 丘陵と海岸 2) マレー文化の影響 3) リゾート地の変貌

第5章 周辺諸国との関係

1. ラオス 2. カンボジア 3. ミャンマー 4. マレーシア

成績評価の方法

夏休み前の試験またはレポートと、学年末のレポートを50%ずつで評価する。

教 科 書

資料を授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ地誌	す 須 <sup>やま</sup> 山 <sup>さとし</sup> 聡	地理2・3・4選	4

講義のねらい

ラテンアメリカ地誌について講義する。とくにブラジル植民の拠点となったブラジル北東部(ノルデステ)については詳細に講義する。またラテンアメリカ地域に限らず、日系人の出稼ぎなど我々の身近なテーマについても言及する予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ラテンアメリカの地理的位置
2. 自然環境
3. 国家と国民
4. 歴史的背景
5. 産業基盤
6. 都市と農村
7. ノルデステの風土
8. ノルデステの伝統的農牧業
9. ノルデステの近代化
10. ラテンアメリカの巨大都市
11. ラテンアメリカの日系移民
12. 日系人の「再移民」

また、都合により本年度は後期に開講できないので、後期分の授業を夏休みに集中講義として消化する。

履修上の留意点

地図帳を必ず持参されたい。

成績評価の方法

学年末試験(60%)、出席状況(40%)で判定。

教科書

斎藤ほか編著『ノルデステ』(大明堂)1999  
その他適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨ ー ロ ッ パ 地 誌	さくら い あき ひさ 桜 井 明 久	地理2・3・4選	4

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの地域的問題を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考え、その後、中核部としての北西ヨーロッパについて、特にその農業の発達、地域性、近年の農村・農業の状況を、日本のそれと対比しながら考えていきたい。

履修上の留意点

出来る限り、毎授業の最後に疑問や質問をミニ教場レポートに書いてもらい、次時にはその学生の疑問や質問を取り上げるつもりであるので、授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート50点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教 科 書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』（大明堂）5,160円

参 考 書 等

桜井明久『西ドイツの農業と農村』（古今書院）4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理 学	なま い ざわ すすむ 生 井 沢 進	地理2・3・4選	4

講義のねらい

経済地理学の対象は都市・交通・産業（農業、工業、商業）・貿易等多方面に渡ると同時に、これらの経済活動の立地的側面（立地論等）について考察する学問分野である。

本講義ではこのうち特に都市経済活動の中心である商業活動（卸売業・小売業）に焦点を当て、流通構造の変化と都市構造の変化との関連についての分析を行ってゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 流通機能と流通機構
2. 生産・流通構造の変化のパターンと方向
3. 都市構造と流通構造
4. 消費者行動と小売構造の変化
5. 情報化の進展と流通構造の変化の方向を中心とする。

講義においてはなるべく新しいデータと最近の話題（ニュース）を用い、現在進行中の「価格革命」の意味と都市の変化との関連をわかりやすく説明してゆくつもりである。

成績評価の方法

- ① 夏期休暇中に各自調査を行い、レポートを作成・提出（テーマは講義中に与える）。これを約50%の評価にする。
- ② 定期試験結果を約50%の評価にする。

参 考 書 等

講義の最中にその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 地 理 学 特 講	す 須 <sup>やま</sup> 山 <sup>さとし</sup> 聡	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

経済地理学の基本的な概念を理解した上で、日本の在来工業・地場産業地域を対象に、その発展・変容、日本経済に占める役割、今後の展望について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の予定で講義を進める。

1. 経済地理学の目的と方法
2. 経済地理学の基本的概念
3. 日本の在来工業地域の概観
4. 徒弟制による熟練形成と労働市場
5. 在来工業地域の形成
6. 在来工業地域の発展と変容
7. 近代工業と在来工業の競合・共存
8. 大都市の在来工業（西陣織・江戸木目込人形）
9. 地方都市の在来工業（輪島塗・井波彫刻）
10. 農村地域の在来工業（結城紬）

また、都合により本年度は後期に開講できないので、後期分の授業を夏休みに集中講義として消化する。

成績評価の方法

出席状況（40%）と試験（60%）を規準とする。

教 科 書

とくに定めず、適宜資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
村 落 地 理 学	ふじ 藤 <sup>しま</sup> 島 <sup>のり</sup> 範 <sup>たか</sup> 孝	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

村落は歴史的伝統の上に成立する居住形態であると同時に農業の生産を主とする生産構造に依存した後進地域的性格をもつとされているが、実は人間が自然に適応し生活する原型と考えている。

特に村落形成の要因に社会的、経済的、民族的、歴史的過程を重視することが等閑視されている。熱帯の村落、砂漠の村落、高地の村落など実例をあげて事例研究を重視する。

講義の内容・  
授業スケジュール

アジア各地殊に中国に於ける遊牧民族や客家や少数民族の村落形態、回教村落など紹介したい。実例を挙げ日本の村落究明の実情と比較したいと考えている。

履修上の留意点

家族、婚姻、儀礼、集団秩序、家夫長関係といったアジア特有の人間関係の重層について関心を要望する。

成績評価の方法

実例に関して括め、自から人間関係の原点を追求して貰う報告をして貰う。

教 科 書

「村落社会地理」及び「集落地理」関係の読書を望む。特定の教科書指定せず。

参 考 書 等

参考書として東南アジア学「東南アジアの社会」「東南アジアの文化」等の講座（弘文堂・全十巻）の一読をすすめる。又、参考として引用する。

そ の 他

講義中心。プリントに作図することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	し みず ちょう せい 清 水 長 正	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部に力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教 科 書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参 考 書 等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

そ の 他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地形学実習（前期）	し みず ちょう せい 清 水 長 正	地理 2・3・4 選	1

講義のねらい

本実習は、地形学・地質学・第四紀学などで学習する地形および第四紀地質の調査方法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

地形調査の主な技術として、空中写真判読、現地調査、レポートの作成の3項目に重点を置く。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握をベースとし、各種地形の相互関係から地形発達をある程度推定できるまでの技術の向上を目指す。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2～3回程度行い、現地における地形形態の実測および地形を構成する物質（とくに第四紀地質）の露頭調査など、各種器材の使用法を含めた実習を行う。レポートの作成では以上の実習内容をレポートにまとめ、地形の記載の仕方について会得してもらう。

履修上の留意点

地形学、地質学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、事前または同時に履修してもらいたい。また、空中写真実体視はマスターしていることが望ましい。

成績評価の方法

読図・空中写真判読成果および巡検のレポートなどにより評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

参考書は実習中に指示する。

そ の 他

空中写真はカラーコピーを使用するので、代金（700～800円程度）がかかる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 地 理 学	みやぐちとしみち 宮 口 侗 迪	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

人間集団がその基本的な活動の積み重ねにより社会空間を形成していく過程の研究が社会地理学であるという認識のもとに、主として日本の農山村社会の動向を論じる。

講義の内容・授業スケジュール

日本各地にどのような地域社会（空間）がつくられてきたかを、スライド等を用いながら説明した後、外国と対比しながら、その発展の方向も論じたい。

成績評価の方法

ある程度以上の出席を前提に、学年末に試験を行い、評価する。

教 科 書

宮口著『地域を活かす』（大明堂） 2,800円を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 地 理 学	つちたにとしはる 土 谷 敏 治	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

現代社会において、1 地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っていると見えよう。本講義では、現実の交通現象や交通政策に加えて、これらの相互作用を含めた地域間の結びつきについても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 航空交通の特色と都市間結合関係
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 公共交通の課題

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期と後期それぞれの最終回の授業時間に試験を実施、その総合得点（すなわち、2回の試験の合計点）で成績を評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』（大明堂）  
奥井正俊『自動車交通の地域分析』（大明堂）  
奥野隆史『交通と地域』（大明堂）

そ の 他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読	き とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

この講義では、開発地理学（開発途上国の地理）の英語の教科書を読み、開発途上国の問題について理解を深めると同時に、地理学でよく用いられる英文に親しむ。なるべく多く読み、地図や統計も参照しながら、語彙や英語表現力の幅を広げたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、開発地理学に関する113のトピックからなる。それぞれのトピックは地図などを含み、A4で2～3頁程度の量である。参加者は、隔回に1度程度、関心のあるトピックを選んで全訳の文章を作成し、発表する。授業ではそれに解説を加えながら進める。

履修上の留意点

授業では発表者以外も英和辞典を持ってくること。電子辞書は薦めない。専門用語は、普通の英和辞典に載っていないものもあるので、その場合は地理学辞典などを調べる必要も出てくる。

成績評価の方法

成績は出席と参加の積極性で評価する。

教 科 書

テキストは、希望部分のコピーを配布する。出所は下記のとおり。  
Tim Unwin, ed. 1994. *Atlas of World Development*. Chichester : John Wiley & Sons.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
気 候 学	なかむらかずお 中村和郎	地理2・3・4選	4

講義のねらい

日本および世界各地の気候現象と人間生活との関係などの具体的事例を通して、気候現象のメカニズムを学び、気候学の基本的な諸概念を理解する。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 気候学と地理学
2. 大気組成とエネルギー収支
3. 雲と風の地理学 気象衛星画像
4. 気団と前線 高気圧と低気圧
5. 大気大循環
6. 気候分類と気候区分
7. 世界の気候と日本の気候
8. 季節学
9. 気候変動と気候変化
10. 気候と人間生活

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らないので注意。

成績評価の方法

小テスト、前期のレポートおよび年度末の試験によって評価する。

教 科 書

特定の教科書は用いない。

参 考 書 等

気象衛星センター監修『ひまわりで見る四季の気象』（大蔵省印刷局）  
住 明正『地球の気候はどう決まるか？』（岩波書店）  
中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）  
中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）  
吉野正敏『気候学』（大明堂）  
吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

そ の 他

OHP などを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
気候学実習(後期)	なかむらかずお 中村和郎	地理2・3・4選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確実なものとすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 気象観測
2. 気象統計・作物統計などの扱い方(各種統計値の計算、統計グラフの作成など)
3. 統計地図の作成
4. 天気図の作成
5. 断熱図の作成

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。自分で工夫して調べなければならない課題を出すことが多いので注意。

成績評価の方法

出席と課題の提出によって評価する。

教科書

とくに用いない。

参考書等

その都度提示する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
都市地理学	はし 橋 づめ 直 なお みち 道	地理2・3・4選	4

講義のねらい

財の生産・交換の場としてだけではなく、情報の交換や文化の創造空間としてヒトを吸収しながら拡大し変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①都市の概念、②都市の発達(都市化、都市域・都市圏)、③都市機能と都市の分類(ハリス、ネルソン、石水、多変量解析による分類)、④都市のシステム(順位規模の法則、中心地理論、日本の都市システムとその変化)、⑤大都市圏の構造(通勤・通学圏、地価構造)、⑥都市の内部構造(古典的モデル、因子生態モデル)、⑦都心とその機能(CBDの形成、垂直的・水平的機能分化)、⑧都市計画と都市環境(都市計画、生産緑地と公園緑地)、⑨都市空間の認知(パーソナルスペース、メンタルマップと居住地選好)、⑩都市住民の行動(居住地空間、時間地理学、生活時間と生活行動)。これらの項目について、最近の地理学的研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

出席状況(毎時間)や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)および学年末試験(1月)の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

とくに定めない。

参考書等

東京大学公開講座『都市』(東京大学出版会) 2,266円  
 高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林) 2,500円  
 石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院) 3,605円  
 高橋伸夫・谷内 達 編『日本の三大都市圏』(古今書院) 4,326円  
 高橋伸夫 編著『日本の生活空間』(古今書院) 3,800円  
 荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫 編訳『生活の空間 都市の時間』(古今書院) 3,000円  
 荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『都市の空間と時間』(古今書院) 3,090円

その他

講義は上記教科書と配布プリントを中心に(スライド・OHPも使用)、課題や小テストも実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	おお とも あつし 大 友 篤	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の主な内容を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要 2. 歴史地理学の資料 3. 村落 4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学 実 習 ( 後 期 )	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	地 理 2 ・ 3 ・ 4 選	1

講義のねらい	歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料（あるいは研究対象）として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。
履修上の留意点	旧漢字の知識があることが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。
教 科 書	山下和正『江戸時代古地図をめぐる』（NTT出版）1,650円
参 考 書 等	林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』（柏書房）2,524円
そ の 他	教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球物理学	やなぎ だ 柳 田 まこと 誠	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地理物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイソスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。現段階では定説がないのも多い。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

1. 地球の構造

地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性（粘性）について説明する。

2. プレートテクトニクス

地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。

3. 地震と火山

日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。

後期

4. 活断層とは何か？

内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。

5. 地球の年代

地球の年齢は？どうやって決まっているのか？月の年齢は？

6. 山はなぜ高いか？

山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか？高くしているのはなにか？なにかが山を削るのか？いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教科書

授業中に紹介する

その他

OHP やスライドを多く使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
土 壌 地 理 学	うるし ぼら かず こ 漆 原 和 子	地理2・3・4選	4

講義のねらい

種々の岩石が土壤生成作用を受けて熟成していく過程を説明し、次に世界と日本の気候と植生の差に対応して分布する土壤型とその分布様式について考える。土壤特性の差がどうして生じるのか、人々はその特性をどのように利用してきたのかについて説明する。さらに人間活動が関与して変化した土壤特性や開発上の問題点についてもふれる。基礎知識として、地形学、気候学を履修していることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は基礎を、後期は分布様式と人間活動について講義する。

履修上の留意点

教科書以外の教材も多用するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は出席と試験によっておこなう。

教 科 書

ブリッジズ著『世界の土壤』（古今書院）3,800円

そ の 他

スライドを用い、プリントを配布する。土壤のサンプル、岩石のサンプルにふれ、分類する機会をつくる。講義が主体。



科目名	担当者名	配当学科	単位
生物地理学	し清水よしかず みず善和	地理2・3・4選	4

### 講義のねらい

現在、地球上には1000万種を超える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種のだどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地球の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第1章 生物地理学の基礎

- (1) 「生物地理学」とは？
- (2) 生物の分布と移動
- (3) 進化とメカニズム
- (4) 生態系とニッチ

#### 第2章 分類体系

- (1) 分類体系と学名
- (2) 生物五界説
- (3) 種の定義と属性
- (4) 分類の方法

#### 第3章 区系生物地理学

- (1) 分布パターンと地理区
- (2) 世界の生物地理区
- (3) 日本の生物地理学
- (4) 分布境界線と移行帯

#### 第4章 生態地理学

- (1) 気候帯とケッペンの気候図
- (2) 植生と雨量指数
- (3) 世界の植生帯
- (4) 日本の植生帯
- (5) 植物群落体系と植生図

#### 第5章 過去をさぐる方法

- (1) 化石と地質年代表
- (2) 花粉分析
- (3) 年輪解析
- (4) 放射能の半減期
- (5) 地磁気の逆転
- (6) 南極の氷柱
- (7) 分子時計
- (8) 全地球史解読

#### 第6章 絶滅

- (1) 絶滅のあり方
- (2) 大量絶滅
- (3) 大型哺乳類の絶滅
- (4) 人為による絶滅

#### 第7章 大陸移動と生物分布

- (1) プレートテクトニクスと  
プリュームテクトニクス
- (2) ゴンドワナ起源の生物
- (3) 南北米大陸の交流
- (4) ヒマラヤ造山
- (5) 海産生物のルーツ

#### 第8章 氷河期と生物分布

- (1) 氷期の気候変動
- (2) 後氷期の生物移動
- (3) 海面変動と生物分布

#### 第9章 大洋島の生物

- (1) 大洋島と大陸島
- (2) 長距離散布と定着
- (3) 動的平衡モデル
- (4) 適応放散的種分化
- (5) 島症候群
- (6) 島大陸と古代湖

#### 第10章 帰化生物

- (1) 人為的な生物の移動
- (2) 代表的な帰化生物
- (3) 帰化生物の影響
- (4) 家畜の野生化

### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

### 教科書

特に用いない。

### 参考書等

適宜紹介する。

### その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 地 理 学	はや 船 元 峰 早 船 元 峰	地理 2・3・4 選	4

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・水利用を通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 北海道富良野市・美瑛町の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止）について
- 多摩川上流域や祖谷川流域の傾斜地における日本古来の伝統農法と環境保全について
- 畑作の卓越している群馬県大間々扇状地と水田の卓越している富山県黒部川扇状地における土地利用と水利用などについて

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テストなどによる平常点。

参 考 書 等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）  
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、一昨年度は、日本地理思想史の講義をしたので、本年度は世界地理思想史の講義をする。ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的实践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があつて、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global, concerns をめぐって、どのような関係にあつたかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがつて、地理思想史の構造について話をして、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを何回か行う。

成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』(大明堂) 2,500円

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。

- 手塚章 (訳編) 『地理学の古典』(古今書院)
- 西川治 (編) 『地理学総論』(総観地理学講座1) (朝倉書店)
- 水津一郎 『近代地理学の開拓者たち』(地人書房)
- 野沢秀樹 『フランス地理学の群像』(地人書房)
- 飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』(日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)
- 野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』(地人書房)
- 竹内啓一 『とぼろうぐ』(古今書院)
- 織田武雄 『古地図の世界』(講談社)
- 織田武雄 『地図の歴史』(講談社)
- 長澤和俊 『世界探検史』(白水社)
- スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』(原書房)
- 増田義郎 『大航海時代』(世界の歴史13) (講談社)
- ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代までにいたる地図製作の偉大な物語』(河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。  
*Modern Japanese Geography: An Intellectual History*. Kokon-Shoin

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計 量 地 理 学	つち たい とし ばる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 相関・回帰分析
5. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要があるが、方法については授業時に指示する。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。  
後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。  
成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）  
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計量地理学実習 (前期)	つち 谷 とし ほる 土 谷 敏 治	地理2・3・4選	1

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. 統計地図作成方法
7. 数値地図の利用

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成ができない学生を対象としている。Microsoft Excel を十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回日の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

地  
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
測 量 学	こ い け か ず の 小 池 一 之	地理2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を決定する技術を研究する実学性の強い学問分野である。それぞれの点の間の距離や高度差（比高）、および、それらの点を結ぶ線の方位を測定することが測量の基本である。本講義では測量学の基本を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地球の姿、2. 誤差論、3. 角測定法、4. 距離測定法、5. 水準測量、6. 多角測量、7. 地形測量、8. 写真測量、9. 写真判読法  
の順で各項目に2～3時限をあてる予定である。それぞれの項目の講義終了後に実習をおこなうが課題を義務付ける。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得（国家試験免除）のための必修科目である。したがって、成績評価は厳しい。また高校の数学（とくに三角関数、対数の基礎）を十分に復習しておくこと。ちなみに測量士補の国家試験の合格率は例年15%前後である。

成績評価の方法

成績の評価は、期限内に提出された課題を基礎点として学年末試験の点数を加えた総合点で評価する。課題の提出不足や不提出者は試験の点数が満点に近い場合のみ単位が与えられる。

教 科 書

小田部和司『図解土木講座：測量学（第二版）』（技報堂出版） 3,200円＋税

参 考 書 等

測量士補受験用図解テキスト1～4（今井佐一監修1. 測量の基礎知識、2. 水準・地形・応用測量、3. 三角・多角測量、4. 写真測量・地図編集）（市ヶ谷出版社）各2,000円

そ の 他

授業の中心は講義形式であるが、年間数回の課題実習を行う。3年次に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リモートセンシング	佐 藤 哲 夫	地理2・3・4選	4

講義のねらい

この科目では、環境や資源の調査に利用されているリモートセンシング（空中写真の利用を含む）の初歩を学ぶ。応用的な性格の強い分野なので、関係する技術の全てを、根本的な原理から積み上げて理解するのは大変困難である。したがって、実習を通じて、リモートセンシングの可能性について知ることに重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 リモートセンシング入門  | 11 簡易画像処理ソフトの利用  |
| 2 空中写真の利用      | 12 画像の表示と分析      |
| 3 空中写真の判読      | 13 フィルタリング       |
| 4 空中写真の計測      | 14 画像間演算         |
| 5 空中写真の実体視     | 15 シングルセル分類      |
| 6 空中写真測量       | 16 最短距離法による分類    |
| 7 リモートセンシングの原理 | 17 幾何補正（座標変換）    |
| 8 衛星画像データの特徴   | 18 幾何補正（リサンプリング） |
| 9 衛星画像の目視判読    | 19 土地被覆分類図の作成    |
| 10 デジタル画像処理の基礎 | 20 リモートセンシングの応用  |

履修上の留意点

ウィンドウズ PC による実習を行うので、ウィンドウズの操作ができることが受講の前提となる。自宅でウィンドウズを利用できない場合は、総合情報センターの利用登録をすること。地図の読図・作図作業や数字の嫌いな人には向いていない。また、これまでの例によれば、フィールドワークの経験に乏しい二年生での学習も難しいようである。

成績評価の方法

空中写真判読のレポート、空中写真測量の練習問題、衛星画像判読のレポート、土地被覆分類図作成のレポートを各20%、そのほかに実習の過程で課す小課題を総合して、100%の評価とする。

教 科 書

空中写真の判読と計測に関する参考資料は配布する。衛星リモートセンシングに関しては、下記を教科書として指定するほか、資料と教材（FD）を配布する。教科書は上記の授業スケジュールにあわせて、ランダムに参照する。  
長谷川 均 『リモートセンシングデータ解析の基礎』（古今書院）3,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化地理学	小 田 匡 保	地理2・3・4選	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市  
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	すずき たけひこ 鈴 木 毅 彦	地理3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末と後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

そ の 他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

地  
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応 用 地 理 学	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	地理3・4選	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とののかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から考える。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参考書等

高橋裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
地域計画論	この野のしゅうへい 今野修平	地理3・4選	4

## 講義のねらい

地理学の研究対象である地域は、自然、歴史等の基礎条件の下、市場原理に基づく資本の動向と、社会的意志決断による政策選択により大きく影響を受け、日々新たになりつつ未来へ向けて人々の努力が続けられている。

本論は社会的意志決断による政策選択を主として取上げ、これが地域形成にもたらした影響とこの政策の在り方を考えることを講義のねらいとしている。地理学にとって Sein の科学から Sol-len の科学への道を切り拓こうとするものでもある。

戦後体制の中で体系化している準拠法、行政体系、政策の沿革等を認識した上で、体系上の基本計画となる全国総合開発計画を詳細に取上げ、現在審議中の次なる全国総合開発計画にも触れる。学習の一環として実地に則した学習の一つとして、夏休みには「ふるさとの未来像」と取組むこととしている。

## 履修上の留意点

本講義の関連科学として最も密接な領域は経済政策、交通計画、都市学、環境生態学等多岐に亘るため、幅広い学習が求められると共に、これを克服していく熱い情熱と意欲が求められる。

## 成績評価の方法

成績の評価は、夏休みに取組む「ふるさとの未来像」の取組みと、年度末試験によるが、途中何回かの小論文テストとレポートがあり、重要事項の復習と思考力および論文作成能力向上のトレーニングを行う。

## 教科書

とりあえず『第4次全国総合開発計画』（国土庁刊）を使用するが、国における政策の進展状況によっては、新しい刊行物を追加利用する。またコピーや OHP での資料配布等も随時行なう。

## 参考書等

参考図書等は講義中紹介する。

## その他

地域を地域住民の手で自らつくり上げていく上で、取組むべき姿勢、不可欠な視点、基礎認識として必要な学識、計画策定への思考方法の最も基本的領域に取組み、地域づくりの主人公としての市民が持つべき責務を痛感させられる講義にしたいと念じている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 情 報 論	むら やま ゆう じ 村 山 祐 司	地理3・4選	4

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献）
2. 地理情報の収集方法（統計データ）
3. 地域分析に有用な統計パッケージ
4. 地理情報と空間分析
5. 多変量解析
6. 地理情報システム GIS とは
7. GIS のハードウェア
8. GIS の発展史
9. GIS のデータ構造
10. アナログ地図とデジタル地図
11. ラスタデータとベクターデータ
12. 社会モニタリング
13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング）
14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション）
15. GIS の社会的応用（環境問題・防災）
16. GIS の社会的応用（行政・民間）
17. インターネットによる GIS・地理情報の入手
18. インターネット GIS
19. GIS の将来
20. 地理学と GIS（まとめ）

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教 科 書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編（1998）『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円

そ の 他

- 1) 駒澤大学「情報処理センター」において、GIS のデモを行う。
- 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 地 理 学 特 論	は せ が わ 長 谷 川 均	地 理 3 ・ 4 選	4

地  
理

講義のねらい	新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつき込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。
講義の内容・授業スケジュール	前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。 なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。
履修上の留意点	講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。
成績評価の方法	2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。
教科書	使用しない。毎回プリントを配布する。
参考書等	シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。
その他	VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講 I (後 期)	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地理3・4選	2

講義のねらい

今日の都市が抱える諸問題について「都市計画と生活環境の整備」という観点から考える。ここでは特に、都市生活者のための社会資本整備を進める上で重要な手続きである都市計画や都市生活者のための環境整備手法とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

講義(半期)内容は、次の項目を予定している。①都市計画と地理学、②都市計画の歴史、③市街地の整備(区画整理事業と市街地再開発事業)、④都市のアメニティ(都市公園の整備)、⑤都市のアメニティ(都市緑地の保全)、⑥都市と農業(生産緑地と都市計画)、⑦都市マスと緑マス及び景観条例、⑧エコシティとガーデンシティ、⑨市民参加型まちづくり、これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を修得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加態度も重視する。

成績評価の方法

授業期間中のレポート課題や定期試験(1月)の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』(岩波新書)580円  
石田頼房『都市計画と都市生活』(自治体研究社)700円  
山田学ほか編『現代都市計画辞典』(彰国社)4,280円  
西村幸夫『町並みまちづくり物語』(古今書院)2,266円  
千歳壽一『都市整備入門』(古今書院)2,060円  
アーバンフリンジ研究会編『都市近郊土地利用辞典』3,900円  
その他の参考書は授業で紹介する。

そ の 他

講義は参考書と配布プリントを中心に行い(スライド・OHPも使用する)。課題や小テストも実施予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講 II (前 期)	なま い ざわ すずも 生 井 沢 進	地理3・4選	2

講義のねらい

地理学の応用部門の一つとして、「地域開発」、「地域振興」の分野が存在している。ところが、この分野は経済学を始めとして様々の分野の研究対象となっており、決して地理学からのアプローチのみに限定されているわけではない。

本講義では、この「地域振興」に関する地理学的アプローチの特徴を明確にするために、他分野からのアプローチ、特にマーケティング的アプローチとの比較を中心として展開してゆく。講義においては事例の紹介とその解説を中心としてしてゆくことを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は特に指定しないが、『地域のマーケティング』(R コトラ、井関・前田他訳、東洋経済新報社)を参考として、これに収録されている事例の解説を中心としてゆく。

成績評価の方法

出席点、レポート内容を重視して成績を評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅲ	おきの 沖野 行男	地理3・4選	4

講義のねらい

観光産業の中核である「旅行業」及び関連産業である「運送業」「宿泊業」「娯楽施設業」には共通する旅行業務の取扱責任者としての運輸省管轄の「旅行業務取扱主任者国家資格」があり、文学部地理学科の学生諸氏の専門科目の実際応用を図る上での本資格試験受験・合格を目指すことが本講座の設置目標であり、その学生諸氏への補助的講座としての位置付けには変更がない。

講義の内容・授業スケジュール

- 受験科目は：1) 法及びこれに基づく命令についての知識（旅行業法令）  
 2) 旅行業約款、運送約款及び宿泊約款に関する知識（旅行業関連約款）  
 3) 国内旅行実務（国内運賃料金・国内観光地理・国内旅行業務）  
 4) 海外旅行実務（国際運賃料金・海外観光地理・観光英語・出入国法令／手続・海外旅行業務）

の四科目であるが、これは一般主任者に必須で国内主任者は1) 2) 3) の三科目である。毎年一回の試験は国内が9月に、一般は10月に実施される。従って夏期を含めて前半（前期）に受験対策講義が集中するので、週1回の講義では全ての受験科目内容をカバーすることには制約がある。年間設置課程であるが前期では共通受験科目である「旅行業法令」と「旅行業関連約款（標準旅行業約款）」にのみ講義の焦点を絞り込む。

試験事務代行機関が国内では全旅協（ANTA）、一般では日旅協（JATA）と異なるので共通科目であっても出題傾向と内容に差異があるので、傾向・対策につき必要に応じてプリント配布を行い業界全体像とともに解説を展開する。

一年課程設置の場合の後期では一般の受験科目である「海外旅行実務」科目のうち「旅程管理業務（添乗業務）」を軸として〔海外旅行業務〕と〔C（税関）・I（出入国管理）・Q（検疫）法令と手続〕について必要知識と実際に関し講義を展開し、プリントを配布する。

履修上の留意点

本講座は国家資格の受験・合格が設置目標であるから、他の受験科目である観光英語・国内／国際運賃・料金・国内／海外観光地理については「その傾向と対策」の解説に止め、詳細については学生の自主的勉強に委ねる。

成績評価の方法

出席状況及び前期／後期に提示課題についてのレポート提出により単位付与並びに成績評価をする。

教科書

『一般・国内旅行試験の合格点』2000年旅行試験シリーズ1（自由国民社）3,300円

参考書等

社団法人 日本旅行業協会 刊行 指定講習会用 分冊教科書  
 旅程管理研修用 分冊教科書  
 社団法人 全国旅行業協会 刊行 国内旅行業務マニュアル  
 小池洋一・足羽洋保著『観光学概論』（ミネルヴァ書房）2,500円  
 水野潤一著『観光学原論』（東海大学出版会）2,100円  
 学生諸氏が専門学校・通信教育などで「旅行業務取扱主任者試験」講座を受講している場合には各種教科書・資料等を授業に持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅳ	たけうち けいいち 竹内啓一	地理3・4選	4

#### 講義のねらい

現代の経済地理学の体系を、英語圏で最も多く用いられている概説書の日本語訳を教科書にして講義する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教科書は上下に分かれていて、上巻は古典的な経済立地論で、経済地理学を展望した序論の後、以下の6章からなっている。この部分を4月から10月までの間に勉強する。

- 1 経済活動の空間的組織：単純化されたモデル
  - 2 異質的地表面
  - 3 輸送と経済活動の空間組織：経路、ネットワーク、輸送費
  - 4 生産費の空間的差異
  - 5 需要、規模、および集積
  - 6 時空間の次元：累積的経済発展
- 11月以降勉強する下巻は、以下の4章からなっている。
- 7 現代のビジネス世界：その経済構造、企業組織、競争過程
  - 8 大企業組織の戦略行動：地理学的展望
  - 9 マルクスの社会・経済理論による立地研究
  - 10 社会関係と生産の地理学

#### 履修上の留意点

教科書をよく読み、またすでに履修した部分をよく理解していないと講義の内容がまったく理解できなくなるので、丁寧に復習すること。この点をチェックするため、何回か予告なしに小テストを行う。

この教科書は経済地理学の体系的な提示としては非常によくできているが、日本語訳には誤訳等、いくつか問題があり、この点は講義の中で指摘する。また、巻末に掲げられている参考文献には、日本語訳があるものがかなりあるが、これもこの日本語訳では示されていないので、講義の中でそれぞれ指摘する。

この教科書は若干値がはるので、もとをとるつもりでしっかり勉強して、内容をマスターしてほしい。

#### 成績評価の方法

上記授業時間中の小テストの成績(40点)と、学年末の試験(60点)による。小テストはノート、教科書等、参照するものは一切自由であるが、学年末試験は持ち込み一切不可で実施する。

#### 教科書

ピーター・ディッケン、ピーター・E・ロイド著、伊藤喜栄監訳『立地と空間：経済地理学の基礎理論』上・下(古今書院)1996年 各3,200円

#### 参考書等

参考文献はこの教科書にたくさん示されており、いくつかの日本語訳については、講義の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講 V	なかむらかずお 中村和郎	地理3・4選	4

講義のねらい

気候学の基礎を学んだ後に、地理学専攻の学生として、さらに進んで世界各地の気候について学びたいという学生が増えてきた。残念なことに日本語で書かれた世界気候誌の本が少ないので、もっぱら英語の書物を使って講義をする。自然地理学関係の英語を読む力をつけることもねらいとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 熱帯地方の気候  
アフリカ  
東南アジア
2. 温帯・寒帯地方の気候  
東アジア  
北アメリカ東岸  
ニュージーランド

履修上の留意点

気候学を履修していること。  
英語の専門書を読む意欲を持っていること。  
予習をしてくること。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。

参考書等

G. T. Trewartha *The Earth's Problem Climates.*  
K. Boucher *Global Climate.*

# 1. 專門教育科目

## (4) 歷史學科





# 1. 専門教育科目

## (4) 歴史学 科

基礎歴史学〈中村 淳〉	181
基礎歴史学〈松本 信道〉	181
基礎歴史学〈中野 達哉〉	182
史学概論〈伏島 正義〉	182
日本史概説Ⅰ(古代・中世)〈松本 信道〉	183
日本史概説Ⅱ(近世・近代)〈佐藤 元英〉	183
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)〈中村 淳〉	184
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)〈渡部 惇〉	184
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)〈伏島 正義〉	185
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)〈青木 道彦〉	186
考古学概説Ⅰ(日本)〈酒井 清治〉	187
考古学概説Ⅱ(外国)〈飯島 武次〉	187
日本史史料講読Ⅰ〈瀧 音能之〉	188
[平成9年度以前入学生：日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅱ〈久保田 昌希〉	189
[平成9年度以前入学生：日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅲ〈廣瀬 良弘〉	190
[平成9年度以前入学生：日本史史料講読]	
日本史史料講読Ⅳ〈小林 和幸〉	190
[平成9年度以前入学生：日本史史料講読]	
東洋史史料講読Ⅰ〈中村 淳〉	191
[平成9年度以前入学生：東洋史史料講読]	
東洋史史料講読Ⅱ〈渡辺 惇〉	191
[平成9年度以前入学生：東洋史史料講読]	
西洋史史料講読Ⅰ〈伏島 正義〉	192
[平成9年度以前入学生：西洋史史料講読]	
西洋史史料講読Ⅱ〈原 剛〉	193
[平成9年度以前入学生：西洋史史料講読]	
日本史学史〈葉貫 磨哉〉	194
東洋史学史〈中村 淳〉	194
西洋史学史〈亀長 洋子〉	195
考古学史〈小柳 美樹〉	195
考古学実習(写真)〈塚原 明生〉	196
考古学実習(測量)〈柳瀬 訓〉	197
考古学実習(石器)〈上敷 領久〉	197
考古学実習(土器)〈千葉 基次〉	198
考古学実習(情報)〈小柳 美樹〉	198
考古発掘実習〈飯島 武次・酒井 清治〉	199
演習Ⅰ〈久保田 昌希〉	199
演習Ⅰ〈小林 和幸〉	200
演習Ⅰ〈佐藤 元英〉	200
演習Ⅰ〈瀧 音能之〉	201
演習Ⅰ〈中野 達哉〉	201
演習Ⅰ〈葉貫 磨哉〉	202

演	習	I	〈廣 瀬 良 弘〉	.....	203
演	習	I	〈松 本 信 道〉	.....	204
演	習	I	〈中 村 淳 惇〉	.....	204
演	習	I	〈渡 辺 惇 惇〉	.....	205
演	習	I	〈伏 島 正 義 義〉	.....	205
演	習	I	〈飯 島 武 次 次〉	.....	206
演	習	I	〈酒 井 清 治 治〉	.....	206
演	習	II	〈久保田 昌 希 希〉	.....	207
演	習	II	〈小 林 和 幸 幸〉	.....	207
演	習	II	〈佐 藤 元 英 英〉	.....	208
演	習	II	〈瀧 音 能 之 之〉	.....	208
演	習	II	〈中 野 達 哉 哉〉	.....	209
演	習	II	〈葉 貫 磨 哉 哉〉	.....	209
演	習	II	〈廣 瀬 良 弘 弘〉	.....	210
演	習	II	〈松 本 信 道 道〉	.....	211
演	習	II	〈中 村 淳 惇 惇〉	.....	211
演	習	II	〈渡 辺 惇 惇 惇〉	.....	212
演	習	II	〈伏 島 正 義 義 義〉	.....	212
演	習	II	〈飯 島 武 次 次 次〉	.....	213
演	習	II	〈酒 井 清 治 治 治〉	.....	213
演	習	II	〈千 葉 基 次 次 次〉	.....	214
古	文 書	学	〈松本 信道・久保田 昌希・小林 和幸・廣瀬 良弘〉	...	215
古	文 書 講 読	I	〈長 塚 孝 孝〉	.....	216
古	文 書 講 読	II	〈中 野 達 哉 哉〉	.....	216
日 本	仏 教 史	I	〈 休 講 講 〉		
日 本	仏 教 史	II	〈遠 藤 廣 昭 昭〉	.....	217
日 本	仏 教 史	III	〈 休 講 講 〉		
西 洋	文 化 史	I	〈 休 講 講 〉		
西 洋	文 化 史	II	〈 休 講 講 〉		
日 本	文 化 史	I	〈 休 講 講 〉		
日 本	文 化 史	II	〈廣 瀬 良 弘 弘〉	.....	218
日 本	史 各 説	I	〈瀧 音 能 之 之〉	.....	219
日 本	史 各 説	II	〈久保田 昌 希 希〉	.....	219
日 本	史 各 説	III	〈中 野 達 哉 哉〉	.....	220
日 本	史 各 説	IV	〈小 林 和 幸 幸〉	.....	220
日 本 史 特 講	I (古 代)		〈松 本 信 道 道〉	.....	221
日 本 史 特 講	II (中 世)		〈尾 上 陽 介 介〉	.....	222
日 本 史 特 講	III (中 世)		〈廣 瀬 良 弘 弘〉	.....	223
日 本 史 特 講	III (中 世)		〈粟 野 俊 之 之〉	.....	224
日 本 史 特 講	IV (近 世)		〈宮 本 由 紀 子 子〉	.....	224
日 本 史 特 講	V (近 世)		〈小 高 昭 一 一〉	.....	225
日 本 史 特 講	VI (近 代)		〈小 林 和 幸 幸〉	.....	225
日 本 史 特 講	VII (近 代)		〈小 泉 雅 弘 弘〉	.....	226
東 洋 史 各 説	I (古 代)		〈小 林 惣 八 八〉	.....	226
東 洋 史 各 説	II (古 代)		〈 休 講 講 〉		
東 洋 史 各 説	III (中 世)		〈石 田 肇 肇〉	.....	227
東 洋 史 各 説	IV (中 世)		〈 休 講 講 〉		

東洋史各説Ⅴ (近 世) 〈 休 講 〉	
東洋史各説Ⅵ (近 世) 〈野 沢 佳 美〉	227
東洋史各説Ⅶ (近・現代) 〈趙 軍〉	228
東洋史各説Ⅷ (周 辺 史) 〈片 岡 一 忠〉	229
東洋史各説Ⅸ (周 辺 史) 〈奈 良 修 一〉	230
東洋史各説Ⅹ (周 辺 史) 〈松 本 弘〉	231
東洋史特講Ⅰ (古 代) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅱ (古 代) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅲ (古 代) 〈小 林 惣 八〉	232
東洋史特講Ⅳ (中 世) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅴ (中 世) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅵ (中 世) 〈石 田 肇〉	233
東洋史特講Ⅶ (近 世) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅷ (近 世) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅸ (近 世) 〈野 沢 佳 美〉	233
東洋史特講Ⅹ (近・現代) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅺ (近・現代) 〈趙 軍〉	234
東洋史特講Ⅻ (近・現代) 〈藤 谷 浩 悦〉	235
東洋史特講Ⅼ (周 辺 史) 〈 休 講 〉	
東洋史特講Ⅽ (周 辺 史) 〈奈 良 修 一〉	236
東洋史特講Ⅾ (周 辺 史) 〈片 岡 一 忠〉	237
西 洋 史 各 説 Ⅰ 〈 休 講 〉	
西 洋 史 各 説 Ⅱ 〈岩 本 裕 子〉	238
西 洋 史 各 説 Ⅲ 〈 休 講 〉	
西 洋 史 各 説 Ⅳ 〈 休 講 〉	
西 洋 史 特 講 Ⅰ 〈長 谷 川 岳 男〉	239
西 洋 史 特 講 Ⅱ 〈原 剛〉	240
西 洋 史 特 講 Ⅲ 〈 休 講 〉	
西 洋 史 特 講 Ⅳ 〈 休 講 〉	
西 洋 史 特 講 Ⅴ 〈 休 講 〉	
西 洋 各 国 史 Ⅰ 〈渡 辺 知〉	241
西 洋 各 国 史 Ⅱ 〈烏 越 泰 彦〉	241
西 洋 各 国 史 Ⅲ 〈中 田 潤〉	242
西 洋 各 国 史 Ⅳ 〈長 谷 川 岳 男〉	243
考 古 学 各 説 Ⅰ 〈酒 井 清 治〉	244
考 古 学 各 説 Ⅱ 〈 休 講 〉	
考 古 学 各 説 Ⅲ 〈設 楽 博 己〉	244
考 古 学 各 説 Ⅳ 〈 休 講 〉	
考 古 学 特 講 Ⅰ 〈高 浜 秀〉	245
考 古 学 特 講 Ⅱ 〈 休 講 〉	
考 古 学 特 講 Ⅲ 〈矢 野 和 之〉	246
考 古 学 特 講 Ⅳ 〈 休 講 〉	
西 域 美 術 史 〈松 平 美 和 子〉	247
哲 学 史 〈山 口 祐 弘〉	247
歴 史 哲 学 〈麻 生 建〉	248
仏 教 美 術 〈松 田 誠 一 郎〉	248
中 国 歴 史 文 学 〈南 雲 智〉	249

有	職	故	実	〈大	塚	英	子〉	.....	249
日	本	民	学	〈谷	口		貢〉	.....	250
美	術	史	説	〈矢	野	陽	子〉	.....	251
ラ	テ	ン	語	〈佐	藤	玖	美子〉	.....	251
ギ	リ	シ	語	〈長	谷	川	岳	男〉	252
歴	史	地	学	〈小	田	匡	保〉	.....	252
人	文	理	説	〈小	池	と	み子〉	.....	253
地	地	誌	学	〈川	元	豊	和〉	.....	253
地	誌		学	〈久	保	田	武〉	.....	254
地	誌		学	〈藤	島	範	孝〉	.....	254

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 歴 史 学	なか むら じゆん 中 村 淳	歴 史 1 必	4

講義のねらい

高等学校教育における日本史・世界史あるいは歴史小説などと、大学で学ぶ歴史学との間には、歴然としたそして大きな違いがある。そのことを理解してもらうことが、本講義最大の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

史料の扱い方、ものの見方・考え方など、歴史学という学問領域における研究方法について、具体的な事例を提示しながら講義する。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。また随時、レポート等を課す。

成績評価の方法

出席点にレポート等の結果を加味して、総合的に判断する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

授業中に随時、紹介する。

そ の 他

随時、ビデオなどを使用する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 歴 史 学	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	歴 史 1 必	4

講義のねらい

歴史を理解するための基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

歴史とは何か、歴史を学ぶ意味とは何か、歴史を研究する目的とは何か、などの歴史を研究する上での基本的な問題について講述し、また歴史認識と歴史観の変遷、歴史研究の方法論、史料批判の方法論などの具体的なテーマについてもアプローチしてみたい。

履修上の留意点

大学は受動的に教わる場ではなく、主体的に学習していく場であることを自覚して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで成績を評価したい。

教 科 書

必要に応じて資料を配布します。

参 考 書 等

浜林正夫・佐々木隆爾編『歴史学入門』（有斐閣）  
福井憲彦『新しい歴史学とは何か』（講談社学術文庫）

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎歴史学	なかのたつや 達哉	歴史1必	4

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、戦後歴史学、史料保存・利用運動、郷土史・地方史・地域史、史料とその研究方法など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
史学概論	ふせじままさよし 伏島正義	歴史2・3・4必	4

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当って必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 I ( 古 代 ・ 中 世 )	まつ 松 もと 本 のぶ 信 みち 道	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では、とくに飛鳥・奈良・平安時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通して概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の平均点で成績を評価する。

教 科 書

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館) 2,900円

参 考 書 等

青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会) 1,650円、笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)

そ の 他

授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説 II ( 近 世 ・ 近 代 )	さ 佐 とう 藤 もと 元 えい 英	歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	4

講義のねらい

幕末・近代における対外交渉史を概説する。時期区分によって歴史的発展段階の特徴を明確にすること、個々の対外交渉史上の事実に関し、歴史的な性格ならびに位置付けを確定する枠組をつくりあげていくことをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

徳川末期の対外関係・幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応・明治初年の領土問題・条約改正運動・日清日露戦争・日露戦後の日米対立・第一次大戦とシベリア出兵・ワシントン体制と幣原外交及び日中外交・満州事変と国際的孤立化・日中戦争・日米交渉・太平洋戦争などについて講義し、幕末維新期より近代の対外交渉の時期区分を試みる。

成績評価の方法

定期試験及び出席状況による。

参 考 書 等

佐藤元英『近代日本の外交と軍事——権益擁護と侵略の構造——』  
池井優『日本外交史概説』



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 概 説 I ( 古 代 ・ 中 世 )	なかむらじゆん 中 村 淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Iでは、広く近代以前のアジアの歴史を対象とする。従来、前近代の人類は、いくつかの孤立した文明圏もしくは歴史世界の中で、閉鎖的にそれぞれの歴史を歩んだかのように理解されてきた。しかしながらそこでは、それらの歴史世界の真ん中に位置する中央ユーラシアと、そこに展開した遊牧国家については、ほとんど顧みられることはなかった。本講では、彼ら遊牧民が果たした歴史的役割を素直に見つめながら、より客観的・俯瞰的に前近代アジア史をとらえ直してみたい。同時に、既存の歴史観や文献史料の記述に引きずられないための基礎訓練となることをねらっている。

講義の内容・  
授業スケジュール

地域は、時に西アジアやヨーロッパにまで及ぶが、とくにアジア東方が中心となる。匈奴と漢の対立・共存時代から順に、モンゴルが人類史上最大の版図を実現した13～14世紀（近年、この二世紀を「モンゴル時代」と呼ぶ）までを扱う予定である。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。

成績評価の方法

出席点に定期試験の結果を加味して、総合的に判断する。定期試験は論述形式で、授業内容を理解しているか、かつ、そのことが答案に示されているかを見る。

教科書・  
参考書等

教科書はとくに指定しない。授業中に随時、参考書を紹介する。

そ の 他

随時、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 概 説 II ( 近 世 ・ 近 代 )	わたなべあつし 渡 辺 淳	歴史1・2・3・4必(東洋史) 歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史概説Iが主に中国の古代、中世史（唐末まで）および近世の前半（宋・元）を対象とするのに対して、本講義IIは、それ以後の時代、近世の後半（明・清）、および近現代史について取扱う。本来、東洋史の概説であるからには、広く中国以外の諸地域についても言及すべきであるが、時間的にとても無理である。せいぜい中国の周辺地域に言及しうのみで、他の講義にゆだねざるを得ない。

講義の内容・  
授業スケジュール

概説Iとらず、IIのみをとる者もいると思うので、はじめに中国を中心とする東アジア史の特色を、(1)北方遊牧民族と中国農耕民族との対立抗争、交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展という2点を中心に概観する。

近世史は、(1)征服王朝による長期にわたる漢民族支配、(2)皇帝独裁による専制王朝体制の成熟といった点が特に顕著である。これらを中心に、とくに明・清時代の政治・外交、社会経済、文化等について、相互に関連させて講義する。

近現代史はとくに中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史といった傾向におち入りがちであるが、本講義では最近の傾向である社会史の観点にも留意していきたい。授業の中に随時、写真や絵画、ビデオなどを折り込んで、視覚を通じた理解をも深めていきたい。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

評価は定期試験に出席点を加味する。

教科書

参考書は沢山出てるゆえ、特に指定せず、授業の中でその都度言及する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史概説Ⅰ (古代・中世)	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。

講義の内容・授業スケジュール

西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義で通税を紹介し、特にその力点を史料の根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。

履修上の留意点

近代的所有形態の本質の1つは私的所有であるが、当該所有形態が具体的に、いつ、どのような過程において発生したのかについては必ずしも定説があるわけではない。本講ではこの点について、これまでの研究史および関連する諸史料をふまえ、各人が自身の答えを探求しようとする姿勢を必要とするものであり、必ずしも西洋史の知識をあらかじめ多く知っているかが前提となるものではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定めない。前期の講義開始の最初の授業で参考書を掲げ、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて参考書を指摘し、あるいは史料のプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 概 説 II ( 近 世 ・ 近 代 )	あ お き み ち ひ こ 青 木 道 彦	歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	4

講義のねらい

ヨーロッパ(特に西欧)中心に講義するが、中世までは必ずしも他の文化世界に対して、優位にたっていた西歐世界が、なぜ世界の近代工業化の先頭にあつて、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を理解させるための、一種の「ヨーロッパ論」を展開することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

この問題に関連をもつ範囲で、中世史にもふれ、以下のように授業を進めて行く。

1. ヨーロッパ文明史叙述の問題点
2. ビレンヌのヨーロッパ成立論
3. ヨーロッパ形成史の問題点 ④ヨーロッパ農業社会の変遷 ⑥西欧自治都市の成立 ⑦身分制議会と官僚制 ⑧十字軍時代から百年戦争期へ
4. ルネサンス、宗教改革、絶対王政と海外進出(西欧世界拡大期の問題点検討)
5. イギリス革命、17～18世紀の国際関係、植民地抗争(工業化開始の前提条件検討)
6. 産業革命、フランス革命などの市民革命、自由主義と国民主義、1848年の意義
7. 国家主義の台頭、帝国主義と第一次世界大戦、戦間期の動向

履修上の留意点

1. 出席してノートをとることが肝要。
2. 四年生を除き、現代史に関する読書課題を課す。

成績評価の方法

上記の読書課題と定期試験の成績によって、評価を決定する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

以下の三冊が適当と思われる。

- ① 衣笠茂ほか著『西洋史概説』(東京創元社)
- ② 祇園寺信彦編『西洋史要綱』(御茶の水書房)
- ③ 大下尚一ほか編『西洋の歴史(近現代編)』(ミネルヴァ書房)

\*特に購入の必要はない。図書館などで随時参照するとよいと思われる。

そ の 他

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅰ (日本)	さか い きよ じ 治 酒 井 清 治	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

定期試験で採点。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』(東大出版会)  
安森政雄『考古学キーワード』(有斐閣)  
江上波夫『考古学ゼミナール』(山川出版社)

そ の 他

OHP等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅱ (外国)	い い じ ま たけ づ 武 次 飯 島 武 次	歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	4

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』(山川出版社)1985年  
飯島武次『中国新石器文化研究』(山川出版社)1991年  
飯島武次『中国周文化考古学研究』(同成社)1998年

そ の 他

スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴 2 必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

奈良時代を対象として、関連する史料を『続日本紀』を中心に読みこんでいくつもりです。奈良時代はわずか70年あまりの短い期間ですが、そこには政治・経済・文化・外交といったさまざまなできごとが詰めこまれています。また、聖武天皇・藤原不比等といった権力者から「百姓」といわれた民衆にいたるまで多様な階層の姿を時代のうねりの中に見出すことができます。こうした姿を史料を通してみつめたいと思っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを使って毎回、ひとつずつテーマをとりあげて、それについて関連する史料をできるだけいねいに読みこんでいきます。

履修上の留意点

史料についての読解力もさることながら、何よりも意欲をもって参加することを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視してつけますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合的に評価します。

教 科 書

瀧音能之著『奈良時代の史料と社会』(岩田書院)

参 考 書 等

中村修也編『続日本紀の世界』(思文閣)

そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かは講義に関連したビデオなども使用したいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	くほ た ま ち き 久保田 昌 希	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

#### 講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるといつてよい。  
史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。  
また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。  
これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。  
本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきなのであろうが、もとより中世史料は膨大で、かつ時間的な制約もあり、その一端に止めざるをえない。なお史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

#### 履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそつて目を通そうとすることが大切だと思う。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

#### 教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

#### 参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史史料講読Ⅲ (10年度以降入学生)	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

いうまでもないことであるが、歴史を研究していく上では、史料を読解する力や、その背景にあるものを明らかにする分析力が求められる。本学科では3年次に演習Ⅰ、4年次に演習Ⅱを設け、史料を解読する力を養い、卒業論文の作成に備えているが、やはり、なるべく早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということから本講座が設けられている。近世史研究に必要な基礎的な史料を講読していくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

近世史料の特徴は、村や町で大量の文書が作成され、それが今も残されているということである。まして、幕府や藩は膨大な史料を残している。また朝廷・公家・寺社も同様である。商業や諸産業に関する史料も多い。

これらの史料の解読に基づく研究成果は豊富であるが、近年はそれに加えて、絵図や金石文(石碑や梵鐘の銘文など)、近世考古遺物・遺跡の研究、あるいは外国人が本国へ送った手紙なども訳されており、近世史像は、より豊かに形成されつつある。本講座では、①戦国大名の領国支配と産業の発達に関する史料、②統一政権成立期の史料、③江戸期の村や町の史料、④幕政や藩政史料、⑤商業や諸産業に関する資料などから活字化されているものを読み進めていく。史料保存機関等の、史料展示も随時紹介していく。

履修上の留意点

ともかく古い史料には、現代の私たちには想像もできないような面白いことが含まれている場合がある。期待を持って臨んでほしい。本学の図書館や町の図書館で「〇〇市史近世史料編」を開いてみるなど、自分の住んでいる所の歴史に興味をもつこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況。

教科書

随時、史料のコピーを配布する。

参考書等

『新編史料による日本の歩み(近世編)』(吉川弘文館) 3.914円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史史料講読Ⅳ (10年度以降入学生)	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史2選必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学び、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール

近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	なかむら じゅん 中村 淳	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

東洋史のみならず歴史を研究する際、史料を読解しあるいは論文を読むために修得しなければならない言語は数多い。本講では、その中でも最も基本的な英語で書かれた論文をとりあげる。同時に引用された論文(日本語・英語・現代中国語など)や史料(漢文中心)についても検証し、論文の読み方や漢文をはじめとする史料の扱い方の基礎を養いたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

何を読むかは、授業時に指示し、分担箇所・分担者を決める。担当者には、分担箇所の和訳を作成、引用された論文や史料などを調べ、レジュメを作成して報告してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるので、出席点・平常点を総合して評価する。

教科書

必要なテキストは、プリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	わたなべ あつし 渡辺 淳	歴史2選必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

中国史を学ぶ上で漢文および中国現代文を読解することは必須の条件である。本年度は、王成聖著『中国近代史要略』(台湾、天声出版社、1962)をとりあげてみたい。この本は文章が簡潔で読みやすく、入門書として適していると考ええる。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめはしばらく私が読み説明する形式をとるが、時期をみて、分担をきめて各自に読んでもらうようにしたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは購入不可能ゆえ、プリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	かせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会学科の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問かけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学ぶ場合もありうる。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教 科 書

特に定めない。必要な史料等はプリントして、配布する。

参 考 書 等

授業に合わせて、その都度指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	ほら 原 つよし 剛	歴史2選必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

講義のねらいは、救貧法に関する勅命調査委員会による1834年報告書が提出された当時の、イギリス社会の歴史的な背景を知ることである。国民生活の安全保障は、どの程度までが公共の責任で、どの程度までが個人の責任かについては、明確な部分もあるが、不明確な部分もある。とりわけ貧困問題については、どの程度まで自助努力によって解決されるべきかは、いまだに不明確である。1834年報告書は、自助努力を強調して、従来の救貧法を改正することを主張した。これが現代イギリス人の社会保障に対する考え方の中に伝統となって残っているのか否か、興味のあるところである。

講義の内容・授業スケジュール

英文を講読する。可能な限り多く読み進みたい。(1回の講義で約10ページ読むことを目標とする)。

履修上の留意点

履修者に輪番で訳してもらうので、担当の部分を書いて準備すること。他の人も必ず予習すること。(史料の性質上、必ず知らない単語があるはず)

成績評価の方法

平常点に、1年に2回行なう英文和訳の点を付加して評価する。

教 科 書

*The Poor Law Report of 1834* edited by S. G. & E. O. A. Chekland (Penguin Books1974) を使う。

参 考 書 等

大沢真理『イギリス社会政策史 救貧法と福祉国家』(東京大学出版会) 1986年

そ の 他

英文の内容理解を主眼にして講読する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史学史	は <small>ゆき</small> 葉 貫 <small>ま</small> 磨 <small>さい</small> 哉	歴史2・3・4必(日本史) 歴史2・3・4選(日本史以外)	4

講義のねらい

この授業は古代から近代までの間に、どのような歴史書が編まれて来たかを、時代を追って説明しようとするのが狙いである。従って講義形式をもって授業は進められる。前期は古代・中世、後期は近世・近代が中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業は必修科目であるので、毎回出欠をとり、半分以下の出席日数では受験資格を失うので注意されたい。また理由のない遅刻は出席日数に影響するので注意を要する。

履修上の留意点

最初の授業は必ず出席の事、席順を指定するので、妄りに席を変えない事、遅刻の席は前もって指定する。欠席・遅刻の合計日数が規定に反する場合は、別にレポートの提出を求める事がある。

成績評価の方法

成績の評価は、定められたレポートの外に、学期末に行う試験の結果によって評価する。

教科書

教科書は別に定めない。授業の進行状態に応じて、参考文献など明示する。この授業は歴史研究上の基礎的な知識を学ぶ授業であるから、なるべく早い時期に履修する事が望ましい。自分の専攻しようとする時代に、どのような歴史書があるかを、卒業論文を執筆する前に、予め知って置く必要があるからである。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史学史	なか <small>むら</small> 中 村 <small>じゆん</small> 淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらおうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらおう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

成績評価の方法

まず出席を重視する。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学史	かめなが ようこ 亀長洋子	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

この授業では、古代から現代まで、歴史家とその作品に言及し、西欧における歴史学の歴史の変遷を考察する。そして歴史認識とその時代との関わりを学ぶ。授業を通じて、人間の思考がその人の生きた時代と地域という前提条件にいかにか束縛されているか、また、新たな歴史認識・思考方法がどのような経緯で生まれてくるのか、などの問題に頭をめぐらせてほしい。過去の歴史家たちの著作や言説を紹介する過程で、各歴史家が生きた時代がどのような状況にあったのかも説明する予定である。異文化理解としての歴史学への興味もふくらませてほしい。

また歴史学の手法や考察方法を通して、受講学生がものを見る目、判断する力を養うこともこの授業の目標のひとつである。どのような史料からどのような見解や実態が読みとれるのかを、一つ一つ理解してほしい。

歴史学は、どこに論拠があるのか、を重視する学問である。本講義を聴講するさい、講師が抽象的にまとめて語っている部分と、その具体的な事例として論拠をあげて語っている部分を、自分の中で結びつけることを忘れないでほしい。そうした思考方法の実践を通して、自分自身の日常生活の諸側面でも、自分の考えの論拠がどこにあるのか、そして、そこから自身の見解がどのように生まれるのか、を意識してほしい。そうした認識の繰り返し、自身や他者を客観的にみつめ、幅広い視点をもった人間の形成に必ず役立つはずである。

歴史

講義の内容・授業スケジュール

はじめに史学史を考察する上で前提的といえる観点をいくつか紹介した後、ヘロドトスから現代まで、歴史を論じた、もしくは歴史学に大きく貢献した人物たちとその著作について順次解説していく。

参考書等

参考文献については授業中に随時紹介する。またプリント等を随時配布する。年度末の試験で成績を評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学史	こやなぎ よしき 小柳美樹	歴史2・3・4必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	4

講義のねらい

日本考古学の歴史を通じて自己の研究理念を高める。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを画期となった発見、発掘調査、論争を挙げて論じる。  
また、日本人研究者による外国調査と研究、他分野の学問との共同研究、文化財保護の歴史についても触れていきたい。

履修上の留意点

学生諸君には考古学という枠組みを超えたさまざまな領域に関心を持つことを期待したい。また授業で取り上げた文献の講読、遺跡、博物館等の見学を自主的に行うことを望む。

成績評価の方法

数回のレポート提出と学年末の試験を予定している。

教科書

なし

参考書等

授業の進捗に従って、その都度、指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（写真）	つか 塚 ほら 原 あけ 明 お 生	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

写真撮影のための、基礎をわかりやすく説明して、実践での活用がすぐに出来るような人材を多く育てたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

カメラのしくみとシステム、写真用品の解説をはじめとし、レンズや絞りシャッターの速度の意味学びながら、初級者もわかる講義からはじめる。

屋外での撮影と室内での撮影、カラーフィルム、モノクロフィルムそれぞれの選び方と取り扱い方現像の方法。撮影目的に合わせた、機材の選び方とその取り扱い方法。

被写体に合わせた光源選びと、各種光源による特性を理解したうえでの撮影の実習。暗室作業によるフィルム現像、プリント焼付け引き出しなどを体験しながら写真技術の向上をはかる。

平面および立体物の形状質感形態等を表現するための照明のあて方扱い方を基本から学びプロの技術に習う。

現役の写真家としての仕事を例にとり、つねに実践にむいた授業内容とする。

Q&A 方式も取り入れ、学生の理解度に合わせ、質問を多く受け付け、わからないまま進行する事のないよう、常にコミュニケーションをとり、受講者全員と学んでいきたい。

履修上の留意点

学ぶ事の喜びと、知る事の喜びを持って実践的学習をする中で、写真人としての自覚を大切に、全員プロカメラマンになれるよう目指して努力してほしい。

成績評価の方法

作品提出による内容と授業態度。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

講義、撮影実習、暗室実習、課題作品提出、合同講評会等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（測量）	柳瀬訓 <small>やな せ さとす</small>	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

遺跡・遺物の現状の正しい把握という目的のための比較的限られた区域の測量方法について、実習を中心に行う。したがって、測量の方法としては、多角測量・水準測量・平板測量が主となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 測量の基礎（測量で用いる基礎的な数学、誤差、座標など）
- ② 水準測量（測量機器の取り扱いの比較的やさしい水準測量から始める）  
水準測量の基礎（基準面、測量方法、使用機器など）、レベル（水準儀）の操作法、水準測量実習
- ③ 多角測量  
距離測量・角測量の基礎、多角測量の基礎（測量方法、座標計算など）、トランシットの操作法、多角測量実習
- ④ 平板測量  
測量方法、平板測量実習、オフセット測量

成績評価の方法

実習成果、小テスト（練習問題などによる）、出席状況

教 科 書

なし。

参 考 書 等

加藤清志著『測量学要論』（産業図書）

そ の 他

- ①三角関数機能のついた電卓を必携 ②実習は数人の班に分けて行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（石器）	上敷領久 <small>かみ しきりょう ひさし</small>	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

石器は先史時代社会の生活形態を理解するためには最も基本的な資料であり、そこには様々な情報が盛り込まれている。この情報を抽出するためには、石器の細部を注意深く観察し、理解することが必要である。こうした石器研究の基礎となる石器実測図作成の基本的知識についての講義・実習を行う。石器研究史および実測図の歴史、石器製作の原理、石器研究の理論的な知識をふまえた実技を通して、考古資料の観察法と記録化およびその目的について学ぶ。

履修上の留意点

授業第1週に、具体的な年間スケジュールと実技の必需品を紹介するので必ず出席すること。また石器実測の技術を体系的に身につけていただきたいのでちよくちよく休むようであれば初めから受講しないように。考古学専攻生以外には不向きである。

成績評価の方法

成績評価は実技・レポート・授業への取り組み方などを総合して行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

特になし。作成したプリントを配布し、参考書および参考文献等は講義中に適宜紹介する。

そ の 他

実技にはグラフ用紙、コンパス、ディバイダー等の個人で準備する文房具類が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（土器）	ちばもと つぐ 千 葉 基 次	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

土器・石器等の資料の的確な図化は、考古学研究の基礎資料化に不可欠。そして、国外諸地域の研究を志す人にも共通、必要事項である。図化のための基礎的技術と物の見方の修得を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義と実技を併用する。

履修上の留意点

技術修得に必要な道具箱内の必要工具類の準備と説明を行うので、受講希望者は、年度第1回目の授業へ必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と図化成果図と試験を考えている。

参 考 書 等

『発掘調査の手びき』（国土地理協会）  
『考古資料の見方〈遺物編〉』（柏書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考古学実習（情報）	こやなぎ よしき 小 柳 美 樹	歴史2・3・4選必(考古学) 歴史2・3・4選(考古学以外)	2

講義のねらい

現在、我々の周囲には情報が溢れており、その活用のためにコンピューターを使うことは不可欠なこととなっている。このことは学問の分野でも同じである。この講座はコンピューターを使うことの基礎を学び、情報の収集・論文作成に活用できることをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業ではコンピューターを実際に使ってもらうことを通して、基礎的な知識と技能を習得してもらう。講義はまず、コンピューターの基本的構造と基本的な操作、OSソフト（Windows）の基礎とその基本操作を実習する。ついで使用頻度の高いアプリケーションソフトであるワープロ・表計算などを習得してもらい、「ソフトを使う」ことを理解してもらう。さらにインターネットの利用法として Web 上の検索エンジンの使い方や電子メールの送受信の方法など、インターネットによる情報の収集と発信について学習する。

履修上の留意点

授業時間だけでなく、自主的にコンピューターを使う時間をもってもらいたい。

成績評価の方法

成績は課題（頻繁に出します）・テスト・出席をもって評価します。

教 科 書

駒澤大学情報センター『パソコン使いこなし術』  
(履修者は情報センターでもらうことができます。必ず入手すること。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古発掘実習	飯島 武次・酒井 清治	歴史3必(考古学) 歴史3選(考古学以外)	2

講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法

成績評価は出席点と平常点。

教科書

『考古学調査ハンドブックス1野外編』(雄山閣) 2,800円 1984年

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	久保田 昌 希	歴史 3 必 歴史 3 選	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者(発表者)自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講座では数年来、織田信長の右筆太田牛一の著した「信長記」(池田本)をテキストとしてきたが、一昨年度でようやく読み終えた。

昨年度から一新して、戦国大名関係の文書と取り組んでいるが、とくに東国戦国大名を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一枚の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

そ の 他

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。



科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小林和幸	歴史 3 必修 歴史 3 選	4

- 講義のねらい**

日本近代史の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。
- 講義の内容・授業スケジュール**

本演習では、維新时期及び明治期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加者全員による討論をすることで日本近代史に関する理解を深めていく。
- 履修上の留意点**

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。
- 成績評価の方法**

報告、学習態度を勘案する。
- 教科書**

適宜史料を配布する。
- 参考書等**

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	佐藤元英	歴史 3 必修 歴史 3 選	4

- 講義のねらい**

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関する、①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関（政党・会社等）の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養う。明治・大正期の外交には二つの大きな側面があり、一つはイギリス・アメリカなど先進国に対する面であり、他は朝鮮・中国等近隣発展途上国に対する面であるが、先進国との折衝には、利益の交換と妥協という交渉上のルールがあったが、発展途上国に対する場合は軍事上の威圧が妥協に先行するケースが多く見られた。そうした特質を史料を通して分析するとともに、時代の展開を広い視野をもって大局的にとらえる基礎知識を修得する。
- 講義の内容・授業スケジュール**

近代の文書・記録類は量的にきわめて膨大であり、その種類、形態は多種多様であるが、それは単に時代が新しくなるほど文書・記録類の消滅の度合いが減ずるといった一般的な理由によるだけでなく、歴史的時代としての近代の政治的・経済的・文化的特質に基づくものである。従ってこの多種多様な文書を読み、検討することによって、日本の近代史上における重要な事件・事項について理解を深める。
- 履修上の留意点**

受講者は授業スケジュールに従って分担予習し、レジュメを作成して授業時にそれを配布しながら報告すること。報告内容は事件・事項・人物などの解説及び関係研究文献などの紹介等。他の受講者との質疑応答をおこない、またそれに教員が補足説明を加える方式で授業を進める。
- 成績評価の方法**

定期試験は行なわないが、提出レポート、発表の内容、授業内の討論、出席状況などによる。
- 教科書**

大久保利謙他編『史料による日本の歩み 近代編』（吉川弘文館）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	たきの瀧 おとよし 能之	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

古代史の基本的な史料である『日本書紀』をテキストとして、演習をおこないます。古代史を学ぶにさいしては、政治、経済、文化、外交のいずれを勉強する場合にも、『古事記』と『日本書紀』、すなわち「記紀」の内容を知っておくことは不可欠です。この演習では、こうした基本的知識を身につけると共に、史料に対してのとり扱いの方法について知ることをねらいと思っております。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業のさいに、史料の割りあてなどのガイダンスをおこないます。その後、何回かは、『日本書紀』の性格などについて講義をおこないます。そして、できるだけ早いうちから、各人もしくは各グループによる発表報告を主体とした授業に入っていくつもりです。

履修上の留意点

演習は、学生諸君の発表報告が主体の授業です。何よりも意欲をもって参加してくれることを期待いたします。

成績評価の方法

成績の評価は、発表報告の内容を重視しますが、それに加えて、他の報告者に対するコメントおよび出席状況も考慮しまして総合評価といたします。

教科書

教科書は、岩波文庫版の『日本書紀』を使用いたします。

参考書等

参考書は、特にあげませんが、各人の発表報告にさいしまして、関連するものをできるだけ多く読むようにして下さい。

その他

授業は、発表報告が主体ですが、報告者だけが調べてきたことをのべればよいというのではなく、発表報告に対するコメントの時間も重視するつもりです。発表報告に対して、積極的な討論を期待いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なかの 野 達 哉	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

史料の解説・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解説から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世前期の社会について考える。講読は受講者が分担して解説し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査なども考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	は 葉 めき 貫 ま 磨 さい 哉	歴 史 3 必 選 歴 史 3 選	4

講義のねらい

歴史を研究する上で文書・記録の類は重要な史料である。この授業は記録を中心として読解力を養うための授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

『蔭涼軒日録』を講読して、室町時代の五山禅林の姿を見ようとするものである。この日録は五山禅林を統制管轄する鹿苑僧録司を補佐する副僧録の公用日記である。文体は漢文体で、日を追って書きついだもので、筆者は季瓊眞薬と亀泉集証の2人である。内容は季瓊の分が、永享7年6月から8・9・10・11・12年・嘉吉元年7月6日まで、この日は將軍義教が嘉吉の乱で斃れ、茶と仏事の記事である。その後16年間の空白があって、長禄2年正月から再び書きつがれ、文正元年9月までが季瓊の筆である。次いで亀泉の分は、文明16年8月から同19年（長享元）9月までと、延徳2年正月から明応2年9月までが亀泉の手になり、時代を経るに従って記事の内容が豊富になる。今年は長享2年正月の条から講読する。

歴  
史

履修上の留意点

漢文の日記であるので漢和辞書を用意して予習を怠らない事。

成績評価の方法

平常の授業の成否によって評価する。休暇後はレポートを提出の事。

教 科 書

使用しない。教材はコピーを配布する。

参 考 書 等

授業の折りに触れて指示する。

そ の 他

五山派のあり方を知るために見学も行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	ひろ 瀬 せ りょう こう 弘 良 弘	歴史 3 必 選 歴史 3 選	4

#### 講義のねらい

戦国期・織豊期・江戸期の史料を用い、戦国時代・織豊政権期を経て、近世幕藩体制社会が成立していく過程を考え、当該期の社会・文化などについて考え、戦乱や貧困の多い中、人びとはいかに生き抜いていったかを考える。近世史料の読解力・分析力を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

移行期から近世初期にかけての史料（秀吉・家康等に関する文書や、家康の家臣である松平家忠の『家忠日記』など）と江戸前期から中期にかけての史料（町奉行から町方へ出された法令を集めた『江戸町触集成』や遠州の名主の日記である「中井家日記」など）の講読を交互に行い、史料の読解力・分析力を養い、当該期の社会・文化への知識を深め、4年次の卒論作成に備える。

受講者は、上記の史料から、希望するものを選び、その解読・分析を行い、その史料の背景にあるものを分析して発表する。その際には、発表に必要な資料を作成すること。また、受講者は、他者の発表の時には積極的にディスカッションに参加すること。

授業スケジュールは、

#### 〔前期〕

- ① 移行期から江戸期における研究動向に関する知識を深める学習をする。
- ② 家康の発給文書や『家忠日記』などの史料の講読を行う。
- ③ 『江戸町触集成』を中心とした町触の江戸前期～中期の史料を講読する。

#### 〔後期〕

- ④ 家康の関東入国前後の関連史料の講読を行う。
- ⑤ 江戸期の村方に関する史料の講読を進める。
- ⑥ これらに合わせて、移行期から江戸期の文化に関する史料にも親しむ。
- ⑦ 卒論に向けてこの準備報告を行う。史料見学を兼ねた合宿を予定。

#### 履修上の留意点

探究心をもって歴史史料に臨んでほしい。図書館の辞書類等を大いに活用してほしい。

#### 成績評価の方法

発表状況・発言状況・出席状況など。試験は行わない。

#### 教科書

随時、史料のコピーを配布する。

#### 参考書等

随時紹介してゆくが、『くずし字解読辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	まつ松 もと本 のぶ信 みち道	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

その他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なか中 むら村 じゅん淳	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点を総合して評価する。

教科書

必要な史料はプリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	わた なべ あつし 渡 辺 惇	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校証の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時代の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで箇条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは入手難のため、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史 3 必選 歴史 3 必選	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマ具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語で書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語たる独語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教科書

テキストは受講生と相談し、決める。

参考書等

必要に応じて随時指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	飯島 武次	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

中国原典『新中国的考古発現与研究』の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教科書

『新中国的考古発現与研究』(中国社会科学院考古研究所) 1984

その他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	酒井 清治	歴史 3 必選 歴史 3 選	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集、執筆の方法などを学ぶ。また、研究レポートを作成し、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で討議する。

各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料の収集の方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらおう。それについての問題点等を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

研究レポート、発表と報告者へのコメント、出席状況。

教科書

特になし。

参考書等

論文掲載の引用文献

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	くほた まさき 久保田 昌 希	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

本講座では、3年での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行う。そしてそのことで、受講者(発表者)自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。  
なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	こばやし かず ゆき 小林 和 幸	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討を報告し、さらに演習参加者全員による討論を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを勘案する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	さ とう もと 英 佐 藤 元	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

近代文書の中でも特に内閣・外務省・陸軍省・海軍省の公文書および個人文書（日記等）について解説を行いつつ、卒業論文作成のための指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期授業は近現代史に関する史料の所蔵機関である、国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室及び地方公文書館、史料館などについて解説をする。後期授業は、受講生各自の研究報告を中心に討論形式で進める。

履修上の留意点

受講生各自の研究課題にそった文献目録（5月末）、及び史料目録（6月中旬）を提出させる。

成績評価の方法

提出レポート、授業内の討論によって評価する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	な ぎ おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	なかの たつ や 達 哉	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解読・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程（順番）を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教科書

なし

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	は ねき ま さい 葉 貫 磨 哉	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

この授業は卒業論文作成に伴う記録等の史料を講読し、論文作成上の指導を行う授業である。

講義の内容・授業スケジュール

鎌倉・室町時代の歴史を研究するために、必要と思われる史書・記録・文書等を紹介し、卒業論文執筆上の留意点を講義し、更に論題決定までの間は、研究書や論文の掲載誌などの助言を与え、各自が論題を決定した後は、鎌倉期・室町期に二分して時代範囲に共通する、必要史料をコピーして講読する。

履修上の留意点

卒業年度生は、教育実習やその他の実習によって欠席する事が多く、なるべく早い時期から問題意識を闡明にして授業に臨む事、後期はまた就職活動などと重なり、欠席回数が多いので、出来得る限り出席して研究発表などを積極的に行う事。

成績評価の方法

成績の評価は、研究発表や研究方法など研究上の姿勢を見て評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

その他

後期には研究発表を通して、討論形式をとる場合もあるので、出席して研究の度合・論文の進捗状態を報告する事。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひろ せ りよう こう 廣 瀬 良 弘	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていく。

授業スケジュールとしては、

- ① 卒業論文のテーマの提示（4月～）
- ② 研究史の整理（5月～）
- ③ 卒論論題の確定（6月10日教務部へ論題提出）
- ④ 研究史の整理と参考文献の検討
- ⑤ 中心的史料等の分析と論点の明確化（6月～）
- ⑥ 卒論の章立に関する作業
- ⑦ 卒論の概要に関する発表（7月～）
- ⑧ 卒論作成に関する技術的なアドバイス（7月～）
- ⑨ 中間報告（9月中旬～）
- ⑩ 最終報告（10月下旬～）
- ⑪ 下書の提示に基づく指導と添削（10月末～11月20日）
- ⑫ 清書・完成・提出（12月10日提出）

の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導の形式で進めていく。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価する。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していく。

参 考 書 等

随時、示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まつ 松 ちもと のぶ 信 道	歴 史 4 必 選 歴 史 4	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは『令義解』所収の「職員令」を用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について考えてみたい。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教 科 書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

参 考 書 等

『新字源』（角川書店）

そ の 他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	なか 中 ちむら 淳	歴 史 4 必 選 歴 史 4	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	わた 渡 なた 辺 あつし 惇	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教科書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みせ 伏 しま 島 まさ 正 よし 義	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

演習Ⅰで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの段階で読むことのできなかつた文献の入手と解読に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職せんとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習Ⅱの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかつた例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。

成績評価の方法

演習Ⅱにいかにか積極的に且つ熱心に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯島武次	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

その他

授業方法は、学生による研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	酒井清治	歴史 4 必選 歴史 4 必選	4

講義のねらい

卒業論文の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文を書くために、どのようにしたらよいのか、テーマについても話し合いながら進めたい。また、各自テーマを決める前、あるいは決めたあとにも、それについて学生に発表してもらい、討議する講義方法をとる。

履修上の留意点

発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日、発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。

成績評価の方法

卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表内容・発表者への質問も考慮。

教科書

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ち ほ もと つぐ 千 葉 基 次	歴 史 4 必 歴 史 4 選	4

講義のねらい

卒業論文作成への指導。

講義の内容・  
授業スケジュール

一般的な論文の書き方(技術的部分)の概略説明から始めて、以後逐次受講者自身の研究発表。

履修上の留意点

研究発表を含む受講者の遅刻と無届け欠席は御法度。発表の順番を決めるため、年度第1回目の授業には必ず出席のこと。

成績評価の方法

授業出席と研究発表と論文提出が評価の基礎。教師側の判断で、次年度再履修も充分有り得る。

そ の 他

年度第1回目授業欠席者には、研究発表順位第一位を無条件で付与する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書学	松本 信道・久保田 昌希 小林 和幸・廣瀬 良弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがちな、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ① ガイダンス……4月14日（担当教員全員）。
  - ② 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…4月21日～5月26日（松本担当）。
  - ③ 中世の記録史料およびその特徴、中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…7月7日～10月6日（久保田担当）。
  - ④ 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…6月2日～6月30日（廣瀬担当）。
  - ⑤ 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…10月13日～11月17日（小林担当）。
  - ⑥ 現代史料情報学の歩みと将来…11月24日～12月15日（担当教員全員）。
- ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

歴  
史

#### 履修上の留意点

古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

#### 成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

#### 教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

#### 参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

#### その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHP などを使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書講読Ⅰ	なが <sup>なが</sup> 長 <sup>つか</sup> 塚 <sup>たかし</sup> 孝	歴史2・3・4選	4

教科書

賀茂別雷神社（上賀茂神社・京都市北区）が所蔵する中世文書の講読を行う。テキストはコピーを使用。それ以外の教材は授業で指示する。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古文書講読Ⅱ	なか <sup>なか</sup> の <sup>たつ</sup> 野 <sup>や</sup> 達 <sup>哉</sup> 哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世になると、識字率は、飛躍的に上昇する。中世までは、領主層を中心に上層の者だけに限られていた文字利用が、近世には、庶民にまで拡大するためである。そして、近世の社会は文書（もんじょ）による支配が行われたといわれるように、領主支配を始め、意志の伝達や契約が、文字・文書を通じて行われた。しかし、多量に作成され、伝えられてきた近世文書のほとんどは、活字化されておらず、近世史の研究には原文書を読む力をつけることが必要である。また、古文書の利用とともに、保存について考えることも重要な課題となっている。

こうした立場から、本講座では、近世文書について知り、読解力を養うことを目的とする。さらには古文書の利用と保存の問題についても考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、近世文書の概要や基礎知識について講義するが、そのあとは、武家・町方・村方・寺社文書などについて、実際に講読しながら説明する。講読は、初歩的なことから始め、次第に難解なものへと進むが、読解力をつけるため、学生に文書を読んでいただく。講読を進めるなかで、随時、近世文書の整理・保存方法などについても講義し、今日の近世文書の利用と保存の問題点などにも触れる。

履修上の留意点

文書の読解力は、文書に慣れ親しむことからつく。予習・復習はもちろんのこと、講義だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年度末の定期試験により評価する。試験では、原文書一点をあげ、その読み下し文と意味を書かせて、文書の読解力を問う。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

講読する史料のプリントを配布する。

参考書等

『古文書読解字典』（柏書房）2,500円 『くずし字読解辞典』（東京堂出版）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史Ⅱ	えん 遠 とう 藤 ひろ 廣 あき 昭	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅰ	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘される所です。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再確認させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、学年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教科書

瀧音能之著『古代の出雲の世界』（白鳥舎）

参考書等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』（河出書房新社）

その他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなどを使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅱ	く ぼ た ま さ き 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世史を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。それから約50年後の今日、中世史研究は活況を呈している。それはなぜであろうか。それはおそらく先に述べたように、政治史的には武家領主層が王朝権力との拮抗を軸に展開し、ついにはそれを凌駕していく過程や、一方で歴史の主役に民衆が登場してくるという躍動感あふれる時代というイメージが強いということもあろう。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。中世という長い時代を年間約25回の講義で、全体的に細かくまとめることはなかなかむずかしい。したがって、焦点を絞りながら、当該の研究史も紹介しつつ述べていきたい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅲ	なかのたつや 中野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

とくになし。

その他

授業は、史料を読みながら講義を中心に進める。史料に慣れ、読解力をつけるため、適宜、学生に史料を講読させる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史各説Ⅳ	こばやしかずゆき 小林和幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本史の展開の中での日本近代史が占める意義ばかりでなく、広く世界史上に占める意味を考える事を目的とする。

日本近代史の研究は、近年の新史料の発掘や史料の新しい解釈によって、通説的な歴史理解も様々に修正されつつあり、また、研究の対象が現代に生きる我々にとっても極めて身近であるということから、特に活性化した研究分野となっている。本講は、こうした最近の研究成果を踏まえながら、様々な国際関係上の諸問題の中で近代日本が如何なる政策を選択し、それが如何なる社会状況を生み出したかを検討するものである。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義では、日本近代史研究における歴史解釈の変遷を概観した後、昨年度に引き続き海軍軍人で政治家の齋藤実の政治活動の分析、陸軍軍人で政治家の谷干城の政治思想及び日本の立憲政治導入に主導的に尽くした伊藤博文の政治思想などの分析を軸に、国際環境の中での日本近代政治の展開を読み解く。

履修上の留意点

新しい歴史理解を発想することが出来る柔軟な思考を持って講義に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート、定期試験、出席状況などによる。

教科書

特に指定しないが、講義の必要に応じて資料を配付する。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 I (古 代)	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講座は、「仏教の日本的受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。仏教が受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進めるが、とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点と、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく一般民衆の「苦悩」・「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆的視点からもアプローチしてみたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本仏教の源流 — 東アジア世界と仏教 —
2. 仏教公伝の背景とその意義 — 国神と客神 —
3. 飛鳥仏教と渡来人 — 古墳と氏寺 —
4. 聖徳太子の仏教信仰 — 三経義疏と天寿国 —
5. 白鳳仏教 — 大化改新・天武朝 —
6. 国家仏教の成立と展開 — 僧尼令・僧綱
7. 国分寺の建立・大仏の造立
8. 南都六宗の成立
9. 民間菩薩僧と神仏習合
10. 平安新仏教成立 — 最澄と空海
11. 浄土教の展開 — 源信・空也 —

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は前期・後期2回のレポートによって評価したい。

#### 教 科 書

当該部分をコピーして配布します。

#### 参 考 書 等

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

#### そ の 他

授業の方法は史料講読と講義を平行して行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 II ( 中 世 )	おの え よう すけ 尾 上 陽 介	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

およそ11世紀から13世紀までの、いわゆる摂関政治期から院政期に至る時代には、政治・経済・文化など社会のさまざまなところで、それまでの古代的な状況から新しい中世の世界への転換がみられる。本講義では、このように極めて興味深い時期の社会について多方面から分析を加え、問題点の検討を積み重ねることにより、中世成立期社会の諸様相について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

平安時代中期以降の歴史学研究には、難解なものではあるが、生々しく自己の見聞や感想を記録している貴族の日記は欠かせない史料である。本講義では、この貴族の日記を主な材料としながら、毎回、具体的な史料に即して個別の問題点について考察する。そのため、日記の読み方や史料の特性についても説明しながら授業を進める。

成績評価の方法

主に学年末試験による。

教 科 書

授業で用いる史料はコピーして配布する（教科書は特に用いない）。

参 考 書 等

『岩波講座 日本通史』第6巻古代5・第7巻中世1（岩波書店）。その他、個別の参考文献については授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅲ (中世)	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

中世から近世にかけての禅僧・禅寺と地域社会とのかかわりについて考察する中で、宗教が持つ地域社会の中で果たした機能や地域文化に与えた影響について考えてみることにする。禅僧・禅寺と戦国大名の領国支配とのかかわり、駈込み寺としての禅寺、授戒会活動や葬祭活動と武士と民衆、近世社会の中での禅寺とその活動、町や村の人びとの戒名と過去帳などについて分析し、考究してみたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

禅宗の地方展開について概観し、つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 日本禅宗史・禅宗の地方展開史概観
- ② 山岳信仰と禅僧の活動
- ③ 地域の神々と禅僧・禅寺
- ④ 温泉と禅僧・禅寺
- ⑤ 葬祭活動と武士と民衆
- ⑥ 授戒会活動と武士と民衆
- ⑦ 下剋上の世と禅僧・禅寺
- ⑧ 禅寺とアジール（駈込み寺としての禅寺）
- ⑨ 戦国大名の領国支配と禅僧・禅寺
- ⑩ 禅宗と朝廷と大名
- ⑪ 禅寺と地域社会の秩序
- ⑫ 山伏と禅僧の公事
- ⑬ 近世社会の葬祭と過去帳
- ⑭ 引導法語と戒名（村の寺と村人の戒名）

#### 履修上の留意点

現代社会の宗教と社会との関係などにも関心を持ち、講義の内容と比較しながら受講すると一層興味が深くなると思う。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果と出席状況などを重視。

#### 教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

#### 参考書等

授業中に随時示していく。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅲ (中世)	あわ の とし ゆき 粟 野 俊 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本中世史は、中世封建制社会あるいは荘園公領制社会の研究を基本とする。その研究は多岐にわたり、簡単にまとめることは出来ないが、時代的には中心となる政治権力の交代があり、動乱の時代であった。そのため、中世社会には多くの魅力的な題材が潜んでいる。中世とはいかなる時代であり、その様相はどうであったのかを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

中世は少なくとも平安末期から織田・豊臣期に至るおよそ四百年の時代的な幅を持つので、具体的には中世後期を対象としたい。はじめに、中世社会の基本的な事柄について講義する。ついで、中世後期の社会の様相を戦国・織田・豊臣期を中心として、大名・領主と村落・農民を対比させながら考察する。授業は、史料を講読しながら進めるつもりである。日本史では、史料を解読し、理解・解釈した上で、それを史料として論文に結び付ける作業が必要となる。このような作業の一助となるべく授業を行うし、受講者は、卒業論文作成にあたり、有益な授業となることを保障する。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、出席を参考として単位を認定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、授業の進行の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅳ (近世)	みや もと ゆき こ 宮 本 由 紀 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠のなかで生きぬいた近世の女性たちについて法制学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ、どうして生まれたのかという疑問を女性史に立脚して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたてて、前期・後期を通じて講義する。

履修上の留意点

ノート中心とするため講義にはできるだけ出席し、よく聞いて疑問点は質問や自分で調べる努力をし、補充しつつノート作りに励むこと、批判的精神を養ってほしい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。また成績評価の際出席日数を参考にする。

教科書

なし。

参考書等

なし。

その他

講義のみ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 V ( 近 世 )	お だか しょう いち 小 高 昭 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世に生きた庶民、特に村落生活者に視点をあて、彼らのライフサイクルや日常生活を探り、近世社会の実態を考える。成人した男女の婚姻、家督相続、遺言や財産分与、あるいは村の日常生活で起るもめごとがどのように結着・処理されたのか、史料を解説しながら考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

教材には古文書史料（活字史料）を配布して毎回受講生に解説させ、史料解説力をつけていただく。自分なりにノートを作成し、予習・復習が必要となる。

成績評価の方法

論述試験を実施。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

なし。プリントを随時配布する。

参考書等

随時紹介する。

その他

講義のみ。講義1回あたり4～5人に解説・板書等の指名をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VI ( 近 代 )	こ ばやし かず ゆき 小 林 和 幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本近代史、特に明治期の政治史に関する諸問題を検討する。本年度は、日本近代史の主要な問題に於ける藩閥政府・宮中・華族・政党・官僚・軍部等の諸政治勢力の思想と動向を随時分析検討しながら、明治国家の政治が如何に展開したかを史料を提示しながら解明していく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義は以下のように進める。

1. 保守派の政治思想
  - 保守派の形成
  - 保守派と立憲政治
2. 天皇と華族
  - 華族制度の制定過程
  - 華族の役割
3. 貴族院と衆議院
  - 貴族院の会派と政党
  - 貴族院の制度化の進行

履修上の留意点

参考文献を適宜紹介するので、積極的に参照してほしい。

成績評価の方法

レポート、定期試験。

教科書

なし。

参考書等

随時指示する。

その他

基本的に講義を中心に行うが、随時ビデオなどの映像資料も利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小泉雅弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅰ (古代)	こばやし そうはち 小林惣八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。  
 今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間に滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。  
 中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は  
 ① 古代帝国の成立(秦時代) ② 古代帝国の発展(前漢時代)。  
 ③ 古代帝国の没落(新・後漢時代) ④ 古代中国をめぐる国際関係。  
 以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教科書・参考書等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅲ (中世)	いしだ 石田 はじめ 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈唐宋時代の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度は〈唐宋変革期の諸問題〉と題して唐宋時代を概説しました。本年度は前期では時代区分論について紹介し、ついで征服王朝を中心に概観し、後期では前期の講義をふまえていくつかのテーマについてお話しする予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史といった私の関心のある分野から選んで講義することになると考えられます。

履修上の留意点

講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし。

参考書等

適宜、講義中に示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説Ⅵ (近世)	の 野 ざわ よし 美 佳 美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

モンゴル国家の元朝を滅ぼして成立した明朝は、その建国者である朱元璋（洪武帝）によって中国史上稀にみる君主独裁体制を確立した。こうした明朝は、元朝の影響を残しながらも新しい段階に入った。しかし明朝は、国の内外に諸問題をかかえ、それがその後半期に至ると様々な矛盾点が露呈し、ついには中国東北部方面に出現した満州族によって中華の主の地位を取って代わられることになる。ところで明代に現れた各方面の諸現象は、その後の中国や朝鮮、さらには日本へも影響を与えた。本講義では、元末から清初に至るまでの政治的動向を中心に、周辺諸国との関係も視野に入れながらその歴史的流れを概観したい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、前期でまず明朝がいかに成立したかを跡付け、その後洪武帝政権と永楽帝政権との政治的相違点を取り上げ明初の歴史的特徴を中心に概観し、その後明代中期までの政治や経済・社会・文化などの諸問題を取り上げる。後期では、明朝の転換期となった万暦年間の諸問題を概観し、またキリスト教宣教師の来航によって西洋文化がもたらされ、どのような影響をこうむったのか、また宣教師を通じてどのようにヨーロッパ世界との交渉を持ったのかをうかがい、続いて満州族の勃興から清朝の成立と初期の諸問題を考えたい。

履修上の留意点

本講義では歴史的な流れに重点を置くため、専門的な問題点にまで深入りすることは避けたい。しかし、現在当該分野の学界で取り上げられている最新情報はできるだけ紹介することに努める。

成績評価の方法

本講義では、出席状況を重視し、また随時レポートを課すことがある。これに年度末の試験を加味して総合的に評価する。

教科書

本講義では特定のテキストは使用せず、随時プリントを配布する。

参考書等

開講時および講義時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 VII ( 近 ・ 現 代 )	ちよう 趙                      ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジア及び世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

主な項目は次の通りである。

1. アヘン戦争と中華帝国の動揺
2. 太平天国運動
3. 洋務運動と清朝政府の「中興」政策
4. 日清戦争及びその影響
5. 変法自強運動と義和団農民運動
6. 新政の施行と辛亥革命
7. 北洋軍閥の台頭と五・四運動
8. 国民革命と軍閥戦争
9. 日本の満州侵略と抗日戦争
10. 「惨勝」と解放戦争
11. 経済の復興と朝鮮戦争
12. 「三反五反」と「三面紅旗」
13. 社会主義への試行錯誤と中ソ対立
14. 文化大革命の理念と現実
15. 「四つの現代化」と改革開放
16. 中国的特色のある社会主義と中国の未来像

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』岩波新書336 (岩波書店)

参 考 書 等

竺沙雅章監修・堀川哲男責任編集『アジアの歴史と文化⑤ 中国史・近・現代』(同朋舎) 1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 Ⅷ ( 周 辺 史 )	かた 片    おが 岡    かず 一    ただ 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本と中国は長い交流の歴史をもっている。今日でも両国の関係はいろいろな分野で活発であるが、時としてはトラブルが起こっている。その背景には近代における日中関係が影を落としているといえる。講義では近代における両国の政治・文化的分野での事件を取り上げ、今日の両国の歴史的背景とその問題点を提示したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

①中国の近代と日本の近代 ②近代以前の日中関係 ③日清修好条規 ④国境確定と日中関係  
⑤琉球問題 ⑥1880年代の日本の変化 ⑦日清戦争 ⑧中国人の日本留学 ⑨日本の中国関係  
団体 ⑩辛亥革命と日本 ⑪第一次大戦時期の日中関係 ⑫日中戦争 ⑬日中国交正常化の途  
⑭日中間の諸問題

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。日本史・アジア史に関心のある学生の聴講を歓迎する。

成績評価の方法

前後期各1度の小テストと後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教 科 書

とくに指定しない。関係資料を配付する。

参 考 書 等

授業のなかで指示する。

そ の 他

講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 IX ( 周 辺 史 )	奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在では、「シルクロード」と言うと、古代からの東西交通路を意味し、有名な、中央アジアを通るオアシスルートだけでなく、北アジアを通るステップルートとインド洋を通る海上ルートをも意味するようになってきている。

特にこの海上ルートは、紀元前後から、モンスーンを利用して機能するようになり、様々な商品だけでなく、文化・技術・思想なども運んでいる。

この講義では、この海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに、16-18世紀に活躍した、オランダ東インド会社 (VOC) の活動に焦点を当てたい。というのは、この時代は、近世 (Early Modern) であり、この近世こそ、海上交易が盛んになった時代のひとつであり、VOC が、歴史上初めて、一つの組織によって、ヨーロッパから東アジアに至る海上交易ルートの管理を行ったからである。

この VOC の歴史を通し、改めて、シルクロードと呼ばれる交易ルート、特に海上ルートがどのような歴史を持ち、また、どのような商品が運ばれたか、さらに、この交易により、他の地域のどのような変化を起こしたのか、という、東西相互の関係を考察していきたい。

授業においては、最初に、古代から中世の海上貿易について概観し、その上で、15世紀からの大航海時代、さらに、VOC の歴史へと移っていききたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 「近世」以前の海上交易の実態と地理
- 2) 近世までのヨーロッパ史
- 3) オランダの歴史 : VOC 成立の背景
- 4) VOC の成立とその機構 : その組織と歴史的な位置づけ
- 5) VOC の商館 : 各地の商館の歴史
- 6) VOC のあつかった商品 : 生糸、香料、コーヒーなど
- 7) VOC と EIC : 英蘭東インド会社の比較
- 8) VOC の終焉 : バタヴィアの崩壊
- 9) 「近世」と「近代」

履修上の留意点

東西交渉史となると、どうしても、扱う範囲が広がる。そのために、基本的な世界史の知識を確認しておくほうが、良いかと思う。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

参 考 書 等

永積昭 『オランダ東インド会社』 (近藤出版社) 1971  
 科野孝蔵 『オランダ東インド会社の歴史』 (同文館) 1988

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 X ( 周 辺 史 )	まつもと ひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、中東やイスラームについての基礎的・一般的な理解にある。中東といえば、少なくとも初学者の関心は日々マスコミから提供される報道にあらうが、現代の事件・事象への考察には過去の歴史に関わる知識が必要となる。一方、歴史への関心にとっても、現在の状況やその変化は、理解の道程に不可欠な情報をもたらす。しかし、時間的な制約から、歴史と現代の双方をバランスよく扱うことは大変難しい。幸い、本講義は複数年に渡り単位取得が可能なシステムにあり、昨年度から1年ごとに歴史と現代のどちらかにウェイトを置く方式をとっている。もちろん、1度しかこの講義を履修しない学生諸氏が大半であるため、毎年必要と思われる基礎的な知識の提供は行い、歴史と現代の双方に言及するが、そのどちらを講義の主眼とするかは1年ごとに交代される。昨年度は、現代（中東和平、イスラーム原理主義等）に主眼を置いたので、今年度は歴史が講義の中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

中東の歴史はエジプト文明、メソポタミア文明といった古代から始まるが、本講義は西暦7世紀におけるイスラームの成立以降とする。それは、イスラームの預言者ムハンマド、正統カリフ、ウマイヤ朝、アッバース朝といった初期イスラーム時代及び拡大・成熟期の政治・社会の歴史と特質、イスラーム神学・法学といったイスラーム思想史とその時代状況との関連、イスラーム神秘主義の思想と実態、オスマン帝国の隆盛と衰退及びそれに始まる「中東の近代」の一般性と特殊性などからなる。以上のように、今年度は中東の中世史・近代史が講義の対象となるが、後半の近代史は言うまでもなくそのまま中東現代史の背景を形成しており、時間計な余裕に従って現代の諸問題も講義に含めることとする。

成績評価の方法

評価は、前期末及び年度末の2回の試験により行う。

教科書・  
参考書等

教科書・参考書は特に指定せず、適宜参考文献目録及びプリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 Ⅲ (古 代)	こ ばやし そう はち 小 林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

内陸アジア史において先進的な役割を演じたのはオアシス地帯である。そこには支配者及びその行政機関が存在し、農産物・工業製品は豊かに、隊商は東西に往来した。東西各地の名のあ  
る宗教が行われ、寺院においては高僧が求道や布教に努め、芸術も盛んで、高度な文明が現出した。しかし、その孤立的な性格は全体として統一されることなく、東西の交通をみずから一元的に維持するほどの力ももたなかった。この地帯を安穩に通行することは遊牧民の力を借りずにはなし得なかった。玄奘が西突厥可汗の紹介でインドまで出られたことや、後のモンゴル帝国の交通繁栄の場合などがそのよい例であろう。遊牧民こそはその政治的統一によってオアシス国家を支配下におき、この大道を保護し、東西交通を円滑にした実力者であった。

また一方中国のような大農耕地帯と相対するときには、遊牧民はその帝国の混乱期には一個の強力な軍事集団として参加し、征服への道を追及する。そしてみずから支配者、帝王となり強固な政治組織を建設する。いわばアジアの専制主義機構は多くの場合、彼らによって再建されたのである。北魏以降清朝に至る大帝国の成立は皆それが事実であることを証明するであろう。内陸アジアはアジア全体に対して政治的エネルギーの発生源となっており、そこに内陸アジア史の大きな歴史的意義を我々は考えることができる。

講義の内容・  
授業スケジュール

取扱う内容は

- ① 遊牧国家とオアシス国家  
匈奴遊牧国家以前とそれ以降  
オアシス諸国家
- ② 征服王朝

以上を軸に、講義を主にディスカッションを交え進めたい。

履修上の留意点

アジア史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教 科 書

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅵ (中世)	いしだ はじめ 石田肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈書道から見た唐宋時代〉と題して講義します。いわゆる書道史というと美術史の一部門になりますが、ここでは名品を通覧する一般の書道史とは視点を違えて、書を史料としてとらえたり、あるいは中国文化史という立場からいくつかの問題を講義します。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年、この講義では金石学について様々な角度から取りあげ、金石学を概観したうえで、仏足石や日本の古碑、元祐党籍碑など具体例を中心に考えてきました。書道などというアレルギーを起こす人がいるかもしれませんが、書の作品自体が歴史学からすれば史料ということになります。そこで今年度は視点を変え、中国書道史の時代区分についてお話しして中国書道史の流れを説明したうえで、唐宋時代の書を史料としてとりあげ、一方、書を文化史という視点から様々な形で考えて行くことにします。具体的には顔真卿が書いたといわれる告身つまり辞令を文学的に検討したり、科挙と書道の関係を分析したり、五代を生き抜いた官僚で書家としても著名な楊凝式の生涯をたどったりする予定です。書道に関する素養は一切必要ありません。

履修上の留意点

講義ではなるべく多くの資料を配布しますので、配布資料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし

参考書等

適宜示します。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅸ (近世)	のざわ よし美 野沢佳美	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

周知のごとく中国は書籍の宝庫である。中国では、古代より様々な分野の文字資料が様々な素材、とくには竹簡や木簡、さらには紙に筆写して記録されてきた。ところが、唐宋から次第に木版による印刷出版がおこなわれ、それは宋代に入ると各地に印刷出版の中心地が現れるまでになっていった。中国における古代・中世から近世に至る出版技術の発展や形態の変化が、それぞれの時代・王朝の政治や文化・宗教などにどのように影響を与えたか、興味深いものがある。本講義では、宋代以降に発展する印刷出版の特徴と意義について考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期ではまず、古代より中世(唐代)までの間に書籍(とくには歴史書や宗教書)がどのように編纂され分類されてきたのかといった、いわば史学(思想)史や目録学などの観点からその変遷と特徴を跡付けたい。後期には、印刷出版が本格化した宋元時代に、国家や各行政機関・寺院・個人が刊行した様々な書籍を取り上げ、とくには世界に先駆けてこの時代に出版された仏教経典の一大叢書である大蔵経(一切経)を中心に、その歴史と朝鮮や日本への伝播・影響などを考えたい。

成績評価の方法

本講義では、基本的に出席を重視し、またレポートおよび年度末の試験の結果を加味して総合的に評価する。

教科書

本講義では特定のテキストは使用せず、随時プリントを配布する。

参考書等

開講時および各講義時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史特講 XI (近・現代)	ちよう 趙 ぐん 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

太平洋の東に浮かぶ島国日本の経済生活は、他国との貿易に大きく依存している。特に中国を初めとするアジア各国とは、歴史的にも文化的にも極めて深い関係におかれてきた。本講義は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア各国との関係を正しく理解できる知識や教養を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第1次世界大戦以後の日中関係を具体的に解説する。

主な項目は次の通りである。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携論」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満洲事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦と
14. 「成熟の時代」
15. 改革開放と「新アジア主義」
16. 日本の対中国政策決定－組織と過程－
17. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

学期末にレポートの提出やペーパー試験を行う。試験成績と出席率による総合評価を行いたい。

教科書

- ① 趙軍『大アジア主義と中国』(亜紀書房) 1996年
- ② 田中明彦『日中関係 1945-1990』(東京大学出版会) 1991年

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅱ (近・現代)	藤 谷 浩 悦 <small>ふじ や こう えつ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と政治、それも1898年の戊戌変法（前期）と1911年の辛亥革命（後期）を中心に講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

〔前期〕

- ①問題提起      ②東アジアの近代      ③日清戦争Ⅰ      ④日清戦争Ⅱ      ⑤日本の動向  
⑥西太后と光緒帝      ⑦康有為と日本      ⑧湖南変法運動      ⑨百日維新      ⑩山本梅崖  
⑪康・梁の亡命      ⑫畢永年      ⑬自立軍蜂起      ⑭孫文と滔天      ⑮（予備）

〔後期〕

- ①問題提起      ②義和団事件Ⅰ      ③義和団事件Ⅱ      ④光緒新政      ⑤留学生と日本  
⑥黄興      ⑦立憲と革命      ⑧社会風俗の変化      ⑨湖南学生運動      ⑩秘密結社  
⑪新軍      ⑫長沙米騒動      ⑬飢饉と経済恐慌      ⑭辛亥革命      ⑮（予備）

履修上の留意点

要望としては、当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教科書・  
参考書等

教科書や参考書は授業の中で指示する。

その他

適宜、史料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 XIV ( 周 辺 史 )	な ら しゅう いち 奈 良 修 一	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

現在、日本史・東洋史・西洋史と言う枠組みが再検討されてきている。というのも、各地域の歴史を考察するに際し、地域相互の関係の重要性が、最近の研究がとみに指摘する点である。比較文明論なども、その一環と言ってよい。

また、時代区分の面においても、「近世」(Early Modern)という概念が、世界史の中で使われるようになってきている。この概念は、中世と近代の中間と考えてもよいが、一つの独立した時代ととらえられている。この時代区分は、東南アジア史研究において、頻繁に使われるが、東南アジアだけでなく、東アジア史研究でも使われる概念であると考えられている。つまり、今までの定説とされてきた地域区分、時代区分が見直されてきていると言ってよいであろう。

この授業においては、東アジア・東南アジアを、「東方アジア」として、一つのまとまりと考え、この地域が、歴史的にも、文化的にも、一つの世界と考えられることを考察したい。この地域だけでなく、他の地域との比較や、世界史的な視野から、その相互関係を中心として見ていきたい。この地域を一つとして見る試みは、新しいものであるが、F・ブローデルがその著『地中海』で、地中海世界を一つの世界として考察した手法を取り入れて、「シナ海世界」を考えていく予定である。

また、時代的には、「近世」に焦点を当て、「モンゴル帝国」の時代から、18世紀までの時代と考える。この時代は、モンゴル人の大遠征により、ユーラシア大陸の東西が緩やかに結合され、経済が発展したあと、各地で様々な王朝が成立した時代である。東アジアでは、中国の明・清王朝、朝鮮の李氏朝鮮、日本の安土桃山時代から江戸幕府が成立した時代であり、東南アジアでは、「商業の時代」に重なる。さらに、ヨーロッパ人が来航し、タイのアユタヤ朝などの海外貿易が盛んになった時代である。そのために、この地域の各地の政府が海上貿易を統制するようつとめ、しかも、民間人による貿易活動が盛んとなっていた。東方アジアという地域が、相互に深く関係している例を提示している時代と言ってよい。このために、中国人の活動について、焦点をあわせることが多くなるが、それだけでなく、日本人や、オランダ人、イギリス人のヨーロッパ人、さらに、東南アジア各地の人々の活動にも、ふれていく予定である。

さらに、経済活動だけでなく、思想や宗教といった文化交流も考察していく。というのは、相互関係の根底には文化的な問題を無視し得ないからである。

履修上の留意点

受講する際に、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。

成績評価の方法

成績はレポートによって評価する。

参考書等

フェルナン・ブローデル『地中海』(藤原書店)全5巻、1991  
そのほか、必要に応じて、授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講 XV (周辺史)	かた 片 おか 岡 かず 一 ただ 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1 西域の地理的環境 2 オアシア世界の政治経済的特徴 3 遊牧民と西域 4 中国と遊牧民 5 中国と西域 6 中国王朝の西域政策 7 清朝の西域征服とその統治政策 8 19世紀の世界情勢と西域 9 清朝の政策の変更 10 辛亥革命と西域(新疆) 11 20世紀中央アジア-ソ連と中国-

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域(中央アジア)に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 II	いわもとひろこ 岩本裕子	歴史2・3・4選	4

#### 講義のねらい

西洋史の中でもアメリカ合衆国の歴史を講義してきている。これまでは、「インディアン」と間違っって呼ばれた先住民が、最初にアジア大陸から南北アメリカ大陸に渡ったときから現在までを対象とした通史、あるいは「多文化社会アメリカ」を形成する様々な要素、すなわち人種、民族、宗教、ジェンダー（男女性別）、セクション（地域性）など合衆国独特のテーマ別史、また担当者の専門領域「アメリカ黒人の歴史と文化」など、年度ごとに様々なテーマで講義してきた。

今年度は4年に1度の大統領選挙の年であるため、大統領をテーマにアメリカ合衆国の通史を講義する。初代大統領ジョージ・ワシントンから現大統領ウィリアム・クリントンまで歴史をたどった後に、非常に複雑な選挙システムを経て選ばれる新大統領による21世紀への展望を描いてみたい。今年度で3年目になるが、歴史を講義する題材として映画を用いる。映画はフィクションであり、歴史学の対象にはなり得ないが、映画が歴史に裏付けられることは「時代考証」という言葉からも明らかである。映画を読む上で歴史の知識が必要であることが実証されるような講義にしていこう。歴史学科生だから「歴史嫌い」はないだろうが、「映画嫌い」はあるかも知れない。「映画を学ぶことが大切だとわかる歴史好き」になる講義を展開したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### ★前期：1789年から1900年まで

初代大統領就任から第25代大統領マッキンリーまで、建国から19世紀末までを概観する。これらの時代を扱った映画は決して多くはないので、映像ではなく講義が主になるだろうが、可能な限り時代を代表する映画をとらえていきたい。たとえば次のような例がある。『パリのジェファソン』— 第3代トマス・ジェファソン、『アミスタッド』— 第2代ジョン・アダムズと第6代ジョン・Q・アダムズ父子、『グローリー』— 第16代アブラハム・リンカン、『許されざる者』— 第25代マッキンリーといったところだ。

##### ★後期：1901年から2000年まで

20世紀はまさに映像の世紀であるために、多くのドキュメンタリー・フィルムが残っている。フィクションである映画の題材としても多くの大統領が描かれてきたし、ハリウッドでは架空の大統領を多く産み出している。『インデペンデンス・デイ』『アメリカン・プレジデント』『エアフォース・ワン』『ウワサの真相』『ディープ・インパクト』『ホワイトハウスの陰謀』など、枚挙にいとまがないほどだ。

大統領暗殺に伴う昇格で就任した第26代シオドア・ローズベルトを描いた『風とライオン』以来、現大統領夫妻がモデルだとされる『パーフェクト・カップル』まで、実在の大統領を扱った映画は多い。中でも暗殺されたことで「国王化」され、昨夏飛行機事故で亡くなった息子は「プリンス」扱いだったジョン・F・ケネディ大統領をめぐる映画としては、『JFK』が有名だが、古くは『ダラスの熱い日』もある。オリバー・ストーン監督が『JFK』の完結編として制作した『ニクソン』は、興行成績は振るわなかったが、歴史性の強い映画であった。ケネディ、ジョンソン、ニクソンと歴代の大統領を登場させた『フォレスト・ガンプ』は、この映画1本を見るだけで戦後アメリカ文化史が語れるほどの内容豊富さである。

#### 履修上の留意点

講義で引用する映画のシーンについては、可能な限り講義の中で見せていきたいと思うが、時間や教室の限界もあり、言葉での引用に終わるケースの方が多くなることは避けられない。そうなると思えないまま映画で合衆国を語ることになり、不十分な理解になってしまう。ビデオが普及している昨今なので、受講生の個々人で映画を見ることで確認をするという作業をしてほしい。

#### 成績評価の方法

前期と後期の各期で試験を行う。同配分で評価の対象とするため2回受けることは必須である。自筆のノートのみ持ち込みの試験であるため、講義に出席することは大前提である。

#### 教科書

岩本裕子『スクリーンで旅するアメリカ』（メタ・ブレーン）

#### 参考書等

講義の中で随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講 I	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

西洋史を専攻する場合、欧文文献の講読は不可欠な作業となる。なぜならば自分が研究したいテーマに関する日本語文献は史料も研究論文も不十分に無いと思われるからである。これに対して英語の文献は様々な分野の研究に及んでおり、また英語に翻訳された様々な言語の史料も存在する。それゆえ英語の読解力がまず必要となる。そこで本講義においては、西洋史を学ぶために必要な英語の読解力の向上をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

研究文献や史料の読解とは受験までの速読による概要把握ではなく、なによりもまず一字一句の精読によって内容を正確に知ることが求められる。そこで本講義において時間を要することは構わず、学生諸君一人一人の訳す作業を通して英文の正確な理解とそれを土台に文献から必要な情報を得る術を習得してもらいたい。

履修上の留意点

上記の目的を達成するためには丹念に辞書を繙き事前に予習することは当然である。しかし本講義は語学の授業ではないので日本語に訳すだけで満足しないで、それに加えてテキストの内容を歴史的に理解しなければならない。そのため叙述にある歴史的な事件、人名、地名等も事前に調べることが必要である。なお、新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻の希望の3年生は必ず出席すること。

教科書

第一時限目に指示する。欧米文化の特質を古代ギリシア・ローマ文化の影響という観点から考察した論考を予定している。

その他

ゼミ形式で、事前に訳者を割り当てはしない。それゆえ必ず予習して、そして英和辞書（最低でも中辞典以上のもの）を持参すること。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 II	はら 原 剛	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では現代世界の地球規模での国際社会の成立の契機をさぐることを目的とする。国際社会は西洋人の世界進出によって地球規模のものとなったととらえる。したがってこの講義は16世紀に始まる。そしてそれ以後の歴史は西洋人の諸国家間の力関係、および西洋諸国と他の地域の勢力との間の力関係の変化の歴史であったと見ることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで以下の順序で講義する予定である。

1. 1500年以前のアジア優勢の時代
2. 西洋文化の変化A ルネサンスと科学革命
3. 西洋文化の変化B 宗教改革
4. 西洋における国民国家の成立
5. 西洋人による大航海の開始と西半球への進出
6. ヨーロッパの新興勢力 オランダ
7. イギリスの市民革命
8. 西ヨーロッパ列強のアジア進出
9. ロシア帝国のアジア進出
10. アメリカ合衆国の独立と膨張
11. イギリスの産業革命
12. フランスの政治革命
13. 産業革命の各地への波及
14. 西ヨーロッパ列強によるアフリカ分割
15. 19世紀末のヨーロッパ
16. 第一次世界大戦
17. 第一次世界大戦後の世界
18. 共産主義政権の成立とその影響
19. ファシズムの台頭
20. 第二次世界大戦
21. 第二次世界大戦後の世界 冷戦時代
22. ソ連と東欧の共産主義の崩壊
23. 世界的秩序の模索の時代

履修上の留意点

履修者への要望はとくにない。

成績評価の方法

記述試験の結果で評価する。

教科書

なし。

参考書等

参考書もとくに指定しないが、ポール・ケネディ著 鈴木主税訳『大国の興亡』上下巻（草思社 1988年）は役にたつ。

その他

授業は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋各国史 I	わた なべ ちか 渡 辺 知	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀以降のイギリスの社会がどのような社会であったのかを見ながら、イギリスの歴史がどのような特殊性を有しているのか、また、イギリスの近現代の歩みが世界史的にどのような意味を持つのか、考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期はジェントルマン、労働者、女性、子ども、移民等は19世紀のイギリス社会においてどのような位置を占めていたのか、またこれらの間にはどのような関係が結ばれていたのかを主なテーマとして講義をすすめます。また、近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。さらに、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。後期は、このように明らかにされつつあるイギリス帝国の多様なあり方がイギリスの社会にどのような影響を与えたのか考えていくこととします。

成績評価の方法

前、後期末にそれぞれ試験を行います。また、夏休みあけにはブックレポートを提出していただきます。成績はこれらの総合評価とします。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋各国史 II	とり ごえ やす ひこ 鳥 越 泰 彦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈ハンガリー史を考える〉  
「西洋」にはいろいろな国があります。その中の一つにハンガリーという国があります。この講義では、そのハンガリーという国の歴史を扱います。それによって、①みなさんのヨーロッパ史像をより豊かにすること、②「東欧」という地域の問題を考えること、③自明のことのように思える、「各国史」という枠組みに潜む大きな問題を考えること、の3つをねらっていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には、ハンガリー史における重要な問題（ハンガリーの建国、中世のハンガリー王国、オスマン帝国支配下のハンガリー、オーストリア＝ハンガリー帝国、ハンガリー革命、社会主義時代のハンガリー、ハンガリーの現在）をピックアップして扱っていきます。ただしハンガリー史がどのように語られるのか、ということも随時検討したいと思います。

履修上の留意点

予備知識は必要としません。「東欧」という地域やハンガリーに興味がある人、また歴史を覚えるのでなくて、考えることに挑戦してみたい人を歓迎します。

教科書

教科書は特にありません。適宜、講義中に参考文献を紹介します。またほとんど毎回の講義で講義の資料としてプリントを配布します。

その他

上記の趣旨から、ほぼ毎回みなさんに講義に対して、意見や質問を求めます。資料に基づいて考える作業も、講義中に取り入れたいと思います。またハンガリーはみなさんにとってなじみが少ないと思うので、ビデオを見る機会も設けたいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 各 国 史 III	なか た じゆん 中 田 潤	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、主として19世紀末から20世紀前半のドイツ史が概説される。その際に当該の時代のドイツの特色をより良く理解するために、これに先立つ18世紀のドイツ史および、当該の時期の他のヨーロッパ地域の動向にも補足的に触れていく予定である。

講義は、大きく2つの部分から構成される。前半では、近代ドイツ国民国家形成をめぐる諸問題が導入として概観された後、第一次世界大戦の勃発からナチスの政権掌握までの時期がとり扱われる予定である。後半では、ナチス体制と第二次世界大戦の問題が取り扱われる。

本講義に限らず、近代ドイツ史に関心を持つものにとって、ナチス体制をいかに理解するのかという問題は避けて通れないものである。本稿講義では、その構造的な原因としての、ドイツにおける「市民社会」の在り方と「工業化の問題」に重点を置いて講義を進めていきたい。その際に、当該の時期の歴史をめぐる、内外での学術的な論争に関しても紹介していく予定である。

歴史と取り組むという作業は、実は暗記なのではなく、むしろ想像し、考える作業なのである。我々が現在生きている現代の日本とは異なった考え方がする人たちによって作り上げられ、また異なったメカニズムによって機能している社会をイメージし、理解するためには、自己の考え方や自らの属している社会を相対的に、そして批判的に見つめる能力が不可欠なのである。こうした培われた能力は、我々の社会が抱える様々な問題の本質を理解し、その解決の糸口を見いだすための、かけがえない力になるはずである。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を望みます。また履修上の条件ではありませんが、ドイツ語を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

レポートと学年末試験。参加者の人数によっては、レポートに代わって、学生諸君に報告をしてもらうことも検討している。

参 考 書 等

ノルベルト・フライ 芝健介訳 『総統国家 ナチスの支配』(岩波書店 1994年)  
木谷勤・望田幸男編 『ドイツ近代史』(ミネルヴァ書房1992年)。他に關しては、講義に際して適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 各 国 史 IV	はせがわ たけお 長 谷 川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

今日の西洋文明の形式に古代ギリシア・ローマ世界の与えた影響の大きさは測りしれないものがある。しかしながら漠然とそのことを考えることはあっても、改めて具体的にいかなる影響を与えたのかを考察する機会は以外と少ない。本講義では、この点を主要なテーマとして古代ギリシア世界と古代ローマ世界が各々、西洋文明の形成過程で、いかなる受けとめられ方をしたのかを、特に近代市民社会との関わりで検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

近代市民社会の成立において、古代ギリシア・ローマがイデオロギー的に有用なシンボルとして利用されたことは明らかである。それは共和体制 (republic) という語が古代ローマの *res publica* に、また民主主義 (democracy) という語が古代ギリシアの *demokratia* に由来することからも明白である。加えて帝国主義を支えたものとして古代ローマの帝国 (*Imperium Romanum*) 理念があったことも疑いないであろう。これら政治的な側面から、学問、文学、絵画、建築様式や彫像、凱旋門などのモニュメント建立、庭園のレイアウトまで古代世界の影響は随所に見られ、近代の人々のメンタリティに深く関わっていると考えられるので、これらの諸側面の検討から近代以降の社会における古代ギリシア・ローマ世界の意義を考える予定である。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に古代世界とは近代にとっていかなる意義を有するのか、自らも所属する近代社会とはいかなるものであるのかを自分なりに考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。

成績評価の方法

講義をした上で考えたいが、出席が前提となる。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義中に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学各説Ⅰ	酒井清治 <small>さか い きよ じ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあつてはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産址から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより、須恵器から古墳時代、古代を考える。

講義の内容・授業スケジュール

須恵器に関する論文を読みながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）  
 中村浩『和泉陶邑窯の研究』（柏書房）  
 山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学各説Ⅲ	設楽博己 <small>した ら ひろ み</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

弥生文化の成立と展開過程をさぐる。近年の発掘調査の成果とそれに基づく研究を参照しながら、弥生時代像について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、講師のレクチャーと質疑応答形式。

成績評価の方法

試験（筆記）

参考書等

適宜、こちらで用意する。

その他

スライドを使用する場合がある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 I	たか はま しゅう 高 浜 秀	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。講義ではこれらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書・参考書等

教科書はないが、一般的な参考書として、藤川繁彦編『中央ユーラシアの考古学』（世界の考古学⑥ 同成社、1999年6月）を挙げるができる。詳しくは、適宜指示する。

その他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	矢野和之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし。

参考書等

適宜指示。

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西域美術史	まつ だいら みわ こ 松 平 美 和 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タク라마カン砂漠周辺のオアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルフアン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏季休暇後の二回のレポートで評価する。

教科書

講義時にプリントを配布する。

参考書等

講義時に適宜紹介する。

その他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライド、ビデオを多く用いる。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学史	やま ぐち まる ひろ 山 口 祐 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）



科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あ 麻 生 けん 建	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粹な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつ だ せい いちろう 松 田 誠 一 郎	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年は、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

<b>【前期】</b>		<b>【後期】</b>
第1回 飛鳥前期彫塑の概観		第1回 飛鳥後期彫塑の概観
第2～3回 飛鳥大仏		第2回 野中寺の弥勒菩薩像
第4～6回 法隆寺金堂の釈迦三尊像		第3回 法輪寺のクス材製木彫像
第7回 止利派の金銅仏		第4回 法隆寺再建と童顔童形像
第8～9回 法隆寺夢殿の救世観音像		第5～7回 山田寺仏頭と薬師寺本尊
第10～11回 法隆寺百済観音像		第8～9回 塑像と乾漆像
第12回 法隆寺四天王像		第10回 埴仏と押出仏
第13～15回 進度調整のための予備日		第11～12回 広隆寺と中宮寺の半跏像
		第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。  
②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。

成績評価の方法

後期末にレポートを課して評価する。

参考書等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国歴史文学	南 雲 智 <small>な くも さとる</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつかれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教科書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有職故実	大 塚 英 子 <small>おお つか ひでこ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論ずることにより、国文学や国史の研究に一視点を提供したい。具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期A 「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。
- B 平安朝の年中行事
1. 「年中行事絵巻」を映像資料として、平安朝における年中行事の意義を考える。
  2. 正月の年中行事を詳説し、政治と年中行事（特に朝賀）との関係を考察する。
  3. 『源氏物語』花宴の巻が書かれるまでの「花の宴」の伝統を考察し、文化的年中行事成立の条件について示唆する。
  4. 平安朝において二月～十二月に行われていた年中行事の一つを題にレポート作成。
- 後期A 『源氏物語絵巻』と服飾
1. 平安貴族社会の服飾を制度と流行の二側面から概説、『かさね色目』の展示。
  2. 撰閲時代の男性装束と女性装束を、故実書や文学から例文を引用して解説する。
  3. 絵巻の内容について、服飾の観点から解説を試みる。
- B 平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時出席しないと修得はむづかしい。

成績評価の方法

後期で学習した事項について学年末にテストを行い、前期のレポートとあわせて評価する。

教科書

河籬実英『有職故実』（塙書房）1,900円  
コンパクト版『日本の絵巻』（中央公論社）1,400円、及びプリントを使用。

その他

OHP・ビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち 谷 口 貢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化する、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 よう 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参 考 書 等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1,900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

歴  
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラ テ ン 語	佐 藤 くみ 子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

ラテン語の文字及び推定される当時の発音の説明からはじめて、ラテン語の初級文法全般を出来る限りやさしく説明します。また皆さんの興味を少しでも高める目的で、おりに触れて現在私達の知る英語やその他フランス語、スペイン語、イタリア語などのラテン系の言語とのつながり、発展過程などについても話したいと思います。

また、文法の進度に従って、簡単な物語の講読を行い、ローマの歴史や伝説にも親しんでもらいたいと思います。

履修上の留意点

テキストは一応講義のガイドとして用いますが、内容的にはテキストから逸脱する部分が多いので、必ずノートをとって下さい。また、教室に必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期の文法テスト及び後期の翻訳テストの結果に、平常の学習態度、出席状況を加味して成績評価を行います。

教 科 書

松本悦法著『ラテン語入門』（駿河台出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書がある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への(特に近代以降の欧米文化)影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学(例えばヘッセの『車輪の下』)でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』(大修館書店) 1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

歴  
史

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史地理学	おだ まさやす 小 田 匡 保	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の事例を中心に歴史地理学の主な内容を概観する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要 2. 歴史地理学の資料 3. 村落 4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位確定は保証できない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概説	小池とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論をとりあげる。次に前期は主として民族・国家の観点から、後期は経済発展と地域の変貌の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（「新詳高等地図」帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	川元豊和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

白田雅之・佐藤宏・谷口晉吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円  
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

その他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 誌 学	くぼ た 久保田 たけし 武	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解  
高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得と文献紹介  
暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・  
授業スケジュール

- ◆講義の内容  
世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・政治・経済・社会・文化・課題等）。大地域は世界中を一通り学習。中小地域と国は範例学習的に選択  
教授者による毎回の授業、情報源になる資料紹介、その他
- ◆授業スケジュール  
前期は東アジアに始まり  
後期はオセアニアで終る。日本の地域を1回取り上げる。

履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め  
出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価。  
出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この際揃えた方がよい。とりあえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参した方がよい。

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする。  
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 誌 学	ふじ しま のり たか 藤 島 範 孝	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れてきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。

履修上の留意点

各種の地図を利用するので、描写及び着色することがあるので、作図できるようにしておく。  
国境及主都等は構造として把握する。

成績評価の方法

最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。

教科書

大藪友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円

参考書等

浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円 泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業出版社）1,300円 アンドリュウ・ボイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円

その他

講義、作図。

# 1. 専門教育科目

## (5) 社会学科

社会学専攻  
社会学コース





# 1. 専門教育科目

## (5) 社会学科(社会学専攻・社会学コース)

社会学概論	〈坪井 健〉	259
社会調査	〈牛島 千尋〉	260
社会学基礎研究	〈川本 勝・安藤 喜久雄・牛島 千尋・金丸 由雄 川崎 賢一・坪井 健・吉田 素子〉	261
情報処理実習	〈軽部 幸浩〉	262
調査統計基礎演習	〈川崎 賢一〉	263
調査統計基礎演習	〈三重野 卓〉	263
社会学史	〈安藤 喜久雄〉	264
理論社会学	〈休 講〉	
外書講読	〈金丸 由雄〉	264
現代社会論	〈牛島 千尋〉	265
政治社会学	〈岩瀬 庸理〉	266
家族社会学	〈岩上 真珠〉	267
法社会学	〈小林 弘人〉	268
文化社会学	〈川崎 賢一〉	268
宗教社会学	〈休 講〉	
地域社会学	〈休 講〉	
災害社会学	〈休 講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本 勝〉	269
産業・職業社会学	〈安藤 喜久雄〉	269
社会心理学	〈休 講〉	
社会病理学	〈吉田 素子〉	270
社会学原論	〈渡辺 源樹〉	271
社会調査演習	〈坪井 健〉	272
社会統計学演習	〈坪井 健〉	273
社会調査実習	〈吉田 素子〉	274
社会学理論研究Ⅰ	〈金丸 由雄〉	274
社会学理論研究Ⅱ	〈金丸 由雄〉	275
社会学特殊講義Ⅰ	〈牛島 千尋〉	275
社会学特殊講義Ⅱ	〈牛島 千尋〉	276
行政法	〈鶏 徳啓登〉	276
法学(福祉)	〈小林 弘人〉	277
社会福祉援助技術総論	〈休 講〉	
社会保障論	〈船水 浩行〉	278
老人福祉論	〈東條 光雅〉	279
児童福祉論	〈許斐 有〉	280
地域福祉論	〈渡辺 一城〉	281
児童心理学	〈横山 剛〉	282
産業心理学	〈高橋 誠〉	282
環境心理学	〈高橋 鷹志〉	283
老年心理学	〈中里 克治〉	283
社会政策	〈光岡 博美〉	284
労働法	〈藤本 茂〉	285
民法	〈竹中 智香〉	286



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 概 論	つばい 坪 井 健	社 会 1 必	4

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - 社会的性格と社会化 -
19. 現代社会論1 - 崩壊する家族 -
20. 現代社会論2 - 多文化の世界 -
21. 現代社会論3 - 人生と職業労働 -
22. 現代社会論4 - 高齢化社会と生き方 -
23. 現代社会論5 - 豊かさとは何か -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

社会(社会学)

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。日に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見・評価用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマを1時間完結の予定である。内容や順序は変更することもある。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書・  
参考書等

各テーマの授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 調 査	うし じま ち ひろ 牛 島 千 尋	社 会 1 必	4

講義のねらい

本講義は、私たちの周囲に生起する社会的現象を科学的に解明するために、データの収集・記録・整理・分析という一連の過程としての社会調査の技法を学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期から後期にかけては主に質問紙法を使用した量的な調査法について、後期は主に質的調査法について講義する。講義内容の概略は以下の通りである。

1. 社会調査の系譜
2. 社会調査の類型－量的方法と質的方法
3. 量的調査の実例
4. 調査対象・対象範囲の決定
5. 調査単位の選定と標本抽出
6. 調査票の作成
7. 既存資料の検討と分析
8. 質的調査の実例
9. 生活史法、参与観察法、内容分析
10. 社会調査の結果分析とまとめ方

成績評価の方法

レポートと試験によって評価する。

教 科 書

渡辺久哲『調査データにだまされない方法』（創元社）1,500円

参 考 書 等

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』（日本評論社）2,800円  
K.ブラマー『生活記録の社会学』（光生館）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	<small>かわもと</small> 川本 <small>まさる</small> 勝・ <small>あんだう</small> 安藤 <small>きく</small> 喜久雄 <small>うしじま</small> 牛島 <small>ちひろ</small> 千尋・ <small>かなまる</small> 金丸 <small>よし</small> 由雄 <small>かわさき</small> 川崎 <small>けんいち</small> 賢一・ <small>つばい</small> 坪井 <small>よし</small> 健 <small>よしだ</small> 吉田 <small>もとこ</small> 素子	社会 1 必	2

講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる(その成果は「卒業論文」としてまとめられる)。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題(研究テーマ)をみずからみつけなければならないし、その問題(研究テーマ)に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問もっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期:受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。7人の教員が持ち回りで2~3回ずつ講義をおこなう。受講生はわかるがわる登壇する7人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期:受講生は7人の教員いずれかのもとで授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の配当(クラス分け)については別途指示するのでそれにしたがうこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

教科書

安藤喜久雄編『わかりやすい・論文レポートの書き方』(実業文日本社)特に後期に使用する。

参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理実習	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	社会1必	4

#### 講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 for Windows)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel、秀吉 for Windows の習得は、単位取得のための必須条件である。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解、実習での応用力の程度によっては、期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
調査統計基礎演習	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会 2 必	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会調査の実施・分析に必要な、社会統計学の基礎知識・技術を身につけることを目的とする。具体的には、統計に必要な、確率論・確率分布を基礎にして、記述統計学（グラフ化・度数分布など）と推測統計学（正規分布・平均の差の検定・カイ自乗検定など）とについて学習する。実際の調査データを用いたり、計算問題を解くことなどを中心に授業はおこなわれる。

教科書

テキストはもうけないが、準テキスト扱いのものは、以下の3つである。  
D. ロウントリー、『涙なしの統計学』（新世社）1991  
P. G. ホーエル、『初等統計学』（培風館）1963  
ボンシュテット・ノーキ、『社会統計学』（ハーベスト社）1990

科目名	担当者名	配当学科	単位
調査統計基礎演習	三重野卓 <small>み え の たかし</small>	社会 2 必	4

講義のねらい

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための統計学の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、記述統計学と推測統計学の基礎を理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

本演習を理解するためには、高校程度の積分、確率論の知識を必要とする。これらの授業を高校で履修していないひとのために、また、履修しているひとにとっては復習のために、数学的な基礎知識を教授する。

具体的な内容としては、まず、①社会調査のプロセスを明らかにする。その場合、社会学の理論と実証の関係、変数の操作化、尺度化などについて検討する。②記述統計学の理解としては、平均、分散、標準偏差、積率などについて講義し、さらに、2変数間の関係を表すピアソンの相関係数、クラマーの関連係数（クロス表分析）についても検討する。③推測統計学の理解のために、確率変数、確率分布、標本分布の考え方を明らかにし、それらを踏まえ、推定（点推定、区間推定）、検定について詳細に検討する。

履修上の留意点

統計学は、欠席すると次週以降の授業内容の理解が困難になる。授業のペースにあわせて勉強し、復習をすること。分からないところは、積極的に質問しに来て欲しい。

成績評価の方法

前期、後期の2度の試験により評価する。毎回、出欠をとり、出席率のよいものについては、成績評価において加味する。

教科書

特に指定しない。なお、授業では、毎回、プリントを配布する予定。

参考書等

G. W. ボンシュテットほか（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）

その他

授業は、なるべく学生と会話しながらすすめ、簡単な演習問題をやってみよう。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学史	安藤喜久雄	社会2必	4

講義のねらい

社会学の創設者である A. コントから現代の社会学者に至るまでの主要な社会学理論を概観する。とくに、その中において現代の社会学理論に影響を与えている主要な理論を中心に講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、社会学の起源を時代背景をふまえて述べるとともに、個別科学としての社会学の確立に貢献したジンメル、テンニース、ウエーバー、デュルケムなど前世紀末から今世紀初頭に活躍した人びとの理論の内容と特徴について概観する。さらに、アメリカ社会学の基礎を築いた19世紀末から1930年代までの主要な研究について概観する。

次いで、1930年代、アメリカでパーソンズの機能主義社会学があらわれ、第二次大戦後、一世を風靡した。パーソンズの機能主義社会学は社会学のみならず、人文科学や社会科学の各分野にも大きな影響を与えた。それゆえ、パーソンズを中心にマートンなど機能主義社会学に連なる人びとの理論と特徴を概観する。

1960年代後半以降は機能主義社会学に対する批判も含めて多様なパラダイムが輩出した。社会的交換理論、シンボリック相互作用論、現象学的社会学、エスノメソドロジー、構造主義社会学などである。それらの諸理論について概観する予定である。

成績評価の方法

出席点と定期試験の両者で成績を評価する。

教科書

児玉幹夫編著『社会学史の展開』(学文社) 2,500円

社会(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読	金丸由雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会変動を最初に感知し、その変動のきざしに表現を与えるのは芸術家である。特に「造形芸術家」と謂われる人々が、最も敏感に変動を捉え、それに視覚的表現を与える。

本講では、従来の伝統的 sociology が芸術家の活動をいかなるものと考えて来たかを確認する一方で、これと真向から対立する見解 (社会学者及びそれ以外の分野からする批判) を講読する。

外国語で書かれた文献を勉強することは、自分の文化 (言語はその根幹である) を相対化する視角を与える。それに上達するには、多く、しばしばこれに接し、これと取り組むことである。受講者は予習は必ずして来るように要求されるが、これが上達の鍵だからである。

成績評価の方法

平常点によるものとする。

教科書

具体的なテキストは、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 社 会 論	うし 牛 じま 島 ち 千 ひろ 尋	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、社会階級・階層、ジェンダー、人種・民族という3つの軸を使用して、現代社会のさまざまな領域（労働、地域、家庭、消費、余暇など）で起きている諸現象を、国内外のさまざまな事例を通して考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

一年をほぼ三期にわけて、社会階級・階層、ジェンダー、人種・民族に関する基本的理論を紹介し、関連する諸現象の具体的な経緯や背景を講述していく。講義内容の概略は以下の通りである。1. 社会階級・階級、ジェンダー、エスニシティに関する基礎理論、2. 経済資源・組織資源・文化資源 3. 文化的再生産のメカニズム、4. 空間の社会的分化、5. 有償労働と無償労働 6. 余暇とライフスタイル 7. 国際労働力移動とエスニシティ、8. 豊かな都市社会における貧困

成績評価の方法

試験、レポート、講義中の発言によって総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。資料を配布する。

参考書等

上野千鶴子『家父長制と資本制』（岩波書店）2,500円  
 牛島千尋『ジェンダーと社会階級』（恒星社厚生閣）2,575円  
 瀬地山角『東アジアの家父長制——ジェンダーの比較社会学』（勁草書房）3,200円  
 広田康生『エスニシティと都市』（有信堂）3,500円

その他

ビデオなどのマルチメディア教材を利用した講義を行う。履修者の人数にもよるが、様々な視点からの問題意識の洗練と共通理解のために議論を合わせて行いたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 社 会 学	いわ せ のぶ ただ 岩 瀬 庸 理	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することです。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1) 政治社会学の対象と方法  
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
- (2) 政治的社会化  
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
- (3) 参加行動  
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
- (4) 権力構造  
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
- (5) イデオロギー  
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教 科 書

教室で指示する。

参 考 書 等

教室で指示する。

そ の 他

講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	岩 <sup>いわ</sup> 上 <sup>かみ</sup> 真 <sup>ま</sup> 珠 <sup>み</sup>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあきらかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) ジェンダーと家族
- 2) 社会変動と家族
- 3) 家族の社会史
- 4) 男と女-多様な結婚のかたち
- 5) 親と子-新しい関係の構築
- 6) ライフコースと家族
- 7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時、意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教科書

講義のはじめに指示する。

参考書等

講義中、適宜指示する。

その他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。)

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

社会(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 社 会 学	かわ き崎 けん いち 川 崎 賢 一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、現代日本文化の特色を分析することにある。その際、キーワードは、文化的グローバリゼーション・文化政策・文化交流・文化産業などである。また、文化といっても多岐にわたるが、本講義では、3つのタイプ(ファインアートカルチャー・ポピュラーカルチャー・ニューメディアカルチャー)に分けた上で、この3文化と文化階層を関連づけて説明していきたい。

なお、教科書は特にないが、できる限り、次の著書の第3部を事前に読んでおくことが望ましい。

参 考 書 等

川崎賢一『情報社会と現代日本文化』(東京大学出版会) 1994年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわ 川 <small>もと</small> 本 <small>まさる</small> 勝	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて考える。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

用いない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	あん 安 <small>どう</small> 藤 <small>きく</small> 喜 <small>お</small> 久 <small>お</small> 雄	社会2・3・4選	4

講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本的経営と組織風土
5. 日本的雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で評価する。

教科書

安藤喜久雄他『企業社会の構図』(学文社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 病 理 学	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康、病、治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1) 心身医学の確立、2) 代替医療の普及、3) ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会学的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

1) の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。2) で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに3) のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者・患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方等を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 授業内容とそれに必要な準備
- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ‘action’からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は‘inter’して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準  
1. 役割の取得 — 社会化 フロイドとパーソンズの‘社会化の過程’を中心に
- 第5回 2. 役割の準拠 — 準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第6回 3. 役割の葛藤 — マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／  
マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調 — 逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／  
逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2. 社会有機体説と構造・機能 機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3. 集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、  
地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／  
PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラル 同調への圧力・斉一性／集団規範／  
凝集性を高める条件／モラル
- 第15回 前期試験 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第17回 2. 官僚制組織の基本原理解 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原理解  
(ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／  
グールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識  
1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第20回 2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を  
中心として
- 第21回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度(社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第25回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 第25回 3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 第25回 4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／  
成層研究の課題

社会(社会学)

成績評価の方法

定期試験(有り)、レポート(有り)

教科書

開講時に提示。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査演習 (前期)	つばい 井 健	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この科目は、社会学研究の方法の一つとしての社会調査（特に、統計調査）の技法を、実際の調査手続きを通じて学習することを目的とする。一年次に学んできた社会調査法の講義を基礎としているので、一般的解説は行わず、実際の調査作業を通じて生じる問題点や処理方法を実際のデータで学習する。具体的には、小規模な調査を実施してデータを集めたり、既存の調査データを利用しながら学習する。

なお、この「社会調査演習」は、調査データの統計的処理に関する問題は取り扱わない。統計処理の実際については、「社会統計学演習」で取り扱うので、「社会統計学演習」も併せて受講することが望ましい。

使用ソフトは、Word、EXCEL、SPSS などである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 受講上の注意と実習の進め方-
2. 母集団とサンプリングの実際 (コンピュータ使用)
3. 調査票の設計とワーディングの実際 (コンピュータ使用)
4. 調査票の点検とコーディング
5. 調査データの入力と欠損値、自由回答の処理 (コンピュータ使用)
6. 度数集計とデータ・クリーニング (コンピュータ使用)
7. 調査結果の分析とエラボレーション (コンピュータ使用)

履修上の留意点

この科目は、講義と違い実習科目であるので、毎回出席は当然として、実習作業への積極的参加が求められる。

成績評価の方法

平常点 (出席+実習態度) 50%、課題レポート50%

教科書

その都度、プリントを配布して実習内容を指示するので、教科書は使わない。

参考書等

内田治『すぐわかる SPSS によるアンケートの調査・集計・解析』(東京書籍) 1997 2,800円  
内田治『すぐわかる EXCEL によるアンケートの統計解析』(東京書籍) 1996 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会統計学演習 (後期)	つばい 井 健	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この科目は、統計調査のデータ処理の実際を、実際の調査データの処理手続きを通じて学習することを目的とする。統計理論の基本的説明は「調査統計基礎演習」で学習するので、一般的解説は行わず、コンピュータを利用した統計処理の具体的技法を学習すると共に、統計処理の限界や留意点について学習する。

なお、社会統計学演習は、実際の調査データとして、「社会調査演習」で使った調査データを利用して統計的処理を進めるので、「社会調査演習」を受講していることが望ましい。使用ソフトは、EXCEL、SPSS などである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. はじめに - 受講上の注意と実習の進め方 -
2. 統計処理の技法 - データの種類と統計処理 -
3. 基礎統計量の算出 / 平均、分散、標準偏差、相関関係など
4. グラフ表現 / ヒストグラム、棒グラフ、折れ線グラフなど
5. 推定・検定 / 母平均の差の検定、クロス表の検定など
6. 多変量解析 / 重回帰分析、因子分析、数量化理論など
7. 統計処理の落とし穴 (随時)

履修上の留意点

この科目は、講義と違い実習科目であるので、毎回出席は当然として、実習作業への積極的参加が求められる。

成績評価の方法

平常点 (出席 + 実習態度) 50%、課題レポート 50%

教科書

その都度、プリントを配布して実習内容を指示するので、教科書は使わない。

参考書等

石村貞夫『SPSSによる統計処理の手順』(東京書籍) 1995 2,800円  
 内田治『すぐわかる SPSSによるアンケートの調査・集計・解析』(東京書籍) 1997 2,800円  
 内田治『すぐわかる EXCELによるアンケートの統計解析』(東京書籍) 1996 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会調査実習	よし だ もと こ 吉 田 素 子	社会3・4選	4

講義のねらい

社会学の方法論には大きく分けて定量的分析 (quantitative method) と定性的分析 (qualitative method) の2つがある。この講義では、定量的分析のうち、とくにサーベイについて、実習を通してその計画の立て方、質問の構成法、分析法等を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、理論的な問題として、どのような社会学的問題がサーベイによって研究するのに適しているか、並びにどのように理論と質問を関連させたらよいかといったことを学び、次にどのようにしたら解答率を高められるか、解答ミス避けられるか、正確性・客観性を保てるかといった実践的な問題を検討する。実際に与えられたあるいは学生自身の興味のある問題に関してサーベイを作成し実習する。さらにサーベイの社会学の方法としての欠点・問題点、今日社会学の方法論の中での位置づけについても考察したい。

成績評価の方法

学習態度・実習の内容によって評価する。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

土田昭司著『社会調査のためのデータ分析入門』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学理論研究Ⅰ (前期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会3・4選	2

講義のねらい

社会学における理論と調査の関係について考究する。  
社会学の歴史上重要な研究が、この関係においていかなる姿をとったものであったかを特に注目するが、具体的にはマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に始る宗教社会学的諸研究と、エミール・デュルケム『自殺論』とそれに続く方法論上の問題及び『原始的宗教の諸形態』の行為論的意義などが考察の対象となろう。

成績評価の方法

成績評価はレポートによるが、受講生の主体的学習態度も考慮の対象となる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学理論研究Ⅱ (後 期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	社会3・4選	2

講義のねらい

科学及び芸術を社会学の立場から検討する。まず行為モデルを提示し、それと既存の学説と対比しつつ、これらの人間活動の特質が如何なるものかを究明する。

成績評価の方法

評価は平常提出するレポートを以てする。

教科書

教科書は無いが、参考文献はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ (前 期)	うし しま ち ひろ 牛 島 千 尋	社会3・4選	2

講義のねらい

本講義では、20世紀初頭のシカゴ学派から今日の世界都市化論まで、都市社会学の主要な理論と方法について講述していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の概略は以下の通りである。

1. シカゴ学派の遺産と人間生態学
2. 都市拡大と分化の過程
3. 都市と都市的生活様式
4. 前産業型都市と産業型都市
5. 都市計画と都市構造
6. サバーバニゼーション
7. 都市の人口構造と産業構造
8. コミュニティとソサエティ
9. 新都市社会学・世界都市化論

成績評価の方法

レポート、試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。講義中に資料を配布する。

参考書等

鈴木広編『都市化の社会学理論』（ミネルヴァ書房）3,605円  
 パーク、バージェス『都市-人間生態学とコミュニティ』（鹿島出版会）  
 ショウバーク『前産業型都市と産業型都市』（鹿島出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ (後 期)	牛 島 千 尋	社会3・4選	2

講義のねらい

本講義は「東京」という現実の都市に焦点を当てて、近代化の先導的役割を果たした明治期から世界都市としての位置を確保した現代までの歴史的発展をたどり、脱工業化社会の大都市が抱える問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容の概略は以下の通りである。1. 近代化と東京 2. 関東大震災と郊外化 3. 東京の都市計画 4. 戦後の復興と住宅計画 5. 経済成長と都市構造の変化 6. 東京の工業の衰退と地域社会の変化 7. 世界都市としての東京都一極集中 8. 東京のインナーシティ問題 9. バブル経済と都心・郊外の偏か 10. 今日の大都市問題

履修上の留意点

本講義の基礎的知識として、私の担当する社会学特殊講義Ⅰを合わせて受講して欲しい。

成績評価の方法

レポートと試験によって評価する。

教科書

特に指定しない。講義の中で資料を配布する。

参考書等

吉岡健次・山崎春成編『現代大都市の構造』(東京大学出版会) 2,800円  
石塚裕道『日本近代都市論 東京：1968-1923』(東京大学出版会) 4,500円  
高橋勇悦編『大都市社会のリストラクチャリング』(日本評論社) 3,398円  
町村敬志『「世界都市」東京の構造転換』(東京大学出版会) 4,800円

そ の 他

ビデオ、OHP などのマルチメディア教材を利用した視覚的な講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	鷄 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであるか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであるか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保証を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の割合はいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒ ・人口高齢化の意味  
 ・高齢者問題の背景  
   社会変動、家族変動  
 ・高齢者の生活問題  
 ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害  
 ・高齢者の保健福祉ニーズ  
   ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒ ・老人保健福祉法制と関連施策  
   近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、  
   介護保険法、関連施策  
 ・老人保健福祉の供給システムと財源  
   供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、  
   財源、マンパワー  
 ・在宅サービスの制度と処遇  
   在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、  
   在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例  
 ・施設サービスの制度と処遇  
   入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、  
   保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、  
   施設サービスにおける援助事例  
 ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないので、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円  
 冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	この 許 斐 有	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参 考 書 等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）（集英社）ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 福 祉 論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の社会福祉はいま正に大きな制度的転換期にあるが、この制度改革の基本的考え方となっているのが「地域福祉」である。これは、児童福祉、障害者福祉、老人福祉といった対象別分野論ではなく、人間が生活する圏域つまり地域ないしはコミュニティに焦点を当て、様々な福祉課題の解決に取り組んでいくための視点や方法を内包した実践領域とすることができる。

この講義では、こうした認識の下で、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や方法及び課題について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・現代社会におけるコミュニティと地域福祉
- ・社会福祉制度改革の動向と地域福祉
- ・地域福祉計画の意義と内容
- ・市町村行政や社会福祉協議会などの地域福祉推進組織とその連携
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給体制
- ・地域福祉の資源（人材、財源など）の活用と開発
- ・ボランティア活動、NPO 活動とその支援システム など

成績評価の方法

出席、試験、レポートなどにより評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂社会福祉士養成講座 地域福祉論』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

授業時に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこ 横 やま 山 つよし 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい	人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。
履修上の留意点	授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。
成績評価の方法	平常点+レポート課題+試験
教科書	山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)
その他	プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業心理学	たか 高 はし 橋 まこと 誠	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい	コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。
講義の内容・授業スケジュール	前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。
履修上の留意点	マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術改革と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。
成績評価の方法	授業への参加とレポート内容
教科書	使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。
参考書等	授業中に提示する。
その他	講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目の一つでも養うための参考になれば幸いと感ずる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環 境 心 理 学	たか 高 はし 橋 たか 鷹 し 志	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚忠一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

そ の 他

授業の方法は聴講人数によって決める。

社会(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	な 中 か ざと か かつ はる 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢(老化)と病的な加齢(病気)を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下仲順子（編）『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べたように(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うほか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しながされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一眼地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にもあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。

ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等・同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

社会（社会学）

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

出席を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。

#### 教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさ の かつ み 浅 野 克 巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を解説する。なお、公務員試験(その他の国家試験)の受験対策としても役立つよう必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| I. マクロ経済学の理論      | II. ミクロ経済学の理論 |
| 1. 経済循環と国民所得の概念   | 1. 消費者行動の理論   |
| 2. 国民所得の決定        | 2. 企業行動の理論    |
| 3. 経済の変動と成長       | 3. 市場と価格決定    |
| 4. 賃金・物価・インフレーション | 4. 市場・企業・産業   |
| III. 公共政策         | IV. 国際経済学     |

履修上の留意点

現代経済学の勉強で不可欠なことは、現実の経済問題に関心をもつことである。とくに『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおり、必要な記事はスクラップブックに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つであろう。

成績評価の方法

筆記試験とレポートによって行う。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』（成蹊堂）1995年

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1996年

# 1. 専門教育科目

## (6) 社会学科

社会福祉学専攻  
社会福祉コース





# 1. 専門教育科目

## (6) 社会学科(社会福祉学専攻・社会福祉コース)

社会福祉原論	〈伊藤秀一〉	291
法学(福祉)	〈小林弘人〉	292
ソーシャルワーク・リサーチ論	〈菊地和則〉	292
情報処理論	〈軽部幸浩〉	293
社会福祉援助技術総論	〈川廷宗之〉	294
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	〈伊藤秀一〉	295
社会福祉基礎演習	〈小畑和〉	296
社会福祉基礎演習	〈小林弘人〉	296
社会福祉基礎演習	〈原田信一〉	297
社会福祉発達史	〈林千代〉	298
国際社会福祉論	〈山本真実〉	298
社会福祉計画論	〈川廷宗之〉	299
リハビリテーション論	〈原田信一〉	300
家族療法	〈治田哲之〉	301
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	〈許斐有〉	302
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	〈児玉谷広子〉	303
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	〈安梅勅江〉	304
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	〈山本真実〉	305
社会福祉学特講Ⅴ〔保健・医療〕	〈原田信一〉	306
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕	〈小畑和〉	307
社会福祉援助技術各論ⅠA	〈北島英治〉	307
社会福祉援助技術各論ⅠB	〈川廷宗之〉	308
社会福祉援助技術各論ⅡA	〈川廷宗之〉	309
社会福祉援助技術各論ⅡB	〈坂田周一〉	310
社会保障論	〈船水浩行〉	311
保健福祉論	〈長尾讓治〉	312
家庭福祉論	〈休講〉	
公的扶助論	〈伊藤秀一〉	312
障害者福祉論	〈原田信一〉	313
老人福祉論	〈東條光雅〉	314
児童福祉論	〈許斐有〉	315
女性福祉論	〈林千代〉	315
医療福祉論	〈春見静子〉	316
地域福祉論	〈渡辺一城〉	317
外書講読	〈東條光雅〉	318
社会学(福祉)	〈橋爪敏〉	318
心理学(福祉)	〈高橋良博〉	319
社会病理学	〈吉田素子〉	319
心理検査法	〈森山敏文〉	320
医学一般	〈小林臻〉	321
介護概論	〈児玉谷広子〉	322
家族社会学	〈岩上真珠〉	323
法社会学	〈小林弘人〉	324
行政法	〈鶏徳啓登〉	324

環 境 心 理 学	〈高橋 鷹 志〉	325
精 神 医 学	〈井出 恵〉	325
社 会 政 策	〈光岡 博 美〉	326
劳 働 法	〈藤本 茂〉	327
民 法	〈竹中 智香〉	328
経 済 原 論	〈浅野 克巳〉	328
社会福祉調査実習	〈東條 光雅〉	329
精神保健学	〈穂積 登〉	329
精神科リハビリテーション学	〈城田 晴夫〉	330
精神保健福祉論Ⅰ	〈坂野 憲司〉	331
精神保健福祉論Ⅱ	〈坂野 憲司〉	332
精神保健福祉援助技術各論	〈坂野 憲司〉	333
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	〈伊藤 秀一〉	334
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈小畑 和〉	334
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈許斐 有〉	335
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	〈長尾 讓治〉	335
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈北島 英治〉	336
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈讃岐 真佐子〉	337
社会福祉援助技術演習Ⅰ	〈長尾 讓治〉	338
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈北島 英治〉	338
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈讃岐 真佐子〉	339
社会福祉援助技術演習Ⅱ	〈長尾 讓治〉	339
精神保健福祉援助演習	〈長坂 和則〉	340
精神保健福祉援助実習	〈上野 容子〉	341

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福 祉 1 必	4

#### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業、社会事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

#### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

#### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

#### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ぼ や し ひろ ひと 小 林 弘 人	福 祉 1 必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- [目標]
- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
  - 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。
- [内容]
- 1 社会生活と法
  - 2 憲法
    - 1) 基本原理
    - 2) 基本的人権
    - 3) 地方自治
  - 3 民法
    - 1) 総則
    - 2) 物権
    - 3) 契約
    - 4) 不法行為
    - 5) 親族
    - 6) 相続
  - 4 行政法
    - 1) 行政行為
    - 2) 行政不服審査
    - 3) 行政訴訟
    - 4) 行政手続き
    - 5) 地方行政組織

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ソーシャルワーク・リサーチ論	きく ち かず のり 菊 地 和 則	福 祉 1 必	4

講義のねらい

大学で専門的な勉強をしていく上で論文や報告書を読むことは欠かせないが、その中にはソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）に関するものが数多くある。それらを理解するためには調査の専門用語や技法など基本的なことを理解している必要がある。この授業は社会福祉の勉強をする上で必要な、ソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）に関する基本的な知識を習得することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は、ソーシャルワーク・リサーチ（社会福祉調査）を初めて勉強することを前提として基本的な知識の習得を中心にするが、実際に行われている調査の紹介などを含めて、調査の意義や楽しさを理解できることを目的とする。

履修上の留意点

授業への出席を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、前期・後期の試験およびレポートによって行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『三訂 社会福祉士養成講座 社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 論	<small>かる</small> 軽 部 <small>ゆき</small> 幸 <small>ひろ</small> 浩	福 祉 1 必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作と OS の基礎
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick)
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel)
- ・データ解析への応用
- ・プレゼンテーション・ソフトを利用したプレゼンテーションの総合実習
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくとも年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回(1回平均約2時間程度)の実習が必要となる(昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick、MS-Word、MS-Excel の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術総論	川 廷 宗 之 <small>かわ てい もと ゆき</small>	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉援助技術総論（ソーシャルワーク論）は、ソーシャルワーカーに必要な「福祉倫理」、「専門知識」、「専門技術」の基礎を学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャルワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャルワーカーの専門性等についての入門的解説を中心に展開したい。また、コミュニケーションのスキルについても解説する。

さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャルワーカーになるための基礎理解を深め、福祉倫理や専門対人援助関係の形成の実際についても論究したい。

成績評価の方法

成績は、授業時の小テストとレポートを基本に、出席状況を加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	伊 藤 秀 一 いとう しゅういち	福 祉 2 必	2

#### 講義のねらい

「福祉は人なり」と言われるように、いかに立派な制度を構築しても、またその制度のもとに目をみはるばかりの施設を建造したとしても、サービスを提供する人が有効適切に機能しなければ、その意味を保有することは不可能に近い。しかも、最近のわが国の社会福祉の状況を見ると、その人の問題の重要性が格段に高くなつてきている。

本講は、こうした時代の要請ともいうべき福祉の専門的マンパワーの養成を前提としつつ、2年次開講の必修科目として1年次配当の科目や2年次に平行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋としての重要な位置を占める。また、この講義の内容は、3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱへの準備学習が中心となる。

したがって、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、自己の実習分野を考え、かつ社会福祉実践の実態を把握することを目的とする。そのため、授業では、ビデオなどの視聴覚教材の活用、グループ学習、福祉現場の従事者による講演などを予定している。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 講義方針の説明
- 2 社会福祉援助技術現場実習の基礎知識
  - 1) 意義、目的
  - 2) カリキュラム上の位置、専門資格（社会福祉主事、社会福祉士）
  - 3) 実習先の説明（社会福祉現業機関・施設）
- 3 ビデオによる学習
  - ・ビデオ視聴を通じて、主につぎの事項についての理解を深める。
  - ①入所者のADL ②入所者相互の関係 ③入所者と職員との関係 ④施設内の環境
  - ⑤入所者に対する職員の援助

なお、授業では、ビデオの概要についての説明、視聴するポイントについての説明、ビデオの放映、ビデオを視聴しての感想発表、感想発表で示された意見の整理、レポート課題についての説明を行う。

- 4 グループ学習及び報告
  - 1) 福祉事務所、児童相談所、婦人相談所等
  - 2) 老人福祉施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム）
  - 3) 児童福祉施設（養護施設、母子寮、肢体不自由児施設等）
  - 4) 障害者施設（精神薄弱者援護施設、身体障害者更生援護施設等）
- 5 福祉現場の従事者による講義

#### 成績評価の方法

レポート課題として、実習の意義、ビデオを視聴しての感想および疑問点、現場職員の講話を聞いての感想および疑問点などを予定している。  
なお、評価の方法は、出席点とレポートを総合して行う。

#### 教科書

開講時に指示する。

#### 参考書等

随時指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	お ばた かず 小 畑 和	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代社会と社会福祉、イギリス及び日本の社会福祉の歴史、地域福祉、公的扶助、児童福祉、家族の福祉、障害者福祉、高齢者福祉、社会保険など、社会福祉全般に及ぶ。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況・何度かする試験の結果などを勘案して評価する。

教科書・  
参考書等

初回講義で指示する。

そ の 他

日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）、『社会福祉小六法』をいつも携帯することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉 2 必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・  
授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教科書

授業開始の初日に指示する。

参考書等

授業開始の初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	原 田 信 一	福祉 2 必	4

講義のねらい

(1) 基礎演習をすすめる意義と内容

本基礎演習においては、まず、社会福祉学の学問としての基本構造ならびに福祉の基礎知識についての概説からはじめる。つぎに、社会福祉体系のなかで、障害者福祉の占める位置づけと特質などについても言及し、理解を十分に深めさせる（導入部分）。

障害者福祉に関する内外の文献紹介と、その中から適切な文献を選択して、輪読を行う。また関連するビデオの視聴を行い、リアルさを感じさせる。その後、幾つかの主要な骨格部分を抽出し、研究対象となり得る部分を選びだす整理作業を行う。やがて数種類に絞り、選ばれた研究対象にたいするテーマづけを行う（文献研究、ビデオ視聴、テーマ作り）。

数種類に絞られたテーマを公開し、学生各自の興味・関心のあるテーマ別に学生が分散し、グループングを行う（グループ作り）。

グループ毎にもつ、テーマに沿って共同研究を進める途上、惹起する諸問題に対する検討と分析を行い、整理・集計技法なども体得する（共同研究の進行）。

1テーマの共同研究の発表にたいして2週間程度の時間を費して、発表とその内容についてのディスカッションを展開する（共同研究の発表とディスカッション）。

以上のように、福祉の真髄を希求し、理論と現実の実証とを捉え、社会福祉学の理論と実践の有機的つながりの必要性なども会得してゆくのである。

(2) 講義の体系とスケジュール

上述のことをふまえて、つぎのような段階的講述とスケジュールで展開する（傍線部分参照）

- |                     |      |
|---------------------|------|
| 1. 導入・動機づけ          | } 前期 |
| 2. 文献研究、ビデオ視聴、テーマ作り |      |
| 3. グループ作り           | } 後期 |
| 4. 共同研究の進行          |      |
| 5. 共同研究の発表とディスカッション |      |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

共同研究における行動と知的学習面の探究心、的確な処理（集計・分析・報告のためのレポート作り等々）などを総合した評価を行う。また、可能な限り、皆出席するのが望ましい。

教科書

ゼミの時間に指示する。

その他

ゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際社会福祉論	やまもと 山 本 ま 真 実	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。  
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する。

教科書

特になし。

参考書等

適宜授業中に紹介。

その他

ビデオ使用。  
意見交換。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉計画論	かわていもとゆき 川 廷 宗 之	福祉2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければならない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要がある。ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や、日本における施設の運営管理上の課題、などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等も行おう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

#### 履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位修得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方や、コミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず修得しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行われるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

#### 教科書

教科書について、第1回目の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ① 高田真治『社会福祉計画論』（誠信書房）1979年
- ② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』（全国社会福祉協議会）1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』（全国社会福祉協議会）1984年

#### その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

総合リハビリテーションの中で、学問的に著しく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが、著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そして、グローバルな視角から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子にもとづきすすめる。

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題       | } 前 期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題       |       |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法    | } 後 期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 |       |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育      |       |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展望      |       |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 療 法	はる た てつ ゆき 治 田 哲 之	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論  
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論  
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論  
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践（家族療法的視点から）  
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教 科 書

履修者の実態（予備知識等）に合わせて決定し、授業において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅰ 〔 児 童 〕	この 許 斐 ゆう 有	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

本特講を児童福祉論の特講と位置づけ、児童福祉（子ども家庭福祉）の基本的問題、とくに児童福祉分野における子どもの権利論をより掘り下げて考察する。知識を提供するのではなく、受講学生とともに「考える」という姿勢で取り組むので、受講学生にも主体的に授業に参加していただくことを期待している。

講義の内容・  
授業スケジュール

取り上げる主なテーマは、以下のとおりである。

- 1) 子どもの権利条約の考え方と日本への影響
- 2) カナダの子ども家庭サービスと子どもの権利
- 3) 児童福祉施設に入所している子どもの権利擁護
- 4) 子どもの権利擁護システム構築の課題
- 5) 親権法制と子どもの権利擁護

履修上の留意点

すでに児童福祉論の履修を終えた学生の受講を原則とする。

成績評価の方法

学年末の試験および平常点（レポート等）の成績による

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）

参 考 書 等

児童養護研究会編『養護施設と子どもたち』（朱鷺書房）  
 中澤弘幸『常識福祉のウソ』（日本評論社）  
 津崎哲郎『子どもの虐待』（朱鷺書房）  
 明治学院大学立法研究会編『子どもの権利——子どもの権利条約を深めるために』（信山社ほか）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅱ 〔老人〕	こ だま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高齢者の生活を具体的にとらえられるようになることを目指す。そして、高齢者の生活を支えるサービスネットワークの中で、福祉職が重視する価値観、援助について考察を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期…高齢者の特徴と生活、サービスについて理解を深める。

1. 高齢者の理解
2. 高齢者の生活と課題（健康、経済、就労、住宅、学習・社会参加等）
3. 在宅サービスを利用する高齢者の生活と課題
4. 施設サービスを利用する高齢者の生活と課題

後期…高齢者に対する接し方、援助のありかたを考察する。

5. 高齢者の家族の理解と援助
6. サービス利用者の選択、自己決定を尊重した援助について
4. サービス利用者の権利擁護を重視した援助について
8. 高齢者支援のネットワークの中での福祉職の関わり方

履修上の留意点

個人あるいはグループでテーマ毎に文献等により課題をまとめ、発表し、議論を深める積み重ねの過程を重視するので、出席、参加が望まれる。

成績評価の方法

出席数…20%  
 テーマ別レポート（個別、グループ）…50%  
 最終レポート…30%

教 科 書

特定のものを使用しないが、テーマ毎に資料を配布する。

参 考 書 等

テーマ毎に、講義中、指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ 〔障害児・者〕	あん め と き え 安 梅 勅 江	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

保健、医療、福祉の連携から統合へ、また市町村における保健福祉計画の策定等、地域における昨今の障害児・者対策は大きな転換期にある。本講では、障害児・者に対する保健、医療、福祉支援の体系及びその実状を把握する中から、障害児・者を含むサービスを必要とする対象者への支援のあり方につき学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保健、医療、福祉にかかわる障害児・者関連施設機関における処遇の体系的整理と実態把握。

履修上の留意点

講義及びゼミ形式であり、可能な限り出席・参加できる者が望ましい。

成績評価の方法

ゼミ出席状況。  
レポート提出（数回）。

教 科 書

高山忠雄、安梅勅江他『保健福祉学』（川島書店）2,500円

参 考 書 等

高山忠雄編『保健福祉のケア科学－看護、介護、福祉、医療サービスの向上に向けて－』（ベネッセコーポレーション）2,500円。

そ の 他

講義及びゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ 〔相談・援護〕	やまもと まみ 山 本 真 実	福祉2・3・4選必	4

#### 講義のねらい

地域における子どもと家庭への相談・援護の支援・サービスを軸に、地域における福祉サービスの体系、種類、方法等について学習する。子どもと家庭に対する相談・援護の支援は、昨今の社会問題や少子化等の動向に伴い、子育て不安、子ども虐待、不登校、子育てと仕事の両立など多様化している。また、サービスの提供主体も増加し重層化している。私たちが暮らす地域では、福祉セクターのみならず、関係所管の連携や協力が必死になってくるが、その連携にあたっては相互の機能を理解し、また整理することが求められている。「子ども」の相談は子ども自身が持つニーズと養育者である保護者や、養育の場所である家庭のニーズについても視野に入れていく必要があり、それぞれのサービスの目的と機能を考えながら組み合わせなければならぬ。このような状況である子どもと家庭に対して、地域での相談・援助活動とはどのようなものか、またあるべきかについて学習することを目的とする。自治体における実際のサービス提供システムを通して、対象の問題把握、また行政と民間との役割分担等を実際の行政サービスを題材としながら、子どもと家庭に対する援護・相談サービスについて考えをまとめていく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主に講義形式をとり、子どもと家庭に対するサービスの全体像、地域における行政サービスの全体像、子どもと家庭に発生する相談・援護のニーズ等について学習する。その中で子どもと家庭のサービスを考えていくにあたって必要となる、「子ども観」や「家庭観」「福祉サービス観」について意見発表の場を設ける等、意見交換の場をもつ。また、児童育成計画（地方版エンゼルプラン）、地域福祉計画等行政の計画を通して、サービスの体系を学習した上で、実際に自治体の計画書等から特徴、課題の整理等を行うことにより、身近なレベルに近づけながら子どもと家庭への社会サービスの体系のイメージを持っていく。グループによる作業を行いながらその作業を進めて行く。

#### 履修上の留意点

特に限定はない。

#### 成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、レポートの総合評価により判定。積極的な参加態度を評価する。

#### 教科書

特になし。授業に用いる資料は適宜配布。

#### 参考書等

適宜授業中に紹介。

#### その他

ビデオ使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講 V 〔保健・医療〕	はら だ しん いち 原 田 信 一	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

まず、保健・医療とは、いかなる学問領域であるのかを理解するために、その基本的概説を講ずる。それらを踏まえて、社会福祉が、保健・医療にたいして、どのような援助手段ならびに援助方法を発揮することによって、より良い効果が、クランケ及びクライアントたちに齎すことが可能となるのかを、本時において考究してゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 各種医療・保健機関についての理解と把握
2. 医療・保健機関の特徴と役割。
3. 被対象者（クランケ及びクライアント）の種別。
4. MSW等の活動と保健・医療福祉としての技術方法。
5. バリアフリーの促進と社会資源の活用。
6. 保健・医療福祉の国際的動向とその把握。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価には、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心であるが、必要に応じて、ディスカッションも混じえる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ 〔家 族〕	お ばた かず 小 畑 和	福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、ProlifeかProchoiceかの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊の繋がり、社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や核家族を促し、他方では老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビア（severe）でドライ（dry）になる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）か Prochoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌（血縁、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（医療、年金、生活保護、児童手当、児童扶養手当…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育（学校教育、家庭教育、社会教育…）・就職（雇用制度、雇用保険制度、労働災害保険制度…）・結婚・離婚・育児制度・エンゼルプランなどの家族間諸問題

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

初回の講義で説明する。

教科書・  
参考書等

講義の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

授業形態は講義形式であるが、ビデオや OHP が使用可能なら利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠA	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	4

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠB	かわ 川 廷 宗 之 <small>かわ てい もと ゆき</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、直接援助技術に分類されている集団援助技術について学習する事が、この科目の目的である。かつて北米ではグループ・ワークとして発展してきたこの領域の援助技術は、小集団の心理学的な分析や、中でも特にグループ・ダイナミクスの理論的考察を踏まえ、一方実際の技術の中では、この援助技術がセッジメント活動の実践の中から生まれて来た事が示す様に、地域社会を始めとする様々な社会資源を生かして展開されるなど、一見、簡単にみえるが中々奥行き深い内容と技術をもっている。又、基礎としての人間関係の理解の仕方が、欧米と日本では異なる事の影響を強くうけているために、この技術は日本にはいまだに十分に理解され、定着しているとは言いがたい。しかし、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えるとき、このグループワークの理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①集団援助技術の意義・沿革・定義、②集団援助技術の構造（機関、援助者、メンバー、グループ、プログラム、等）、③集団援助技術の実践原則、④集団援助技術の展開過程、⑤集団援助技術の実際とその応用展開、⑥集団援助技術における記録とスーパービジョン等を学ぶ事にする。後期は技術面を中心に、①小集団観察技術、②援助技術項目チェックリスト作成技術、③小集団援助の概要計画作成技術、④メンバー選考決定技術、⑤地域資源の活用技術、⑥グループワークの全体プログラム作成技術、⑦毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、⑧ソシオメトリー作成技術、⑨レクリエーション援助（ゲーム等の展開）技術等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事にする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなって、何をやっているのか判らなくなりがちである。（課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をする意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。）従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できると（担当教員が）予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。（過去、毎年数人が再履修になっている。）

教科書

川田誉音編『グループワークー社会的意義と実践』（海声社）  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』（川島書店）

参考書等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』（ミネルヴァ書房）  
福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅰ』（中央法規出版）  
その他、授業中に適宜指示する。

その他

授業中の演習のため、1～2回の授業は（実習で指定される程度に）服装等を指定する事があるので、予め了解しておいて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA	かわ 川 いてい 廷 もと 宗 うき 之	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術(コミュニティワーク)及び社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、この科目の目的である。これらの技術は、欧米に於いてそれぞれの歴史的・地域的な背景のもとに、ケースワークやグループワークなどの社会福祉援助の他の技術と密接に絡まりながら、発展してきた。その意味で、この技術は、チャリティ・オーガニゼーション・ソサイエティ(COS)運動と、セツルメント運動の二つの活動に源流をもつ、コミュニティ・オーガニゼーションと呼ばれていたのである。日本では近年コミュニティ・ワークと呼ばれる事が多い。その背景には、社会福祉サービスのあり方やその供給の方法をめぐっての、政治経済的な状況を踏まえつつ、社会的な、又、近年では特に生態学的な観点からの考察を踏まえた技術の発展がある。この技術は『社会福祉協議会』の専門領域の様に日本では考えられる傾向があるが、もっと市民レベル住民レベルでの一つの地域社会における問題の解決技術とも言うべき技術である。特に、近年の日本における近隣コミュニティの崩壊現象が進む中で、日本ではいまだに十分に理解され定着しているとは言いがたいこの技術を活用しての、地域コミュニティの復権は、地域生活のアメニティを確保する意味でも、重要な課題となりつつあると言えよう。特に、日本の社会福祉の今後の国際的な課題や活動を考えると、この理論を理解し、技術としても使える事は大変重要な事であろう。その意味で、この理論面を中心に前期、技術面を中心に後期、学んでいく事とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は理論面を中心に、①地域援助技術の意義・沿革・定義、②地域の組織化と福祉の組織化、③地域援助活動の基本的性格、④コミュニティ・ワーカー、⑤地域援助の具体的展開、⑥地域援助技術の内容、⑦社会福祉の運営管理、⑧社会福祉の計画技術、等を学ぶ事とする。後期は、技術面を中心に、①地域課題の発見方法としてのインタビュー技術、②数値化されないデータの集約技術、③統計からの問題発見(予測)技術、④地域診断技術、⑤地域問題の構造分析と解決効果予測技術、⑥地域問題解決のための地域資源確認発見技術、⑦地域問題解決のための計画技術、⑧地域集団運営のための予算決算技術、⑨地域援助のための広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学んでいく事とする。詳細の日程は第1回目の授業時に知らせる。

#### 履修上の留意点

この科目は、前述の様に前期後期とも、様々な課題をこなしながら技術を修得していく授業である。技術の修得は、課題をこなすことによる体験や、授業時間中の体験学習などで、行う。そのため欠席すると、課題の意義やその解き方が判らなくなって、何をやっているのか判らなくなりがちである。(課題はただこなせば良いと言うことではなく、その課題をする意義を理解して取り組む事で、技術の修得につながっていく事は言うまでもない。)従って、欠席は極力避ける事。又、実習等止むを得ぬ欠席も予想して、ノートや授業の情報を交換したり、配付物を代わりに受け取って貰える人を予め決めておく事が望ましい。又、以上の様な点についての詳細は、第1回目の授業で説明するので、第1回めの授業は必ず出席してほしい。

#### 成績評価の方法

成績評価の方法は、次の三つの観点から評価する。第一は、基礎知識や理論が修得されているか、第二に技術が修得されているか、第三にこの様にして修得した知識や技術を実際の場面で活用できると(担当教員が)予想できるか。以上の様な観点について、提出された課題の内容や、学年末に行う簡単なテストや、毎回の授業中にしばしば行われる意見発表やレポート報告の内容とそれに対する関わり方等を、個々に評価してその合算として総合的に評価する。課題の提出状況や学年末のテストの結果如何では、再履修を指示する事もある。(過去、毎年数人が再履修になっている。)

#### 教科書

高田真治・他・著『コミュニティ・ワーカー-地域福祉の理論と方法』(海声社)  
川廷宗之著『社会福祉援助技術・演習用ワークブック』(川島書店)

#### 参考書等

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』(中央法規出版)  
高田真治・著『地域福祉計画論』(誠信書房)  
その他、授業中に適宜指示する。

#### その他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡB	さか 坂 た 田 しゅう 周 いち 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉の間接援助技術のうち地域援助技術以外の部分を解説するものである。すなわち、組織への働きかけとしての社会福祉運営管理、援助の合理的実践としての計画と評価、援助の科学的実践のための社会福祉調査法がその対象となる範囲である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 社会福祉組織論（前期）
  2. 社会福祉計画論（前期）
  3. 社会福祉調査論（後期）
- に大きく分けて、組織論5回、計画論7回、調査論12回の割り当てにより行う。

成績評価の方法

出席20%、小テスト20%、学年末テスト60%の割合で総合評価を行う。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病氣やケガになったらどうするのであろうか。社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されたきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保険
- 7 民間保険
- 8 社会保障と運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

#### 成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

#### 教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

#### 参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 福 祉 論	なが お じょう 長 尾 譲 治	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病／結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	い どう しゅう いち 伊 藤 秀 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意義のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権活動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

テキスト等については開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	はら だ しん いち 原 田 信 一	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることにある。旧来から持ち続けてきた陋習から脱皮し、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができる。

こうした中で、現代社会においては、ようやく障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視覚から接近し、概説する予定である。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方   | } 前 期 |
| 2. 障害者福祉の対象     |       |
| 3. 障害者福祉の主体     | } 後 期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 |       |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教 科 書

星野他編『障害者福祉論入門』改訂版（有斐閣双書）1,900円

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、高齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在「青・壮年期」にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景
    - 社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ
    - ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒
- ・老人保健福祉法制と関連施策
    - 近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源
    - 供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇
    - 在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇
    - 入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

- 冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	この許斐有	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

#### 履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

#### 成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

#### 教科書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

#### 参考書等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）集英社ほか

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	はやし ちよ代	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的、精神的なしわ寄せを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。

女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容とした。

#### 成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

#### 教科書

特になし。資料等を必要に応じて配布する。

#### その他

ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はるみしずこ 春見静子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ。

前期

社会福祉とソーシャルワーク  
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本  
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準  
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア  
医療機関について  
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症  
援助手段としての社会資源  
援助関係 面接の技術 援助過程

後期

外来段階のソーシャルワーク  
入院段階のソーシャルワーク  
精神保健の領域  
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 福 祉 論	わた なべ かず くに 渡 辺 一 城	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

我が国の社会福祉はいま正に大きな制度的転換期にあるが、この制度改革の基本的考え方となっているのが「地域福祉」である。これは、児童福祉、障害者福祉、老人福祉といった対象別分野論ではなく、人間が生活する圏域つまり地域ないしはコミュニティに焦点を当て、様々な福祉課題の解決に取り組んでいくための視点や方法を内包した実践領域とすることができる。

この講義では、こうした認識の下で、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や方法及び課題について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・現代社会におけるコミュニティと地域福祉
- ・社会福祉制度改革の動向と地域福祉
- ・地域福祉計画の意義と内容
- ・市町村行政や社会福祉協議会などの地域福祉推進組織とその連携
- ・住宅福祉サービスのあり方と供給体制
- ・地域福祉の資源（人材、財源など）の活用と開発
- ・ボランティア活動、NPO活動とその支援システムなど

成績評価の方法

出席、試験、レポートなどにより評価を行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 地域福祉論』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

授業時に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外 書 講 読	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということとは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教 科 書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社 会 学 ( 福 祉 )	はし つめ まとし 橋 爪 敏	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士、社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

[目標]

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

[内容]

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
  - 1) 科学技術の展開
  - 2) 現代社会と科学技術
  - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
  - 1) 構造及び形態
  - 2) 機能
  - 3) 変化
  - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
  - 1) 都市化と地域社会
  - 2) 過疎化と地域社会
  - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学(福祉)	たかほしよしひろ 高橋良博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法(総論)心理療法の歴史と種類 ②心理療法(各論)精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』(中央法規)2,500円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会病理学	よしただもとこ 吉田素子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康、病、治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1)心身医学の確立、2)代替医療の普及、3)ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

- 1)の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。
- 2)で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに3)のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者-患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方等を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に適宜指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 検 査 法	もり やま とし ふみ 森 山 敏 文	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

昨今、特殊（養護）教育・学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科・心療内科を始めとした医療の領域、さらに、産業関係の領域などにおいて、各々その目的は異なるものの、様々な心理アセスメント・心理テストが行われています。その多くが、何らかの身・心障害や不適応状態への専門的な援助やケアを、より効果的効率的に行うためのものであるとともに、それらの障害や不適応の状態像・内容・メカニズム・程度を、より客観的な視点からアセスメント・評価・測定することによって、その個人の身・心両面の全体的全人的な理解の助けになるものといっ

てよいでしょう。  
つまり、よりよい援助には、より確かなしかも客観的なアセスメントが不可欠であるということです。ここでは、“悩める現代人”にとっての初歩的で教養的なパーソナリティー・アセスメントについて学んで頂くこと、さらにアセスメントに関連する臨床的な知識、基本的な考え方を学ぶことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、心理テスト・アセスメントの理論や技法、パーソナリティー理解のための考え方について学んでいくことになります。

履修上の留意点

将来、専門的な仕事——養護教員、精神保健福祉士やワーカーなどの社会福祉援助技術者を始めに、カウンセラー、臨床心理士——を希望・願望している学生は勿論、教養として身につけたい学生も受講を歓迎します。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容・受講態度を中心に、出席率を参考。

教 科 書

必要に応じて紹介したいと思います。

参 考 書 等

必要に応じて紹介したいと思います。

そ の 他

講義・実習・グループディスカッション・報告書作成等を通じて、心理的なアセスメントの原則について学んで頂きたいと考えてます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 学 一 般	こ <sup>ばやし</sup> 林 <sup>いたる</sup> 臻	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健常者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教 科 書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参 考 書 等

講義開始時に連絡する。

そ の 他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介 護 概 論	こ だま や ひろ こ 児 玉 谷 広 子	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

心身の障害を持つ人への生活援助、特に高齢化の進む今日の社会において介護に関しては共通の社会的関心事であり、介護の必要な人やその家族を社会的に支える制度や周囲の人々の意識の向上が問われる。介護福祉とは、障害を持つ人が、その人らしさを尊重され、心身の自立をめざし心身の安定を保ち社会との関係を保ちながら、生活の質の向上を達成できるように支える科学的なあり方と方法である。本講義では、ソーシャルワーカーとして、介護の必要な対象者に対して、どのような価値観と知識、技術を持って関わっていくかを学ぶ。また、介護サービスの実情や介護政策の動向について理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・高齢者と介護福祉の背景、問題点
  - ・障害者（児）と介護福祉の背景、問題点
  - ・家族と介護、介護の社会化
  - ・介護福祉の概念
  - ・制度的発展、公的介護保険制度
  - ・介護福祉の原則、倫理
  - ・介護福祉の目的、機能、役割
  - ・要介護者と介護サービス提供者との援助関係
  - ・介護技術の基本
  - ・様々な障害に応じた介護技術（日常生活動作の介護、生活習慣に関する介護、ターミナルケア等）
  - ・介護の技法（安全・安楽の方法、観察、コミュニケーション、記録、等）
  - ・他職種、他機関との連携
  - ・施設介護の活動、在宅介護の活動
  - ・介護者の健康管理、労働安全
  - ・介護過程
  - ・ケアマネジメント、ケアプラン
- 随時、小レポートやグループディスカッション、ロールプレイ、事例研究、ビデオ学習、質疑を取り入れ、主体的な講義内容理解を促す。また、社会福祉士国家試験対策についても適宜伝える。

#### 成績評価の方法

- 出席日数…15%
- 授業参加度・理解度（提出物等）…10%
- 夏休みの課題…30%
- 学期末テスト…45%

#### 教 科 書

岡本民夫・井上千津子編『介護福祉入門』（有斐閣アルマ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	いわ 岩 かみ 上 ま 真 み 珠	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係や夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあらかんにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) ジェンダーと家族
- 2) 社会変動と家族
- 3) 家族の社会史
- 4) 男と女-多様な結婚のかたち
- 5) 親と子-新しい関係の構築
- 6) ライフコースと家族
- 7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらおう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教 科 書

講義のはじめに指示する。

参 考 書 等

講義中、適宜指示する。

そ の 他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する(例えば、モンテスキュー、イェーリング、マックス・ウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である)。

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料はかなり配布するが、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著『法社会学講義』(法律文化社) 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁 viii 国家による賠償と補償  
ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著『行政法要論』(学陽書房) 3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野 宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	たかほし たか し 高橋 鷹志	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部 一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	い で めぐみ 井出 恵	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学（psychiatry）とは医学のうち、とくに精神面を直接の対象とする分野である。その知識は、心理・福祉・教育など、広い分野において有益なものである。さらにそうした職業を考える者や、人間の内界に興味を持つ学生もにとっても、基礎的な精神医学的考え方を身に付けておくことが役立つと思われる。

本講義では、精神分裂病、躁うつ病、神経症など精神医学において中心となる疾患だけでなく、最近注目されている人格障害（境界型人格障害、自己愛性人格障害など）や、回避・引きこもりなどの社会的行動の諸問題についても言及する。授業ではなるべく具体的な症例を挙げて各病態の理解を深めるよう努める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 原因についての考え方
- 2 主に心因によるもの  
心身症、神経症、その他
- 3 主に内因によるもの  
感情障害、精神分裂病
- 4 主に器質因によるもの  
痴呆、アルコール関連障害など
- 5 性格のかたより（人格障害）

成績評価の方法

レポートによる。

参考書等

随時紹介する。全体を把握するには山下格 新版『精神医学ハンドブック』（日本評論社）2,300円＋税 などが参考になろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みづ 光 おか 岡 はく 博 み 美	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

#### 教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	藤本茂 <small>ふじもと しげる</small>	福祉1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

また、この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

#### 履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

#### 成績評価の方法

成績は、出席を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。

#### 教科書

教科書は、指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

#### その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円  
六法

社会(社会福祉学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさ の かつ み 浅 野 克 巳	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験(其他国家試験)の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

- I マクロ経済学の理論
  - 1. 経済循環と国民所得の概念
  - 2. 国民所得と決定
  - 3. 経済の変動と成長
  - 4. 賃金・物価・インフレーション
- II ミクロ経済学の理論
  - 1. 消費者行動の理論
  - 2. 企業行動の理論
  - 3. 市場と価格決定
  - 4. 市場と企業
- III 公共政策
- IV 国際経済学

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』(成蹊堂) 1995年

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』(実務教育出版) 1996年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉調査実習	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉2選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニードの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。

現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参考書等

古谷野巨著『多変量解析ガイド－調査データのまとめかた－』（川島書店）  
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学－多変量解析入門－』（講談社）

社会(社会福祉学)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健学	ほ づみ のぼる 穂 積 登	福祉2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

精神保健学を国家試験に合わせて講義する。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、あくまでも、精神保健福祉士の実践に役立つ様、臨床的内容になる。単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。精神保健とは精神健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。これが一応の定義だが、精神保健福祉士の国家資格を取得する為の一科目に指定されているので、あくまでも実践的目的にそった講義とする。

成績評価の方法

講義の他、ゼミ形式の発表も折り込んでいくので、総合的に評価したい。

教科書

『精神保健学』（精神保健福祉士養成セミナー 2）（へるす出版）

その他

講義、ゼミ形式の発表など、受験向きなプログラミングを組む予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神科リハビリテーション学	しろ 城   た 田   はる 晴   お 夫	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害をもたない人々と共に暮らし、生活していける力、市民社会を共に築いていく力を十分に引き出せるように援助する精神科リハビリテーション学を学ぶ。特に近年国家資格となって注目を集める精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心をもつ学生を対象とする。学問としては新たな領域だが、アメリカで行なわれているリハビリテーションカウンセリングを紹介しながら、日本でのより良い精神科リハビリテーションを探求したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生には、積極性、活動性のあると思うもの・人の援助（世話をすること）に関心のあるものが望ましい。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教 科 書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）3,200円

参 考 書 等

『こころの科学、精神保健福祉士 Vol. 88』（日本評論社）1,143円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅰ	さかの野けんじ 坂野憲司	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉の対象である精神障害者は、「疾病と障害とを併せ持つ人」と定義されている。精神保健福祉を学ぶものは、精神障害者の疾病と障害の両者を理解した上で社会福祉の対象として彼らを位置付けていく必要がある。そこで、障害者福祉の中での精神障害者の特殊な位置付けを考察しながら精神障害者のニーズと施策の歴史的な流れをおさえ、精神保健福祉士に期待されている歴史的役割と必要とされる能力とを模索していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①精神障害者とはどのような人達か
- ②障害の概念と精神障害者の特殊性
- ③わが国における精神障害者の処遇の歴史
- ④障害者福祉の理念と精神障害者
- ⑤わが国の精神障害者施策の現状
- ⑥精神障害者の生活上の困難、生きていく上での困難
- ⑦精神保健福祉士の理念と役割
- ⑧精神保健福祉士の業務
- ⑨精神保健福祉法の内容と課題
- ⑩精神障害者の必要とする社会資源とその現状

履修上の留意点

授業への主体的参加（討論など）を期待します。

成績評価の方法

学期末試験

教 科 書

柏木昭他編『精神保健福祉論』（ヘルス出版）1998 3,600円

参 考 書 等

授業の中で必読文献をそのつど指定いたします。

そ の 他

講義の中に討論を織りませっていく予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅱ (前期)	さかの野憲司	福祉2・3・4選	2

講義のねらい

精神障害者に接していくための理念と技術を具体的に学んでいくことをとおして、精神保健福祉士としてのアイデンティティを確立していくことを目的とする。そのために、ソーシャルワークの古典的な文献を輪読しながら、ソーシャルワークの理論と人間観とを活用した場合、精神障害者のケースをどう理解し処遇していけるかを、実際の精神保健福祉士の業務とかかわらせながら論議していきたい。輪読する文献は、Fバイステック、Lマグワファイア等の邦訳を予定している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①精神保健福祉士の理念
  - ②精神保健福祉士の技術
  - ③精神障害者への理解
- 文献の各章ごとに学生に内容をまとめてもらい、発表形式で授業を進めたい。  
①～③について念頭に入れた論議を展開して行く予定。

履修上の留意点

発表の場合には、必ずレジメを作成すること。

成績評価の方法

学期末にレポート

教 科 書

- ①Fバイステック、田代不二男他訳『ケースワークの原則』（誠信書房）1965
- ②Lマグワファイア、小松源助他訳『ソーシャルサポートシステム』（川島書店）1994

参 考 書 等

授業の中で紹介していく予定。

そ の 他

授業への主体的参加を評価の基準とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	さかの野けんじ 坂野憲司	福祉2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学ソーシャルワークの分野は、ワーカーの人間理解と対人援助技術のあり方が常に問われる分野と言える。それは、精神障害者の障害が人間関係の障害として表象される場合が多いからである。当然、ワーカーとクライアントの援助関係の中にも、この障害は持ち込まれてくるのである。本講義では、精神障害者との援助関係の樹立と展開の仕方を軸としてグループや地域社会での援助のあり方と、地域社会の変革のあり方を模索していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①ソーシャルワークの人間観
- ②ソーシャルワークにおける個人と社会
- ③人と状況との全体関連性と精神医学ソーシャルワークのモデル
- ④精神障害者へのケースワーク
- ⑤精神障害者へのグループワーク
- ⑥精神障害者のためのコミュニティワーク
- ⑦スーパービジョンと自己覚知の必要性

履修上の留意点

授業への主体的参加（討論など）を期待します

成績評価の方法

学期末試験

教 科 書

牧野田恵美子他編『精神保健福祉援助技術各論』（ヘルス出版）1998 3,200円

参 考 書 等

授業の中で紹介します。

そ の 他

講義の中に事例を織りませ、さらにケース検討する機会を設けます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	伊 藤 秀 一 <small>い どう しゅう いち</small>	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的な展開は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」のガイドラインに基づいて行う。

なお、社会福祉援助技術現場実習Ⅱは、2年次の秋に実施した選考試験及び面接に合格した学生が履修できる。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラス・ワーク（事前学習及び実習報告）と配属先での評価表の評価を総合して評価する。

参 考 書 等

日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』（全国社会福祉協議会）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	小 畑 和 <small>お ばた かず</small>	福 祉 3 選	4

講義のねらい

この演習は国家資格「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目であるから、将来福祉事務所の生活保護担当のケースワーカーや特別養護老人ホームの生活指導員、行政機関の行政計画プランナー等などの専門職として勤務されることが期待されている。それ故、人間的資質が強く要求される。何よりも人に優しく接することの出来る人格形成が大切である。日常の講義でも全人教育を重視したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールは事前教育、4週間の配属実習、事後教育の3つに分けられる。事前教育は配属実習が上手くいくための指導・教育である。事後教育は配属実習で培われた経験をより有効なものに深め、拡大していくための指導・教育であるから報告と討論が中心になる。

成績評価の方法

社会福祉士としての人間的資質と実習レポートの内容などを勘案して評価する。

教 科 書

初回の講義で説明する。

参 考 書 等

初回の講義で説明する。『社会福祉基本用語辞典』（日本社会福祉実践理論学会編・川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

そ の 他

ビデオ教材の利用

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	この許 斐 有	福祉 3 選	4

講義のねらい

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得に必要な指定科目の一つである。

履修上の留意点

実習という性格上、学生が主体的にかかわることが前提となる。したがって、8割以上の出席、レポート提出、クラスワークでの報告・発表などを義務づける。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークと配属先での評価（実習評価表）を総合的に考慮する。いくら実習をしても、クラスワークの成績が悪い場合には単位の取得を認めないこともあるので注意すること。

教科書

授業開始時に指示する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福祉 3 選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

本授業は、前年に「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の履修者に対して実施された選考試験に合格した学生のみ履修できるものである。

授業の内容としては、1年間のクラスワークと4週間にわたる社会福祉施設・機関への配属実習とから成っている。配属先は学生の希望を勘案して決定されるが、期間・内容に関しては必ずしも学生の希望が生かされるものではない。

クラスワークは、実習前の事前学習と実習後の実習報告から成る。したがって、主に後期の授業は実習体験者による報告とそれに対するディスカッションが中心となる。

また、年度末には「実習総括レポート集」の原稿作成を全員に課す。

履修上の留意点

講義の内容・授業スケジュールにも書いたが、本授業履修の可否は前年度に決定されるので、それ以外の学生は履修出来ない。また、クラスも複数開講され、事前にそのクラス分けが掲示されるので、それを確認して履修手続きを行うこと。

成績評価の方法

実習先の指導担当職員による実習評価表が後日送付されてくるが、大学での評価はそれだけによるものではなく、クラスワークへの出席状況やディスカッションでの貢献度等を加味して行われるが、「レポート集」の原稿提出が絶対条件である。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福 祉 3 選	4

講義のねらい

本演習Ⅰはソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。ソーシャルワーカーは相談による援助だけでなく、社会資源などを活用したり、ケースマネジメントによって対人援助を行うが、この基本的援助技術はその基本といえるものである。児童相談所などの社会福祉機関、養護施設などの生活ホームにおける相談や対人援助活動を将来希望するものにとってこの基本的援助技術の習得は不可欠であるといえる。また本演習は国家試験「社会福祉士」の試験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

演習の内容は前期はロールプレイ（役割演技法）、グループ・エンカウンターなどの方法を用いながら、グループワーク形式で、受講生の参加による体験学習を中心に行う。ソーシャルワーカーとして重要な自己覚知（Selfawareness）の促進を目的とするプログラムを展開する。これによって専門職としてのソーシャルワーカーの援助態度を相互に高め、その習得をめざす。さらに、事例研究などによって、クライアントのウェルビーイングの促進、自己実現への道を専門職としてどのように支援、援助するかを理解するとともに、その時のソーシャルワーカーの援助態度と関与（介入）のあり方についても学びたい。

後期は受講生同志によるロールプレイをビデオで録画し、それから逐語録（対話をおこした記録）をとり、ソーシャルワーカーとしてのクライアントへの関わり方を体験的に学ぶ。

参 考 書 等

追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。

なお、本科日は「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	さぬきまきこ 讀 岐 真 佐 子	福 祉 3 選	4

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人とどう関わるか、どのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主に「いかに人の話を聴くか」という観点から、幾つかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたく思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により良く気づくための幾つかのワーク・プログラムを経て、2人ずつのペアを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期も引き続き行うが、折にふれて絵画療法等の非言語的な援助技術内容についても概説したい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは録音し、逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

上記（履修上の留意点）に基づいて評価する。

教 科 書

必要な資料は随時配布する。

参 考 書 等

- ・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円
- ・鑑幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	なが お しょう じ 長 尾 譲 治	福祉 3 選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、社会福祉の専門援助技術を、実技指導を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、老人や障害者を中心とする具体的事例をとりあげ、個別指導ならびに集団指導を通して習得することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 対人コミュニケーション技術  
社会福祉従事者に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- ケースワーク  
ケース（事例）研究／ロールプレイ
- グループワーク  
グループワークの計画と実践
- 間接援助技術との関連  
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技参加やディスカッションなど、学生個人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

参考書等

追って紹介する。

そ の 他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた じま えい じ 北 島 英 治	福祉 3 選	2

講義のねらい

本講習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰと同じくソーシャルワークの基本的援助について体験的に学習し、その技術を習得することが講義のねらいである。また本講習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

参考書等

参考書は追って指示する。

そ の 他

授業の方法は、後期にビデオによる録画がある。  
なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	さぬき まさこ 讀 岐 真 佐 子	福 祉 3 選	2

講義のねらい	本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。
講義の内容・授業スケジュール	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
履修上の留意点	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
成績評価の方法	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
教科書	必要な資料は随時配布する。
参考書等	・河合隼雄『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）本体2,000円 ・鎌幹八郎『試行カウンセリング』（誠信書房）3,500円
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	なが お しょう じ 長 尾 譲 治	福 祉 3 選	2

講義のねらい	社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。
その他	なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助演習	なが 長 さか 坂 かず のり 和 則	福祉3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉士の専門的な援助技術・リハビリテーション技法について演習形態をとり、具体的事例により、実技指導を中心とする個別・集団援助指導を通じて援助関係の実際及びチーム医療の実践を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

精神障害者の理解をより深め、社会復帰に対する援助事例を上げ、事例を検討し、報告しあいながらロールプレイ等を行い、精神科病院などの保健・医療施設や社会復帰施設等での援助技術を高めていく。

- 1) ケースワーク援助 (テキスト事例による)
- 2) グループワーク援助 (テキスト事例による)
- 3) コミュニティワーク援助 (テキスト事例による)

それぞれの場面における面接実技・記録実技・集団実技を通じて、精神保健福祉士としての技法と職業倫理について理解していく。

履修上の留意点

精神保健福祉士が援助者としての自己覚知・他者への理解およびコミュニケーションなどの会得が基礎的な演習課題となる。

成績評価の方法

実技・ロールプレイ等の取り組みと最終レポートにより評価とする。

教 科 書

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉援助演習』精神保健福祉養成セミナー 第7巻 (へるす出版) 2,800円

参 考 書 等

大島 侑・金田鈴江編『精神保健 これからのライフサイクルと心の健康』(川島書店) 2,200円

そ の 他

授業は講義及びグループ討論を中心とし、時にビデオを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助実習	うえの 上 野 容 子	福祉3・4選	6

#### 講義のねらい

精神保健福祉士は、1997（平成9）年12月に成立した精神保健福祉士法により、国家資格となり、社会的に認知された。そして専門職として医療、行政、社会復帰施設等で、長い間諸先輩が築きあげてきた業務に携わることになった。これから精神保健福祉士を目指す者はそのために必要な研修、トレーニングがとても重要である。具体的には対象者である精神障害者及び家族の相談援助技術、具体的な生活支援、関係機関とのネットワークづくり等を学んでいくことになる。

この講義は、精神保健、福祉の専門領域を学んでいる学生の皆さんに、具体的な実践の試みを取り入れていき、学んできたことを実際の活動現場で確認したり、課題を試みてみたりすることを「実習」とおして体験学習していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 精神保健福祉現場実習の意義と重要性
  - ・現場実習の目標と達成課題
2. 実習のための事前準備
  - ・動機づけ、事前学習、実習先調査、実習契約の方法
3. 実習上の留意点
  - ・実習生として学ぶべき義務と心得
  - ・実習先指導スタッフとの関係づくり
  - ・精神障害をもった当事者との関わり方
  - ・活動への参加にあたっての留意点
4. 実習計画、プログラムの作成、まとめ
  - ・記録方法、課題設定、留意点
  - ・実習終了後のまとめ

#### 履修上の留意点

1. 資格優先の考え方ではなく、精神保健福祉領域に関心をもってほしい。
2. 実習は、そのために必要な授業を受けないと実習体験しても意味がないので授業を休まないこと。

#### 成績評価の方法

1. 実習に入る前の事前履習に対するレポート
  2. 実習先の評価
  3. 実習終了後の総括的なレポート
- 以上の3点を評価の対象とする。

#### 教 科 書

精神保健福祉士養成セミナー第8巻 『精神保健福祉援助実習』（へるす出版）2,800円

#### 参 考 書 等

- ・『精神保健福祉論』上記セミナー第4巻
- ・『精神保健福祉技術総論』同上第5巻（へるす出版）3,600円
- ・『精神保健福祉技術各論』同上第6巻（へるす出版）2,800円
- ・『精神保健福祉技術演習』同上第7巻（へるす出版）3,200円
- ・『精神保健福祉士の基礎知識』（中央法規出版）3,000円

#### そ の 他

授業の方法は、講義形式を基本とするが、実習の発表として個人とグループ形式を取り、充分時間をかけたい。又、ビデオ、スライド等で、精神保健福祉の実践活動の様子を伝えたい。



# 1. 専門教育科目

- (7) 心理学科  
社会学科  
心理学コース





# 1. 専門教育科目

## (7) 心理学科・社会学科(心理学コース)

心理学概論	〈間島英俊〉	347
心理統計学	〈山田剛史〉	348
コンピュータ実習	〈大塚秀治〉	349
コンピュータ実習	〈中丸茂〉	350
人格心理学	〈谷口泰富〉	350
学習心理学	〈小野浩一〉	351
社会心理学	〈萩原滋〉	352
臨床心理学	〈茨木博子〉	353
生理心理学	〈谷口泰富〉	353
認知心理学	〈永田陽子〉	354
心理学基礎実験	〈茅原正・間島英俊・山岸直基・佐藤理晴〉	354
心理学基礎実験	〈谷口泰富・永田陽子・加藤博己・堀内正彦〉	355
心理学研究方法	〈小野浩一〉	356
禅心理学	〈茅原正〉	357
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	358
心理学実験演習Ⅱ	〈茅原正〉	358
心理学実験演習Ⅲ	〈佐々木雄二〉	359
心理学実験演習Ⅳ	〈永田陽子〉	359
心理学実験演習Ⅴ	〈小野浩一〉	360
心理学実験演習Ⅵ	〈谷口泰富〉	360
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	361
演習	〈茨木博子〉	361
演習	〈小野浩一〉	362
演習	〈佐々木雄二〉	362
演習	〈谷口泰富〉	363
演習	〈茅原正〉	363
演習	〈永田陽子〉	364
演習	〈間島英俊〉	364
環境心理学	〈高橋鷹志〉	365
児童心理学	〈横山剛〉	365
産業心理学	〈高橋誠〉	366
老年心理学	〈中里克治〉	366
宗教心理学	〈久保田圭作〉	367
健康心理学	〈稲松信雄〉	367
比較行動学	〈前期：幸島和子〉 〈後期：櫻井一彦〉	368
精神医学	〈井出恵〉	368
心理学特講Ⅰ	〈デワラジャ R.D.〉	369
心理学特講Ⅱ	〈佐藤方哉〉	369
心理学特講Ⅲ	〈讚岐真佐子〉	370
心理検査法Ⅰ	〈森山敏文〉	371
心理検査法Ⅱ	〈森山敏文〉	371
カウンセリング	〈鈴木順一〉	372
情報処理Ⅰ	〈軽部幸浩〉	373

情報処	理	Ⅱ	〈牧野	晋〉	374
宗教	人類	学	〈佐々木	宏幹〉	375
心理学	特殊	演習	〈茨木	博子〉	376
心理学	特殊	演習	〈小野	浩一〉	376
心理学	特殊	演習	〈佐々木	雄二〉	377
心理学	特殊	演習	〈谷口	泰富〉	377
心理学	特殊	演習	〈茅原	正〉	378
心理学	特殊	演習	〈永田	陽子〉	378
心理学	特殊	演習	〈間島	英俊〉	379
マス・コ	ミュケー	ション	論	〈川本	勝〉
産業・職	業	社会	学	〈安藤	喜久雄〉
社会	病	理	学	〈吉田	素子〉
家族	社会	学	〈岩上	真珠〉	
宗教	社会	学	〈休	講〉	
行政	法	〈鷄	徳	啓登〉	
社会福祉	援助	技術	総論	〈休	講〉
障害者	福祉	論	〈原田	信一〉	
老人	福祉	論	〈東條	光雅〉	
児童	福祉	論	〈許斐	有〉	
労働	法	〈藤本	茂〉		
民	法	〈竹中	智香〉		
経	済	原	論	〈浅野	克巳〉

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 概 論	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 1 必	4

#### 講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるだろう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われる。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達——自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

#### 履修上の留意点

本講義は1年次の必修専門科目であるため出席を重視します。

#### 成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも考査されます。

#### 教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）

#### 参考書等

講義内にて紹介します。資料は都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 統 計 学	やま だ つよ し 山 田 剛 史	心 理 1 必	4

講義のねらい

心理学においては、統計解析法が研究方法として欠くことができないものとなっている。コンピュータが普及した現在、SASやエクセルといったプログラム・パッケージを用いれば誰でも簡単にデータ解析を行うことができる。このように簡単にアウトプットを出せる反面、過度の一般化や結果を誤って解釈するといった、統計学の基礎的な知識が十分でないための誤用も多く見られる。本講義では、心理学研究を行うのに必要な統計学の基本的な考え方、理論及び、主要な解析法についての解説を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

記述統計、推測統計（相関、有意性検定）、回帰分析、分散分析、因子分析を予定している。

履修上の留意点

講義内容が連続性を持っていることと、出席チェックを兼ねた小テストを毎回実施する予定であることを踏まえて、なるべく休まず出席すること。

成績評価の方法

出席及び試験

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

渡部洋著『心理・教育のための統計学入門』、豊田秀樹著『調査法講義』

そ の 他

講義形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ 実 習	おお つか ひで はる 大 塚 秀 治	心 理 1 必	2

#### 講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

#### 教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価 (約2,500円) に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

#### 参考書等

授業中に最新のものを指示する。

#### その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センター (有料:年間1,000円) を利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows とMS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ 実 習	なか まる しげる 中 丸 茂	心 理 1 必	2

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能となっている。本コンピュータ実習では、特に、心理学レポートの作成に必要なワープロソフトと表計算ソフトについての技術習得を主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報処理とは？
2. レポート作成 (MS-WORD)
  - ・文章作成 (ワープロ検定対応)
  - ・図・表作成
3. 表計算 (MS-EXCEL)
  - ・数値計算
  - ・データベース操作
  - ・図・表作成
  - ・統計処理
4. 心理学レポート
  - ・性格検査の作成 (質問紙法)
  - ・イメージ・印象の測定 (SD 法)

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

1. ワープロ検定 4 級程度以上 (必)
2. 心理学レポート作成 (必)
3. その他、随時、課題を提出

\*すべて、プラス評価

教 科 書

大学情報処理センター作成の、コンピュータ操作マニュアル

参 考 書 等

情報教育研究会編 1997『情報処理演習 MS-Word MS-Excel 入門』(ムイスリ出版株式会社)

そ の 他

MS-Word MS-Excel に関するもの

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 格 心 理 学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心 理 1・2 選 必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴の行動や態度がいかんして学習されるかを理解し予測すること、そして最後に、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。  
また、人格の測定と診断についても一部解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

当該時間内でおこなう小テスト及び定期試験の結果で評価する。

教 科 書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』(八千代出版) 2,060円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学 習 心 理 学	おのの 野 浩 一	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学で学習というとき、それはものを覚えたり技術を習得するという狭い意味ではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数カ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は違っている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲をよく聞くようになった」、「朝寝坊の自分が早起きになった」、「最近学校を休みがちである」、「よく話をするようになった」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学は、このような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。ただし、行動変化はすべて、学習によってもたらされるわけではない。あるものは成長や成熟によって、またあるものは疲労や薬の効果によって生じる。また、行動の中には、その行動様式や行動変化が主として遺伝によって決定されているものもある。その中で、学習心理学は、経験によって生じる比較的永続的な「行動変化」を主に扱う。

本講義は、「行動変化」をもたらす2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけのうち、特に言語行動を含む人間の行動変化の多くの部分を説明するオペラント条件づけ研究とその展開の解説に重点をおき、興味深い最新の研究を紹介してゆく予定である。この講義を通して、受講生には、科学的に行動の原因を探求することの重要性、必要性を理解してもらいたいと願っている。随時 OHP やビデオを使ってできるだけ平易に説明するつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 行動の原因とその説明 — 人はなぜそのように行動するのか
  - ① 行動についての常識的な説明と科学的説明
  - ② 行動の原因 — 遺伝と環境
  - ③ 行動の説明 — 行動分析的説明と認知的説明の違い
  - ④ 行動とは何か
- 行動の種類とその原因
  - ① 単細胞生物の行動から人間のことばまで — おもしろい動物の行動
  - ② 行動変化の2つの手続き — レスポナント条件づけとオペラント条件づけ
- レスポナント条件づけ
  - ① バプロフの条件反射
  - ② レスポナント条件づけの諸現象 — ボブ・ディランを聞くと甦えるあの甘くせつない思い
  - ③ レスポナント条件づけの発展と応用
  - ④ 現在の研究状況
- オペラント条件づけ
  - ① 行動の結果の重要性 — 廊下を走るな！「忠告」「貼紙」はなぜ効かない？
  - ② オペラント条件づけの基本 — 三項強化随伴性
  - ③ オペラント研究の基本 — 動物実験のやり方
  - ④ 新たな行動の形成 — シェイビング
  - ⑤ 行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き — 強化スケジュール
  - ⑥ 罰による行動の変化 — そして何もしなくなった
  - ⑦ 行動は時と場合によって変化する — 刺激統制（般化と弁別、行動対比と頂点移動）
  - ⑧ 動物と人間の行動の違い
  - ⑨ オペラント行動に関する最近の研究動向
- 迷信行動
  - ① 迷信はオペラント条件づけによって生じる
  - ② 行動の変動性は迷信行動を減少させる
- 選択行動
  - ① すぐの1つより後の3つの方がいい？ — セルフ・コントロール
  - ② 人もハトも「強制」より「自由」を好む
- 不確実場面における行動  
確率学習 — なんでそうするの？（非合理的な人間の行動）
- 言語と認知
  - ① 言語の基本 — ことばの獲得と刺激等価性
  - ② 言語の働き — Skinner の言語行動論
  - ③ ことばによる行動の制御 — ルール支配行動と言行一致訓練
  - ④ 認知的事象も行動である — プライベート・イベント
  - ⑤ 性格は特定の行動パターンに対するラベルである
  - ⑥ 知識の獲得 — 事例からの一般化（帰納的推論）



9. 社会的行動  
競争や協力関係は環境によって作られる
10. 応用行動分析  
オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

使用せず

参考書等

レイノルズ著、浅野俊夫訳『オペラント行動入門』（サイエンス社）  
佐藤方哉著『行動理論への招待』（大修館書店）  
小川隆監修『行動心理ハンドブック』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会心理学	はぎ 原 じげる 萩原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の研究領域をカバーする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会的認知、態度と態度変容といったことに関して、「均衡理論」「認知的不協和理論」「帰属理論」など従来の社会心理学の代表的理論を紹介する。後期は、説得といった対人コミュニケーションの場面から各種メディア、特にテレビの社会的役割や影響力といったマスコミュニケーションの状況を含めて幅広く「コミュニケーション」に関わる問題を取り上げる。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

前期と後期に1回ずつ筆記試験を行い、それらの得点を総合して成績を評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床心理学	いばら ぎ ひろ こと 茨 木 博 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学は、一口にいって、実践の学であり、その目的とするところは、心理学的立場にたつて個人の悩みを解決し、幸福で建設的な社会生活ができるよう援助することにある。

実際の心理臨床の仕事は、人格理解と心理療法の二つに大きく分けられるので、そこに視点をおいた講義をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①臨床心理学を学ぶ前提として、その基礎理論（発達臨床の基礎理論、深層心理学の理論など）を紹介する。
- ②人格理解では、人格理解の基本原則と人格理解の方法について述べる。
- ③心理療法については、まずその基本原則を押さえた後、さまざまな心理療法を紹介する。そのうちのいくつか（クライエント中心療法、心理劇など）は、実践を通して体験学習する。

履修上の留意点

心理療法の体験学習において、自発的に参加することを期待する。

成績評価の方法

講義の内容上、出席状況と定期試験による総合で評価する。

教科書

藤永保・三宅和夫・山下栄一・依田明・空井健三・伊沢秀而編『臨床心理学 テキストブック 心理学（7）』（有斐閣ブックス）2,000円（税別）

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

講義が主となるが、内容によって討論、ゼミを取り入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生理心理学	たに ぐち やす とみ 谷 口 泰 富	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は、自然科学的手法により心と体の関係を明らかにしていく学問である。本講は、主に、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

心的活動の基礎としての脳の機能と、身体の関係について解説し、さらに、意識や学習、感情、知覚・感覚の概念等について述べる。  
また、初歩的な生理心理学的測定について解説し簡単な実験も行う。

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養が欲しい。

成績評価の方法

レポート及び定期試験による総合的評価。

教科書

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
認知心理学	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論的視点に立脚して心理的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

前期と後期の2度にわたる筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価される。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等は紹介される。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学基礎実験	ち はら ただし まじま ひでとし 茅原 正・間島 英俊 やまぎし なわ き さとう まきはる 山岸 直基・佐藤 理晴	心理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 系列記憶 重量弁別  
鏡映描写 流言の分析 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 基 礎 実 験	たにぐら 谷口 かとう 加藤 やすとみ 泰富 ながた 永田 ほけうち 堀内 ようこ 陽子 まさひこ 正彦	心 理 2 必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から6つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視      系列記憶      重量弁別  
鏡映描写                      流言の分析      好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、6単元分の実験レポート、前後期2回の試験、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。

教 科 書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 研 究 法	おのこういち 小野浩一	心 理 2 必	4

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定－特定の研究デザインによるデータの収集－データの分析－結論づけ－結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅶ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 心理学研究法総論

- ① インTRODakション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
- ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として

2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法－学会発表と論文  
学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstract の利用法  
データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn（1970）の理論の応用

3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義  
反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイム  
サンプリング
- ④ 信頼性と妥当性

4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数  
実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
- ④ 実験デザイン
  - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実  
験デザイン・多重処理デザイン
  - 2) 単一被験体法：ABAデザイン・多重ベースラインデザイン

5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作製の方法

6. 質問紙調査

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に1回提出）による総合評価

教 科 書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 心 理 学	茅 原 正 <sup>ただし</sup>	心 理 3 必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。

本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学のコースの3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理論理
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版社）  
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）  
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）  
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習 I	いばら ぎ 木 ひろ 子 茨 木 博 子	心理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事を目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論的理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるよう進める。取り上げる心理テストは、主に投影法のうち、ロールシャッハ・テストだが、状況みてその他のテストも実施する。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいというような興味本位での受講はしないほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのレポートで評価する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心理学実験演習 II	ち 茅 はら 原 ただし 正	心理 3 選 必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教 科 書 ・  
参 考 書 等

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅲ	さ さ き ゆ う じ 佐 々 木 雄 二	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

臨床心理学領域（臨床心理学、カウンセリング心理学、健康心理学など）における心理学的研究を進めていく上で必要な具体的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は、比較的最近の心理学系専門誌（とくに臨床心理学・カウンセリング心理学・健康心理学領域）から自分が関心のある論文を選び、その内容を発表する過程を通して、臨床心理学領域の現在の課題、研究計画、研究結果のまとめ方、論文の書き方などを学ぶことになる。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席、発表内容、質疑応答の内容を勘案して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅳ	な が た よ う こ 永 田 陽 子	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

本実験演習は受講者に心理学的研究の一連の遂行過程を習得させるために設定されている。従って、受講者は主として文献研究、実験の計画と実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、ならびに口頭発表の方法を実習することとなる。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の人数によって内容の主題が異なってくるが、実習内容として、知覚および記憶の実験を予定している。ただし、受講者と相談の上で別の実習テーマを設定することも考えている。

履修上の留意点

実験演習であるため、実験の参加状況・姿勢ならびに実験レポートの内容が重視される。

成績評価の方法

演習における年間を通じた出席状況、レポートおよび口頭発表によって総合的に評価される。

教 科 書

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 V	お の こう いち 小 野 浩 一	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインを組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）の行動の分析」、「迷信行動の生成」、「性格テストの作り方」などを予定しているが、これとは別に受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画することも考えている。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

教 科 書

その都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 VI	な に ご ち や す と み 谷 口 泰 富	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

本講は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法及び資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講者の数によっては内容を一部変更することがあり得る。従って、受講者が決定した後に計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験を行うこと。受講者をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験を行う。従って、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 Ⅶ	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 3 選 必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参 考 書 等

教材についてはその都度配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	いばら ぎ ひろ こ 茨 木 博 子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手続きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	小 野 浩 一 <small>おのこういち</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教 科 書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。  
Skinner, B. F. (1987). *Whatever happened to psychology as the science of behavior?* (American Psychologist,) 42, 780-786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	佐 々 木 雄 二 <small>ささきゆうじ</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

受講生各自の研究テーマに合わせた卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

随時、研究論文の「構想発表」、「中間発表」の時間を設ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	谷 口 泰 富 <small>たに ぐち やす とみ</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけでの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告（毎週）の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	茅 原 正 <small>ち はら ただし</small>	心 理 4 必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。  
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。  
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくこととなる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接は随時行われる。

成績評価の方法

演習における年間を通じた研究姿勢によって評価される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	ま しま ひで とし 間 島 英 俊	心 理 4 必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題（卒論テーマの決定）、問題（文献研究）、目的・方法（研究計画とその実施）、結果・考察（研究結果の分析、議論）のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされますが、演習という性格から、受講者は、1 卒論テーマの設定 2 文献研究法 3 研究計画および実施 4 研究結果の考察、議論についての研究経過の発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すことになります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1～4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も考えられますので、個別に調整します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	たか はし たか 高 橋 鷹 志	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は環境心理学の入門を講述する。環境心理学は、心理学・社会学・人類学・建築学などの学際的な研究分野として1960年代後半に登場した。当初「日常の物的環境に関する行動の心理学的研究」と定義されていたように、従来の心理学における実験室で提示される統制された物的環境ではなく、人間の日常生活の場所に関わる環境の全体的性質（物理的だけでなく社会的・文化的環境を含んだ）に着目し、「生活の質の向上」に資することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

「環境心理学の誕生」、「環境心理学理論の諸相」、「環境心理学の応用」

履修上の留意点

住まいや町に興味をもつ人たちの聴講を望む。

成績評価の方法

レポートによる。

教科書

特になし。

参考書等

E.ホール、日高敏隆他訳『かくれた次元』（みすず書房）1970  
O.ボルノウ、大塚恵一他訳『人間と空間』（せりか書房）1988  
Y.トゥアン、阿部 一訳『個人空間の誕生』（せりか書房）1993

その他

授業の方法は聴講人数によって決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童心理学	よこ やま つよし 横 山 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する機制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動・知覚・認知・言語・記憶・思考・情緒・パーソナリティ・社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことも予定しています。第一回から積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える上』（北樹出版）

その他

プリント資料・VTR・スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 心 理 学	たか はし 高 橋 誠	心理2・3・4選	4

講義のねらい

コンピュータによる高度情報処理・通信技術が産業場面や日常生活場面にどのような影響を与えてきたか、産業・組織心理学、人間工学、労働衛生学といった研究分野から検討していく。技術と熟練技能、技術と生活との関連を中心に、研究方法について身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、コンピュータの発展史、コンピュータ技術の職場への導入とその影響、VDT作業の出現と視覚疲労・筋疲労、疲労の研究法等について学ぶ。後半では、疲労の原因の分析、ストレスや仕事満足感に影響する要因とその分析法等について学ぶ。

履修上の留意点

マスコミをとおして、産業場面での労働に関わる動向に着目し、技術革新と労働について日頃から考えていく姿勢を望む。

成績評価の方法

授業への参加とレポート内容

教 科 書

使用せず、授業中に配布するプリントを利用する。

参 考 書 等

授業中に提示する

そ の 他

講義形式だけでなく、提供した資料に基づいて自ら考え、発表するといった形式も採用する。データの捉え方、課題の発見と分析法等、研究の方法論も重視し、日常場面での現象を心理学等の分野から研究するため能力を身につけることを望んでいる。「やりがい」のある職業を選択するための目を一つでも養うための参考になれば幸いと感ずる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 年 心 理 学	なか ざと かつ ほん 中 里 克 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢(老化)と病的な加齢(病氣)を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教 科 書

下伸順子(編)『老年心理学』(培風館)1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 心 理 学	くぼた けい さく 久保田 圭 作	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教はさまざまな形で人々の生活に大きな影響をおよぼしているが、それは何よりもまず人間の心の奥深くに根をおろしている。宗教心理学は人々の心の中にある宗教、つまり信仰を捉え、宗教的人格を明らかにしようとする学問である。本講義では多様な宗教現象のうち、宗教の心理的側面や次元を探究する。

講義の内容・授業スケジュール

宗教心理学のさまざまな領域の中から、本講義で取り上げるテーマは次のとおり。

- ① 心理学と宗教：心理学的宗教心理学と宗教学的宗教心理学、宗教心理学史
- ② 気質・性格の類型と宗教
- ③ 宗教意識：神観念、罪意識など
- ④ 宗教経験：回心、ヌミノーズ、神秘体験、至高体験など
- ⑤ 宗教情操：成熟した宗教情操と未成熟な宗教情操
- ⑥ 聖なるものの心理：聖者と聖者性
- ⑦ 宗教の内面化の次元
- ⑧ 自己実現と宗教：A.H.マズロー、C.G.ユング、E.フロムの所説から
- ⑨ 修行の心理：ヨーガ、十牛図、靈操など
- ⑩ 病と宗教：信仰治療、癒し、心理療法との関係
- ⑪ 母性原理・父性原理と宗教

成績評価の方法

年2回の定期試験とレポートによる。

参考書等

松本慈『宗教心理学』（東大出版）  
G.S.スピックス『人間心理と宗教』久保田圭伍訳（大明堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健 康 心 理 学	い な ま つ のぶ お 雄 稲 松 信 雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W. B. Cannon & H. Selye の学生を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stressを中心にStressor Agentsの認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学 (Psychoneuroimmunology) を関係づけて、最後にpsychoの部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動 (Asthenic Emotion) の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる

- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
- ②精神活動と身体反応との関係
- ③心理学的ストレスと生理学的ストレス
- ④ストレスと情緒反応
- ⑤情緒の生理学的機構
- ⑥情緒の分類と感情の統御
- ⑦情緒と精神神経免疫学
- ⑧情緒と欲求との関係
- ⑨感情&ストレスと健康の総括

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英語の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

最終講義時間に筆記試験を行う。多肢選択形式と記述式を併用する。出席を加味する。

教科書

教科書は使用しない。補助プリントを用いる。

参考書等

参考書は Rober J. Gatchel et al. 『An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY Second Edition』 (McGraw, Inc.)

その他

講義を中心とするが、ビデオや OHP を使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較行動学	前期：幸島和子 後期：櫻井一彦	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。  
比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。  
後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。  
行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。  
講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料(ビデオ、スライド、OHP)を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神医学	井出恵	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神医学 (psychiatry) とは医学のうち、とくに精神面を直接の対象とする分野である。その知識は、心理・福祉・教育など、広い分野において有益なものである。さらにそうした職業を考える者や、人間の内界に興味を持つ学生にとっても、基礎的な精神医学的考え方を身に付けておくことが役立つと思われる。

本講義では、精神分裂病、躁うつ病、神経症など精神医学において中心となる疾患だけでなく、最近注目されている人格障害 (境界型人格障害、自己愛性人格障害など) や、回避・引きこもりなどの社会的行動の諸問題についても言及する。授業ではなるべく具体的な症例を挙げて各病態の理解を深めるよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 原因についての考え方
- 2 主に心因によるもの  
心身症、神経症、その他
- 3 主に内因によるもの  
感情障害 (精神分裂病)
- 4 主に器質因によるもの  
痴呆、アルコール関連障害など
- 5 性格のかたより (人格障害)

成績評価の方法

レポートによる

参考書等

随時紹介する。全体を把握するには  
山下格 新版『精神医学ハンドブック』(日本評論社) 2,300円+税 などが参考になろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅰ	RATNIN DEWARAJA (デワラジャ R. D.)	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学的および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が「行動療法」を用いてどのように治療されているのかその実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行動療法の特徴と他の治療法との比較
- 2) 行動療法の基礎
- 3) 恐怖症とその行動療法
- 4) 広場恐怖症とその行動療法
- 5) 社会恐怖および対人恐怖症とその行動療法
- 6) 社会的技能訓練 (social skills training)
- 7) 強迫神経症とその行動療法
- 8) パニックディスオーダー
- 9) 不眠症とその行動療法
- 10) 痛みと痛みに対する行動療法
- 11) 摂食障害とその行動療法
- 12) 異常性行動とその行動療法
- 13) 家族問題とその行動療法
- 14) 認知行動療法

履修上の留意点

各学生が積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）を一つ選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

教科書

とくにない。

参考書等

随時紹介していく。MEDLINE と PSYCHOLOGICAL ABSTRACTS データベースからも適当な論文を提示する。

その他

さらに詳しい情報が欲しい場合は、インターネットの <http://www.intio.or.jp/ratnin> のホームページにアクセスしてください。なお授業は日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅱ	佐藤方哉	心理2・3・4選	4

講義のねらい

テーマは「人間行動論」。行動主義心理学の立場から、人間が他の動物と比較してどのようにユニークかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

動物行動の一般的原理を概観した後、人間を人間たらしめているともいえる言語の問題を分析し、それを踏まえて人間の特徴を浮き彫りにする。言語を有するが故に、人間の知覚、動機づけ、情動、学習、記憶、思考などが他の動物とどのように異なるかを明らかにしたい。

履修上の留意点

「学習心理学」を履修済みか履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

期末テストの成績のみではなく、随時行う小テストの結果や、平常の討論への参加などを考慮して総合的に評価する。

教科書

教科書は、杉山尚子・他『行動分析学入門』（産業図書）1998

参考書等

参考文献は、必要に応じて紹介する。

その他

講義を中心とするが、活発な討論を期待する。毎時間 OHP を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特講Ⅲ	さめ き ま さ こ 讃 岐 真 佐 子	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、臨床心理学の基礎を学ぶ事を目的としている。臨床心理学は、何らかの状況において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう、心理的な働きかけをする面接活動を中心とし、その過程で生じる様々な現象や問題について研究する領域と考えられる。そのためには種々の勉強が必要だが、①人間の心をどう把握するかという“理論的学習”、②多様な体験をとおして自分自身を理解していく“体験的学習”、③実際のカウンセリング（面接）場面で起こり得る事柄を、事例によって学んでいく“事例研究”等が特に重要と思われる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義では、主にこの①と③を中心に進めていく。具体的には、前期はまず一般的な面接について、その位置付けや構造、初回面接の意味等を学び、さらに主に深層心理学的観点から心の基礎理論を概観する。次にこれらを踏まえ、人間の発達段階にそってその時期に発現してくる様々な問題行動や症状を説明し、事例を通してその理解を深めていく。

後期は、前期の内容をさらに発展させ、細かく学んでいく。また箱庭療法や絵画療法等、言語を直接用いない諸技法についても、適宜触れていきたい。(スライド・ビデオ使用)

#### 履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。講義中心で進めるが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらう。また事例は事実とは異なるが、十分な配慮をもって扱う事。事例に関する資料は原則として回収する。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験の両方を考慮する。

#### 教科書

必要な資料はその都度配布する。

・河合隼雄著『ユング心理学入門』（培風館）本体1,300円

#### 参考書等

・鏑幹八郎・名島潤慈編著『心理臨床家の手引』（誠信書房）4,000円

・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）2,000円

・『箱庭療法入門』（誠信書房）約2,000円

#### その他

ビデオやスライド使用時は、教場変更となるので注意する事。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法Ⅰ	もり やま とし ふう 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

講義のねらい

近年、特殊教育や学校教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科や心療内科を始めとする医療の領域、さらに産業関係の領域などにおいて、各々の主な目的は異なるものの、様々な心理テストが行われています。中でも質問紙法によるパーソナリティ・テストや知能テスト、適性テストあるいは器具を用いた知能テストなどは、パーソナリティの評価や解釈に伴う、テストの専門的なトレーニングは常識的なこととしても、現代人の教養としての初歩的な知識や技能の水準程度は学んでおきたいものです。

さらに、将来、臨床心理士の専門資格を取得するための第一段階としても必要な技能であり知識といえます。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の心理テストの理論と技法を学んでいくことになります。

履修上の留意点

将来、専門的な仕事—カウンセラーや臨床心理士を始めとして—を希望している学生は勿論、どうしようか迷っている学生も、進路を考えていくための一助にして欲しいと思います。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論・報告書の内容・実習態度を中心に、出席率を参考にしていきます。

教科書

必要に応じて紹介したいと思います。

その他

実習を中心に、グループ・ディスカッション・レポート作成などを通じて、心理テストの原則について学んで頂きたいと考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理検査法Ⅱ	もり やま とし ふう 森 山 敏 文	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講座では、いわゆる Projective Technique について体験学習を中心に進めていきたいと考えています。実際の心理臨床の場面に役立つ、基礎的な知識や技能の修得を目指すという意味では、心理アセスメント法としては勿論ですが、心理的なケアや心理面接のための基礎になる体験になれば、さらに良いと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

一年を通して、数種の Projective Method — 描画法、SCT、TAT など — を学んで頂きたいと考えています。さらに、ロールシャッハ法の基礎知識の修得とテスト体験まで入っていけると、一層よいでしょう。

履修上の留意点

心理臨床の専門職を将来希望している学生には是非履修して頂きたいと思います。専門職とは何かと想像している学生にも、答えていきたいと思っています。

成績評価の方法

平常点による評価。発表・討論、報告書の内容、実習参加への態度を評価します。出席率は参考にしていきます。

教科書

中村伸一・森山敏文・生島浩編集『実効のある心理療法のために』（金剛出版）3,400円

その他

実習と討論を旨としていきたいと思っています。随時、コメントやアドバイスをしていく予定です。本講座は、一般的な興味や関心のある方々にとっても、Technique Manual として学ぶことは、自分や他人の理解の上で、少なからず役立つでしょうし、心の健康ということを考えていけばあの手掛かりになると思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カウ ン セ リ ン グ	オズ <small>オズ</small> 鈴 <small>き</small> 木 <small>じゅん</small> 順 <small>いち</small> 一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングは、単に知識や理論を概念学習するだけでは不十分な実践智です。実際に人とかかわり、援助し援助される関係を体験学習すると共に、絶えず自己を見つめ自己成長しつづける必要があります。本講座では、様々なカウンセリングの理論と技法を、まず自分自身に適用してみて自己理解を深め、カウンセラーとしての自己成長をめざして、グループによる体験学習をすすめていきます。

履修上の留意点

毎回出席をとり、出席が重視されます。

成績評価の方法

平常点と体験レポートにより評価します。

教 科 書

中西信男・渡辺三枝子編『最新カウンセリング入門』（ナカニシヤ出版）2,000円

参 考 書 等

西光義敏『暮らしの中のカウンセリング』（有斐閣）  
 國分康孝『カウンセリングの理論』（誠信書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 I	<small>かる</small> 軽 部 <small>ゆき</small> 幸 浩 <small>ひろ</small>	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータを用いて、自らが心理学実験システムを構築できうるだけの、最低限のプログラミング知識をやしなうことを目的としている。具体的に授業中で習得を目標としているコンピュータ言語は、Visual Basicである。また、プログラミングをおこなう上で、必要となる種々の基本的な知識については、1年次の「コンピュータ実習」ですでに習得済みであるので、授業では、さらに深くコンピュータ・システムについての説明をおこなう。また、授業内で提出する印刷物は、すべてワープロ (MS-Word) によって作成する。

なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで、より理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中に購入することをすすめる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、授業内でその課題についての説明と実習をおこなう。課題は基本的プログラミングと、それに付随して応用的プログラミングの両方をおこなう。具体的な内容は次のとおりである。

- ・プログラミングの基礎
- ・フローチャートについて
- ・Visual Basic の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・電子メールおよび WWW の利用方法

#### 履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を3回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする (心理学基礎実験準拠)。

授業時間内だけでは、絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間) 程度の実習が必要となるであろう。また、課題を電子メールにて提出することをおこなうため、電子メールアドレスは必須のものである。

なお、教室のパソコン台数の都合上、履修を希望する学生が多数の場合、抽選をおこなうこともありうる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とする。年度末におこなう筆記試験とあわせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

#### 教科書

基本的には授業中に配布する資料でおこなう。

#### 参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理 II	まきの すすむ 牧 野 晋	心理2・3・4選	4

#### 講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。まず、情報処理に関する基礎知識、コンピュータ・ネットワークに関する基礎知識などを学ぶ。次に、実験データの分析について学ぶ。また、コンピュータを利用した効果的なプレゼンテーション方法などについても身に付けてもらいたいと考えている。これらを通して、各自がパーソナルコンピュータを個人で所有した際、それを自力で活用できるような応用力を身に付けさせたい。

具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習には PC-SAS を使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。得られた結果をレポートにまとめることで、他のアプリケーションとの連携についても学習する。さらに、コンピュータを使ったプレゼンテーションの技術を習得し、自分の考えをいかに効果的に表現するかについて学ぶ。これは卒論の発表などや卒業後社会に出てから必要になる知識であろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならばビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論  
ハードウェアとソフトウェア、OS の理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について  
ネットワークの基礎知識の習得  
自分のパソコンをインターネットに接続するには？  
HTML 入門など (可能ならば)
- ・主に PC-SAS を利用しての統計処理および分析方法の理解  
データ解析と統計的手法の基礎  
PS-SAS の操作方法の習得  
SAS プログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習  
MS-PowerPoint を使ったプレゼンテーション

#### 履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。キーボードのブラインドタッチもできないような状態での受講はできない。ワープロを使ってのレポート提出、Excel を使ったグラフ作成などを求めるので、これらを習得していることも条件になる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。

さらに、本格的にコンピュータを応用するためには実習が不可欠である。授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

#### 成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合があります。

#### 教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・新城明久著『PC SAS による基礎統計学入門』(東海大学出版会)

#### 参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

SAS、ネットワークの基礎については、次の参考書をあけておく。

- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著  
『SAS によるデータ解析入門 [第2版]』(東京大学出版会)

SAS の具体的なプログラミング方法についてわかりやすく解説してある。独力でプログラミングする必要に迫られたとき、よい参考書になるので教科書と合わせて手元に置きたい。

- ・高辻秀興・大塚秀治編著『インターネット・リテラシー』(工学図書)

コンピュータ・ネットワークやインターネットの基礎知識から利用マナーまで、大学生とし

て身に付けておくべき知識について解説してある。電子メールなどの具体的な操作方法については環境が異なる部分もあるが、是非目を通してもらいたい。

そ の 他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。  
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1.文化と人間、2.社会と世界観、3.宗教の原辺形態、4.人間と動物、5.民族宗教、6.世界宗教、7.アニミズム・多神教・一神教の関係、8.仏教・キリスト教・イスラム教、9.民族問題と宗教、10.環境問題と宗教、11.習合宗教、12.アジア宗教の特色、13.日本宗教の特色、14.新宗教とは、15.「ほとけさま」と日本人。  
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円



科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	いばら き ひろ こ 茨木博子	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることが目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。従って、探し求めたテーマは諦めないで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	おの の こう いち 小野浩一	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席とレポートによって評価する。

参考書等

米国科学アカデミー編 (1996) 『科学者をめざす君たちへ』 (化学同人)  
B. E. スキナー (1990) 『罰なき社会』 行動分析学研究第5巻第2号

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	さ さ き き ゆう し 佐々木 雄 二	心理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 臨床心理学領域（カウンセリング心理学、健康心理学、心身医学を含む）の専門誌（欧文誌が望ましい）から近年の研究動向を知る。
- ② それらの中に見出される研究内容から自分の関心の強いテーマを探す。
- ③ そのテーマで卒業研究として進めていくことができる具体的な方法を追求する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	たに くち やす とみ 谷 口 泰 富	心理 3 選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	茅原 正 <small>もはら ただし</small>	心理 3 選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。

〔後期〕

各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

*The Psychology of Consciousness* by R. E. Ornstein の予定である。  
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	永田 陽子 <small>なが た よう こ</small>	心理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接は随時行われる。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価される。

参考書等

必要な参考図書および文献は演習時に随時提示される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 特 殊 演 習	ま じ ま ひ で と し 間 島 英 俊	心 理 3 選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・  
授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期は文献研究を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで進めたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参 考 書 等

参考書、文献等については随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	か わ も と ま さ る 川 本 勝	心 理 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 選	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	安藤喜久雄	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本的経営と組織風土
5. 日本的雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

成績評価の方法

出席点と定期試験の両者で評価する

教科書

安藤喜久雄他『企業社会の構図』(学文社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会病理学	吉田素子	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会が健康と病に関してどのような考え方を形作っているかという観点から、この講義では、特にアメリカの医療システムにおける健康、病、治療に関する考え方の変化を象徴する三つの大きな流れを紹介する。その三つの流れとは、1) 心身医学の確立、2) 代替医療の普及、3) ホリスティック・メディシンの考え方の広まりである。これらがどのように社会学的に研究・解釈されているかについても検討したい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の三つのトピックについて、歴史的背景・現在の状況・社会学的研究の紹介というように進める。

- 1) の心身医学とは、心理的・社会的要因をも疾病の重要な要因として含める考え方である。
- 2) で検討する代替医療の多くは、従来の現代医学のそれとは全く異なった病理と治療に関するコンセプトを持っている。さらに3) のホリスティック・メディシンは、心身医学に見られる心理的・社会的要因の重視をはじめ、様々なレベルの医療関係者-患者間の役割分担及び相互関係についての新しい考え方を含む医療のコンセプトである。以上の三つの流れは密接にかかわり合い、アメリカの医療システムの問題点を浮き彫りにしている。

成績評価の方法

成績の評価は、前期・後期に行うペーパーテストの結果によって行う。

教科書

特になし。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族社会学	いわ 岩 上 真 珠	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、未婚化、少子化、女性の就労、長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化に伴って、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、あらためて「家族」が問われている。

講義では、かつての概念や定義が大きく揺れている「家族」の現状をジェンダーを切り口にあららかにし、家族とは何かを一緒に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、次のような内容で進めていきたい。

- 1) ジェンダーと家族
- 2) 社会変動と家族
- 3) 家族の社会史
- 4) 男と女-多様な結婚のかたち
- 5) 親と子-新しい関係の構築
- 6) ライフコースと家族
- 7) 家族の政策化

履修上の留意点

柔軟な発想で聴講してもらいたい。また随時意見や感想をレポートしてもらう予定である。

成績評価の方法

中間と期末の2回の定期試験および平常点で評価する。

教科書

講義のはじめに指示する。

参考書等

講義中、適宜指示する。

その他

講義を主体とする。必要なプリント類は随時配布する。また、ビデオ視聴も取り入れたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

i 行政とは何か ii 行政の原則 iii 行政法の意義と解釈 iv 行政作用の分類と内容・効力  
v 行政行為の瑕疵と効力 vi 行政手続 vii 行政上の強制の方法と制裁  
viii 国家による賠償と補償 ix 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著『行政法要論』（学陽書房）3,000円  
『小六法』出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野 宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円  
その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
障害者福祉論	はら だ しん いち 原 田 信 一	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることにある。旧来から持ち続けてきた陋習から脱皮し、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができる。

こうした中で、現代社会においては、ようやく障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視覚から接近し、概説する予定である。

- |                 |      |
|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方   | } 前期 |
| 2. 障害者福祉の対象     |      |
| 3. 障害者福祉の主体     | } 後期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 |      |

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教科書

星野他編「障害者福祉論入門」改訂版（有斐閣双書）1,900円

参考書等

講義中、随時指示する

その他

講義形式が中心である。



科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在「青・壮年期」にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてののみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ⇒
- ・人口高齢化の意味
  - ・高齢者問題の背景
    - 社会変動、家族変動
  - ・高齢者の生活問題
  - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
  - ・高齢者の保健福祉ニーズ
    - ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期 ⇒
- ・老人保健福祉法制と関連施策
    - 近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
  - ・老人保健福祉の供給システムと財源
    - 供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
  - ・在宅サービスの制度と処遇
    - 在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
  - ・施設サービスの制度と処遇
    - 入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
  - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	この 許 斐 有	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに関する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開過程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけではなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家族に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参 考 書 等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ『凍りついた瞳——子ども虐待ドキュメンタリー』（椎名篤子原作）（集英社ほか）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと 藤本 茂 <small>しげる</small>	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、あるいは、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、激動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。労働法もまた、社会構造の変化とともに変わっていかざるをえません。

この激動期において、労働者個人に降りかかるさまざまな事象は、労働保護法領域において、顕著であるといえましょう。労働基準法の改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用の拡大、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限といった分野で見られます。男女雇用機会均等法の改正労働者派遣法や職業安定法の改正などもありました。

労働組合を中心に扱う集団的労働関係法領域では、労働条件決定に組合の及ぼす影響は、一見地味ではありますが、無視できません。

解釈においては、何が、変わるのかまた、このような中にあっても変わるべきでないものは何か。基本的な事項について、基礎的な知識を得ることは、重要なことであると思います。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 授業では、(2)にあるような事項について、基本的なことを中心に論じて、現代的課題に言及しようと思います。

(2) 内容、スケジュールについては、第1回目の授業のときに、配布するプリントで述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- ① 労働法の基礎的考え方
- ② 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- ③ 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- ④ 雇用における平等－同一労働同一賃金、雇用機会均等法、セクシュアルハラスメント、
- ⑤ 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- ⑥ 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為、
- ⑦ 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間、
- ⑧ 人事異動－配転、出向、転籍、
- ⑨ 雇用の出口－解雇、定年、退職、
- ⑩ 賃金、諸手当、退職金、
- ⑪ 労働時間、時間外労働、
- ⑫ 休憩、休日、休暇、
- ⑬ 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。

教科書

指定しません。しかし、道しるべとしての参考書は用意してください。参考書として適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして受講者は必ず、1冊は用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について何が法的には論点になるのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	たけなかちか 竹 中 智 香	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族 [第4版]』(有斐閣双書) 1,648円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円  
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経 済 原 論	あさのかつみ 浅 野 克 巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験(その他国家試験)の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I. マクロ経済学の理論
  1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得の決定
  3. 経済の変動と成長
  4. 賃金・物価・インフレーション
- II. ミクロ経済学の理論
  1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 市場と価格決定
  4. 市場と企業
- III. 公共政策
- IV. 国際経済学

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』(成蹊堂) 1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』(実務教育出版) 1996年



## 2. 他学部履修科目



## 2. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	395
中国禅宗史	〈田中良昭〉	395
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	396
禅籍講読Ⅰ	〈田中良昭〉	396
禅籍講読Ⅲ	〈佐藤秀孝〉	397
仏教概論	〈平井俊榮〉	398
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	399
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	399
中国古典語初級	〈石井公成〉	400
中国哲学史	〈前川亨〉	400
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	401
中古文学研究Ⅰ	〈高橋文二〉	401
中世文学研究Ⅰ	〈村上光徳〉	402
近世文学研究Ⅰ	〈富士昭雄〉	402
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	403
比較文学	〈満谷マーガレット〉	404
児童文学	〈山口節子〉	405
西洋思想史	〈麻生建〉	405
演劇概論	〈井上理恵〉	406
編集実務	〈長谷川孝〉	406
イギリス文学特講Ⅰ	〈逢見明久〉	407
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	408
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	408
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	409
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	409
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	410
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	411
アメリカ文学特講Ⅲ	〈前期：足田和人〉 〈後期：川崎笑佳〉	411
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈前期：荒井良雄〉 〈後期：落合和昭〉	412
時事英語	〈サンダース, L.P.〉	413
地理思想史	〈竹内啓一〉	414
地形学	〈清水長正〉	415
人口地理学	〈大友篤〉	415
文化地理学	〈小田匡保〉	416
応用地理学	〈高木正博〉	416
現代地理学特論	〈長谷川均〉	417
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	417
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈矢野和之〉	418
日本仏教史Ⅱ	〈遠藤廣昭〉	419
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	420
哲学史	〈山口祐弘〉	421



歴 史 哲 学	〈麻 生 建〉	421
産 業 ・ 職 業 社 会 学	〈安 藤 喜久雄〉	422
マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	〈川 本 勝〉	422
社 会 福 祉 発 達 史	〈林 千 代〉	423
国 民 所 得 論	〈吉 野 紀〉	424
日 本 経 済 史	〈橋 野 知子〉	425
中 小 企 業 論	〈三 井 逸友〉	426
社 会 政 策	〈光 岡 博美〉	428
教 育 経 済 論	〈谷 敷 正光〉	429
日 本 経 済 論	〈小 林 正人〉	431
ア ジ ア 経 済 論	〈鄭 章 淵〉	432
中 国 経 済 論	〈小 杉 修二〉	434
ア メ リ カ 経 済 論	〈瀬 戸 岡 紘〉	435
ロ シ ア ・ 東 欧 経 済 論	〈山 縣 弘 志〉	437
商 業 政 策	〈番 場 博 之〉	438
マ ー ケ テ ィ ン グ	〈曾 我 信 孝〉	439
経 営 管 理 論	〈百 田 義 治〉	440
労 務 管 理 論	〈堀 龍 二〉	441
財 務 会 計 論	〈遠 藤 孝〉	442
会 計 監 査 論	〈飯 岡 透〉	444
管 理 会 計 論	〈中 原 章 吉〉	445
原 価 計 算 論	〈加 藤 利 安〉	446
原 資 易 行 論	〈古 沢 紘 造〉	447
銀 行 政 法 各 論	〈米 田 貢 寿〉	448
比 較 憲 法	〈 休 講 〉	449
親 族 法	〈竹 中 智 香〉	450
相 続 法	〈竹 中 智 香〉	450
西 洋 法 制 史	〈北 野 かほる〉	451
英 米 法 法	〈北 野 かほる〉	452
経 済 法	〈岡 田 外 司 博〉	453
国 際 政 治 学	〈小 堀 訓 男〉	454
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	〈浦 田 早 苗〉	454
地 方 自 治 法	〈富 井 幸 雄〉	455
議 会 関 係 法	〈前 田 英 昭〉	456
立 法 過 程 論	〈 休 講 〉	456
比 較 政 治 学	〈岩 崎 正 洋〉	457
現 代 国 家 論	〈大 塚 桂〉	458
比 較 憲 法	〈 休 講 〉	458
経 営 労 務 論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	459
国 際 経 営 論	〈茂 垣 広 志〉	460
商 業 史	〈山 田 勝〉	461
保 険 経 営 論	〈石 名 坂 邦 昭〉	462
財 務 会 計 論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	463
経 営 分 会 論	〈片 桐 伸 夫〉	464
税 務 分 会 論	〈高 木 克 己〉	465
経 営 情 報 論	〈高 井 徹 雄〉	466
情 報 理 論	〈西 村 和 夫〉	467

経営統	計	〈山内慎二〉	.....	468
上代文学	講読	〈佐原作美〉	.....	469
中古文学	講読	〈鈴木裕子〉	.....	469
中世文学	講読	〈菌部幹生〉	.....	470
近世文学	講読	〈越後敬子〉	.....	470
近代文学	講読	〈石割透〉	.....	471
現代文学	講読	〈松田直行〉	.....	472
時事英語	〈休講〉			
英語演習 I [英語音声の基礎]	〈休講〉			
応用計測学	〈櫃尾英次〉	.....		473



科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹禅、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、登山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨濟宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

特定の教科書は使用しないで、講義の中で適宜に資料などをコピーで配布する。

参考書等

田中良昭編『禅宗研究入門』（大東出版社）6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
その他、日本の禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読 I	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引き続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦煌本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本を校訂した大正蔵48巻と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18『禅語録』（中央公論社）及び（世界古典文学全集）36A『禅家語録』I（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 III	ま とう ひて たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まっており、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後に当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（？～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円  
 酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法——仏教の真理観——
- 第4章 一切法——法の分類——
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心——実践の主体——
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きいのが、その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを断えず考慮しながら講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鏝、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）  
石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）  
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	いし 井 こう せい 石 井 公 成	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などの歴史的展開を把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係の理解が主な課題となる。その際、東アジア世界の中の中国思想という広い視野を失わないよう心掛けたい。この授業を通して、中国人の思考様式がどのような特徴をもっており、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なっているかを、いささかでも明らかにしたいと思う。一見抽象的にみえる思想の世界も、実は我々の現実と密接につながっていることを、共に学んでいこうと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から始めて唐・宋代に及ぶか、それとも唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面に関心のある諸君の受講を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意欲を持っていること）が望ましいが、授業じたいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでほしい。問題意識と積極的な意欲をもった皆さんの受講を望む。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期・後期に提出してもらおう。それ以外の評価方法も検討したい。

教 科 書

特に必要としない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 代 文 学 研 究 I	お の 野 寛 <small>ひろし</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 古 文 学 研 究 I	たか ほし ぶん じ 高 橋 文 二	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

教 科 書

高橋文二『源氏物語の時空と想像力』（翰林書房）

参 考 書 等

講義時間内に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	むら 村 かみ 上 みつ 光 のり 徳	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

『徒然草』を講読し、兼好の物の考え方－自然観・人生観等にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを使い関係ある章をたんねんに読み先学の説など参考にして考えてゆく。

成績評価の方法

①筆記試験 ②出席状況

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	ふ 富 じ 士 あき 昭 お 雄	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧文学研究。本年度は『おくのおそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧紀行文の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『おくのほそ道』の主要な章段を中心に、『曾良旅日記』その他の資料を参照しながら、講読する。

成績評価の方法

学年末の試験により評価する。

教 科 書

萩原恭男校注『芭蕉 おくのほそ道』（岩波文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やま さき ま き こ 山 崎 眞 紀 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

人は言葉を介して考えていることを伝達するが、心の中に生じたいろいろな感情や思いを的確に言語化するのは難しい。とりあえず自らが蓄積している語彙を用いて、抽象的な心の中を言葉として表に出し具象化するしかないだろう。語彙が貧弱であったりすると、思いと言葉とが一致しにくく、相手にもうまく伝わらず、自分自身も消化不良のようで居心地が悪い。また、考える力や現象を分析する力も育たない。言葉は生きていく上で大切なツールであるにも関わらず、それを磨くことを怠りがちである。豊かな語彙力、適切な単語の選択、具象化できるだけの文脈づくり、文章の構成力などを学ぶひとつの方法として日本の近代小説を読む、というのはいかがであるうか。

複雑な感情を一元化して何にでも「カワイイ」と表現してしまったり、安易に「超〜」「っていうか」をつけて自分の世界を表現し得たように思いこんでしまう平板な言語力には、平板な世界観しか築けないだろう。それでは生きていてもつまらない。日本の近代小説には豊かな言葉が溢れている。言葉を磨くには恰好の教材になる。作品中に描かれている都市に注目して集められた日本近代小説のアンソロジーを読み、めまぐるしく変化している現代社会の都市の中に生きる私たちの感性と言葉を磨くことがねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

泉鏡花、樋口一葉、田山花袋、谷崎潤一郎、芥川龍之介、江戸川乱歩、三島由紀夫、大江健三郎らの小説。アンソロジー所収以外の現代小説を読むこともある。

#### 履修上の留意点

授業に臨む前にテキストを読み、感想や意見を述べられるように準備しておくこと。また、〈都市〉を解読するために、街を歩く際に観察力をもち柔軟な感受性のアンテナを立ててキャッチしておくこと。自らが感じとったことを口頭発表や文章化してもらおう。なお、年間を通じて3分の1以上欠席した場合は単位は認定しないので注意すること。

#### 成績評価の方法

出席や授業時の意見・発表などの平常点と前期と後期の論述テストにより評価。

#### 教科書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説〈都市〉を読む』（双文社出版）2,000円

#### その他

教科書以外のテキストを準備して貰うこともあり。ビデオも時に使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	みつたに 満谷 マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西  
 欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱  
 いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讚美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩  
 人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しなが  
 らみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、  
 十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義科目ではあるが、授業中、なるべくたくさんのテキストを精密に読んでいきたい。教科書  
 はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995  
 『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991  
 西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	やまぐち せつこ 山 口 節 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短英	4

講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本のファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日の状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

教 科 書

授業の際に、事前に紹介する。

参 考 書 等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

そ の 他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	あ 麻 そ う けん 麻 生 建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経 A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。  
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

教 科 書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

参 考 書 等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

そ の 他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	井 上 理 恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルクイー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台に展開される演劇を観て、西洋と日本の演劇の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別的な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は「国文学特講 X」を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいったりして批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

レポート（二回の観劇批評およびその他二回）による。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	長 谷 川 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙（誌）づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙（誌）を課題作品として提出してもらったほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教 科 書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	わう み あき ひさ 逢 見 明 久	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアの原作からその友情観を探る。併せて、シェイクスピア映画にみとめらる友情の主題も扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 講義内容の説明
- 第2回 プラトン以来の友情の伝統
- 第3回 『ソネット集』における友情の主題
- 第4回 『ヴェローナの二紳士』のヴァレンティン
- 第5回 ・BBC版『ヴェローナの二紳士』
- 第6回 『ロミオとジュリエット』のマーキューシオとロミオ
- 第7回 ・MGM版『ロミオとジュリエット』
- 第8回 ・カステラーニ版『ロミオとジュリエット』
- 第9回 ・ゼフィレリ版『ロミオとジュリエット』
- 第10回 ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』
- 第11回 『ヴェニス商人』のアントーニオとバッサーニオ
- 第12回 ・ミラー版『ヴェニス商人』
- 第13回 プラナー版『ヘンリー5世』のフォールスタッフとハル王子
- 第14回 前期レポート試験
- 第15回 『ハムレット』のホレーシオとハムレット
- 第16回 ・オリヴィエ版『ハムレット』
- 第17回 ・リチャードソン版『ハムレット』
- 第18回 ・BBC版『ハムレット』
- 第19回 ・ゼフィレリ版『ハムレット』
- 第20回 ・プラナー版『ハムレット』
- 第21回 ・黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』の西と板倉
- 第22回 ナン版『十二夜』のヴァイオラとオーシーノー
- 第23回 『二人の血縁の貴公子』のアーサイトとバラモン
- 第24回 『二人の血縁の貴公子』
- 第25回 後期レポート試験

成績評価の方法

レポートから判断する。

教 科 書

プリント配布。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野正夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された Lyrical Ballads という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おがぎとしいちろう 岡崎寿一郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論じてみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがたくなっているプロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教 科 書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

そ の 他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふ じ かわ よし ゆき 富 士 川 義 之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用はなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくかの手順を批評的ディスクールとして説明してゆきます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を知るためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教 科 書

- イ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）  
ロ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

#### 参 考 書 等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）  
ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講 I	あずま とう いち ろう 東 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

アメリカの1640年の *The Bay Psalm Book* から現在にかけて、子供たちに読み継がれてきた詩を読みます。イギリスから渡ってきた人々は聖書とマザーグースを新世界にもたらしました。植民地時代の子供たちは、教会や学校で、大人たちと同じく、信仰心にあつい詩を読み、それを教材としました。子供たちはロングフェロー、ホイットィアー、ブライアントなどの詩を暗誦しました。独立革命の *The New England Primer* のアルファベットの W は“Whale”から“Whashington”に変わりました。19世紀になると、女性詩人たちが様々な雑誌に、自作の詩を掲載し、家族を支えました。夫に先立たれた女性、なまけ者の夫をもつ女性、病気の両親を養う女性、おさない弟や妹のめんどうをみなければならなかった女性たちでした。19世紀のアメリカの児童文学は、現在のディズニーランドもはるかに及ばない大輪の花を咲かせていました。シゴニーは、先住民の悲惨な生活を訴え続けました。ナサニエル・グラハム・シェファードは南北戦争の兵士の死を人類の死滅と訴えました。この一方で、アメリカの子供たちの詩には、実に楽しい言葉あそびの詩、ナンセンス詩も多くあります。その代表は、ジェームズ・ホイットコム・ライリーです。永年、アメリカにはライトヴァースは存在しないなどと吹聴されてきましたが、それはウソです。そして、文学は、ウォレンス・ステーブンスが言う、至高のウソです。虚構は現実を超越します。そして、現実人間の想像世界よりも常に先んじてしまいます。この想像の森の中のしげみの中で、子供たちの詩はその未知の訪問者を待っています。アメリカの子供たちは、その当初から、大人の世界を共有してきたのです。そこには大人と子供の境界線などありません。ジョン・レノンの〈イマジン〉の世界があるだけです。

#### 教 科 書

*The Oxford Book of Children's Verse in America*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講 III	前期：あし た かず ひと 足 田 和 人 後期：かわ さき えみ 川 崎 笑 佳	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

#### 講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

#### 履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときもあるので、積極的な参加を希望する。

#### 成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

#### 教 科 書

プリント配布。

#### 参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 特 講 ( イギリス・アメリカ )	前期：荒 井 良 雄 後期：落 合 和 昭	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇とアメリカ演劇を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容も視界に入れて講義する。とくに20世紀の英米演劇の劇作家と作品を重点的に取り上げる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、シェイクスピアを中心に、イギリス演劇を荒井が講義する。Comedy of Manners、オスカー・ワイルド、20世紀のイギリス演劇を代表する劇作家と作品を、時代順に取りあげる。後期は、20世紀のアメリカ演劇を落合が講義する。Eugene O'Neill, Thornton Wilder, Tennessee Williams, Edward Albee, Sam Shepard などの劇作家論と作品研究を中心に授業を進める。

履修上の留意点

前期のイギリス演劇は荒井、後期のアメリカ演劇は落合が担当することを承知の上で受講すること。

成績評価の方法

前期は7月に試験、後期は定期試験の形ではなく、レポート課題（原稿用紙5枚程度）を3回以上提出してもらう。出席に関しては、出席率は三分の二が必要である。

教 科 書

前期 特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。  
後期 プリント、また、必要があれば、教室で指示。

参 考 書 等

荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円  
太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

そ の 他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教 科 書

教科書は使用せずプリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理思想史	たけ うち しい いち 竹 内 啓 一	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経A・商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、一昨年度は、日本地理思想史の講義をしたので、本年度は世界地理思想史の講義をする。ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のものの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを何回か行う。

成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中の提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。  
 手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)  
 西川治 (編) 『地理学総論』 (総観地理学講座1) (朝倉書店)  
 水津一郎 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)  
 野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)  
 飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)  
 野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)  
 竹内啓一 『とぼろうぐ』 (古今書院)  
 織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)  
 織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)  
 長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)  
 スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)  
 増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)  
 ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代まで』 (河出書房新社)  
 日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。  
*Modern Japanese Geography: An Intellectual History.* (Kokon-Shoin)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	清水長正	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マズウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	大友篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短放	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明かにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介することが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	禪・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼

成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	た か ん ま さ ひ ろ 高 木 正 博	禪・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわり合いを利水・災害・自然環境などの視点から考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短放	4

講義のねらい

新聞やテレビで「沖縄」の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金が注ぎ込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地変遷と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。なお、後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉 雅 弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず ゆき 矢 野 和 之	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。

このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理料系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史Ⅱ	えん 遠 とう 藤 ひる 廣 あき 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心に見ていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

## 成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

## 教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

## 参考書等

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 史	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参 考 書 等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産 業 ・ 職 業 社 会 学	あん どう き く お 雄 安 藤 喜 久 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大	4

講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める。

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本的経営と組織風土
5. 日本的雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で評価する。

教 科 書

安藤喜久雄他『企業社会の構図』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	かわ ちと まさる 川 本 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて考える。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその結果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	福・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大 10以降入学生/心理	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

その他

9年度以前入学の社会学科心理学コースの学生は、この科目を履修できません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 の 野 とも 子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・短国・短放	4

#### 講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済－工業化の新しい局面
- (9)1920年代－世界秩序の再編「ボックス・アメリカーナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代－対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望-産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

#### 履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にして下さい。

#### 成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

#### 教 科 書

三和良一『概説日本経済史 近現代』（東大出版会）1993年 2,400円＋税

#### 参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

#### そ の 他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	みつ いっ とも 三 井 逸 友	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な (critical) 構成要素である」(クリントン米大統領) と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊) のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用取縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。それにもかかわらず、日本の政府は、従来の中小企業政策を不要とし、時代錯誤な姿勢を世界にさらけ出した。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

### 講義の内容・履修スケジュール

#### 第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

#### 第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

#### 第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的關係」

ここでは、うへの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貢献がもたらす「経済的關係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

#### 第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を収めてきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国については、近年の「中小企業政策」否定、創業促進策、ベンチャー企画支援策などへの「転換」も検討する。

### 履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

### 成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。「再試験」は実施する。

### 教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』(青木書店) 2,800円(税抜)  
同編『日本の生産システムの評価と展望』(ミネルヴァ書房) 3,600円

## 参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円  
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円  
中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]  
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円  
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円  
中小商工業研究所編『現代日本の中小商工業－国際比較と政策編』（新日本出版社）、刊行予定

## その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面の WEB サイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

[http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui\\_Seminar/mit/](http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui_Seminar/mit/)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	や 谷 しき ただ みつ 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
  - (1) 日本の産業化と教育
  - (2) 日本の経済成長と教育
  - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
  - (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
  - (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
  - (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
  - (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
  - (8) クリントン大統領の経済と教育 「21世紀アメリカ教育行動計画」 (一部ビデオ)
  - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
  - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
  - (11) ブレア首相の経済と教育 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
  - (12) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
  - (13) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
  - (14) 教育令時代における経済と教育1 工場払下と産業の勃興
  - (15) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
  - (16) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
  - (17) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育
  - (18) 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
  - (19) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令、専門学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
  - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
  - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

### 履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

### 成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施。

教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献を講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）  
土志田征一『レーガノミックス』（中公新書）  
原田和男『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）  
大原 進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）  
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）  
沼口 博『学校教育と経済発展』（学文社）  
その他は講義の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	小林 正人 <small>こばやし まさと</small>	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法 A 政治・短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の産業構造  
産業構造の理論と歴史  
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
- 日本の経済発展の総括と展望  
平成状況の意義  
情報通信革命（インターネット）
- 日本の産業問題  
食糧問題と農業部門の意義  
製品の安全性と PL 法  
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
アジア経済論	鄭 章 淵 <small>ちよん ちやん よん</small>	祥・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤヌスの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義計画は、以下の通りである。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済
    - ① 資本主義萌芽問題
    - ② 植民地経済の実情
    - ③ 「植民地近代化論」批判
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
    - ① 農地改革
    - ② 外国（アメリカ）援助
    - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
  - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
    - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業の特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立
    - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEAN の歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

#### 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジア NIEs 論
    - ① 新古典派アプローチ
    - ② 世界システム論的アプローチ
    - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
  - (2) 東アジア経済発展論
    - ① 世銀のアプローチ
    - ② 国家主義的アプローチ
    - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
    - ④ その他……企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APEC の発展過程
  - (2) ASEAN の自由化過程

- (3)その他の中小規模経済圏
- 7. アジア経済の現状
  - (1)アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2)その他の諸問題……環境問題 etc.
  - (3)日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしますので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）  
参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国経済論	小杉修二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。  
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。  
本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。  
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。  
これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949～57年)、(2)毛沢東モデル(1958～78年)、(3)鄧小平モデル(1978～)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。  
このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。  
上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもって行く中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。  
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。  
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

#### 成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。  
再試験あり。

#### 教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設 — 超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

#### その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	瀬戸岡 弘	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

## 《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

### 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

### あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちらないで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

### アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をとおさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

#### 成績評価の方法

### 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をとおして何回も提出してもらうことを考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のたてまえから、再試験は実施しません。

#### 教科書

### 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの — レーニン時代 —
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本 — 比較経済史 —

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。  
再試験あり。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひる ゆき 番 場 博 之	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名分のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムは非合理的なのであろうか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、数回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1) ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2) 流通機構と流通構造
- (3) 流通の意義と機能
- (4) 資本主義商業の基礎理論
- (5) 日本の流通政策・商業政策とその枠組
- (6) 独占禁止法とその体系
- (7) 再販売価格維持制度と景品表示法
- (8) 取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9) 訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10) 流通政策の転換と街づくり
- (11) 中小小売業の役割
- (12) 大規模小売店舗法
- (13) 流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14) まちづくり三法
- (15) 商店街再生への取り組み
- (16) 海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義で取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

#### 成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験は実施しない。

#### そ の 他

- ・講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・問い合わせ先、E-mail : h2banba@cuc.ac.jp、HP : <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
  - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
  - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
  - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
  - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
  - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合社との役割などである。
  - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合社との関係などである。
  - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
  - 総合社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合社の子会社戦略、②総合社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、ここでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。  
再試験を実施する。

教科書

曾我信孝『総合社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参考書等

必要に応じて紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会 福祉・心理・短国	4

講義のねらい

大企業間の合併や提携、持株会社の解禁、企業集団の再編、リストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、21世紀を目前に日本企業は大きく変貌しようとしています。その底流には、情報化・国際化（グローバル化）・規制緩和の進展、メガ・コンペティション（大競争）、「グローバル・スタンダード」など日本企業を取り巻く経営環境の激的な変化があります。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からアプローチします。

講義の内容・授業スケジュール

I. 現代企業の所有・支配・管理

- ①株式会社と経営者
- ②企業集団と持株会社
- ③コーポレート・ガバナンスの国際比較
- ④企業の社会的責任とビジネス・エシックス

II. 現代企業の経営管理・経営組織

- ①経営管理とは（管理過程、管理職能、管理原則）
- ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ③経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ④経営管理の近代理論（個人と組織の統合理論）
- ⑤経営組織の基本形態（権限と責任、ラインとスタッフ…）
- ⑥経営組織の発展形態（事業部制、カンパニー制、分社化…）
- ⑦国際経営と企業文化（グローバル化、ローカル化、異文化共生…）

III. 日本企業の競争力と日本的経営

- ①日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府…）
- ②日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ③日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義…）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業のテーマと関連づけて話を進めます。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教科書

なし。（随時、コピーを配布します）

その他

授業や課題レポート（夏休み）に関連して紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労務管理論	ぼり堀 りゅう龍 じ二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進してきたが、その内実には年功制の要素がなお色濃く残されていた。ところが最近における日本経済の低迷のなかで、この年功制の完全払拭＝能力主義・成果主義への本格的移行が急速に進展しつつある。相次いでリストラが断行されるとともに、年俸制の導入、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の変更等々、賃金と雇用に関する基本的な制度に大きな変化が進行している。これらの動向と特徴やその背景にあるものを探りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに職能給、職務給、職能資格制度、小集団管理、人事効果などを賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本の労務管理と能力主義管理との整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定である。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。再試験は実施する。

教科書

現在選定中。初回講義までに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう たかし 遠 藤 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表(BALANCE SHEET)、損益計算書(INCOME STATEMENT)を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、ヤオハン、三田工業、山一証券の粉飾問題。会計監査の信頼性－監査法人の損害賠償責任問題。

講義の内容・  
授業スケジュール

前 期

- (1) 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週  
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週  
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週  
繰越資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週  
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週  
同上。
- (10) 7月第1週  
資本会計について。

後 期

- (11) 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週  
同上。
- (14) 10月第1週  
同上。連結キャッシュ・フロー計算書、税効果会計
- (15) 10月第2週  
セグメント会計について。  
リース会計について。  
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (16) 10月第3週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表(書)。
- (17) 10月第4週  
同上。
- (18) 11月第1週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (19) 11月第2週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。会計監査の信頼性、何を監査するのか、監査の範囲「企業会計原則」について。

- (20) 11月第3週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
  - (21) 11月第4週  
同上。会計の国際化と日本企業会計制度改革、会計 Big Bang。
  - (22) 12月第1週  
世界企業会計の最新動向。
  - (23) 12月第2週  
同上。
  - (24) 12月第3週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。総括。
  - (25) 最終週  
予備。
- 以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	い い お か と お る 飯 岡 透	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短教	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

〔前 期〕

- 4月 会計監査の目的と種類
  - (1) 会計監査の目的
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
  - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
  - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開  
監査人の要件と責任
    - (1) 監査人の要件
    - (2) 監査人の選任と解任
    - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
  - (1) 監査要点の意義と種類
  - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後 期〕

- 9月 内部統制と監査リスク
  - (1) 内部統制の構成要素
  - (2) 内部統制の評価
  - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
  - (1) 監査契約と予備調査
  - (2) 監査計画の目的とその設定
  - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
  - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
  - (1) 監査調書の目的と作成要件
  - (2) 監査調書の種類と保存  
経営者確認書の意義と記載内容
    - (1) 経営者確認書の意義と目的
    - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
  - (1) 監査報告書の意義と機能
  - (2) 監査報告書の種類
  - (3) 短文式監査報告書の記載内容
  - (4) 特記事項の記載内容
  - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	なか はら しょう きち 中原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということです。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおく講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年。

教科書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加藤利安	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果すべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとするれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

#### 成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

再試験を実施しない。

#### 教 科 書

最初の授業時に指示する。

#### 参 考 書 等

授業時に適宜挙げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
    1. 農産物と貿易
    2. 水産物と貿易
    3. 林産物と貿易
    4. 鉱物資源と貿易
    5. 工業製品と貿易
  - II. 政治・経済・社会と貿易
    1. 開発援助と貿易
    2. 環境と貿易
    3. 公正と貿易
    4. グローバリゼーション
    5. 持続可能な発展と貿易
- 具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。再試験は実施する。

#### 教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	よね だ みつぐ 米 田 貢	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法A・政治・短国・短英	4

講義のねらい

前半の【現状分析編】では、現代日本の金融構造を概観したうえで、90年代日本における金融危機の展開過程を具体的に紹介する。後半の【理論篇】では、それらの金融危機を理解するための基礎理論として信用理論を体系的に説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【現状分析編】

1. 現代日本の金融構造
2. 1990年代の日本金融危機の概観
3. 銀行取付とは何か？－木津信用組合の経営破綻の事例研究
4. 住専処理をめぐって
5. 現代日本における土地問題－80年代の土地投機をふりかえる
6. 97年金融危機はいかに急展開したか－三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻
7. 98年金融危機と日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の特別公的管理＝一時的「国有化」
8. 1980年代アメリカ金融危機とセーフティネット
9. 現代日本における金融危機管理の失敗

【理論篇】

1. 銀行とは何か？
2. 貸借関係と利子生み資本
3. 預金通貨と信用創造
4. 現実資本の蓄積と貨幣資本の蓄積
5. 中央銀行の機能
6. インフレーションとは何か？
7. 現代資本主義の投機化現象について
8. 現代資本主義のグローバル化と為替投機

成績評価の方法

- 1) 【現状分析篇】終了時点で、現代金融危機についてのレポートを提出。評価40点満点。
  - 2) 学年末に、【理論篇】の内容について論述試験を行う。評価60点満点。
- 両者合計が60点以上の場合に単位を付与する。  
再試験を実施する。

教 科 書

授業はレジメに沿って行う。

参 考 書 等

参考文献については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法各論	さいとう ひさし 斉藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	たけなかちか 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族 [第4版]』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけなかちか 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・政治・経営・短大	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続 [第4版]』(有斐閣双書) 1,648円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おがだとしひろ 岡田外司博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 福祉・心理・経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのお堀訓男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

#### 履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

#### 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

#### 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたのなほ浦田早苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・経営・短放	4

#### 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- 英国革命とIRA
- ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程
- 英国における政治腐敗防止過程
- フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義
- 「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- 統合ヨーロッパの源流

#### 成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

#### 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	簿・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをくみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

#### 教科書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

#### 参考書等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)、『地方自治判例百選 (第2版)』(別冊ジュリスト)。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議 会 関 係 法	まえ た ひで おき 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその用途など。

#### 履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

#### 成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

#### 参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）  
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）  
その他各種の選挙法に関する解説書

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	いわさきまさひろ 岩崎正洋	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけだといふのでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

#### 履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立てられたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

#### 成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

#### 教科書

岩崎正洋他編『民主主義の国際比較』(一藝社)1999年  
岩崎正洋『政党システムの理論』(東海大学出版会)1999年

#### 参考書等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

- \*M. ドガン&D. ベラッシー／櫻井陽二訳『比較政治社会学』(芦書房)1983年
- \*西川知一編『比較政治の分析枠組』(ミネルヴァ書房)1986年
- \*H. J. ウィアールダ編／大木啓介他訳『比較政治学の新動向』(東信堂)1988年
- \*砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』(東海大学出版会)1990年
- \*青木一能・野口忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』(新評論)1998年
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., Sage, 1994.
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, Polity Press, 1994.

#### その他

基本的に講義中心とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつら 大 塚 桂	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況があります。大国・日本丸はどこにすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履習してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたとき、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。それというのも、国家論は総合科学としての性格を有するからです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
  - ①序論
  - ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
  - ①古代国家学説
  - ②中世国家学説
  - ③近代国家学説
  - ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
  - ①法治国家論
  - ②政治制度
  - ③官僚制
  - ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
  - ①福祉国家論
  - ②ネオ・コーポラティズム
  - ③シティズンシップ
  - ④きたるべき国家像

#### 成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。

A方式（レポートによる単位認定）

～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。

B方式（試験による単位認定）

～ペーパー・テスト（中間・期末）による評価です。

C方式（AとBの折衷）

～レポートと授業時間における小テストにより評価します。

※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

#### そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点はなし。①私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。②携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらう。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみ。①空欄補充問題（約60点分）②論述問題1問（約40点分）の予定。試験は持ち込み不可とする。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。  
[http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima\\_Seminar/index.html](http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	も 茂 がき 垣 ひろ 広 し 志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

### 講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか?」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業 (MNC) 特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論 (アプローチ)、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化 (適応性) の要請とグローバルな統合化 (効率性) の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本のマネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。その日系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点について理解を深められる授業内容と構成を予定している。より具体的には、以下の内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク (隣接領域との異同と関連性)
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討 (IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説、経営資源移動仮説等)
- III. 国際経営/企業多国籍化の発展段階モデル (ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、アンゾフ・モデル、EPRG モデル等)
- IV. 国際競争戦略 (国際戦略の基本パターンないしタイプ)
  1. 国際競争優位性 (規模の経済・範囲の経済・連結の経済・比較優位・国家特殊優位性)
  2. 国際競争戦略の類型 (ポーター・モデル、ドズ=ブラハラード・モデル、バートレット=ゴシャル・モデル等)
  3. 国際戦略提携
- V. 国際戦略と組織構造
  1. マクロ構造 (国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリクス構造)
  2. ミクロ構造および内部ネットワーク (トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル)
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
  1. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴 (経営伝統と現状)
  2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴 (その必要性と問題点、進出地域別特徴)
  3. 異文化マネジメントと海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
- VII. 国際マーケティング戦略 (海外市場参入、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略等)

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

### 成績評価の方法

成績は、期末試験の結果による。

### 教 科 書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』(学文社) 2,800円

### 参 考 書 等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』(学文社) 2,800円

### そ の 他

OHP あるいはプロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継 続 性     |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量     |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価 格 革 命   |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。  
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしな ぎか くに あき 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的な事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ けい いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教科書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』（中央経済社）

参考書等

寫井剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』（白桃書房）  
日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

授業の方法、講義による。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた づり のぶ お 片 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テ ス ト 範 囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

参 考 書 等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教 科 書

開講時に指示する。

#### 参 考 書 等

開講時に指示する。

#### そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営情報論	たか 高 井 徹 まつ お 雄	禰・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

I. 経営情報と体系的観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法と体系的なものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。

その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円  
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

各種の参考書をそのつと紹介します。

#### その他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	やまの 山 内 慎 二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについて取り扱う経営統計は、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意志決定をサポートすることを目的とする学問である。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たせるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明する。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意志決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

履修上の留意点

年間数回程度の演習問題を適時に配布し、それを本講義内容の基礎的部分をもとに独自に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）1995 2,100円（税別）  
講義を補充するプリントを適時に配布する。

参 考 書 等

守口栄一・竹田仁共著『経営数学・経営統計とその応用』（日本理工出版社）1992 2,200円（税別）

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先に又は同時に履修することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学講読	佐原 作美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や和歌を選んで講読していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学講読	鈴木 裕子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年は、篝火の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者光源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

履修上の留意点

講読という科目の性格上、授業はテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学講読	その べ みき お生 蘭 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

中世の作品の中から、『無名草子』をとりあげる。今年度は特に後半の女性論の部分を中心に読み進めたい。その関連から、記録類や説話集類も読むことになる。評論として書かれた内容について理解するだけでなく、小野小町以下の古典文学史上著名な女性たちがどのような経緯を経て、どのように受けとめられ、評価されてきたのかを確認し、それらについての自分なりの意見を持てるようになりたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序から源氏物語論の前までを講義する。前期の後半から後期にかけては、小野小町・清少納言・小式部内侍・和泉式部・宮宣旨・伊勢御息所・兵衛内侍・紫式部・皇后定子・上東門院・大斎院選子・小野皇太后宮といった女性たちに対する女性論や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、十二月末の時間内に50点満点の筆記試験（持ち込み参照何でも可）を行う。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、一月の授業時間内に指示するので必ず出席すること。

教科書

新潮日本古典文学集成『無名草子』（新潮社）2,000円

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学講読	えち ご けい こ 越 後 敬 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

西鶴の代表作の一つである『好色五人女』を読む。本書は実際にあった五つの恋愛事件をもとに描かれた作品である。当時は封建体制のもと厳しい身分制度がしかれており、自由な恋愛が認められていなかった。そのため悲劇的な結末を迎えざるを得ない男女が数多くあった。それを西鶴はどのように描いたか、当時の時代背景や先行文芸との関わりを視野に入れながら読み進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第一回 授業の進め方の説明  
第二・三回 西鶴と『好色五人女』に関する概説  
第四回以降 『好色五人女』講読

履修上の留意点

毎回、授業範囲分の下調べをしてきてほしい。また教科書は活字本を用いるが、適宜影印資料を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教科書

江本裕『好色五人女 全訳注』（講談社学術文庫）1,200円  
その他、授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 講 読	いしわり 石 割	とある 透	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の一助としたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

扱う作品は、芥川龍之介『羅生門』『鼻』『芋粥』『奉教人の死』、谷崎潤一郎『小さな王国』『白昼鬼語』、志賀直哉『清兵衛と瓢箪』『十一月三日午後の事』『雨蛙』、内田百閒『旅順入城式』など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学のもっていた課題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は、必ず前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視角によるものを期待したい。

教 科 書

『芥川龍之介全集1・II』（ちくま書房）志賀直哉『小僧の神様、城の崎にて』『清兵衛と瓢箪・網走まで』（以上新潮文庫）谷崎潤一郎『美食倶楽部-谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 講 読	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

「よりによって」とあなたは言うかもしれない。それでも、現在の文学界において最もポピュラーな作家の一人である村上春樹を読む。年間を通じての講義タイトルは、「現象としての村上春樹」（あるいは、「よりによって村上春樹」）。彼の作品を読み進めながら、作品に描かれたフィクションの「世界」と、我々が生きる現実との距離、その位相の違い、そして接点を探る。ここには村上春樹という作者研究の視点はない。私は村上春樹の友達ではないし、会ったこともないので、彼がどんな人間であろうと私には関係がない。また同時に、たとえば『ノルウェイの森』が400万部以上売れたことによって、一種の社会現象になったという文脈での「現象」を考察したいわけでもない。もちろんそうした情報は、事実として何らかの前提にはなり得るわけだが。本講において注目したいのは、彼の作品と読者がきり結ぶ関係そのものである。すなわち具体的に、作品と私の関係、作品とあなたの関係が、すべての出発点である。さらに教場において共に講読した結果として、「作品を通しての私とあなたの関係」が想定されるとしたら、そこから村上作品と現代社会の関係性についての何かが浮かびあがるはずである。通常の文学鑑賞においては、作品と読者との一対一の関係によって表現のほとんどすべてが完結してしまえるが、村上春樹現象と言われるほどのポピュラリティを持ってしまった作品については、それが現代社会の中でどのように認識されるのかを意識せずには読めない部分があると思えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

順次、村上春樹の作品を講読する。できるだけ多くの作品に触れたいと思うが、具体的にどの作品をどのようなスケジュールで読み進めて行くかは、講義を進める中で随時決めさせていただく。

履修上の留意点

当然ながら授業時間中に読むことのできる部分のごく限られているので、各自が授業以外の時間で少しでも多くの作品を読むことが要求される。また、国文科であるのに恐縮だが、村上春樹が翻訳したアメリカ現代小説もいくつか、参考として講読の対象としたい。原文を英語で読む必要はないが、講義において翻訳文と原文との比較を行うことがある。

成績評価の方法

出席回数と、レポートの提出によって評価を行う。レポートの内容・時期・回数等も、授業を進める中で適宜決めさせていただきたい。

教科書

テキストとして、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』（荒地出版社）1,553円＋税、およびユリカ臨時増刊号『総特集 村上春樹の世界』（青土社）1,260円を指定するので、各自購入し、毎回授業の際に持参してほしい。これらをいわゆる教科書として読み進めるわけではないが、村上作品の全体像を見渡すことのできるガイドとして使用する。前者は主要な長編小説の紹介として、後者は短編や翻訳作品を含めた全体像を概観するのに有効である。実際に講読する村上作品については、これらのガイドにも紹介されているのでそれを参考に、各自で用意していただく。読んでいない者は、まず『羊をめぐる冒険』（講談社）および講談社文庫と『ノルウェイの森』（上・下 講談社）だけは読んでおいてほしい。

参考書等

村上春樹に関する出版物は数多いが、最寄の書店で入手できる参考書として、鈴木和成『村上春樹クロニクル 1983-1995』（洋泉社）1,500円と、木股知史編『日本文学研究論文集46 村上春樹』（若草書房）3,500円＋税をあげておく。

その他

講読形式の授業であり、それは学生が各自講読するという意味である。講義では、全員が声を出して読んでも仕方がないので代わりに私が読むが、あくまで自分が読まなければ意味のないものだという前提を忘れないでいただきたい。そのあとは、作家研究・作品研究の講義でない分、各自の興味と感性に引きつけて、むしろそれぞれの受け入れ方をしてほしい。私は私の感性をもとに、作品について何かを述べることになるが、それをそのまま受け入れるのではなく、むしろそれとあなた自身の感じ方の「ズレ」を意識することの方が重要である。年間の授業の最後に、あなたにとっての村上春樹とは何か、と訊ねることになるだろう。その時に、それぞれの感じ方で、それぞれの言葉で答えてほしい。音楽が好きなら、音楽にたとえるなら、という個人的な言い方でかまわない。ほくにとって村上春樹は、なぜか佐野元春なんですけど。どうしてかはうまく説明できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 計 測 学 ( 前 期 )	かし お えい じ 櫃 尾 英 次	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。  
医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあつては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。



# 3. 随 意 科 目



### 3. 随 意 科 目

英	語	(海 外 演 習)	.....	479
宗 教	学 概 說	〈洗 建〉	.....	479
宗 教	学 概 說	〈池 上 良 正〉	.....	480
宗 教	学 概 說	〈津 城 寬 文〉	.....	480
哲 学	概 說	〈末 木 恭 彦〉	.....	481
哲 学	概 說	〈久 保 陽 一〉	.....	481
倫 理	学 概 說	〈河 谷 淳〉	.....	482
宗 教	人 類 学	〈佐々木 宏 幹〉	.....	482
民 間	信 仰 論	〈谷 口 貢〉	.....	483
日 本 宗 教	文 化 史	〈池 上 良 正〉	.....	483
日 本 宗 教	成 立 史	〈津 城 寬 文〉	.....	484
日 本 宗 教	成 立 史	〈麻 生 建 建〉	.....	484
美 術 史	概 說	〈矢 野 陽 子〉	.....	485
東 洋 史	想 史	〈末 木 恭 彦〉	.....	485
日 本 文 化 史	史	〈遠 藤 廣 昭〉	.....	486
日 本 文 化 史	史	Ⅱ 〈廣 瀬 良 弘〉	.....	486
日 本 文 化 史	史	Ⅱ 〈谷 口 貢〉	.....	487



科目名	配当学科	単 位
英語（海外演習）	全学科・短大 1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、プリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

そ の 他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することといかに深くかかわっているかを明らかにする。  
この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活習慣や年中行事に組み込まれた習俗や、祈禱・供養・祭礼・禁忌・呪咀などとよばれる実践や行為としての側面もある。

本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。

後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前 期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後 期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

とくにありませんが、私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。-哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思勇者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

ヘーゲルの主著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快楽とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）  
イポリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）  
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

随  
意  
科  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	かわ 谷 淳 かわ たに あつし	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

理論学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では(a)主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で(b)現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。  
 (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）  
 (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	さ さ き こう かん 佐々木宏幹	国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉2年次～	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企図している。

1. 文化と人間	2. 社会と世界観	3. 宗教の原辺形態
4. 人間と動物	5. 民族宗教	6. 世界宗教
7. アニミズム・多神教・一神教の関係		8. 仏教・キリスト教・イスラム教
9. 民族問題と宗教		
10. 環境問題と宗教	11. 習合宗教	12. アジア宗教の特色
13. 日本宗教の特色	14. 新宗教とは	15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
 夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	たに 谷 ぐち みつぎ 貢	英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

履修上の留意点

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

とくに教科書を使用しないが、参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本と宗教』（岩波書店）の3冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	いけ 池 ぐみ よし まさ 良 正	国文・英米文・地理・ 歴史・社会・福祉・ 心理2年次～	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどとよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的な事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

スライドを適宜使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ 津    しろ 城    ひろ 寛    ふみ 文	国 文 ・ 英 米 文 ・ 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にたつて、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点をあてて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

前期

- ① 深層文化論の整理
- ② 深層文化論と宗教研究

後期

- ① 民俗主義的な深層文化
- ② 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

とくにありませんが、私語はだけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教科書

用いません。

参考書等

参考書は、深層文化論に関しては、拙著「日本の深層文化序説——3つの深層と宗教」(玉川大学出版部)1995年を用います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ 麻    そ う 生    けん 建	国 文 ・ 英 米 文 ・ 地 理 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 2 年 次 ~	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』(世界書院)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	矢野陽子	英米文・地理・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期の美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術史出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）  
高階秀爾『カラー版西洋美術史』（美術出版社）  
このほか適宜、授業中に参考文献を紹介します。

その他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	末木恭彦	英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理2年次～	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛かりにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に触れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	国文・英文・地理・ 社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教科書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史Ⅱ	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	地理・社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史と感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本民俗学	たに ぐち 谷 口 貢	英米文・地理・ 社会・福祉・ 心理 2 年次～	4

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を用する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

#### 教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

#### 参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）





## 4. 「日本語」・「日本事情」科目



## 4. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

### 《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	493
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	493
日	本	語	II	〈佐野典子〉	494
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	494
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	495
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	495
日	本	語	IV	〈石川守〉	496
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	496
日	本	語	V	〈石川守〉	497
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	497
日	本	語	VI	〈石川守〉	498
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	498

### 《日本事情科目》

日本事情I	〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	499
日本事情II	〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	499
日本事情III	〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	500
日本事情IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	500
日本事情V	〔社会〕	(後期)	〈吉田 素子〉	501
日本事情VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈上條 末夫〉	501
日本事情VII	〔文学〕	(前期)	〈村上 光徳〉	502
日本事情VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	502
日本事情IX	〔経済〕	(前期)	〈瀬戸 紘子〉	503
日本事情X	〔経営〕	(前期)	〈猿山 義広〉	504



## 《日本語科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。

### 成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

### 教科書

特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

### 成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

### 教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
  - 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
  - あわせて書く練習もする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅲ	多 田 羅 哲 子 <small>た た ら あき こ</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅲ	湯 村 礼 子 <small>ゆ むら れい こ</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになること目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ いら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。自分の言いたいことを正しく適切な表現を用いて話したりわかり易く書くための基本的練習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく使えるよう練習する。
- より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
- 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。
講義の内容・ 授業スケジュール	講義はICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。
履修上の留意点	講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。
成績評価の方法	成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
教科書	コピーを配布する。
参考書等	特になし
その他	授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
講義の内容・ 授業スケジュール	○今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。 ○関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。 ○テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。
履修上の留意点	授業中の活動が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教科書	プリントを配布、ビデオを使用。

## 《日本事情科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	須山 聡 <small>よしと</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本の風土や地域性をわかりやすく紹介し、日本に対する理解を深める。日本各地の風土や地域性に関する簡単なテキストを用いて受講者に新たな日本のとらえ方を提示したい。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日本列島のなりたち－暑い、寒い、湿っぽい－
- 2 日本列島の文化的多様性－日本は多民族社会？－
- 3 伝統の「日本」－フジヤマ・ゲイシャ・ジンリキシャ－
- 4 技術の「ニッポン」－ハイテク国家の実像－
- 5 日本の都市－繁栄と退廃－
- 6 日本の農村－そしてお年寄りばかりが残った－
- 7 日本人の知らない日本－こんな日本、あんな日本－

### 履修上の留意点

受講者の活発な発現を期待する。

### 成績評価の方法

出席を重視するが、場合によってはレポートも課す。

### 教科書

適宜資料を配布する。

### 参考書等

日本地図帳を持参されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(前期)	清水 善和 <small>よしかず</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

### 成績評価の方法

レポート(2、3回)と出席回数に基づいて評価する。

### 教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

### その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔 歴 史 〕 (後 期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	なし
そ の 他	講義のみ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔 思 想 〕 (前 期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔 社 会 〕 (後 期)	よ し だ も と 吉 田 素 子	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

この講義では、現代の日本人の意識や行動様式を、社会現象を通して検討します。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本で起きた社会現象や事件をとらえた新聞記事・雑誌記事などを読み、理解します。そして、受講生の間でその記事についての意見を交換したり、他国で起こっていることと比較したりすることによって、日本社会の特質を分析します。

成績評価の方法

毎回出席をとり、授業中の発言なども平常点として加味します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔 政 治 ・ 法 律 〕 (後 期)	か み じ ょ う す え お 上 條 末 夫	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

戦後日本の政治制度と政治の実態を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1、日本国憲法の意味
- 2、国会法の内容
- 3、選挙法の沿革と意味
- 4、内閣法と立法府との関係
- 5、司法制度のあり方
- 6、衆議院議員選挙の推移
- 7、参議院議員選挙の推移
- 8、地方自治と地方選挙
- 9、政党の実情と政党政治
- 10、議員立法と国会のあり方
- 11、内閣の性格とそのあり方
- 12、日本の政治文化

成績評価の方法

平常点による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VII 〔 文 学 〕 ( 前 期 )	むら 村 上 光 のり 徳	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中世の軍記文学を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

保元の乱の『保元物語』から平治・治承の戦いまでを作品を中心に講義する。

履修上の留意点

出席とレポートを課す。

教 科 書

その都度必要に応じ配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔 文 化 ・ 芸 術 〕 ( 後 期 )	あか 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 ( 前 期 )	せ と お か 瀬 戸 岡 ひろし 紘	全 学 科 ・ 短 大 ( 短 放 随 意 )	2

#### 講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいいねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本的経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口にしめる農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？ それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

日本の工業地帯と工業  
日本の農村と農業および日本の水産業  
日本のサービス業および金融  
明治維新以前の日本経済の歴史  
第2次世界大戦以降の日本経済の展開  
日本経済とアメリカ経済  
日本経済とアジア経済  
日本経済と政府の役割  
日本の労働者・サラリーマンの生活  
日本経済と社会や文化の変化  
その他

#### 成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト(クイズ)30%、宿題30%が目安です。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

#### 教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介します。日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

#### そ の 他

授業は、おおむね日本語ですすめます。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 ( 前 期 )	猿 山 義 広	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本の広告事情について学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 広告の歴史
- II 日本の広告メディア
- III 日本の広告会社
- IV 日本の広告主
- V 広告プランニングの実際
- VI 最近の日本の広告

履修上の留意点

日常生活の中で接する広告の中から、自分が面白いと思うものを見つけておくこと。

成績評価の方法

期末レポート「私が選ぶ2000年のテレビCMベスト10」によって評価します。

教 科 書

授業中に適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

『宣伝会議』『ブレーン』『広告批評』等。

## 5. 教職課程・資格講座科目

- I 教 職 課 程
- II 学校図書館司書教諭講座
- III 社会教育主事講座
- IV 博物館学講座
- V 社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎

※上記の教職課程および資格講座授業科目の講義内容が掲載されていますが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりです。  
(履修についての詳細は、『教職課程・資格講座履修要項』を参照すること。)

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部



## 5. 教職課程・資格講座科目

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

### I 教 職 課 程

#### (1) 教職に関する科目（必修）

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤 司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉〉	515
教 育 の 思 想	〈豊 田 千代子〉	515
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	516
教 育 の 思 想	〈伊 藤 茂 樹〉	517
教 育 の 思 想	〈村 山 輝 吉〉	518
教 育 の 思 想	〈坂 本 信 昭〉	519
教 育 と 社 会	〈豊 田 千代子〉	520
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	520
教 育 と 社 会	〈伊 藤 茂 樹〉	521
教 育 と 社 会	〈村 山 輝 吉〉	521
教 育 と 社 会	〈坂 本 信 昭〉	522
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾久子〉	522
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈川 田 三 夫〉	523
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈上 淵 寿 夫〉	524
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈角 野 善 司〉	525
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈 休 講 〉	
教 育 と メ デ ィ ア	〈小 倉 康 仁〉	526
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	527
教 育 と メ デ ィ ア	〈芝 崎 順 司〉	528
道 徳 教 育 の 研 究	〈加 藤 幸 夫〉	529
道 徳 教 育 の 研 究	〈小 川 一 郎〉	530
道 徳 教 育 の 研 究	〈鶴 卷 武 夫〉	531
特 別 活 動	〈加 藤 幸 夫〉	532
特 別 活 動	〈小 川 一 郎〉	533
特 別 活 動	〈鶴 卷 武 夫〉	534
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈小 宮 山 要〉	535
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈国 眼 眞 理 子〉	536
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈佐 藤 尚 人〉	537
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	538
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈川 原 誠 司〉	538
教 育 臨 床	〈 休 講 〉	
宗 教 科 教 育 法	〈小 山 一 乗〉	539
国 語 科 教 育 法	〈神 谷 道 倫〉	540
書 道 科 教 育 法	〈那 須 隆 吉〉	540
英 語 科 教 育 法	〈荒 井 良 雄〉	541
社 会 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	541
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈久 保 田 武 夫〉	542
社 会 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	543
地 理 歴 史 科 教 育 法 I	〈桜 井 明 久〉	543
社 会 科 教 育 法 I	〈藤 木 正 国〉	544

地理歴史科教育法 I	〈藤木正国〉	544
社会科教育法 II	〈橋爪敏〉	545
公民科教育法 I	〈橋爪敏〉	545
社会科教育法 II	〈谷敷正光〉	546
公民科教育法 I	〈谷敷正光〉	547
社会科教育法 II	〈上條末夫〉	548
公民科教育法 I	〈上條末夫〉	549
商業科教育法	〈谷敷正光〉	550
職業科教育法	〈前田幸一〉	551
教育実習 I・II	〈豊田千代子〉	551
教育実習 I・II	〈坂本信昭〉	552
教育実習 I・II	〈村山輝吉〉	552
教育実習 I・II	〈北村三子〉	553
教育実習 I・II	〈伊藤茂樹〉	553

(2) 教職に関する科目 (選択)

教育関係法規	〈広沢明〉	554
教育評価	〈大浜幾久子〉	554
教育法規研究	〈休講〉	
教育哲学	〈北村三子〉	555
教育情報学	〈小倉康仁〉	556
教育臨床心理学	〈牟田隆郎〉	557
教育社会学	〈熊谷一乗〉	558
教育史	〈山本敏子〉	559
教育調査	〈鈴木規夫〉	560
芸術教育	〈香川良成〉	560
現代社会の諸問題と教育 II	〈熊谷一乗〉	561
青少年問題研究	〈讚岐真佐子〉	562
宗教教育	〈小山一乗〉	563
生涯学習概論 I	〈豊田千代子〉	(564)
生涯学習概論 II	〈豊田千代子〉	(564)
視聴覚教育	〈飯森彬彦〉	(564)
社会教育施設	〈村山輝吉〉	(564)
学校経営と学校図書館	〈山田節子〉	(564)
読書と豊かな人間性	〈山田節子〉	(565)
学校図書館メディアの構成	〈源昌久〉	(565)
情報メディアの活用	〈源昌久〉	(565)
学習指導と学校図書館	〈山田節子〉	(565)

(3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

東洋思想史	〈末木恭彦〉	566
美術史概説	〈矢野陽子〉	566
民間信仰論	〈谷口貢〉	567
人文地理学概説	〈小池とみ子〉	567
自然地理学概説	〈高木正博〉	568
自然地理学概説	〈早船元峰〉	568
地誌学概説	〈川元豊和〉	569
地誌学概説	〈久保田武〉	570
地誌学概説	〈藤島範孝〉	571

日	本	仏	教	史	〈遠藤廣昭〉	571		
日	本	文	化	史	I 〈休講〉			
日	本	文	化	史	II 〈廣瀬良弘〉	572		
歴	本	文	化	史	学 〈麻生建〉	572		
日	本	史	概	説	〈黒田基樹〉	573		
日	本	史	概	説	〈小松寿治〉	573		
世	界	史	概	説	〈井村行子〉	574		
世	界	史	概	説	〈渡辺惇〉	575		
社	会	学	原	論	〈渡辺源樹〉	576		
宗	教	人	類	学	〈佐々木宏幹〉	577		
経	済	原	論	論	〈浅田統一郎〉	578		
経	済	原	論	論	〈阿部弘〉	579		
経	済	原	論	論	〈浅野克巳〉	580		
経	済	原	論	論	〈松井柳平〉	581		
経	済	原	論	論	〈橋本泰明〉	582		
民	政	法	学	I	〈大宮隆〉	583		
日	本	宗	教	文	史	論	〈大塚桂〉	584
民	衆	宗	教	学	概	説	〈池上良正〉	585
宗	教	学	概	説	〈津城寛文〉	585		
宗	教	学	概	説	〈洗上良正〉	586		
宗	教	学	概	説	〈池上良正〉	586		
宗	教	学	概	説	〈津城寛文〉	587		
哲	学	概	説	〈久保陽一〉	588			
倫	理	学	概	説	〈末木恭彦〉	588		
【職	業】		説	〈河谷淳〉	589			
産	業	概	説	〈前田幸一〉	590			
職	業	指	導	〈山田勇治〉	590			
商	業	実	習	〈前田幸一〉	591			
【商	業】		指	導	〈山田勇治〉	(591)		

## II 学校図書館司書教諭講座

### 必修科目

学校経営と学校図書館〈山田節子〉	595
読書と豊かな人間性〈山田節子〉	595
学校図書館メディアの構成〈源昌久〉	596
情報メディアの活用〈源昌久〉	596
学習指導と学校図書館〈山田節子〉	597

## III 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育計画〈村山輝吉〉	601
生涯学習概論Ⅰ〈豊田千代子〉	602
生涯学習概論Ⅱ〈豊田千代子〉	603
社会教育実習〈豊田千代子〉	604
社会教育実習〈村山輝吉〉	604

### (2) 選択必修科目

社会教育行政〈東寿隆〉	605
社会教育施設〈村山輝吉〉	605
成人学習論〈東寿隆〉	606
ジェンダーと教育Ⅰ〈中澤智恵〉	606
ジェンダーと教育Ⅱ〈中澤智恵〉	607
職業教育Ⅰ〈塩川正人〉	608
職業教育Ⅱ〈塩川正人〉	608
社会体育Ⅰ〈古田潤子〉	609
社会体育Ⅱ〈古田潤子〉	609
教育の思想	(610)
教育と社会	(610)
発達と学習の心理学	(610)
教育とメディア	(610)
カリキュラムと学習〈休講〉	
社会心理学〈休講〉	
視聴覚教育〈飯森彬彦〉	(611)
教育社会学〈熊谷一乗〉	(611)
教育史〈山本敏子〉	(611)
教育調査〈鈴木規夫〉	(611)
青少年文化〈香川良成〉	611
現代社会の諸問題と教育Ⅰ〈熊谷一乗〉	612
現代社会の諸問題と教育Ⅱ〈熊谷一乗〉	(612)
青少年問題研究〈讚岐真佐子〉	(612)
青少年指導演習〈平野学〉	613
博物館学Ⅰ(概論)〈太田喜美子〉	(614)
博物館学Ⅱ(資料論)〈岸上興一郎〉	(614)
情報メディアの活用〈源昌久〉	(614)
読書と豊かな人間性〈山田節子〉	(614)

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

視 聴 覚 教 育〈飯 森 彬 彦〉	617
考 古 発 掘 実 習〈飯 島 武 次・酒 井 清 治〉	617
博 物 館 学 I (概 論)〈太 田 喜 美 子〉	618
博 物 館 学 II (資 料 論)〈岸 上 興 一 郎〉	618
博 物 館 学 III (経 営 論・情 報 論)〈岸 上 興 一 郎〉	619
博 物 館 実 習 I (館 務)〈飯 島 武 次・酒 井 清 治・太 田 喜 美 子〉	620
博 物 館 実 習 II (収 集)〈酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・國 見 徹 久 保 田 昌 希・瀧 音 能 之・佐 藤 元 英 小 林 和 幸・廣 瀬 良 弘〉	620
博 物 館 実 習 III (見 学)〈酒 井 清 治・太 田 喜 美 子・松 本 信 道〉	621
教 育 の 思 想	(621)
教 育 と 社 会	(621)
生 涯 学 習 概 論 I 〈豊 田 千 代 子〉	(621)
生 涯 学 習 概 論 II 〈豊 田 千 代 子〉	(621)

### (2) 選択必修科目

イ ン ド 仏 教 文 化 史 〈 休 講 〉	
中 国 仏 教 文 化 史 〈永 井 政 之〉	622
日 本 仏 教 文 化 史 〈袴 谷 憲 昭〉	622
禪 美 術 〈海 老 根 聰 郎〉	623
仏 教 美 術 〈松 田 誠 一 郎〉	623
仏 教 民 俗 学 〈須 藤 寛 人〉	624
日 本 民 俗 学 〈谷 口 貢〉	625
美 術 史 概 説 〈矢 野 陽 子〉	626
現 代 美 術 〈矢 野 陽 子〉	626
地 形 学 〈清 水 長 正〉	627
第 四 紀 学 〈鈴 木 毅 彦〉	627
考 古 学 概 説 I (日 本) 〈酒 井 清 治〉	628
考 古 学 概 説 II (外 国) 〈飯 島 武 次〉	628
日 本 文 化 史 I 〈 休 講 〉	
西 洋 文 化 史 I 〈 休 講 〉	
日 本 文 化 史 II 〈廣 瀬 良 弘〉	629
西 洋 文 化 史 II 〈 休 講 〉	
考 古 学 特 講 I 〈高 浜 秀〉	630
考 古 学 特 講 II 〈 休 講 〉	
考 古 学 特 講 III 〈矢 野 和 之〉	631
考 古 学 特 講 IV 〈 休 講 〉	
西 域 美 術 史 〈松 平 美 和 子〉	632
宗 教 人 類 学 〈佐々木 宏 幹〉	632



## V 社会福祉主事・社会福祉士基礎講座

### (1) 必修科目

※社会福祉原論〈伊藤秀一〉	635
※社会福祉原論〈船水浩行〉	636

### (2) 選択科目

※法学(福祉)〈小林弘人〉	637
社会福祉発達史〈林千代〉	638
リハビリテーション論〈原田信一〉	639
※社会保障論〈船水浩行〉	640
家庭福祉論〈休講〉	
社会福祉計画論〈川廷宗之〉	641
国際社会福祉論〈山本真実〉	642
保健福祉論〈長尾譲治〉	643
※公的扶助論〈伊藤秀一〉	643
※障害者福祉論〈原田信一〉	644
※老人福祉論〈東條光雅〉	645
児童福祉論〈許斐有〉	646
女性福祉論〈林千代〉	646
医療福祉論〈春見静子〉	647
※地域福祉論〈渡辺一城〉	648
※社会学(福祉)〈橋爪敏〉	648
※心理学(福祉)〈高橋良博〉	649

上記科目のうち、※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみを対象とする科目です。

# I 教 職 課 程



## (1) 教職に関する科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門 (後期)	大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉	12以降入学生/教職1必	2

### 講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員七名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということ、まずは実感してください。

### 講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また11月9日、16日は、普通の講義ではなく、教職課程の履修に関するガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

### 成績評価の方法

レポートによる評価。

### その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	豊田千代子	教職2必 (禅・仏教)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

この授業では、人間の成長・発達を、他者や自然等に向けて自らのコミュニケーション回路を開いていく力の形成（自分と自分をとりまく世界との関係を意識し、新たな関係を編み出していく力の形成）と捉え、このような点に注目した教育の思想について検討したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

自然とのかかわりのなかで育んできたネイティブ・アメリカンの生命観や世界観等に学びつつ、人間の存在を全体（すべてのものとの不可分なつながり）として捉える「ホリスティックな視点」で教育を考えるとどういうことかを議論する。また、このような視点で取り組まれている教育実践の検討をとおして、それが今日の日本の教育状況にどのような意義をもつのかを考えあう。

### 成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

### 教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

### 参考書等

適宜紹介する。

### その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 ( 前 期 )	きたむらみつこ 北村三子	教 職 2 必 (国・英・教・社・福・心・理)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、たとえば次のようなものを検討していきます。
  - ・今日の子どもや若者の精神的ストレスや、彼らの引き起こした事件
  - ・近代の教育をより広い観点から問いなおすような子ども史や若者史、あるいは、社会史的視点を含む人間形成の歴史
  - ・近代では周辺のだった教育思想や実践

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

参 考 書 等

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 ( 前 期 )	伊 藤 藤 茂 樹 <small>いとう しげき</small>	教 職 2 必 <small>(地理・歴史・法A・政治)</small>	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・  
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
・近代社会と教育  
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 ( 前 期 )	<small>むら</small> 村 <small>やま</small> 山 <small>てる</small> 輝 <small>よし</small> 吉	教 職 2 必 ( 経 A )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のありようによって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想（前期）」と「教育と社会（後期）」の両科目を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種の資料や下村湖人の著作等をも参考にしながら、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育の思想」では、主として教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表（口頭または作文）と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸課題のうち、主として教育の理念や歴史、思想にかかわるものについて、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職2必 (商・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

#### 履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

#### 成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

#### 教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

#### 参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

#### その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と 社 会 ( 後 期 )	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教 職 2 必 ( 禅 ・ 仏 教 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。また、障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等によって成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と 社 会 ( 後 期 )	きた むら みつ こ 北 村 三 子	教 職 2 必 ( 国 文 ・ 英 米 文 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・前近代的な社会と教育……原始古代・中世社会の人間形成
- ・近代社会と学校制度……近代学校制度の成立と発展
- ・近代学校の社会的機能……政治的機能・経済的機能・文化的機能
- ・近代学校制度の諸問題

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤 茂樹	教職2必 (地理・歴史・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。  
・現代の教育問題  
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	村山 輝吉	教職2必 (経A)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は個々人の人格形成に深く関与する個人的事象であると同時に、社会のあり方によって大きく影響され、また逆に、社会のあり方やその形成に直接間接作用を及ぼす歴史的・社会的事象でもある。従ってここでは、「教育の思想(前期)」と「教育と社会(後期)」を通じて、教育事象にかかわる学生自身の個人的経験やおもいを出発点としながらも、各種資料や文献を参考に、人間の形成と教育・文化・社会のかかわりについて原理的・総合的な考察をおこなう。両科目を通じて、人間形成にかかわる諸事象を狭い個人的見地を超え広く開かれた歴史的・社会的視座から考えられる能力を育てることをめざしているが、この「教育と社会」では、主として教育に関する社会的・制度的事項についての基礎的な理解を図ることに重点を置く。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1ステップ 教育にかかわる学生自身の体験やおもいの発表(口頭または作文)と、それを系統的・論理的に整理する作業

第2ステップ 第1ステップで整理された諸問題のうち、主として教育に関する社会的、制度的事項について、資料や文献を参考にしながら考察を深める作業

成績評価の方法

出席、レポート、口頭発表、試験等により総合的に判定する。

参考書等

そのつと紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後 期)	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教職 2 必 (商・経営)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、主白レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

- ・必要な資料を適宜配布する。
- ・この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
- この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前 期)	おお はま き く こ 大 浜 幾 久 子	教職 2 必 (権・仏教・国文・英米文)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 川 田 三 夫	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

- (1)子供の成長・発達の概要を理解する。  
(2)教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①発達について、乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④児童期前期、⑤児童期後期、⑥青年期前期、⑦青年期中期、⑧青年期後期、⑨人格の発達、⑩社会性の発達、⑪問題行動、⑫学習・教育心理学、⑬教育学・教育原理、⑭学校・教育をめぐる問題点、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点(100点満点)で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。  
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	うえ ぶち ひさし 上 淵 寿	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) 経A・商・法A・政治・経営	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

本講義は、従来でいえば「教育心理学」と呼ばれていたものである。そのため、学校教育に関する問題や現象について理解し、そこにかに心理学的知識をもって関わっていく必要があるのかを、理解する。

特に、現代の教育問題が何であるのかに受講者が直面すること、またそれに対しつい偏った見方を抱きがちであることを理解してもらうことを最優先にする。その上で、様々な身近な教育問題について、受講者なりの解決策を、心理学的な知識を利用しながら考えてもらうことを狙いとする。

したがって、講師からの一方的な講義は問題に焦点をあてたり、この内容の理解の導入を容易にするのにとどめて、受講者同士でグループによるディスカッションや資料調査などを中心に行ってもらう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 オリエンテーション (全体の概説)
- 2 教育心理学とは (学校心理学と教育心理学) グループ編成
- 3 問題を抱える教師 1 - 子どもがわからない - (教師の教育観、学級崩壊)
- 4 問題をかかえる教師 2 - 忙しさと向き合う - (教師のバーンアウトとその対策)
- 5 問題を抱える子ども 1 (意欲の減退、他人との関わり、ひきこもり)
- 6 問題を抱える子ども 2 (学習観や認知方略の指導等、学習相談)
- 7 みとりとまなごし (評価、学力の問題)
- 8 意思決定と判断のあやまり (教育活動の判断の偏り)
- 9 発達に応じた関わりをするには？

以上のような内容について講義をするが、それぞれの問題について、グループでの話し合いの時間を十分にとる。

#### 履修上の留意点

単に受け身で講義を聴くような態度では、単位取得は難しいだろう。  
当然だが、講義中の私語はマナー違反である。いつまでも平気で私語をするような学生には、即座に退室してもらう。

#### 成績評価の方法

学期末に提出するレポートによる。具体的な評定の仕方については、初回の講義で述べる。

#### 教 科 書

無藤隆・市川伸一 (編著) 『学校教育の心理学』 (学文社)

#### 参 考 書 等

講義中に指示する。

#### そ の 他

講義形式で行うが、ビデオ・OHP等を併用する。また、グループによるディスカッションや、資料調べなども行う。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの野ぜんし 角野善司	教 職 2 必 (地理・歴史・社会・福祉・心理) (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

教育心理学は、教育場面对して心理学的にアプローチする学問です。すなわち、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てています。

講義を通じて学び、考えたことを、教育場面で生徒と接するにあたっての1つのヒントにしてほしいと願っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の2つを中心テーマとして進めます。

- ①発達：人間の生涯にわたる発達について
- ②教授－学習：生徒の学習について、および学習に対する教授過程について

#### 履修上の留意点

自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回講義に出席し、主体的な態度で臨んでください。出席回数が一定基準に達しない場合には、単位を付与しません。

#### 成績評価の方法

平常点(出席および課題の提出状況)2割、学期末テスト3割、学期末レポート5割の配点で、評価する予定です。

#### 教科書

指定しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

#### 参考書等

子安増生ほか『ベーシック現代心理学6 教育心理学』(有斐閣)  
この他、講義の進行に合わせて、適時紹介します。

#### その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	小倉 康 仁	教 職 2 必 ( <small>禪・仏教・国文・英米文</small> <small>地理・歴史・社会・福祉・心理</small> )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

ここ十年あまりの間に、コンピュータ関連技術のめざましい進歩と同時に、我々とコンピュータとの係わり合いの在り方が以前と比べて様変わりしてきている。かつてルーティンワークの省力化・効率化の手段として我々の社会に導入されたコンピュータは、今や個人の表現・創造活動や問題解決思考のツール(道具)として不可欠のものとなっている。しかもそれらの活動を行うための単なる道具的手段に止まるものではなく、我々がそれらの活動を通じてこの世界に参加していく(世界と相互作用する)際のメディア(媒介物・媒体)としての役割を果たしていると言える。とくに最近では、個人と個人の間を取り持ち人間のネットワークを支える「コミュニケーションのメディア、コラボレーション(協働作業)のメディアとしてのコンピュータ」という位置づけが重要視されるようになってきている。

このようなコンピュータの利用形態と社会的位置づけの変化を背景として、教育分野におけるコンピュータ活用形態も大幅に変化してきている。そこでこの授業のねらいは、次の三つとする。

1. 「メディアとしてのコンピュータ」という切り口で、教育分野におけるコンピュータの活用方法について、教育学(教育方法論)の視点から理論的に考察する。
2. 問題解決思考のツール(メディア)としてコンピュータを利用してみる。
3. コミュニケーションやコラボレーションのメディアとしてコンピュータを利用してみる。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる。講義部分の授業内容は、上述のねらい1.としてあげた事柄が主体となる。実習部分の授業内容は、上述のねらい2.と3.としてあげたものが相当し、具体的には以下の事項を予定している。(なお実習授業の進行速度は、パソコン初心者でも付いて来られるように配慮するつもりである。)

パソコン(Macintosh)の基本操作  
表計算ソフト EXCELによるデータ整理・集計・分析、およびシミュレーション  
WWWブラウザによるホームページ閲覧  
インターネット(WWW)上での情報検索・収集  
インターネット上での電子メールによるやりとり  
コンピュータネットワーク上での協働作業体験

### 履修上の留意点

履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン自習室の利用者登録をすること(提出用の課題作成等のために必要になる)。

### 成績評価の方法

平常点(出席、学習態度、提出物など)と期末試験(ペーパーテスト)との総合点によって、成績評価を行なう。

### 教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

### 参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

### そ の 他

授業で使用するパソコンは、Macintoshのみを用いる。  
教室のパソコン(Mac)の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育とメディア (前期)(後期)	いし ぼし たつ や 石 橋 達 也	教 職 2 必 (科・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会) (福祉・心理・産A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

この授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な技法や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の問題点や注意点についても検討していきます。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。

1. 教育の情報化と教育方法、
2. 授業と学習過程の理解、
3. 学習者特性の理解、
4. 授業モデルと授業設計、
5. 教育メディアとメディアリテラシー、
6. 教育へのコンピュータの導入、
7. コンピュータと情報活用能力、
8. インターネットの活用と協同学習、
9. インターネット社会への参加態度など。

#### 履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、まじめに出席することと積極的に取り組むことを期待します。

#### 成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

#### 教 科 書

次のものを使用する予定です。

今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学 — 教育の方法と技術の革新 —』（福村出版）  
1988 定価：本体2,400円＋税

#### 参 考 書 等

参考文献や関連する資料などは、必要に応じてそのつど授業の中で紹介あるいは配布していく予定です。

#### そ の 他

授業の中で、コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも興味があれば安心して出席できます。

教室のパソコン (Mac) の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部 (昼間) の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と メ デ ィ ア ( 前 期 ) ( 後 期 )	しば ぎき じゅん じ 芝 崎 順 司	教 職 2 必 ( 神・仏教・国文・英米文・地理・歴史・社会 ) ( 福祉・心理・経A・畜・法A・政治・経営 )	2

※経B・法B・二管の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、マルチメディア・ネットワーク時代の学校教育・社会教育等教育活動の担い手として、さらには、生涯学習者として、必須と思われる各種のリテラシー（知識・技能・態度）を修得する目的や方法論について検討することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 メディアの歴史を概観し、現状、および将来の展望について検討する。
- 2 学校教育・社会教育におけるマルチメディア・ネットワーク利用の目的・方法について具体的に検討する。
- 3 マルチメディア・ネットワークに対応する各種のリテラシーについて、主として、欧米の先行的事例を紹介し、かつ、検討する。
- 4 マルチメディア・ネットワークワークリテラシープログラムを具体的に体験し、自己の情報リテラシーを高めるとともに、その目的や方法論について検討する。

履修上の留意点

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を多く取り入れる。現在進行中の内容を扱うため、問題提起にならざるをえない内容も多く含む。授業への積極的参加を期待する。

成績評価の方法

出席重視。評価は小レポートと最終レポートを総合的に評価しておく。

教 科 書

授業中に紹介する。

参 考 書 等

必要に応じて、授業中に紹介する。

そ の 他

コンピュータや各種の映像機器を活用した講義や実習を中心とする。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	か とう ゆき お 加 藤 幸 夫	教職 2・3 必 ( 禅・仏教・国文・英文文 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

道徳教育の問題は、単に学校教育だけの問題ではなく、子どもを取り巻く社会生活全体に係わる問題である。すなわち、時代や社会の変化の中で、人間（子ども）はいかに生きるべきかという課題と密接に関連している。それ故、道徳教育の研究においては、道徳性の原理的追究と学校教育における実際の側面を精確に把握することが常に求められる。

このような視点に立って、人間形成における道徳教育の位置づけを明確にし、且つ、道徳教育の歴史の変遷を概観しながら、現代における道徳教育の基本的課題を分析・考察することが本講義のねらいである。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- I 道徳および道徳教育の本質
- II 現代社会と道徳教育
- III 戦前・戦後における道徳教育
- IV 道徳性の発達と道徳教育
- V 学習指導要領と道徳教育
- VI 道徳の時間における道徳教育
- VII 道徳教育の評価
- VIII 道徳教育の課題と展望

#### 履修上の留意点

これまで各自が受けた道徳教育を思い起こし、整理しておくことが望ましい。

#### 成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

#### 教 科 書

中野日直明・小川一郎編『新しい道徳教育』（酒井書店・育英堂）1,995円

#### 参 考 書 等

岩村俊郎・志村欣一・他編『資料 道徳教育の研究』（北樹出版）

#### そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	お 小 川 い ち ろ う 郎 が わ 川 い ち ろ う 郎	教 職 2 ・ 3 必 ( 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 ・ 福 祉 ・ 心 理 ・ 経 営 )	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

道徳教育は、人格の完成を目指す教育の根幹をなすものである。道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものであるが、小・中学校には、その中核として「道徳の時間」が設置され、学級担任が担当することになっている。

この「道徳の時間」を指導することができることを目指して、授業案を作成したり、模擬授業など実施し、実践的指導力を身につけさせたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①道徳教育の目的と意義
- ②戦前の道徳教育の特色
- ③戦後の道徳教育の特色、道徳の時間の設置の意味
- ④学習指導要領と道徳教育
- ⑤道徳性と道徳的实践力
- ⑥道徳の時間の内容と方法
- ⑦学習指導案の作成
- ⑧模擬授業の実施
- ⑨道徳の授業展開の問題点
- ⑩道徳教育と教師の役割

履修上の留意点

単なる知識の習得でなく、実践的指導力をつけることを目指しているので、授業に出席して、指導力を身につけるようにする。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野日直明編著『新しい道徳教育』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
道 徳 教 育 の 研 究 ( 前 期 )	つる 鶴 <small>まさ</small> 巻 <small>たけし</small> 武	教職2・3必 (経A・商・法A・政治)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の学校教育では、一人ひとりの生徒が夢や目標をもち、自らの人生や社会を切り開くことのできる豊かでたくましい心を育てるための道德教育の一層の充実発展が求められている。この時間では、教育課程の一領域として位置づけられている「道德」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を行う。また、新学習指導要領に示された改善の趣旨に基づいて教師としての実践的な指導力を身につけるため道德の時間の指導計画（道德の学習指導案）について、実際に立案し、具体的な指導の方法などを研究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

①今求められる心の教育 ②道德教育の目標と道德の時間の役割 ③道德の時間の指導内容  
④生徒の道德性をどうとらえるか ⑤道德教育と学級経営の充実 ⑥生命を尊重する心を育てる指導の在り方 ⑦社会のルールを守る心を育てる指導の在り方 ⑧道德の時間の学習指導案の書き方 ⑨道德の時間の資料と活用の工夫 ⑩道德の時間の資料分析の仕方 ⑪道德の学習指導案を書く ⑫道德と体験的な活動 ⑬教師の指導技術をどう高めるか

履修上の留意点

文献に基づく道德教育に関する研究だけでなく、道德の具体的な指導の内容や方法について理解し、実際に指導できる能力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成等を総合的に判断し、評価する。

教 科 書

文部省『中学校学習指導要領解説－道德編－』（大蔵省印刷局）260円

参 考 書 等

七條正典編著『改訂 中学校学習指導要領の展開』（明治図書）1,480円

そ の 他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した小レポートを提出する等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	か とう ゆき お 加 藤 幸 夫	教職 2・3 必 ( 禅・仏教・国文・英文 )	2

※経 B・法 B・二宮の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

登校拒否やいじめ・非行など学校の内外を取り巻く諸問題が社会的問題となりつつある今日、児童・生徒の自主的・実践的態度を育成することを主なねらいとする特別活動が、現代の学校教育において果たすべき役割は誠に重要である。

教育現場において、これまで開発・展開されてきた特別活動の指導原理及びその方法について分析かつ考察し、特別活動の現代的意義と課題を明確にすることが本講の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| I 学校教育の構造と特別活動 | VI 児童会・生徒会活動の指導  |
| II 特別活動の歴史の変遷  | VII クラブ活動・部活動の指導 |
| III 特別活動の特質と内容 | VIII 学校行事の意義と課題  |
| IV 学級活動        | IX 特別活動の評価       |
| V ホームルーム活動     | X 特別活動の課題と展望     |

履修上の留意点

小・中・高校時代に受けた特別活動の内容を整理しておくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、レポート及び期末試験により総合的に評価する。

教 科 書

柴田義松 編『特別活動』(教職課程講座・第6巻)ぎょうせい

参 考 書 等

中野目直明・小川一郎 編『現代の特別活動』酒井書店・育英堂

そ の 他

講義形式を主とするが、テーマに応じて適宜討論形式も併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	小 川 一 郎 <small>がわ 川 いち ろう</small>	教職 2・3 必 <small>(地理・歴史・社会・保健・心理・経営)</small>	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

特別活動が人間形成に果たす役割は大きい。特に、青少年の社会性の欠如が言われている現代では、望ましい集団活動を通じて人間形成を図る特別活動の重要性は増大している。  
すべての教員が学級活動（ホームルーム活動）を中心に特別活動を指導することになるので、その実践的指導力をつけることがねらいとなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

①特別活動の意義・目的 ②特別活動の方法的特質 ③特別活動の歴史の変遷 ④特別活動の内容 ⑤特別活動の指導計画と実践 ⑥特別活動と新しい学力観 ⑦特別活動と総合的な学習の時間 ⑧特別活動と生徒指導 ⑨特別活動と道徳教育 ⑩特別活動と進路指導 ⑪特別活動と地域との連携 ⑫特別活動と人間形成

履修上の留意点

単なる知識の記憶でなく、実践的指導力を身につけることをねらいとしているので、出席して、意見・疑問等を出すことを希望する。

成績評価の方法

授業への参加を重視する。レポートか筆記試験のどちらかを行う。

教 科 書

小川一郎・中野目直明編著『現代の特別活動』（酒井書店）2,000円

参 考 書 等

小川一郎著『在り方生き方指導の理論と実践』（清水書院）1,500円

そ の 他

講義を主に、随時討議などを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特 別 活 動 ( 後 期 )	つる 鶴 巻 武	教職 2・3 必 (経A・商・法A・政治)	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

現在、教師には生徒の心身の健全な発達を図り、当面する課題に適切な指導や援助をする実践的な指導力が求められている。この時間で学ぶ「特別活動」は、集団活動を通じた教育活動により、集団や社会の一員としての自覚を深め、生徒の個性の伸張と調和のとれた豊かな人間性を育成するとともに、学級や学校生活の基盤の形成に重要な役割を果たしている。この「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。中でも、実践的な面を重視し特別活動の内容や活動内容の取り扱い方、指導方法などについての具体的な研究を通して、教師としての実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①生きる力の育成と特別活動の役割 ②特別活動の目標と基本的な性格 ③学級活動の内容相互の関連 ④学級活動の指導と適応指導 ⑤学級活動の指導とガイダンスの機能の充実 ⑥生徒会活動の特質とその活性化 ⑦学校行事の特質と指導、家庭・地域との連携の推進 ⑧生徒指導の充実と教育相談 ⑨特別活動と学級経営の充実 ⑩特別活動と総合的な学習との関連 ⑪特別活動と体験活動 ⑫学級崩壊の現象とその対応 ⑬特別活動と特色ある学校づくり

履修上の留意点

文献による理論的な研究を深めるとともに、特に特別活動の具体的な実践にかかわる指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践的な指導力を身につけて欲しい。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し評価する。

教 科 書

文部省『中学校学習指導要領 解説－特別活動編－』（ぎょうせい）70円

参 考 書 等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『改訂中学校学習指導要領の展開－特別活動編－』（明治図書）1,680円

そ の 他

講義、毎時間の内容に則した小レポートを提出する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	こみやま 小宮山 かなめ 要	教職2・3必 (禅・仏教・国文・英文)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

現在の学校現場には、「いじめ」「不登校」「校内暴力」「学級崩壊」「非行」等さまざまな問題が発生している。本講義ではこれらの問題を正しく理解し、適切に対応できる教師としての基礎的能力を身につけることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では生徒のいじめ問題に焦点を当てながら、生徒理解と生徒指導の方法を下記のような流れに従って具体的に学習する。

- 1 生徒指導の意義と課題
- 2 生徒指導の原理
- 3 生徒の問題行動の実態
- 4 行動理解のための基礎理論・心の法則
- 5 生徒の問題行動の発現メカニズムとその理解
- 6 生徒の問題行動への対応
- 7 学校・家庭・関係機関との連携

#### 履修上の留意点

履修する学生は、教職志望者であることを念頭に置き、授業に積極的に参加することを希望する。

#### 成績評価の方法

定期試験、レポート、出席等をもとに総合的に判断する。

#### 教科書

小宮山要『間違いだらけのいじめ指導』(明治図書) 1,760円

#### その他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こく がん まり こ 国 眼 眞 理 子	教職2・3必 <small>国文・英米文・地理・歴史・社会・福祉・心理</small>	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒理解や、生徒の心の発達を促すうえで役立つ基礎的な視点を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半は「青年期」理解を深めるとともに、心理学の基礎的な視点を習得する。

1. 「青年期」と、その心理的な課題（アイデンティティ形成）
2. 自己のアイデンティティを探る
3. 自己の発達と対人関係（親子関係、友人関係、教師生徒の関係他）

後半は、前半で学んだ基礎知識をもとに、進路指導や教師と生徒間のコミュニケーションのあり方を考える。

5. 進路選択と職業的アイデンティティの形成
6. サポーターとしての教師の役割
7. コミュニケーション（非言語的なコミュニケーション）

成績評価の方法

指定図書の中から、2冊を選び、論題に沿ったレポートを提出。

講義終了時にレポートもしくは試験を実施（受講者数による）

レポート点各30点（60%）、定期試験30%、出席点10%で成績を認定する。

但し、レポート提出、定期試験受験を成績認定の条件とし、未提出者および試験を受験しなかった者は成績を認定しない。

教 科 書

今年度は特に使用しない。適宜授業中に資料を配布。

参 考 書 等

- ① 河合隼雄『カウンセリングを考える（上）』（創元社）1995
- ② 菅佐和子『思春期女性の心理療法』（創元社）1988
- ③ 清水将之『思春期のこころ』（日本放送出版会）1996

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	き とう なお と 佐 藤 尚 人	教職2・3必 (地理・歴史・社会・福祉・心理)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにい  
くよう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等質・均一  
の存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくい  
かない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」など  
について、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには  
問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 X はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
- 2 X 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
- 3 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
- 4 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
- 5 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
- 6 X E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
- 7 X さまざまな問題行動とその理解 「いじめ」
- 8 X さまざまな問題行動とその理解 「不登校」
- 9 X さまざまな問題行動とその理解 「非行」
- 10 X こころの病・不適応 「神経症」「精神病」
- 11 X 問題行動への対応の方法 「学習理論にもとづくもの」
- 12 X 問題行動への対応の方法 「心理療法にもとづくもの」
- 13 X まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、  
授業中に質問や意見などを積極的に表現することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう。(さまざまな事情があっても特別扱いはしない。)

成績評価の方法

原則として定期的筆記試験(ノート等の持ち込みは一切不可)の結果により成績を評価する。  
ただし、授業中の発言(質問・意見)や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教 科 書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参 考 書 等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) 2,200円

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒(他者)の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師-生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

教 科 書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	かわ はら せい し 川 原 誠 司	教職2・3必 (経A・商・法A・政治・経営)	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

生徒指導に関して必要なことは何かということ、「生徒指導という言葉の響きと現実との差」「教師としてのあり方と現在の自分との差」「生徒指導に関しての具体的理論」といった観点から検討していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容やスケジュールについては、受講者の数や受講者の動機などによって変わりますので、その状況を把握した上で、受講生に伝えます。

履修上の留意点

どのような学生がどの程度の人数受講するののかということ、私は最初の講義時間に把握したいと考えていますので、受講を希望する学生はそのつもりで行動してください。

成績評価の方法

受講人数や受講態度によって変わりますので、講義を進めていく中で受講生に伝えます。

教 科 書

講義を進めていく中で、必要なものを適宜紹介していきますので、その際に自ら購入していくようにしてください。

そ の 他

授業の一部では、生徒指導・学級経営に関する英語の文献をグループで要約して発表してもらうことを予定しています。

この科目は、平成11年度までに「生活指導」の単位を修得した者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 科 教 育 法	こ 山 やま かず のり 一 乗	教 職 3 必 ( 禅 ・ 仏 教 )	4

#### 講義のねらい

講義と模擬授業とで構成する。  
 教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、教育職員免許法を概観する。  
 特に、各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。  
 我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。  
 その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。

宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。適宜、童歌なども、導入し、幼稚園教育から高等学校教育までの接続も考察に含めたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

『仏教概論——分かりやすい仏教——』をテキストにして、原則として模擬授業(50分)を課します。教材研究の実際、学習指導要領、学習指導案の基礎的・基本的事項を講義する。その上で、具体的に、学習指導案の様式と教育観との関係が思量でき、主体的に選択した様式に基づいて実際に学習指導案を作成してもらおう。

模擬授業は、その様子をビデオに収録し、再生して、爾後の授業分析の鏡利用とし、自己分析に供する。

#### 履修上の留意点

学年、他教科との関連を常に勘案すること。社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

#### 成績評価の方法

模擬授業、レポート、出席点により評価する。特に出席を尊重する。

#### 教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点——』(宣協社)2,940円  
 『仏教概論——分かりやすい仏教——』(曹洞宗宗務庁)800円  
 小中高各『学習指導要領』各 230円 250円 370円

#### 参考書等

井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版)3,900円  
 『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版)1985年  
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道 どこが違うか』(大法輪閣)1,600円  
 『教育小六法』(学陽書房)2,200円  
 その他適宜紹介する。

#### その他

講義を基調とするが、実際には、講義と模擬授業(演習)を折衷した形態となろう。定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。

プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	かみ 神 谷 みち のり 倫	教職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、さらに各領域・教材に応じたそれぞれの指導方法等について概観したのち、実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方、指導事項、指導方法、指導過程等について、主に模擬授業の形式で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

講義の内容・  
授業スケジュール

重点的に以下の三点を中心に進める。

- ① 国語科教育の現況の確認
- ② 国語科教育の方法、実践等について先人の試みの意義を探る。
- ③ 教育実践の準備

以上のうち①②については、教科書・プリント等を用いて講義形式で行う。③については、教材研究の実際、指導案の作成など課題形式のもの提出と、実際の教材による模擬授業の形式(グループ分けにより全員が何らかの形で必ず参加)で行う。基礎学力の点検にも配慮する予定。

履修上の留意点

科目の性質上、出席は当然重視する。(なお、中学校・高等学校時代使用の国語の教科書・副読本があれば、手元に整理して必要な場合参照できるようにしておくことが望ましい。)

成績評価の方法

定期試験の成績を主とするが、提出物、模擬授業の成果、授業参加(出席)の状況等の観点も加えて総合的に評価する。

教科書

全国大学国語教育学会編 新中学校・高等学校『国語科教育研究』(学芸図書株式会社)  
1,300円+消費税

参考書等

国語科教育法に関するもの、特に後半使用する教材に関するもの等少なからずあるが、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道科教育法	な 那 須 たか よし 隆 吉	教職 3 必 (国 文)	4

講義のねらい

長い歴史を持つ書道の特徴を考察し、その指導法を学習する。そして将来の教師としての自覚を促し、その指導力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

文部省の芸術科学習指導要領を理解し、芸術科書道の指導計画の作成についての基本的な考え方や、学習指導のあり方、指導法の工夫などについて事例を挙げながら講じたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出により評価する。

教科書

高等学校芸術科書道指導資料 文部省編著『指導計画の作成と学習指導の工夫』(教育図書)  
990円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法	荒井良雄	教職3必 (英米文)	4

講義のねらい

英語科教育法の理論と実践を、教授法の実際面を重視しつつ、授業計画、授業の展開、評価などを中心に実習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 主な英語教授法
2. 言語材料と指導
3. 「聞き方」の指導法
4. 「話し方」の指導法
5. 「読み方」の指導法
6. 「書き方」の指導法
7. 指導案のあり方
8. 指導形態の研究
9. 評価とテストの方法
10. 視聴覚器具の利用法

履修上の留意点

中学校や高等学校の教壇に立つて教える立場になることを常に念頭において、英検準1級、TOEFL600点前後を取得していることが望ましい。中学生や高校生で2級はもとより準1級取得者もいることを忘れないように。

成績評価の方法

平常点を重視し、前期、後期、学年末試験の成績を総合して判定する。

教科書

塩澤利雄ほか著『新英語科教育の展開』（英潮社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法 I (後期)	久保田武	教職3必	2

講義のねらい

中学校社会科、高校地理歴史科・公民科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回教授者による社会科各分野（地理、歴史、公民）の授業事例を通じて、生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。  
講義（教授者による授業例）と関連事項の質疑応答・実習・課題作成等。学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終りに毎回授業内容に関連して、まとめ、コメント、実習内容等の提出を求め出欠調査を兼ねる。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の際そのつど紹介する。但し関連する教科書、地図帳、年表、資料、文部省学習指導要領等はこの際揃えた方がよい。特に地図帳、年表、統計資料は初回から持参した方がよい。

その他

毎回授業時間の前半は講義。後半に視聴覚学習、作業、実習課題作成を入れるのを原則とする。OHP、スライド、ビデオ、写真等の視聴覚教材を多用し、講義内容の理解と機材利用法習得を図る。  
地歴教育法 I との併習が基礎的知識修得のために望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	くほた たけし 久保田 武	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高校地歴科を教えるにあたって必要な基礎的知識・技法の修得  
教科の目標（存在理由）と暗記科目にならない教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・  
授業スケジュール

◆講義の内容

毎回教授者による地理および歴史の授業事例を通じて生徒の興味関心と学力を増す教授内容構成とその指導法を示す。社会科教育法と合わせて内容を一本化する。

生徒の学力評価法、生徒による教授者評価を利用する自己評価法  
教育現場での体験談から具体的な学習指導法へのヒントを示す。

◆授業スケジュール

講義（教授者による授業例）と、関連事項の質疑・実習・課題作成等  
学生の中から発表者を選んで模擬授業の機会を1回設ける。

履修上の留意点

授業の終わりに毎回授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求める（出欠調査に代える）。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する。

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）と実績（発表等）等を総合して評価。出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の時にそのつと紹介する。但し、地理、歴史、社会科教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料、文部省学習指導要領（地歴編、社会編）等は、この際揃えたほうがよい。とりあえず地図帳、年表と統計資料は初回から持参した方がよい。

その他

毎授業時間の前半は講義、後半は視聴覚学習、質疑、作業、実習を原則とする。  
OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を多用し講義内容の理解と機材の利用法を示す。  
社会科教育法Ⅰと併習することが基礎的知識習得のために望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科教育法Ⅰ (後期)	さくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

講義のねらい

中学校社会科の方法について、地理分野を例に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。

④指導案の作成 ⑤模擬授業 ⑥授業の研究と方法 ⑦地理教師の仕事

履修上の留意点

個人またはグループで模擬授業を行うなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については厳しく取り扱う。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。

中学校社会科のうち、地理分野を中心題材とするので注意すること。

なお、授業計画上、前期の地理歴史科教育法Ⅰ（地理A、地理Bを中心課題とする）とセットとして授業計画を組むので注意すること。後期のみ受講するものは、後期の最初に模擬授業の準備のための宿題を課すので講義の第1日目には必ず出席のこと。それが不可能な場合には、事前に桜井まで申し出ること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、模擬授業の成果など 70点  
レポート 10点 期末試験 20点

教科書

桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院)3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理歴史科教育法Ⅰ (前期)	さくら い あき ひさ 桜井明久	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高等学校地理歴史科の教育の目標と方法について、地理A、Bを概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

おおよその内容は、以下の通りである。

①地理教育の目標 ②マイクロティーチング ③教授方法上の工夫  
④指導案の作成

履修上の留意点

各自マイクロティーチングを試みるなど、実際に授業を試みてもらうので、授業への積極的な参加が求められる。このため、巡検や調査による公欠以外の欠席については、厳重に注意すること。担当部分の放棄、担当日の欠席は許されない。それが避けられない場合は、事前に連絡し、相談すること。なお、地理歴史科の科目・地理A、Bを中心題材とするので注意すること。

なお、授業計画上、後期の中学校社会科教育法Ⅰとはセットとして授業を組むつもりであるので注意すること。

成績評価の方法

出欠、授業・討論への参加、マイクロティーチングなど 70点  
レポート 10点 期末試験 20点

教科書

桜井明久(1999)『地理教育学入門』(古今書院)3,800円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅰ (後 期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	2

講義のねらい

中学校社会科(特に歴史的分野)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②社会科成立の事情と学習指導要領の変遷
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員を日ざし努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

参 考 書 等

文部省学習指導要領(中学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理歴史科教育法Ⅰ (前 期)	ふじ き まさ くに 藤 木 正 国	教 職 3 必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

高等学校地歴科(特に日本史)の教師として、自ら授業をくみため、実践できる能力を養う。直接的には教育実習にそなえる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①明治以降日本教育制度の変遷
- ②学習指導要領の変遷と地歴科成立のいきさつ
- ③学習指導計画と指導案の作成
- ④グループ別の模擬授業

履修上の留意点

受講する以上は、教員を日ざし努力すること。安易な単位取得は考えない。出席状況と提出物はとくに重視する。常に努力と創意工夫を忘れぬよう。

成績評価の方法

出席状況、提出物、定期考査などを総合し評価する。

教 科 書

文部省学習指導要領(高等学校)、教科書(必要に応じて授業時に紹介する。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	はし橋 つめ さとし 敏	教職3必	2

講義のねらい

この授業は、中学校社会科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、社会科教育法に関する文献購読(下記テキスト)を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、社会科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

社会認識教育学会編『社会科教育学ハンドブック』(明治図書)

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公民科教育法Ⅰ (前期)	はし橋 つめ さとし 敏	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

この授業は、高等学校公民科教師に必要な基礎的認識や知識の習得などを主たる目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容としては、上に記したような目的を実現すべく、また、学生諸君の能動的参加が可能となる形式で行いたい。しかし半期科目であり、時間も限られている。受講学生数によっては、その方法を変えざるをえないが、原則として、公民科教育法に関する文献購読を主としたい。学生諸君に分担してその内容を報告してもらい、それをもとにして、公民科とは何か、如何にあるべきか、如何に教えるべきかを、ともに気づき、考えることの出来る授業としたい。いずれにせよ、模擬授業の意味を持たせ、学生の報告を主とする形式で行なう。

履修上の留意点

教師に成ることを目指すか否かにかかわらず、積極的に授業に参加する学生の受講を望む。

成績評価の方法

最終レポート並びに普段の報告、質問、授業への参加状況、出席状況などを総合して決定する。

教科書

使用するが、未定。

参考書等

適宜、授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	や 谷 敷 正 光 や 敷 正 光	教 職 3 必	2

#### 講義のねらい

本講は中学校社会科で教育実習を行う学生や社会科教師を目指す学生に、「教育とは」「社会科教育とは何か」といった社会科教育の基本原則から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のたて方、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで社会科教師としての資質・力量形成を目標に行います。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 中学校社会科学習指導要領の変遷
4. 中学校の教育課程と社会科
5. 中学校社会科の学習指導計画
6. 中学校社会科学習指導案の意義と作成
7. ビデオによる社会科教師の授業研究
8. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
9. 平成10年12月告示の中学校学習指導要領と社会科
10. 教育評価
11. 社会科教育実習の意義
12. 社会科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導します。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚室に変更することがあります。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

#### 教科書

大森・谷敷共著『社会科教育研究』(梓出版)

#### 参考書等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②槐一男『社会科教材発掘の技術』(日本書籍)
- ③谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』(黎明書房)
- ④谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』(明治図書)
- ⑤浜上薫『発問づくりの技術』(明治図書)
- ⑥中学校社会科(地理的分野、歴史的分野、公民的分野)の教科書
- ⑦文部省『中学校学習指導要領』、文部省『中学校指導書』(大阪書籍)

科目名	担当者名	配当学科	単位
公民科教育法Ⅰ (前期)	や 谷 敷 正 光 しき ただ みつ	教職3必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

本講は高等学校公民科で教育実習を行う学生や公民科教師を目指す学生に、「教育とは」「公民科教育とは何か」といった公民科教育の基本原理解から、「授業とは何か」「授業のねらいをどう設定するか」「授業をどう組み立てるか」「授業の教材をどう発掘するか」といった授業設計のため、授業づくりに必要な教材開発の方法や授業の基本的指導技術まで公民科教師としての資質・力量形成を行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の基本概念
2. 社会科の成立
3. 高等学校社会科（公民科）学習指導要領の変遷
4. 高等学校の教育課程と公民科
5. 高等学校公民科の学習指導計画
6. 高等学校公民科学習指導案の意義と作成
7. 4年生による模範授業
8. 模範授業を通じての高等学校公民科の授業実践研究
9. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
10. 平成11年3月告示の高等学校学習指導要領と公民科
11. 教育評価
12. 公民科教師論
13. 公民科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は本講とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充としてプリントを配布しますので、必ずその時間に受け取って下さい。
- ② 現実的理解のためビデオなどを利用しますので、視聴覚教室に変更することがあります。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価します。
- ② 定期試験、追再試は行いません。

#### 教科書

大森・谷敷共著『社会化教育研究』（梓出版）

#### 参考書等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ① 大田堯『教育とは何か』（岩波新書）
- ② 槐一男『社会科教材発掘の技術』（日本書籍）
- ③ 谷川彰英『社会科の自由研究ヒント集』（黎明書房）
- ④ 谷川彰英『楽しく学べる授業づくりのヒント』（明治図書）
- ⑤ 福山憲市『資料提示の技術』（明治図書）
- ⑥ 高等学校社会科（現代社会、政治経済、倫理）の教科書
- ⑦ 文部省『高等学校学習指導要領』、文部省『高等学校学習指導要領解説 公民編』（実教出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科教育法Ⅱ (後期)	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	教職3必	2

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。社会科には中学校の社会に関する科目がすべて含まれるので、その範囲は非常に広く、かつ多岐にわたる。社会科は社会人として必要な知識と社会的適応力を育成することが目的である。そのため、教える側にそれ相応の知識と方法論が必要になる。それらについての基本的事項について講義するのが、本講義のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 学校教育における社会科の位置づけ
2. 発達心理学的にみた中学生
  - (1) 社会化と家庭および学校の責任
  - (2) 発達に応じた教育のあり方
3. 民主主義教育のあり方
  - (1) 自由と平等の意味と両者の矛盾
  - (2) 多数決の原理と集団意思の決定方法
  - (3) 権利と義務のバランス
  - (4) 参加と責任のあり方
4. 歴史教育のあり方
  - (1) 「温故知新」とその評価
  - (2) 実証主義と客観性
5. 地理教育のあり方
  - (1) 地方文化とその特性比較
  - (2) 国際的基礎知識としての地理学
6. 表現と伝達の心理学
  - (1) 言語の性格と表現方法
  - (2) 文字による表現とリテラシー
  - (3) 数字の魔術性と図表の扱い方
  - (4) 単純化と拡大化の効果

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教 科 書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 民 科 教 育 法 I ( 前 期 )	かみ じょう すえ お 上 條 末 夫	教 職 3 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本年度から、従来の社会科と公民科の授業が分離され、それぞれ半期ずつの授業が行われる。公民科は高等学校の社会に関する科目のうちから、地理と歴史の科目を除いたものが、これに該当する。したがって、政治・経済・社会・倫理などにわたった、かなり専門的な知識を必要とする。その基礎的な知識と教育の方法論について講義することが、本講義のねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 高校における公民科の位置づけ
2. 政治教育のあり方
  - (1) 政治的社会化の過程における学校の役割
  - (2) マス・メディアによる報道の影響とその対応
  - (3) 国民権と国民の政治的責任の自覚
  - (4) 日本と諸外国との比較
3. 経済教育のあり方
  - (1) 資本主義と民主主義の関係
  - (2) 社会主義経済と共産主義経済の相違
  - (3) 市場経済と競争の原理
  - (4) 経済水準と社会の安定度との関係
4. 社会教育のあり方
  - (1) 少子化と高齢化時代の福祉政策
  - (2) 労働の流動化とグローバル経済
  - (3) 環境問題と科学技術の発達
  - (4) 情報化とモバイル時代の社会問題
5. 双方向的教育のあり方
  - (1) コンピュータ・リテラシーの重要性
  - (2) 受信と発信（創造と表現）の必要性
  - (3) アジェンダ形式と討論形式の授業
  - (4) 時事問題と映像教育のあり方

履修上の留意点

必ず出席すること。

成績評価の方法

出席点と平常点によって評価する。

教 科 書

なし。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 科 教 育 法	や 谷 敷 正 光 しき ただ みつ	教 職 3 必 (経A・商・経営)	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

「専門教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなつてめまぐるしく変遷してきた。先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、大きく改善されている。さらに1994年度からは、「普通科」と「専門学科」の中間形態ともいえる「総合学科」が誕生し、高等学校教育の改革が急速に進んでいる。従つて、この講義のねらいは、「専門教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するために、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」「商業教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1. 日本経済の発展と専門教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 専門教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の変遷
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 商業科学習指導案の作成
9. ビデオによる商業科教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科、授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 商業科教育実習の意義
15. 商業科教師論
16. 商業科教師と教員採用試験  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。)

#### 履修上の留意点

- ① 教科書の補充として年間かなりのプリントを配布するので、必ずその時間に受け取ること。
- ② 現実的理解のためビデオなどで視聴覚教室を利用するので、常に教場には注意しておくこと。

#### 成績評価の方法

- ① 授業での課題の提出、学習指導案の作成、模擬授業実践、出席、小テストなどで総合的に評価する。
- ② 定期試験、追再試は実施せず。

#### 教 科 書

岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

#### 参 考 書 等

講義に関係する参考文献は適宜紹介しますので、興味のある人は読んで下さい。

- ①大田 堯『教育とは何か』(岩波新書)
- ②産経新聞社『学校ってなんだろう』(新潮社)
- ③毎日新聞社『教育改革 現場の試み』(毎日新聞社)
- ④岩下 修『指導案づくりの技術』(明治図書)
- ⑤新牧賢三郎『やる気を引き出す技術』(明治図書)
- ⑥高等学校商業科の教科書(「流通経済」など)
- ⑦文部省『高等学校学習指導要領解説 商業編』(大日本図書)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業科教育法	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職3必 (経A・商)	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

- ① 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。
  - ② 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討していく。
  - ③ 職業教育について考えていく。
- ①、②は前期授業、③は後期授業で行う予定です。

履修上の留意点

自分や周りの人の家庭や職業について改めて考えてきてほしい。

成績評価の方法

筆記試験はせず、平常点かレポートで成績評価をします。再試験はしません。

教科書

『中学校学習指導要領』（文部省平成元年3月）。他については授業の際指示します。

参考書等

中学校で使用していた『技術・家庭』の教科書など。

その他

授業を受ける人は少人数なので、ゼミ形式で授業を進めていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	教職必(簿・仏教・社会・福祉・心理)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生教職必(簿・仏教・社会・福祉・心理)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を充実させるための準備を行なうことと、実習をとおしてみえてきた教育のさまざまな課題について、ともに考えることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 事前指導 — ・実習の心がまえ  
・生徒指導について  
・教科指導について  
・指導案作成  
・模擬授業
- 訪問指導 — ・研究授業訪問指導
- 事後指導 — ・授業実習の検討

成績評価の方法

実習ノート、実習校からの評価、授業での実習報告、レポート。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。



科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	さかのぼりのあき 坂本信昭	教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(国文・歴史・法A・政治・経営)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か-どうあるべきか-について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円  
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	むらやまてるよし 村山輝吉	教職4必(英米文)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(英米文)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

その他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	またむらみつこ 北村三子	教職4必(地理・経A・商)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(地理・経A・商)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習は、教員免許を得るために乗り越えなくてはならない最大の課題である。教生とはいえ教師であることを求められる、責任の重い課題でもある。この授業は、その実習のための準備と、実習後その体験を他の人々と共有し、深めることを目的とするものである。実習がスムーズに進み、また、実り多いものとなるように、講義の内容・授業のスケジュールで述べるような様々なことを試みたい。また、実習後は、教える立場から新たに見えてきた、学校や教師、生徒の問題や、それらの存立基盤としての、社会や文化の問題を、考え合いたい。

講義の内容・授業スケジュール

実習の準備としては、全般的な注意、ビデオによる実習の概要把握、学習指導案の作成に関する指導、模擬授業などを行なう。実習後は、実習体験を語り合い、その中から、後期に検討すべきテーマを考えていく。夏休み明けには、それにそった資料を用意し、討議を中心とした授業を進める。具体的内容は、話し合いの上で決めたいが、今まで扱われたテーマは、いじめや体罰といった学校内での暴力、不登校、若者の文化や人間関係に関連するものなど、多岐にわたる。

履修上の留意点

実習の準備としては、教材研究を各自よくやること。後半は積極的に参加すること。教場を変更する場合がありますので注意すること。

成績評価の方法

実習ノート・評価表などの実習の記録、授業への参加度、最終授業時のまとめのテスト。

そ の 他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育実習Ⅰ	いとうしげき 伊藤茂樹	教職4必(歴史)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職4必(歴史)	5

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

中学・高校での教育実習を実りあるものとするために、その準備と、実習の経験を生かして現代の教育と青少年、それをとりまく様々な社会的要因について考える機会を持つ。

講義の内容・授業スケジュール

実習前には、教育実習の意義や目的、内容に関しての講義と受講者による模擬授業を行う。実習後は、各自の実習の経験をふまえたうえで、そこから見えてきた教育や青少年の現実について、口頭発表、討論、文献講読、レポート作成などを通じて批判的にとらえる目を養うことをめざす。

履修上の留意点

受け身ではなく主体的な参加を求める。

成績評価の方法

実習校からの評価、実習ノート、授業への参加、レポートにより総合的に行う。

教科書・参考書等

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

教育実習Ⅱの履修が必要となるのは、平成12年度は、科目等履修生の内の一部です。担当教員の指示に従ってください。

## (2) 教職に関する科目 (選択)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわ あきら 広 沢 明	教職2選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等 (民族・性・障害)
3. 義務教育
4. 教育の中立性 (政治・宗教)
5. 教育行政
6. 懲戒

### 履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

### 成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

### 教科書

『解説教育六法』(三省堂)を必携。

### 参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育評価	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

狭義の教育評価にとらわれず、人間の能力とは何か、学力とは何かについて、様々な側面から討論し、研究することを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに、教育心理学の研究手法(実験・観察・調査・テスト)の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価にかかわる研究実習を行う。実習においては、必要に応じパソコンも活用していく。

### 履修上の留意点

ゼミ形式で進める。討論、実習への積極的参加が不可欠である。パソコンに関しては、まったくの初心者でも可。

### 成績評価の方法

平常点による。

### 参考書等

資料等は随時、準備し指示する。また、受講生からの提案も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 哲 学	きた 北 村 三 子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、近代社会の矛盾が様々な形で人間の生活を脅かしており、その中で、かつての人々が当然のこととしてあてにできた子育ての社会的、自然的基盤も揺るがされている。この混迷の時代に、私たちはどのようなありかたに向けて、またいかにして、次の世代を育み、支えてゆくことができるのだろうか。この授業では、生命とは何か、また、生命的な知とは何かを学ぶことを通して、そうしたことを考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような文献を検討していく。

- ・G・バイトソン『精神と自然』（思索社）
- ・M・ポラニー『暗黙知の次元 言語から非言語へ』（紀伊國屋書店）
- ・佐々木正人『アフォーダンス — 新しい認知の理論』（岩波書店）
- ・清水博『生命知としての場の理論』（中公新書）

文献とその進め方は、受講者と相談の上、最終的に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 情 報 学	おぐら やすよし 小 倉 康 仁	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

この授業のねらいは、次の三つである。

1. 我々の社会におけるコンピュータの役割・位置づけの歴史の変遷について概観し、コンピュータと我々の社会との係わり合いの在り方について考察する。
2. 教育分野でのコンピュータ利用方法・形態の変化について教育学の視点から理論的に考察し、コンピュータの教育的活用とは何かを探る。
3. 普遍性のあるソフトウェアの操作実習を通して、教育現場で必要とされる実際的なコンピュータ（パソコン）活用能力とセンスを育成する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

授業は常にコンピュータ教室で行ない、講義と実習を適宜組み合わせる授業を進める。

前期の授業内容としては、以下のものを予定している。

コンピュータの基礎知識（講義）、情報理論の基礎知識（講義）、パソコンの基本操作（実習）、コンピュータの社会的役割の変遷（講義）、ワープロソフトの基本操作（実習）、表計算ソフトの基本操作（実習）、インターネットの基礎知識（講義）、初歩的なネットサーフィン（実習）

後期の授業内容としては、以下のものを予定している。

教育分野でのコンピュータ利用形態の分類・整理（講義）、コンピュータの教育的活用とは？（講義）、教育用ソフトウェアの選択・活用方法について（講義と実習）、コンピュータネットワーク（LAN、パソコン通信、インターネットなど）と教育（講義）、インターネット（WWW）上での情報検索の方法（実習）、HTMLによるホームページ作成方法（実習）、画像データの加工処理方法（実習）

#### 履修上の留意点

パソコンに初めて触れるという初心者も歓迎する。履修者はなるべく早く総合情報センター主催のネットワーク講習会に参加して、電子メールアドレスを取得するように心掛けること。また履修者は全員、必ず授業開始時点でパソコン自習室の利用者登録をすること（提出用の課題作成等のために必要になる）。

#### 成績評価の方法

平常点（出欠、学習態度）、小テスト（ペーパーテスト）、提出物（レポート、課題作品）の総合点によって成績評価を行う。

#### 教 科 書

教科書は使用せず、配布プリント等を利用して授業を進める予定である。

#### 参 考 書 等

参考書等については、そのつど授業時間内で指示する。

#### そ の 他

授業で使用するパソコンは Macintosh のみを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床心理学	お 牟 田 たか 隆 お	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育現場並びに教育をとりまく諸状況において生じている青少年の問題（教師、学校の問題も含む）の、臨床心理学的観点からの考察を施す。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに、人間事象を見つめる基本的視点について講義する。次いで、リアルタイムに今現在教育並びにその周辺に生じている種々の出来事を、新聞・雑誌・書籍等の媒体をテキストとし、その「人間心理」的側面の解説を試みる。

履修上の留意点

知識伝達型の講義ではなく、種々生起している事柄を「何故そうなのか」と共に考え、そしてまたそれらが、実は自ら自身にも深く関わるものとして考察する態度をもつことを期待したい。

成績評価の方法

出席点を基本とする。

教科書

特定の教科書・参考書は使用しない。必要とあらばその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育社会学	くまがいかずのり 熊谷 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

教育は、人と人との関係を基本とする多様で複雑な社会的関係の組み合わせのなかで行われている。教育社会学は、人間の成長と教育をめぐって生ずる社会的関係について研究し、望ましい人間形成をめざして、その関係の改善、充実をめざす学問である。講義は、教育に関する具体的な事例を検討することにより、教育をめぐって形成される社会的関係がどのようなものであるかを明らかにし、望ましい教育のためにどのように社会的関係を整え、充実させたらよいかという課題に対して示唆を与えることをねらいとしている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次の四つの領域に分けて行われる。

(1)社会的変化のなかの教育問題と子供(4～5月)＝①教育問題の発生と近代社会②現代社会における教師と児童生徒間の不適合③現代における社会的環境の変化と子供の発達をめぐる問題④市場化と情報化のなかの文化と教育⑤社会性不全症候群の問題と教師の悩み⑥社会性と学力低下の問題。

(2)人間の発達と集団(6～7月)＝①文化的共同存在としての人間と社会化の重要性②集団の教育力と人間形成③家族の性質と教育機能④家族構成の変化と家庭教育の危機。

(3)教育の社会的条件(9～11月)＝①社会システムとしての教育の構造と機能②政治のインパクトと教育③現代国家におけるナショナリズムと教育④教育の条件としての経済⑤経済成長と教育－戦後日本の事例を中心に⑥地域社会と教育⑦人口構造と教育⑧現代社会のイデオロギーと教育。

(4)社会としての学校(12～1月)＝①学校化された社会②社会としての学校の機能と構造③学校と人間のライフサイクル④競争社会としての学校－学校選択⑤学校改革の動向。

成績評価の方法

定期試験の成績による。

教科書・  
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教 育 史	やまもととしこ 山 本 敏 子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の私たちに自明な〈教育〉というものは、西洋近代の産物である。日本において、〈教育〉なるものの観念や関係、制度は、かつての人間形成のあり方の何を解体しつつ、いつどのように創出されてきたものなのか。そこには、いかなる矛盾や困難が内在していたのか。こうした問題を、人間形成の歴史という長期の時間の流れの中で考察し、近現代日本の教育および教育学を相対化する視座や方法を培っていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の近世から近代への教育史実を中心に、取り上げたい主なトピックスは以下の通りである。前期は講義中心に授業を進め、後期はゼミ形式で文献を読む予定。

- ①教育基礎論としての教育史の方法と課題
- ②〈教育〉のない社会の子供と大人
- ③日本の民俗社会における人間形成の諸相
- ④江戸時代にみる新しい〈教育〉意識誕生
- ⑤学校の発生と近代公教育制度の成立
- ⑥クラス、一斉教授法の発明
- ⑦専門職としての教師の登場
- ⑧子供期・青年期の創出
- ⑨教師中心主義と子供中心主義との相克
- ⑩家族と学校との関係 など。

履修上の留意点

歴史的アプローチを主とする教育基礎論の授業であるが、たえず現代の子供・若者の置かれている社会状況や教育問題に関心をもって授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

授業内の小レポート・発表、期末レポート。

教 科 書

特に用いない。随時、参考文献を紹介し、基本的史料はプリントして配布する予定。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 調 査	すずき のりお 鈴 木 規 夫	教職2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間の行動について科学的な方法によるリサーチの技術と推論の論理を身につけるため、教育にかかわる身近な問題について具体的に調査を実施する。

講義の内容・  
授業スケジュール

具体的な調査内容は受講者自身が主体的に提案するものとし、授業ではその内容について議論するとともに調査を実施するにあたっての必要な基本プロセスを学習する。また、実際に調査を実施し、コンピュータを利用して調査結果をまとめる。その際、結果を要約するために不可欠なデータの解析法や推論の論理についても分かりやすく解説する。

履修上の留意点

調査内容は受講者自身が提案することになるので、受講前に何を調査したいのか予め考えておくことが望ましい。また、コンピュータを利用して分析を行うので多少のコンピュータに関する知識を有していることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は提出された調査結果報告書によって行う。

教 科 書

講義要旨および資料のコピーを授業当日配付する。

参 考 書 等

特に指定しない。

そ の 他

授業は討論中心の形態をとる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 教 育	か がわ よし じげ 香 川 良 成	11以前入学生/教職2・3・4選	4

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参 考 書 等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』I 総論

そ の 他

現在行われている演劇教育（“劇あそび”その他）の模様や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するということも行いたいと思っています。

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後 期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	12以降入学生/教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会の政治的経済的変化にともなう問題と教育の在り方との関係を現代史における具体的な事例をととして検討し、今後の教育のめざすべき方向を展望することをねらいとして、「戦後日本社会の変容と教育の展開」をテーマに授業を行う。教育社会学と教育政策学の研究をふまえてグローバル化と情報化が進展するなかでの社会の諸問題と教育の動向との関係を分析する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は、次の三つの領域に分けて行われる。

(1)終戦にともなう政治的経済的変化と教育改革(9～10月) = この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①対日軍事占領と教育の状況②政治・経済改革と教育改革(第一次米国教育使節団報告書の検討)③民主化・自由化と最初の学習指導要領。

(2)東西冷戦の激化と教育基本法体制の動揺(10～11月) = この領域で扱われる事項は、次のとおりである。①東西冷戦の激化にともなうナショナリズムの強調と教育②経済成長への願い-財界の教育要求と戦後教育改革の見直し③55年体制の形成と教育をめぐる路線対立の激化。

(3)高度経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”(11～1月) = この領域で扱われる事項は次のとおりである。①国家目標としての高度経済成長と教育における能力主義の強調②マンパワーの育成とカリキュラム改革③経済合理主義の浸透と教育における組織の合理的再編-多様化と管理強化④経済成長にともなう社会の諸問題と“第三の教育改革”の模索⑤社会的変化の激しさと生涯教育-学習の推進。

履修上の留意点

教育に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・  
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二當の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が低年齢化し、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型の増大、さらに言語で訴えるよりも身体化の傾向等、様々な変化が見られるように思う。そういう意味でも「青少年」に関わる諸現象は、その時代を映し出す1つの鏡のようにも思われる。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係をもてるか、そしてそこからどう自分を育てていけるかという事が、この時期の中心的テーマになると思われる。

講義では、このような問題意識を基に、この期間に発現する諸問題の実際を、発達にそって具体的に学んでいきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず人間の精神的発達に関する知見を、これまでの発達心理学や臨床心理学的見地から概観し、その中での青少年の発達段階の意味や位置づけを考えていく。そしてこれを踏まえ、主にテキスト記載の事例を中心に、児童期、青年期に生じる様々な状態（不登校、非行、対人緊張、思春期やせ症、無気力状態等々）について深く掘り下げて学んでいく。

#### 履修上の留意点

出席を重視する予定。授業は講義中心となるだろうが、何らかの形で受講生のフィード・バックを得る方法を考えていきたい。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験

#### 教科書

氏原寛・東山紘久編『発達とカウンセリング』  
別冊『発達』第18巻（ミネルヴァ書房）2,500円

#### 参考書等

- ・馬場謙一・小川捷之他編『子どもの深層』『青年期の深層』  
『日本人の深層分析』第9巻と10巻（有斐閣）
- ・季刊『仏教—特集癒し』No. 31（法藏館）2,000円
- ・河合隼雄著『あなたが子どもだったころ』（檢出版）『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 山 かず のり 小 山 一 乗	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく。世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法の知見に示唆されつつ、いわゆる「宗教(の)教育」の法的思考(Legal mind)、そこに看取されるいわゆる宗教的思考(religious mind)、教育的思考(educational mind)の総合的考察をし、各国の宗教教育の実態も眺めつつ、これからのいわゆる宗教教育での、教授概念検討を経て、意味、目的、目標、内容、方法について具体的なデザインを試みる。特に宗教の教育における寛容の態度育成について広く深く考察したい。

いわゆる「宗教教育」論議は、政策・法律論議で、「何を教えることができるのか」の禁止事項に注意が傾斜した論議が久しく盛んでその喧しさは大である。だが、この論議に反して、同じ現行憲法・法規下で、「何を教えることができるのか」の肯定的事項に注意を向けた教育方法上の教授概念検討論議が極めて少ない。これはいわゆる戦後教育の盲点でさえる。この不均衡を醸成してきた歴史的背景を検証する。幕末、明治維新、対日米国占領宗教教育政策、憲法・教育基本法・教育関係法規立法審議制定過程を検証し、手垢の付いた用語としての「宗教教育」論を見直す。用語「宗教教育」は解釈者により一様ではない。本講義では、手垢の付いた先入観を回避し白紙から議論を構想したく、そのために、しばらくの間「宗教の教育」と措定したい。その上で、tell(告げる)とteach(教える)との差異、〈religious education〉と〈education about religion〉との差異につき、教授概念を検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

種々様々な事柄を取り上げ考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、(再)結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケアー等を粗上に載せる。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて、諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。多民族多文化多宗教共住社会のうねり、隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。今後は例えば、国際結婚等にもより、混血児も学級には数人は存在するとの推計もある。家庭教育・学校教育・社会教育のいずれの教育の場面も、まさに、迂闊ではいられなくなる。宗教的無知は宗教的偏見よりも致命的な悲劇を生もう。無知解消の教育が要る。

履修上の留意点

社会科・地理歴史科・公民科における宗教の教育、宗教科教育における宗教の教育、宗教教育における宗教の教育の異同点、及び、訳語としての用語「宗教」に関し熟考して欲しい。

成績評価の方法

レポート、出席点による。特に出席を尊重する。

教科書

小山一乗著『教育と寛容——宗教的事実・規範の取り扱いとのおしえ方、評価の観点——』(宣協社) 2,940円

参考書等

指定図書→『宗教教育の理論と実際』(鈴木出版) 1985年  
土持ゲーリー法一著『米国教育使節団の研究』(玉川大学出版部) 9,785円  
井上順孝監修『宗教教育資料集』(すずき出版) 3,900円  
杉原誠四郎『教育基本法の成立「人格の完成」をめぐる』(日本評論社)  
小中高各『学習指導要領』各230円 250円 370円  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』(大法輪閣) 1,600円  
参考図書→KYOUKO INOUE. 1991. MACARTHUR'S JAPANESE CONSTITUTION (THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS)

その他

定例教場での講義を中心とするが、必要に応じ、視聴覚教室でのビデオ、スライド、OHPの視聴をするので視聴覚教場の掲示に注意しておくこと。プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	とよ たちよこ 豊 田 千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.602) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ たちよこ 豊 田 千代子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.603) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	いらい もり あき ひこ 飯 森 彬 彦	教職2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.617) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育施設	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	11以前入学生/教職2・3・4選	4

(P.605) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.595) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.595) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.596) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.596) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.597) 参照

### (3) 教科に関する科目

【社会・地理歴史・公民】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋思想史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教職教科	4

講義のねらい

始めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を購読する。購読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

最低書下し文が理解できる程度の漢文の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。

1. 試験又はレポート（年1回以上）
2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）
3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は講師が用意したプリントを用いる。

参考書等

適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	や の よう こ 矢 野 陽 子	教職教科	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民間信仰論	谷口貢	教職教科	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の基層性を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮家準著『日本の民俗宗教』（講談社学術文庫）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを2回ほど見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学概説	小池とみ子	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

地理学における人文地理学分野をとり扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、地理学発達史・人文地理学と自然地理学・環境論をとりあげる。次に前期は主として民族・国家の観点から、後期は経済発展と地域の変貌の観点から、世界の諸地域が現在どのような問題をかかえているか、具体的に各地域をとりあげながら検討する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）  
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。ときどきビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。



科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	たかぎ まさひろ 高木正博	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

自然地理学の分野のうち、河川や地下水などにかかわる水の地理学を講ずる。  
近年、河川環境や地下水汚染などに関心が寄せられている。これらのテーマを考えるため、その基礎となる河川や地下水の特性について、地域事例をもとに説明する。

講義の内容・授業スケジュール

次の諸点について講ずる。  
1) 水循環・水収支など水文学の基礎について  
2) 河川や地下水の水量・水質などの特性と地域とのかかわりについて  
3) 河川地形と水災害について  
4) 身近な水源としての地下水・湧水の保全などについて  
地域事例を紹介する際、地形図や空中写真などを利用して地域調査の基礎についても概説する。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも問題意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。地域を把握するために、地図帳や地形図を利用してほしい。

成績評価の方法

学年末定期試験と夏休みの課題の他、授業中に随時実施する課題など平常点も加味して行う。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

地学団体研究会編『地球の水圏－海洋と陸水』（東海大学出版会）  
その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学概説	はやふね げん ぼう 早船元峰	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

人間生活の舞台である第四紀の大地の生成過程などを論じ、さらに自然に対し人間はいかにあるべきかを災害などの環境問題を通して共に考えていく。また、いくつかの地域をとりあげ、人間と自然とのかかわりあい（人間に対する自然の影響・自然への人間の働きかけ）を、歴史的観点をふまえて、主に環境地誌学的立場から論じる。

講義の内容・授業スケジュール

- ・関東平野の地形発達史
- ・北海道本部の気候地形
- ・北海道美瑛町・富良野市における傾斜地の土地利用の変化と環境保全
- ・大気温・湖水温の垂直分布の季節的変化と人間とのかかわり
- ・その他

履修上の留意点

国土地理院の地形図を数枚用意してもらい、それらをもとに種々の作業（土地利用図・带状平行投影地形断面図・切峰面図など）をして理解をより一層深めてもらう。直定規・方眼紙・トレス紙・硬質色鉛筆・黒色水性ペンを各人用意すること。

成績評価の方法

課題（地形図より主題図作成）・小テスト出席状況などによる平常点。

参考書等

水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）  
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	かわもと とよかず 川 元 豊 和	教 職 教 科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

南及び東南アジアの地誌について講義する。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。

講義の内容・  
授業スケジュール

前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。また、農村から大量の人々を吸収し続けている都市についても考察したい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴やマレー村落とその変貌、社会経済構造の変化などについて最近の地域研究の成果を紹介しながら、地域の特性を明らかにしたい。また、近年の高度経済成長にともなう工業化・都市化の問題についても考えてゆきたい。

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教 科 書

特に定めず、プリントを配布する。

参 考 書 等

白田雅之・佐藤宏・谷口晉吉編『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂）1993 2,800円  
水島司編『アジア読本マレーシア』（河出書房新社）1993 2,000円

そ の 他

年に2～3回はスライドを使用した授業を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学 概 説	くぼた 久保田 武	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

一般教養として広く世界の諸地域の特色と課題について基礎的知識の修得と理解  
 高校地歴科、中学校社会科の授業で世界の諸地域を扱う際に必要な基礎知識の修得と文献紹介  
 暗記科目にせず世界の諸地域に対し生徒の興味関心を増す教授内容構成と教授法の考察

講義の内容・  
授業スケジュール

◆講義の内容

世界の諸地域の地域学習（地理・歴史・政治・経済・社会・文化・課題等）。大地域は世界中  
 を一通り学習。中小地域と国は範例学習的に選択  
 教授者による毎回の授業、情報源になる資料紹介、その他

◆授業スケジュール

前期は東アジアに始まり

後期はオセアニアで終る。日本の地域を1回取り上げる。

履修上の留意点

毎回授業の終わりに授業内容に関連して、簡潔なまとめ、コメント、実習内容等の提出を求め  
 出欠調査に代える。提出物は添削（質問、意見には回答）のうえ次回に返却する

成績評価の方法

定期試験、毎授業後の提出物、授業への参加意欲（出席状況他）等を総合して評価  
 出席状況は単位認定と成績評価の際特に重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の時に紹介する。但し、地理教科書、地図帳、歴史年表、歴史地図、統計資料等は、この  
 際揃えた方がよい。とりあえず地図帳と統計資料、歴史年表は初回から持参した方がよい。

そ の 他

毎授業時間の前半は講義、後半は質疑、実習、課題作成等を原則とする。

OHP、スライド、ビデオ、写真など視聴覚機材を講義内容理解と補足のため頻繁に使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地誌学概説	ふじしまのりたか 藤島範孝	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

アジアには30億の人が居住し、古代文明を生み出したが、その後欧米至上主義によって旧態依然といわれる。更に民族独立と社会主義崩壊、人口爆発と飢餓、核汚染と地球環境の破壊など多くの問題をかかえてきた。この実情をアジアに見る。特に日本はアジアの一員であることを忘れてきた経緯を反省し、各分野から分析してみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

アジアの地図を描き、最近の変貌を加え、新しいアジア観の把握に努める。

履修上の留意点

各種の地図を利用するので、描写及び着色することがある。作図できるようにしておく。国境及首都等は構造として把握する。

成績評価の方法

最近のアジア各地の変貌を報告発表を要求する。

教科書

大藪友和『アジアを読む地図』（講談社）1,800円

参考書等

浅井信雄『民族世界地図』（新潮社）1,000円  
 泉三郎『世界地図の新しい読み方』（日本実業出版社）1,300円  
 アンドリュー・ポイド『世界紛争地図』（創元社）1,600円

その他

講義、作図。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	えんどうひろあき 遠藤廣昭	教職教科	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心に見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳述する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげているから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都や鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教科書・参考書等

教科書・参考書は特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史 II	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 哲 学	あ そ う けん 麻 生 建	教 職 教 科	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は、純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は、教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末試験

教 科 書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	黒田基樹 <small>くろだもとき</small>	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

歴史学という学問は、過去の社会を正確に認識するとともに、現代社会をどのように把握するか、ということを追究するものである。そのため、過去の日本社会を題材としつつも、常に現代の日本社会との対話を意識し、歴史を「考える」という観点を重視していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本史を通時的に概観するのではなく、主として平安時代末期から江戸時代初期を対象として、個々のテーマを設定し、検討する。

成績評価の方法

学年末に試験をおこない、出席数と試験の結果を総合して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

授業のなかで随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	小松寿治 <small>こまつとしはる</small>	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

社会科教員として最低限の日本史に関する知識をつけてもらえればと思います。したがって高校時代に日本史の経験がなくても問題はありません。

講義の内容・授業スケジュール

講義は日本史全般を話すつもりですが、武士の時代が中心になります。板書を多くしますのでノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

成績の評価は試験で行いますが、出席を重視しますので、より多く出席することを望みます。

教科書

教科書等は設定しませんが、参考図書については、必要に応じて話しますが、強制するものではありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	井 村 行 子 <small>いむら ゆきこ</small>	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1講	世界史とは何か	第13講	南北戦争と農奴解放
第2講	古代オリエント	第14講	イタリアとドイツの統一
第3講	古代ヨーロッパ	第15講	19世紀後半のヨーロッパ
第4講	中世ヨーロッパ	第16講	帝国主義の世界分割
第5講	16世紀のヨーロッパ	第17講	20世紀初頭のヨーロッパ
第6講	17世紀のヨーロッパ	第18講	第1次世界大戦とロシア革命
第7講	18世紀のヨーロッパ	第19講	1920年代のヨーロッパ
第8講	産業革命とアメリカ独立革命	第20講	戦間期のアメリカとソ連
第9講	フランス革命	第22講	1930年代のヨーロッパ
第10講	ナポレオン独裁	第23講	第2次世界大戦
第11講	ウィーン体制	第24講	第2次世界大戦後のヨーロッパ
第12講	自由主義の発展		

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

そ の 他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	わた なべ あつし 渡 辺 惇	教 職 教 科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界史概説は担当者の関係により、東洋史と西洋史の二つの部分に分けて行われます。受講者はこのいずれか1つをとればよい。

上記のうち、私は東洋史の部分を担当します。東洋史はアジア全体を対象とするもので、その領域は非常に広く、かつ多面的です。この授業は教職科目であり、また時間の関係から、以下に記すような順序で、広く浅く行うこととなります。換言すれば“アジア歴史散歩”とでもいえましょう。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 世界史教育の歩み

学校教育における世界史という科目は戦後の教育の中で新しく成立したもので、はじめは東洋史と西洋史を束ねたようなものであったが、やがてヨーロッパ中心主義、大国（中国）中心主義が批判され、よりグローバルな世界史が求められるようになった。以上の経緯を文部省の世界史指導要領の変遷等を折り込んで説明したい。

(2) アジアの歴史世界は多面的でモザイクである。それゆえ、以下のような5つの世界に分けて、それぞれの世界の歴史の舞台となった自然環境、風土、そして歴史展開の特色などについて概観する。

- a. 東アジア世界；中国を中心とし、その周辺を含む地域。農耕生活。
- b. 中央（内陸）アジア；海への出口をもたない砂漠と草原の地域。遊牧とオアシス農耕の生活。
- c. 西アジア世界；オリエント及び地中海の一部を含む乾燥風土の地域。オアシス農耕と遊牧生活。
- d. 南アジア世界；インドを中心とした地域。農耕生活。
- e. 東南アジア世界；半島部と世界最大の多島海よりなる地域。海洋生活。

履修上の留意点

出席は必ずとります。

成績評価の方法

評価は定期試験、平常点に出席点を加味する。

そ の 他

またビデオを活用して、各地域の特色を視覚を通して把握することも行いたい。その際感想文を書いてもらいます。



科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	教職教科	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か  
社会的事実／実証性“予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為  
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位として行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程  
人間の行為は“inter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1. 役割の取得——社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第6回 2. 役割の準拠——準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
3. 役割の葛藤——マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとして職場人間
- 第7回 社会統制と逸脱行為  
1. 規範と同調——逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第8回 2. ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第9回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論、マクロ社会学とミクロ社会学
- 第10回 社会集団
- 第11回 1. 社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
2. 集団の構造と機能社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第12回 3. 集団の構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第13回 4. 集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第14回 5. 集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第15回 集団・文化・パーソナルティ
- 第16回 組織論と官僚性  
1. 組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第17回 2. 官僚制組織の基本原理解 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原理解 (ウェーバー、ミハルス)／支配・権力・権威
- 第18回 3. 官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ダールドナー、ブラウの官僚制論
- 第19回 社会意識
- 第20回 1. 社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
2. ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第21回 3. 社会的性格  
i) フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第22回 ii) ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第23回 4. 社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第24回 全体社会の構成  
1. 経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第25回 2. 政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
3. 法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
4. 教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第26回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	教 職 教 科	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。  
人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きるということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下のような内容を企画している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原形形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。  
講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」（仮題）のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりレポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度（参考文献名を明記すること）。

教科書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』（講談社）840円

参考書等

佐々木宏幹著『宗教人類学』（講談社）980円

教職資格講座

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさ だ とう いち ろう 浅 田 統 一 郎	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

本講義は、ミクロ経済学の基礎をわかり易く体系的に解説し、『価格理論』の一層進んだ内容を理解するための橋渡しをすることを目的にしています。また、本講義を受講することによって得られた基礎知識は、現実の経済問題を解釈し、その解決策を考えるための指針としても役立ちます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の理論体系は、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」という二大分野に分けられます。ミクロ経済学は、19世紀のクールノー、ジェボンズ、マーシャル、メンガー、ワルラス、20世紀に入ってからはヒックス、サムエルソン、アロー、ドブリュー等によって発展させられてきた理論分野で、経済を構成する個別的な消費者や企業の行動にまでさかのぼって市場における価格決定の問題を分析し、完全競争、独占、独占的競争、寡占等の市場形態の相違が資源配分の効率性や所得分配にどのような影響を及ぼすかを分析します。ミクロ経済学(およびマクロ経済学)の基礎をマスターすることは、公務員試験や公認会計士試験の合格を目指す学生にとって必要不可欠ですが、そればかりでなく、財政学、金融論、国際経済学のような応用分野を学ぶために有用な予備知識を得るためにもミクロ経済学の学習は役立ちます。

本講義では、ミクロ経済学の基礎知識を以下の順序に従ってわかり易く解説します。(駒沢大学経済学部では、『価格理論』という科目がこれらの問題をより専門的に扱っています。)

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場均衡の理論
4. 不完全競争の理論
5. 公共政策のミクロ分析
6. 国際経済学のミクロ分析

なお、教科書は、浅野、荒木・浅田『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)を使用しますが、もっと詳しくミクロ経済学を勉強したい受講者や本講義の修了者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

#### 成績評価の方法

成績は年2回(前期・後期)行う筆記試験によって評価します。再試験は、実施します。

#### 教 科 書

浅野克巳・荒木勝啓・浅田統一郎 著 『エコノミックス』改訂版(成蹊堂)

#### 参 考 書 等

伊藤元重 著 『ミクロ経済学』(日本評論社)(初級向き)  
武隈慎一 著 『ミクロ経済学』改訂版(新世社)(中級向き)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あ べ 弘 <sup>ひろし</sup>	教 職 教 科	4

講義のねらい

「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は経済学部で設置している「経済理論」のIAであり、主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判をしたその内容と現在の問題とを比較しながら「経済学」はどうあるべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
  - 1 「富」とは何か
    - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
    - (2) 「富」の人間からの乖離
    - (3) 「富」に支配された人間
  - 2 「経済学の方法」
    - (1) 「国富」
    - (2) 私的所有
    - (3) 価値
  - 3 人間社会と交換価値
    - (1) 商品
    - (2) 貨幣
    - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
  - 1 資本の生産
    - (1) 資本と商品
    - (2) 資本の本質
    - (3) 階級の生産
  - 2 資本の運動法則
    - (1) 資本の運動範式
    - (2) 資本の生産と再生産
    - (3) 階級社会の拡大再生産
  - 3 資本の蓄積と階級の生産
    - (1) 資本の蓄積
    - (2) 資本関係と人間労働
    - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会…まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
  - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
  - (2) レポートは、第1回目：7月  
第2回目：10月  
第3回目：11～12月  
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以降は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。
- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書・参考書等

講義の中で指定します。

その他

講師との連絡方法  
 受講生と講師が連絡できるように次に住所等を掲載しておきます。  
 阿部弘  
 ☎179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204  
 TEL.03-3976-7984  
 研究室：第2研究館5 FNo.2538  
 ☎03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの かつみ 浅野 克巳	教 職 教 科	4

#### 講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」は「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LM モデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長と景気循環の仕組み

#### 履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習にかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

#### 成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

#### 参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1998年、これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	まつい 柳平 松井 柳平	教職教科	4

#### 講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済の模型（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的な模型を作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分メカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーションを通じて学んでいくことになる。

#### 履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

#### 成績評価の方法

期末試験や、授業中の実験への参加などで評価する。

#### 教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	はし 橋 もと 本 やす 泰 あき 明	教 職 教 科	4

講義のねらい

経済学的ものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、一国の経済規模や国民の所得の大きさ、物価、労働環境などの決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が市場を形成し、その結果、ものの価格の決定や経済の効率性がどのように作用されるのかを理解することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期：経済循環 国民総生産 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 乗数理論  
物価 為替変動と国民所得  
後期：需要と供給 消費者の経済行動 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産者の経済行動 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論的メカニズムを理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考を繰り返し、論理展開を十分理解することが大切である。しかしいったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利く財産になり、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社） 3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法 I	おお <small>みや</small> <small>たかし</small> 大 宮 隆	教職教科	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の子告をするので、教科書を読んてくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

玉田弘毅『図解民法講義 総則・物権』（住宅新報社）1,854円

参考書等

講義の中で随時紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 原 論	おお つか かつら 大 塚 桂	教 職 教 科	4

※経 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

私は、いままでイギリスの政治的多元主義と新自由主義、ならびにフランスの社会連帯主義を研究してきました。現在は、日本における多元的国家論の受容過程に関して勉強をしています。このような私の研究経歴からして、講義内容は少しばかり哲学的、観念的なものになるかもしれませんが。政治学のみならず、ひろく隣接領域（法学・哲学・歴史学・社会学・経済学）にもふれながら一年間の授業をしてみたいと思います。

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。研究上支障が生じたときや質問があるときには訪問してください。なお、研究室の電話番号は、3418-9377(直)です。

講義の目的

第一の目的は、将来教壇にたったときに役立つ基本的な知識の習得をめざすことです。

第二の目的は、社会科学の思考方法を会得することです。

第三の目的は、自己の意見を論理的にはっきりと述べられるようにすることです。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方

政治学の基本問題を、一回一テーマ主義でとりあげます。ワン・ウェイの講義をするのではなく、学生諸君との対話・討論形式をとりいれて授業をすすめていきます（場合によっては、学生諸君の報告や模擬授業も）。質問には、はずかしがらずに積極的にこたえて授業を盛り上げてください。

授業では、政治学のみならず隣接科目にまで話がおよんでいきます。履修者はあらかじめ高校時代の「政治経済」の教科書や参考書などに目をとおしておくといでしょう。

講義内容

講義でとりあげる問題は、以下のとおりです。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| A 政治の思想         | C 日本の政治  |
| ～古代ギリシャ・ローマ政治思想 | ～明治国家の形成 |
| 中世政治思想          | 大正デモクラシー |
| 近代政治思想          | 軍部独裁     |
| 現代政治思想          | 戦後の政治    |
| B 政治の仕組み        | D 国際政治   |
| ～議会             | ～国際連合    |
| 内閣              | N G O    |
| 地方自治            | 国際関係     |
| 官僚制             |          |
| 政党              |          |
| 選挙              |          |
| 世論              |          |

履修上の留意点

将来教職を希望する人間が、教室に足を運ばないのはもってのほかです。単位の認定にあたっては、出席を特に重視します。正当な理由があつて欠席する場合（実習・研修など）には、必ず届けを提出してください。

成績評価の方法

出席：50% 中間試験：20% 学年末試験：30%  
以上の割合で評価します。  
なお、追・再試験も実施します。

教科書

大塚桂編『政治学へのいざない』（成文堂）2,500円

参考書等

大塚桂『政治学原論序説』（勁草書房）3,296円  
大塚桂『政治哲学入門』（法律文化社）2,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	教 職 教 科	4

講義のねらい

日本の宗教文化を考えるうえで、巫覡、ミコなどとよばれてきた巫者信仰の系譜は重要な意味をもつ。本講義では、この巫者信仰に焦点を合わせ、宗教史と実態調査研究の両面から得られた成果をもとに、その多様な形態と文化史的な意義を明らかにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、柳田國男にはじまる巫者研究の歴史を概観したうえで、主として東北地方や沖縄地方の巫者信仰の具体的事例を考察する。ここでは、東北地方のイタコ、カミサマ、沖縄地方のユタ、ムヌシリなど、様々な名称で呼ばれてきた「野の宗教者」の世界に光を当てる。前期は東北地方、後期は沖縄地方が中心となる。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

スライドを適宜使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 衆 宗 教 成 立 史	つ しろ ひろ ふみ 津 城 寛 文	教 職 教 科	4

講義のねらい

深層文化論と宗教学の接点にあって、民間信仰、民俗宗教、民衆宗教などの成立と基盤とを扱います。大伝統に対する小伝統、エリートに対する民衆、イデオロギーに対する非イデオロギー的な習慣習俗などに焦点を当てて、われわれの文化や社会や心の深層にある、民衆的な宗教性を浮き彫りにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

主要テーマは下記の4つであり、前期は深層文化論を軸に、後期は民衆宗教論を軸に、講義を進めます。

- 前期
- ① 深層文化論の整理
  - ② 深層文化と宗教研究
- 後期
- ③ 民俗主義的な深層文化
  - ④ 新宗教の発生と展開

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行います。

教科書

用いません。

参考書等

深層文化論に関しては、拙著『日本の深層文化序説 ―― 三つの深層と宗教』（玉川大学出版部）1995年を用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	<small>あらい</small> 洗 <small>けん</small> 建	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

実証的研究としての宗教学の立場から、宗教を理解することがあらゆる人間の営み（諸文化、諸学問）を理解することと、いかに深くかかわっているかを明らかにする。

この教科は教職科目であるので、国家と宗教、憲法理念と宗教の問題を中心に考える。

講義の内容・授業スケジュール

宗教改革以降、信教の自由の確立に至るまでのキリスト教思想の変遷をたどって、その特質を理解し、日本における導入と変容、現代における諸問題を考える。

履修上の留意点

できるだけ出席し、事実を覚えることより、宗教学のものの見方を理解して貰いたい。したがって、原則として出席をとる。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教 科 書

特に指定しないが、水野弘元、柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）を持っていれば、参照すること。

参 考 書 等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 説	<small>いけ</small> 池 <small>がみ</small> 上 <small>よし</small> 良 <small>まさ</small> 正	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

「宗教」という言葉を聞くと、特定の教祖によって開かれ、経典や教団を備えた組織的宗教や、そこで説かれてきた高度な宗教思想などを思い浮かべる人が多いと思う。しかし宗教には、共同体の生活慣習や年中行事に組み込まれた習俗や、祈祷・供養・祭礼・禁忌・呪詛などよばれる実践や行為としての側面もある。

本講義では、こうした広がりやを考慮したうえで、とくに実践的な行為としての宗教について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、儀礼、タブー、イニシエーション、アニミズムなどのトピックを取り上げ、実践的宗教の多様な側面に光を当てる。

後期は、「死をめぐる宗教的観念と実践」というテーマで、仏教やキリスト教をはじめとする諸宗教が、人間の死や死者を実際にどのように扱ってきたか、という問題を考えてみたい。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	つ 津 しろ 城 ひろ 寛 ふみ 文	教 職 教 科	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

世界宗教史と日本宗教史を軸にして、原始宗教・古代宗教から現代の宗教現象まで、宗教としての共通点と、それぞれに固有の特性が明らかになるような講義にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は世界宗教を軸に、後期は日本宗教史を軸に、講義を進めます。日本宗教史は概説ではなく、仏教関係の話題も重複のないように省き、興味深い話題に焦点をあてた各論にします。おおまかなスケジュールは次のとおりです。

前期

比較宗教学の前提、呪術と宗教、アニミズム・シャーマニズム、原始宗教・古代宗教、ヒンドゥー教と仏教、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教、世界の新宗教運動

後期

固有信仰、神と仏、宗教者の群像、近代化の中の宗教、宗教と国家、宗教と教育

履修上の留意点

私語だけは慎んで下さい。

成績評価の方法

出席を参考に、主に前期後期のレポートで行ないます。

教科書

用いません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

数回ビデオを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	久保陽一	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

ヘーゲルの名著『精神現象学』（1807年）の主要な箇所を解説しながら、哲学の諸問題を取り上げる。『精神現象学』は、個人的意識の形成の叙述であると同時に、人類の精神の歴史でもあり、また現代にも通ずる様々な思想内容の宝庫である。これを読解することを通して、「自己」や「世界」に関するものの考え方の基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

『精神現象学』の主要な箇所（例えば「感覚的確信」の弁証法、主人と奴隷の関係、「不幸な意識」、「快楽とさだめ」等約20箇所）を解説する。

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

成績評価の方法

出席やレポート等によって評価する。

教科書

いずれかの邦訳（ヘーゲル『精神現象学』）を手もとに置くのが望ましい。

参考書等

加藤尚武編『ヘーゲル「精神現象学」入門』（有斐閣）  
イボリット『ヘーゲル精神現象学の生成と構造』（岩波書店）  
久保陽一『ヘーゲル論理学の基底』（創文社）

その他

時々、講義内容について簡単なレポートを書いてもらい、それについてコメントをつけて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	末木恭彦	教職教科	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。—哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい—そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新事論』『新世訓』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新事論』『新世訓』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 概 説	かわ 谷 <sup>たに</sup> 河 淳 <sup>あつし</sup>	教 職 教 科	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では (a) 主に、古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で (b) 現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

- (a) 西洋倫理思想史：徳倫理学（古代ギリシア）、義務論（カント）、功利主義（ベンサム、ミル）
- (b) 現代倫理学の諸問題：メタ倫理学、生命倫理、環境倫理など

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義においてその都度紹介する。

## 【職業】

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業概説	まえだ ゆきかず 前田 幸一	教職教科	4

※経Bの12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

授業は85（昭和60）年以降の日本の産業界の動向を業種別に流れをつかんでいく。

### 講義の内容・授業スケジュール

(総論) バブル経済と平成不況  
(各論) 非鉄金属、建設、食品、紙・パルプ、化学、繊維、石油、エネルギー、鉄鋼、産業機械、造船、重電、家電、コンピューター、半導体、自動車、商社、流通、銀行、生損保、証券、住宅、不動産、運輸、サービス、レジャー、外食産業、通信、ノンバンク、なお、受講者の要望を聞きながらですが、今年度は工場見学などを授業に組んで、実施したいと考えています。

### 履修上の留意点

日経新聞などの経済・産業欄に目を通して授業に望んで欲しい。

### 成績評価の方法

当授業は多分に受講者が少ないと思いますので、ペーパーテスト等はしません。平常点で決めます。再試験はしません。

### 教科書

高村寿一・小山博之編『日本産業史4』（日本経済新聞社）1,500円

### 参考書等

授業の際に提示します。

### その他

授業での受講者は恐らく少人数であろう。そこで授業の初段階では私が講義をしていきますが、その後はゼミ形式で、皆で議論しながら授業をすすめていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
職業指導	やまだ ゆうじ 山田 勇治	教職教科	4

※経B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

職業指導（進路指導）は教職科目であるから、将来教員として役立つような講義内容にするように心掛け、なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、職業指導の基礎的概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心に講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点を考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明したいと考えています。

### 履修上の留意点

受講する学生は、積極的に問題意識をもって教育問題を考えるようにしてほしい。

### 成績評価の方法

授業中における課題などの提出や出席状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価します。

### 教科書

開講時に指示。

### 参考書等

有本章・近藤大生編『現代の職業と教育』（福村出版）2,000円  
寺田晃・佐藤怜監修『進路指導』（中央法規出版）2,500円  
仙崎武・野々村新・渡辺三枝子編著『進路指導論』（福村出版）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商業実習	まえ だ ゆき かず 前 田 幸 一	教職教科	4

※経 B の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

貿易における商品取引の基礎的な実務を習得するに目標をおいて授業を進めていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 輸出実務の概要       | 10. 為替の予約   |
| 2. 取引関係の創設       | 11. 海上保険契約  |
| 3. 取引条件の取決め      | 12. 輸出検査と包装 |
| 4. 売買条件の取決めと契約成立 | 13. 輸出通関    |
| 5. 輸出信用状の照合      | 14. 船積み     |
| 6. 約定品の調達        | 15. 船積書類    |
| 7. 輸出保険          | 16. 輸出決済    |
| 8. 輸出承認と認証の取付け   | 17. 貿易クレーム  |
| 9. 運送契約の締結       |             |

成績評価の方法

筆記試験はしない。評価は平常点かレポート提出等によって行います。  
再試験はしません。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

石田貞夫『貿易取引の実務』（教出版）  
渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）  
藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

【商業】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
職業指導	やま だ ゆう し 山 田 勇 治	教職教科	4

※経 B ・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.590) 参照





## Ⅱ 学校図書館司書教諭講座



## 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

### 参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学 1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

講義・討論・ビデオ  
この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらう。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

### 成績評価の方法

小論文とテストによる

### 参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書 2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

### その他

この科目の受講は下記の 1、2 を終了してからが望ましい。  
1. 学校教育と学校図書館 (前期)  
2. 学習指導と学校図書館 (前期)  
この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク
- 2) 分類法(表)の解説・演習
- 3) 目録の解説・演習
- 4) 資料組織の機械化
- 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円  
『日本目録規則 1987年版 改訂版』(日本図書館協会)3,500円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

必要に応じて、ビデオを活用する。  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 情報化社会と人間
- 2) 情報メディアの特性と選択
- 3) 視聴覚メディアの活用
- 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用
- 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ)2,200円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	図書(司)2・3・4必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。  
この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

小論文とテストによる。

参 考 書 等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井澤純著『図書館学大系 7 読書教育原論』（全国 SLA 刊行）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

この科目は、平成10年度までに「図書館学 I」の単位を修得した者は、履修できません。



### Ⅲ 社会教育主事講座





## (1) 必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 教 育 計 画	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事2必	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

かつて社会教育職員の専門性として、4P論（プランナー、プログラマー、プロデューサー、プロモーター）がいわれた。いま各自治体では住民の生活課題や地域づくりの課題に対応したきめ細かな生涯学習振興策とその計画化がもてられている。この講義では、自治体の生涯学習計画の策定を中心に、できるだけ具体例に即して、ひろく生涯学習の方法、事業計画などの理論について理解を深められるようにしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 生涯学習の方法と計画の今日的課題
2. 住民の課題と生涯学習計画
3. 生涯学習の方法と事業の計画・運営
4. 生涯学習と条件整備
5. 地域生涯学習計画の策定
6. 生涯学習計画と社会教育計画
7. 学習権の思想と社会教育計画の課題

### 履修上の留意点

できるだけ「生涯学習概論」を修得していることが望ましい。

### 成績評価の方法

出席、レポート、試験等により総合的に判定する。

### 教科書

酒匂・村山他編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,800円

### 参考書等

そのつど紹介する。

### その他

夏休み中に、各自、自分のまちの社会教育行政の実情について調査し、レポートにまとめることをもとめる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論 I (前期)	とよ た ち よ こ 豊 田 千 代 子	社教主事 2 必	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

授業では、OECD や ILO などの国際機関ならびにわが国における生涯学習政策の動向を概観し、その検討を通して、今日求められている学校教育改革・社会教育改革の方向性について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・生涯教育・生涯学習の理念
- ・生涯教育・生涯学習の国際的動向
- ・わが国における生涯学習政策
  - ・国レベルの政策－「生涯学習振興整備法」の制定とその後の動き
  - ・地方自治体における生涯学習政策の展開
- ・生涯学習と学校計画
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

倉内史郎、鈴木真理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参 考 書 等

適宜紹介する。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千 代 子	社教主事2必	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日、わが国では、生涯学習の観点での教育の見直しが、学校教育でも社会教育でも求められている。授業では、とくに社会教育に焦点を当て、改革の方向性を探ることを目的としたい。そのために、社会教育の歴史や社会教育行政の役割等とともに「おとなの学び」に注目しながら、社会教育についての理解をはかりたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・社会教育とは
  - ・社会教育の定義
  - ・社会教育の歴史
  - ・社会教育法
  - ・社会教育施設（公民館など）
  - ・社会教育行財政
- ・成人教育としての社会教育
  - ・「おとなが学ぶ」とは
  - ・「おとなの学び」の事例
  - ・おとなの学びに関わる職員の役割
- ・生涯学習と社会教育

成績評価の方法

レポート等により成績評価を行なう。

教科書

倉内史郎、鈴木真理編著『生涯学習の基礎』（学文社）2,100円

参考書等

小林文人編『公民館の再発見――その新しい実践』（国土社）

その他

この科目は、平成11年度までに「生涯学習概論」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育実習	とよ た ちよ こ 豊 田 千 代 子	社教主事3必	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

公民館、図書館などの社会教育施設や、教育委員会での実習をとおして、社会教育についての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

事前指導 — 社会教育の具体的なイメージをつかむために、様々な社会教育実践を取りあげ、グループで報告する。  
訪問指導 — 実習先訪問指導。  
事後指導 — 実習をとおして学んだこと、疑問に思ったことなどについて報告する。  
実習報告書を作成する。

成績評価の方法

①実習ノート ②授業への参加度（授業での実習報告、報告書作成への取り組みなど）

教科書

小林文人編『公民館の再発見 — その新しい実践』（国土社）

参考書等

社会教育推進全国協議会編『新版 社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

その他

適宜、公民館などの施設見学を行なう。  
実習報告書の作成に関しては、企画、編集、印刷、製本のすべてを自分たちで行なう。このこととおして、共同で学ぶ方法を身につけたり、共同で学ぶことの楽しさに気づいてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会教育実習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	社教主事3必	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

学生が社会教育実習に主体的にとりくみ、社会教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

・社会教育実習の意義と心がまえ — これまでの実習の経験に学ぶ事前指導  
・実習期間 — 個別の訪問指導  
・実習後 — 個別の体験の整理・検討と共通する課題の追求。  
〔例〕社会教育職員の専門性とはなにか。

成績評価の方法

平常の受講態度（出席、口頭発表、レポート、討議の質等）や実習ノート等により総合的に判定する。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

社会教育実習を受講する学生は、前年11月中におこなわれるガイダンスに必ず出席すること。

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育行政	ひがし 東 とし たか 寿 隆	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

憲法・教育基本法体制に沿った社会教育行政の本質について具体例を示しながら解明する。戦前・戦後の社会教育行政の歴史・社会教育法の成立の頃の実情、その後の社会教育行政の発展の状況・生涯学習行政の現情などを通して社会教育行政とは何かについて、社会教育主事などになった時に役立つような内容を明らかにしたい。

授業外に社会教育施設などに赴いてボランティア活動を積極的にやって欲しい。

### 教科書

島田修一編『生涯学習のあらたな地平』（国土社）2,718円＋税  
社会教育推進全国協議会編『現代日本の社会教育』（エイデル研究所）

### 参考書等

社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』（エイデル研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会教育施設	むら 村 やま てる 山 輝 よし 吉	社教主事2・3・4選	4

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

### 講義のねらい

社会教育の方法や形態を考えるうえで、戦後のわが国では公民館をはじめとする図書館・博物館等社会教育施設の重要性があらためて認識された。本講ではその社会教育施設の歴史と現状について考察を深め、それが抱える諸問題について、望ましい展望を拓きたいと考えている。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

- ・社会教育施設とは何か
  - ・社会教育施設にかかわる人々
  - ・公民館の歴史と現状
  - ・図書館の歴史と現状
  - ・博物館の歴史と現状
  - ・社会体育施設の歴史と現状
  - ・その他の社会教育施設・関連施設
  - ・社会教育施設をめぐる最近の動向と課題
- それぞれできるだけ具体例・実践例を挙げて理解をはかるようにしたい。

### 履修上の留意点

できればいくつかの施設見学を実施したいと考えているが、学生自身もすすんで適宜、施設の利用見学、施設で行われている学級・講座・サークル活動等に参加して施設体験を豊かにしてほしい。

### 成績評価の方法

出席・受講態度等の平常点、レポート等により総合的に判定する。

### 教科書

適宜指示または紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
成人学習論	ひがし 東 寿 隆	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

成人が学習することによって発達することを各地の社会教育の事例を通して明らかにする。始めに社会教育の本質について語り、公民館・図書館・博物館などの社会教育施設等で行う学習活動の事例について、さらに地域づくりについて、また国際問題などの実践について学習させたい。授業外に社会教育施設などでボランティア活動を積極的に行うことをすすめる。

教科書

福尾武彦編著『現代を生きる学び』（民衆社）2,800円＋税

参考書等

酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝忍共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）2,718円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジェンダーと教育Ⅰ (前期)	なか 中 澤 智 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関わる諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 ジェンダーとは
- 2 人間の発達と学習／教育
- 3 ジェンダーの形成
- 4 教育と女性
- 5 家庭生活とジェンダー
- 6 学校教育におけるジェンダー

履修上の留意点

後期「ジェンダーと教育Ⅱ」とあわせて受講されたい。  
ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教科書・  
参考書等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）  
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勁草書房、1999年）  
ほか、適宜指示する。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。  
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジェンダーと教育Ⅱ (後 期)	なかざわ ちえ 中 澤 智 恵	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本講義は、ジェンダーと教育に関する諸問題について理解を深め、教育・学習支援に携わる専門職に必要な資質の向上を目的とする。受講者自身の経験や生活をふまえて考察し、受講者同士の相互的な学習活動を行う中で、社会的課題としてのジェンダー・バイアスの解消方策を具体的に検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 ジェンダーに関する社会的動向
- 2 職業生活とジェンダー
- 3 マス・メディアとジェンダー
- 4 ジェンダーとセクシュアリティ
- 5 性教育とジェンダー
- 6 生涯学習におけるジェンダー

履修上の留意点

前期「ジェンダーと教育Ⅰ」をふまえた講義とするため、前後期あわせて受講されたい。ディスカッションや小レポートなど、受講者の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

出席、授業中のディスカッションなどへの参加状況、およびレポートによる。

教科書・  
参考書等

石川洋子編『人間発達学』（宣協社、2000年発行予定）  
木村涼子『学校文化とジェンダー』（勁草書房、1999年）  
ほか、適宜指示する。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚資料も利用する。  
この科目は、平成11年度までに「女性と学習」の単位を修得した者は、履修できません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 教 育 I ( 前 期 )	しお かわ まさと 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

本授業のねらいは「就職に役立つ授業」の一点にある。二十一世紀の大学志願者は「就職率の高い大学」を最優先で選ぶ時代となる。本授業はそうした学生達のニーズに真正面から応える授業としたい。

講師の本業は経営コンサルタント。ゆえに日々ビジネスを共にしている企業の人事・採用責任者の立場から、カリキュラムを編成する。

本授業を選ぶ諸君は、先ず学生意識の甘えを捨てなければならない。「社会人」としての意識と行動なくして「就職」への準備は成り立たない。

学生諸君の未来を決める「人生最大の決断」が就職への準備である。しかもその門に入ることは極めて厳しい。君の未来を、この授業の中で見出す覚悟をもって、授業に参画してほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ①学生と企業人の違い。
- ②企業は学生に何を期待しているか。
- ③就職への準備。
- ④企業の選択の基準。
- ⑤面接試験の本質と取組み方。
- ⑥論文試験の本質と取組み方。
- ⑦いかにして自己を鍛えるか。

授業の半分は、学生との質疑応答の時間としたい。質疑応答の中で、企業という「生き物」の厳しさと素晴らしさを伝えたい。

履修上の留意点

- ①講師が企業で実践している資料の配布が多い。資料を保存するためのバインダーを準備すること。
- ②授業の度に発言や返答、意思発表、討論などがあることを想定していること。
- ③教員や公務員を志望する諸君にとっても「就職」の基本は同じ。役立つことと確信する。

成績評価の方法

平常授業とレポートによって評価

教 科 書

塩川正人著『MTS 経営革命』（日本能率協会マネジメントセンター） 1,400円

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
職 業 教 育 II ( 後 期 )	しお かわ まさと 塩 川 正 人	社教主事2・3・4選	2

※経 B・法 B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

前期と全く同じである。授業の目的は「就職試験に勝つ」。そのための自己革命を学生諸君は本授業で実践する。

授業内容は、前期の内容を更に詳しく掘り下げていく。前期以上に、面接や自己アピールのための演習を多くしたい。

成績評価の方法

前期同様に平常授業とレポートによって行う。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「企業内教育・職業訓練」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅰ (前期)	ふるたじゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

深く静かにリラックス 湧きいでるフレッシュ・エネルギー  
深く確かな大地との交流 そこから生まれるリラクゼーション  
私たちのからだは良くなるうとしてサインを送り続けています。その本質に気づき、自然と調和する能力を持つ生来のからだへと回復させていかねばならないと思います。複雑な社会の中で気持ちよく共生して行ける社会人としての「心とからだ」を育てることに取り組んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

からだの感覚を手がかりに自然の原理に沿った動きで、余分な緊張を取り去り、その時々姿勢におけるからだの最下部に全体重を任せ切る。動きに最適な自然な呼吸などをもとに、ゆるやかに自分自身の心とからだを拓くことによって、自己能力を発掘し、可能性を追求します。

履修上の留意点

からだの内的感覚に基づく履修内容なので連続受講が必要です。

成績評価の方法

平常授業（レポートも含む）

参考書等

野口三千三著『原初生命体としての人間』（三笠書房）  
野口三千三著『野口体操からだに貞く』（柏樹社）  
野口三千三著『野口体操重さに貞く』（柏樹社）  
池田潤子執筆 雑誌『ひと』からだのレッスン（太郎次郎社）  
『自然なからだのあり方を考える【円筒エリア】の発見と意義』  
古田潤子『駒沢大学教育学研究論集第13号』1997年

その他

授業は実技を主に行います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会体育Ⅱ (後期)	ふるたじゅんこ 古田潤子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

他者とひびき合う豊かな関係を拓いていきます。

講義の内容・授業スケジュール

環境の変化に応じて、的確に落ち着いて対処できる心とからだを、自らの力でとら育て自信を身に付けます。屋内、屋外のいろいろな場所での体験実習も考えています。  
また、海外でのワークショップにおける豊富な経験をもとに様々な遊び道具の製作や、それを使った楽しい遊びも加味します。同時に日本人と外国人の考え方、感じ方、環境の変化に対する即応の仕方の違いなどについても一緒に研究をしていきます。

科目名	配当学科	単位
教育の思想	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.515～519) 参照

科目名	配当学科	単位
教育と社会	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.520～522) 参照

科目名	配当学科	単位
発達と学習の心理学	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.522～525) 参照

科目名	配当学科	単位
教育とメディア	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.526～528) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
視聴覚教育	<small>い</small> 飯 <small>もり</small> 森 <small>あき</small> 彬 <small>ひこ</small> 彦	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.617) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	<small>くま</small> 熊 <small>がい</small> 谷 <small>かず</small> 一 <small>のり</small> 乗	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.558) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育史	<small>やま</small> 山 <small>もと</small> 本 <small>とし</small> 敏 <small>こ</small> 子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.559) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育調査	<small>すず</small> 鈴 <small>き</small> 木 <small>のり</small> 規 <small>お</small> 夫	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.560) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
青少年文化	<small>か</small> 香 <small>がわ</small> 川 <small>よし</small> 良 <small>しげ</small> 成	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

日本の児童青少年演劇史（大人による子供のための演劇）と、演劇教育史（子供自身による子供のための演劇）を中心に捉え、各時代の児童文学の流れにも目を配りながら、それらの明治以後の発展の歴史を振り返ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

以上の講義と、取り上げる諸作品の、受講者による研究発表とその講評を併せながら授業を進めたい。

履修上の留意点

実習でやむをえない場合以外は、極力出席してもらいたい。

成績評価の方法

平常点と試験で成績評価を決めたい。

参考書等

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）、富田博之著『日本演劇教育史』（国土社）、菅忠道著『日本の児童文学』I 総論

その他

現在行われている演劇教育（“劇あそび” その他）の様相や実際の舞台をビデオで観たり、実際観劇するというも行いたいと思っています。

この科目は、平成11年度までに「児童文化」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅰ (前期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

講義のねらい

今日の教育に「生きる力」を育成することが求められ、小・中・高等学校のカリキュラムに新たに「総合的学習の時間」が設けられるようになったことの意味を理解して頂くことをねらいとしながら「現代日本の社会的変化にともなう諸問題と教育改革」をテーマに授業をすすめる。教育社会学、教育政策学をベースにして今日の社会的変化に対してどのような教育の在り方が求められるかを明らかにするところに問題意識がある。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の三つの領域に分けて行われる。

(1)1980年代の自由化論と「臨教審」答申(4～5月) = この領域で扱われる事項は、①経済の活性化をめぐる新自由主義の潮流と教育自由化論②新国家主義の登場と臨時教育審議会(「臨教審」)の設置③「臨教審」の四つの答申とその反響④1989年の学習指導要領改訂と教育上の諸問題である。

(2)冷戦構造・55年体制の崩壊と教育政策の新しい動向(5～6月) = この領域で扱われる事項は、①冷戦構造の崩壊による政治的社会的影響②55年体制の崩壊、連立政権の登場と教育をめぐる路線対立の緩和③教育政策のリベラ化④高度情報化のなかの生涯学習体制の整備と「個」の尊重、である。

(3)経済不況のなかの少年問題と「生きる力」の育成(6～7月) = この領域で扱われる事項は、①長期にわたる経済不況のなかでの少年問題②「生きる力」を強調する第15期「中教審」答申③新自由主義のインパクトと教育における規制緩和、学校選択の問題④学習指導要領改訂と総合的学習の時間の設置、である。

履修上の留意点

今日の教育の動向に強い関心をもっていること。

成績評価の方法

平素の出席状況と定期試験の成績による。

教科書・  
参考書等

教材についてはプリント配布、参考書は授業のさいに紹介、授業の方法は講義を中心にして討論をとり入れる。

そ の 他

この科目は、平成11年度までに「現代社会の諸問題と教育」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代社会の諸問題と教育Ⅱ (後期)	くま がい かず のり 熊 谷 一 乗	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.561) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
青少年問題研究	さぬ き ま さ こ 讚 岐 真 佐 子	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.562) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年指導演習	ひらの 平野 学	社教主事2・3・4選	4

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

#### 講義のねらい

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らの歩みを見つめると共に、かかわりを通して更に色々なことを見つめる作業が大切になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況やトピックス等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学びたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

“演習”科目でもあることから、できるだけ体験学習や討議の時間を多くとって行なっていくたい。一応年間予定としては下記の通りだが、受講者の希望も適宜取り入れて進めるつもりでいる。

##### 《前期》

1. 互いに知り合うための、また自己理解を深めるためのエクササイズを実施。(4回)
2. 青少年について、主に発達の観点から自らのことを振り返りつつ学ぶ。(2回)
3. 援助の基本としてのカウンセリングについて、小グループ形式で主にデモンストレーションやロールプレイを通して体験的に学ぶ。(6回)

##### 《後期》

4. スクールカウンセラーについて及び講師自身の援助例(不登校や非行に陥った青少年及び親へのカウンセリング)の提示と討議。(3回)
5. HIV・エイズ問題やカルト問題とそのカウンセリング(3回)
6. 夏休みレポートをもとに、受講者の様々な体験(ボランティア活動他)の報告と討議。(2回)
7. 1年間をまとめる意味で、河合隼雄氏等の文献のいくつかを輪読(分担発表)すると共に自由討議を行なう。特にカウンセリングと仏教との接点等についても互いに理解を深めたい。(2回)
8. その他(全体の振り返り他)。(2回)

#### 履修上の留意点

讃岐真佐子講師による『青少年問題研究』を履修済であることが望ましい。  
出席して討論に加わり、感想等も適宜記してもらおう、いわばコミット型の共に築き上げる授業にしていきたい、意欲的な学生の参加を望みたい。(実習も行うので安易な受講は避けてほしい。)  
尚、授業の初日に年間の大まかな予定等お話するが、履修希望者からも何を学びたいか等、記してもらいたく、必ず出席願いたい。

#### 成績評価の方法

学年末レポート(年間授業を振り返る形でのもの)、夏休みレポート(体験報告または読書感想)、平常点(出席等)の三本柱で行なう予定。

#### 教科書

河合隼雄『カウンセリングを語る(上・下)』(創元社)各1,300円

#### 参考書等

河合隼雄『カウンセリングを考える(上・下)』(創元社)各1,300円  
同 『大人になることのむずかしさ』(岩波書店)1,240円  
同 『ユング心理学と仏教』(岩波書店)1,800円  
佐治守夫他『カウンセリングを学ぶ』(東大出版会)2,800円  
他にも授業の中で随時紹介していきたい。

#### その他

VTRやテープ等も多く使用して、具体的に学べるようにしたい。  
授業という限られた場ではあるが、受講者それぞれに自らの成長に資するものとなるよう、心がけて参りたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅰ（概論） （前期）	<small>おお</small> 太 <small>た</small> 田 <small>き</small> 喜 <small>み</small> 美 <small>こ</small> 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.618) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館学Ⅱ（資料論） （前期）	<small>きし</small> 岸 <small>がみ</small> 上 <small>こう</small> 興 <small>いち</small> 一 <small>ろう</small> 郎	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.618) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 （後期）	<small>みなもと</small> 源 <small>しろう</small> 昌 <small>きゅう</small> 久	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.596) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 （後期）	<small>やま</small> 山 <small>だ</small> 田 <small>せつ</small> 節 <small>こ</small> 子	社教主事2・3・4選	2

※経B・法B・二営の12年度以降入学生も履修できます。

(P.595) 参照

# IV 博 物 館 学 講 座





## (1) 必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
視 聴 覚 教 育	飯 森 彬 彦 <small>いい もり あき ひこ</small>	学芸員2・3必	4

### 講義のねらい

視聴覚教育の背後にある基本的な考え方を理解する。  
個々の視聴覚教材の基礎的な技法（教材の制作、利用の両面）を習得する。  
変動する社会に即応し、メディアを活用する態度と能力を養う。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

視聴覚教育の歴史とその思想的背景  
コミュニケーションの理論と視聴覚教育  
視聴覚教材の制作と利用  
情報化社会における視聴覚教育  
生涯学習時代とメディア  
以上のような内容を各4～6回程度講義する予定。

### 履修上の留意点

年に2回程度課題を出し、作品の提出を求める。作品製作に要する経費の負担をあらかじめ予定しておくこと。(OHPシート代、マーカー代、35ミリフィルム代、現像代など)

### 成績評価の方法

提出作品と試験の成績に出席状況を加味して評価する。

### 教 科 書

使用しない。

### 参 考 書 等

浅野孝夫・堀江固功編著『新視聴覚教育』（日本放送教育協会）  
秋山隆志郎・岩崎三郎編著『視聴覚教育』（樹村房）  
野津良夫編『視聴覚教育の新しい展開』（東信堂）  
赤堀正宣・佐賀啓・中野照海編著『メディアと教育』（小林書房）

### そ の 他

ビデオや写真などを多用して講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考 古 発 掘 実 習	飯 島 武 次 ・ 酒 井 清 治 <small>いいしま たけつぐ さかい きよじ</small>	学芸員3・4必	2

### 講義のねらい

発掘技術の習得を目的とする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

### 履修上の留意点

夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが例年である。従って履修者は、博物館実習との関係等をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席・遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

### 成績評価の方法

成績評価は平常点。

### 教 科 書

『考古学調査ハンドブックス1（野外編）』（雄山閣）1984年 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅰ（概論） （前 期）	おお た き み こ 太 田 喜 美 子	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館学講座（学芸員課程）の必修科目である。博物館法施行規則によると、「博物館学」6単位が必修である。この「博物館学Ⅰ」は2単位であり、6単位を充たすためには、あとふたつの「博物館学Ⅱ・Ⅲ（岸上講師）、各2単位」も履修していただかないと次年度へ進めないの注意を要する。

この講義では、「博物館法」をテキストにして、博物館の意義、学芸員の仕事等を理解してもらい、いっぽう「博物館学Ⅱ・Ⅲ」では、実際の学芸員の仕事や博物館の事業について、岸上興一郎講師に講義していただいている。

履修上の留意点

この「博物館学Ⅰ」は、年度初めの第1週の授業で、駒沢大学にあって、学芸員資格を取得する手続きと方法について、細かく説明するので、必ず出席すること。途中で（2回や3回目）出席して、手続きその他質問に来ても、第1回目の教室で説明したことを、欠席者に特に丁寧に説明することはしないので注意しておいてもらいたい。

この授業は前期2単位の授業であるから、後期には無いはずであるが、実は後期になっても、数回教室に出席してもらおうことにしている。したがって、水曜日3限目の後期については、「履修届」に書きこまないことをお勧めしたい。けれども、学科の必修科目にぶつかってしまうこともあるだろう。そういう方は、相談に来てほしい。

この「博物館学Ⅰ・Ⅱ」計4単位は、社会教育主事の選択科目にもなっているが、この場合も4単位履修していなければならないので、ⅠとⅡの両方を履修しないと通用しない。注意しておきたい。

そ の 他

学芸員資格を取得しようとしていながら、途中で、棄権する（あるいはせざるえないという）場合、社会教育主事に切り換えることは比較的易しいので、これまた相談されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
博物館学Ⅱ（資料論） （前 期）	まし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員2必	2

講義のねらい

博物館で扱う資料とは何であるのかを問う。

講義の内容・授業スケジュール

資料は多様な環境の中におかれている。それらの資料がいかなる過程をへて博物館に寄贈・寄託・借用・購入され、収蔵そして展示されていくのかを事例をもとに展開する。

履修上の留意点

資料のもつ基礎情報を学芸員として熟知し、いかに展示空間に動と静の知的世界を構築するかを考えること。

成績評価の方法

レポート提出。

教 科 書

（財）日本博物館協会編『博物館関係法令集』  
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』  
（財）日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館学Ⅲ（経営論・情報論） （後 期）	きし がみ こう いち ろう 岸 上 興 一 郎	学芸員 2 必	2

講義のねらい

博物館は学芸職と事務職によって構成されている。その経営にあたっては、各個人の暗黙知、つまり各個人のもっている情報・知識の豊かさが結果を左右する。さらにはそれを言語化・明示化して組織内で共有し、有効活用することを形式知化という。ここを講義のポイントとする。この理論は博物館経営をより発展させる重要な鍵でもある。学芸員の経営関与を問う。

講義の内容・  
授業スケジュール

各博物館は、その創設時の状況によって、公立・市立・財団など種々の組織形態をとってはいるが、形式知化は、すべての博物館に共通する経営理論である。ここでは、それによって積算された予算、その執行と展開などの事例にふれる。さらには近年論議されている博物館経営とボランティア活動の関係にふれる。

履修上の留意点

予算の仕組みを理解すること。

成績評価の方法

レポート提出。

教 科 書

（財）日本博物館協会編『博物館関係法令集』  
必要に応じて関係資料を作成し配布する。

参 考 書 等

各大学・各博物館などから刊行されている『紀要』  
（財）日本博物館協会編 月刊『博物館研究』

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅰ (館務)	飯島 武次・酒井 清治 太田喜美子	学芸員3・4必	2

履修上の留意点

この授業は4月第1週から、明年の最終講義まで、1回でも欠席・遅刻・早退すると、単位が取得不可能なので注意してほしい。この方法は、本学の博物館講座開設以来20数年間不変であるので、君だけ特別に単位を出しましょう、というわけにはいかない。

この講義時間に出るということは、君が企画専任者である特別展の開幕日開幕時に君がきちんと会場にいるかどうかということと同じに考えなさい、ということである。

この洗礼に対応してくださるお陰だと思うが、本学卒業生の学芸員就職率は、都内大学で、断然高く、また、学芸員としても、非常に高く評価されている。

毎週の授業の他に、主として、夏期休暇中に、一つの博物館で、学芸員実習を行う。この実習は、他の大学の実習生と一緒に行うため、他流試合的な趣きももっているので、H頃の授業時と同じように、絶対に遅刻・欠席してはいけない。一度、そういうことをすれば「駒大には遅刻した学生がいる」と、10年ぐらいは言われ続けるので、注意してほしい。また、多くの実習博物館に本学出身の学芸員の方がいらっしやるので、その先輩に迷惑をおかけすることにもなる。実習は夏期に行う館が80%を占めるが、別の時期に行う館もあるので、夏休みに海外短期留学などする方も相談に来てほしい。

この科目は、本学の博物館講座の縮括りになる実習なので、特に心を引き締めて履修していただきたい。「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」・「博物館実習Ⅲ(見学)」に先だって、この科目を履修することはできない。つまり、この「博物館実習Ⅰ(館務)」を3年生次に履修して、「博物館学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」あるいは「博物館実習Ⅲ(見学)」を4年生次に履修してはいけない、ということである。履修にあたっての細かい事柄は、その都度、教室で話をする。後期には実習した館の実習内容につき報告会をするので、きちんとまとめることを忘れぬよう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
博物館実習Ⅱ (収集)	酒井 清治・太田喜美子 國見 徹・久保田昌希 瀧音 能之・佐藤 元英 小林 和幸・廣瀬 良弘	学芸員3・4必	2

講義のねらい

博物館活動の主たる3本柱のうちの「博物館資料の収集」の方法の勉強をする。博物館学芸員は、学芸員の個性を活かさなければならぬ面と、個性を殺さなければならぬ面がある。「博物館実習Ⅱ(収集)」では、一つの博物館が何年あるいは何十年にもわたって資料を収集し続けていても、恰かも、常に一人の人が収集してきたかともみえるような統一性が必要である。また、一つの展示をするにしても、その企画に参画する数人のスタッフの成果は、バラバラであってはならないのである。

その意味では、この「博物館実習Ⅱ(収集)」はあまりに個性豊かな人・あるいは協調性の乏しい人には、かなりきつようなのである。この実習は、必ず合宿して実施しているので、共同生活を知ろうとする意欲の有無がかなり影響をもっているらしい。

博物館学芸員を目指して履修している学生が、学芸員課程を断念するきっかけは、たいてい、この実習の直後であることが多い。つまり、合宿して収集実習を終えた時点で、これほど協調性が必要なら、自分には不向きである、と思いこんでしまうのであろう。そう自覚したら、確かに、君は学芸員に不向きなのかもしれない。そうした場合には、どんどん、個人的に相談に来てほしい。

また、本学で学芸員資格を取るための実習は、「Ⅰ(館務)」・「Ⅱ(収集)」・「Ⅲ(見学)」の3つが必修であるが、「Ⅱ(収集)」の代わりに、「考古発掘実習」を履修しても、学芸員課程の「実習Ⅱ(収集)」に読みかえることができる。ただし、発掘は、真夏の炎天下で1か月間参加することが必要なので、この科目を必修とする、考古学専攻生以外の方には勧められない。

この実習で、今年度予定しているのは、

1. 長野県北佐久郡望月町での近世文書調査と石仏収集調査実習。
2. 同上町での石仏収集調査実習。
3. 長野県飯田市周辺での石仏調査。

履修上の留意点

年度第1回目の授業に必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
博物館実習Ⅲ (見 学)	酒井 清治・太田喜美子 松本 信道	学芸員2・3必	2

講義のねらい

本学での博物館実習は、2年次に行うこの実習と、3年次で行う、「Ⅰ(館務)」と「Ⅱ(収集)」の3つが規定されている。

つまり、この実習は、君がこの課程で、初めて行なう、学外での実習ということになる。都内あるいは周辺の博物館で見学をするのであるが、基本的には、見学館は10館。見学の度にレポートを提出する。そのレポートを添削して、原稿用紙の使い方から、字数のまとめ方等、かなり、しっかり、指導することになっている。

履修の方法は、なんといっても、学外の博物館見学であるから、当然、1コマ90分内では無理である。そのため、履修にあたっては、学生の都合を充分、考えに入れたうえで、できるかぎり柔軟に対応して、あふれてしまう人がでないように留意するつもりである。そのために、相談しなければならないことがあるので、年度第1週には必ず出席してほしい。学生の都合を汲んでA～Dの4組ぐらいに分けて、異なる見学方法をとることになることと、今年度は、履修希望者が非常に多くなると予測されるので、第1週に、出席した人数で組分けしてしまう。結果的に、第1週に欠席すると、はみ出してしまうことになる。

この授業は、水曜日の3・4限を通して行うことになるのだが、3限目あるいは5限目に学科の必修科目とぶつかってしまうこともある。そのような問題をもつ人は、必ず、第1週に出席してほしい。第1週の授業終了後に、個人的に相談に来て、もう、対応不能なので、その場合は、翌年履修する以外に方法が無い。

本学の学芸員課程が厳しい、とよく言われるが、学芸員という、貴重な文化財を扱う仕事の養成課程なのであるから、厳し過ぎるなどとは思わないようにしてほしい。それだからこそ本学出身の学芸員が高い評価を受けているのであるから。

科目名	配当学科	単 位
教育の思想	学芸員2必	2

(P.515～519) 参照

科目名	配当学科	単 位
教育と社会	学芸員2必	2

(P.520～522) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅰ (前期)	豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.602) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯学習概論Ⅱ (後期)	豊 田 千代子	学芸員2・3必	2

(P.603) 参照

## (2) 選択必修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	<small>なが</small> 永 <small>い</small> 井 <small>まさ</small> 政 <small>し</small> 之	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

### 成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

### 教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	<small>はかま</small> 袴 <small>や</small> 谷 <small>のり</small> 憲 <small>あき</small> 昭	学芸員2・3・4選	4

### 講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きい。その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを絶えず考慮しながら講義を進めたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

### 履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

### 成績評価の方法

学年末の定期試験による。

### 教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

### 参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）  
石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）  
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 美 術	え び ね とし お 海 老 根 聰 郎	学芸員2・3・4選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の中世の絵画世界を、禅宗画僧による歴史として述べていく。鎌倉・南北朝・室町時代を対象とする。それらの画風の源泉は中国にあるから、合わせて、中国禅宗の中で描かれた絵画についても述べる。  
授業は毎回スライドを映写する。

成績評価の方法

年度末に授業で述べたところから出題した筆記試験を行ない評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	まつ だ せい いち ろう 松 田 誠 一 郎	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。

講義の内容・  
授業スケジュール

【前期】

- 第1回 飛鳥前期彫塑の概観
- 第2～3回 飛鳥大仏
- 第4～6回 法隆寺金堂の釈迦三尊像
- 第7回 止利派の金銅仏
- 第8～9回 法隆寺夢殿の救世観音像
- 第10～11回 法隆寺百済観音像
- 第12回 法隆寺四天王像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第1回 飛鳥後期彫塑の概観
- 第2回 野中寺の弥勒菩薩像
- 第3回 法輪寺のクス材製木彫像
- 第4回 法隆寺再建と童顔童形像
- 第5～7回 山田寺仏頭と薬師寺本尊
- 第8～9回 塑像と乾漆像
- 第10回 埴仏と押出仏
- 第11～12回 広隆寺と中宮寺の半跏像
- 第13～15回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

- ①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。
- ②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。

成績評価の方法

後期末にレポートを課して評価する。

参 考 書 等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 民 俗 学	須 藤 寛 人 <small>す とう ひろ と</small>	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

葬儀や、先祖崇拜、位牌・仏壇といったものを通して、多くの日本人は仏教と接していると思われま。このような日常的な仏教との接点を手がかりとして、大宗教としての仏教が民間に浸透していった経緯を、本講義では考察したいと思います。また仏教的な営みの背景にある民俗の意味と歴史とを考察することによって、仏教と新しい接し方のきっかけになればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 先祖崇拜 今日日本仏教における寺院の主たる活動が、葬儀と追善供養からなっている。追善供養は、祖先祭祀という民俗的背景のもとに成り立っていることから、先祖崇拜の考察は重要なテーマであると考えられる。
  - b. 葬送儀礼 葬式は、多くの日本人にとって最も「仏教的」なことを感じさせる出来事である。しかし、そこで何が行われているかは、多くの場合は、一般の人に知らされていないし、また意味も解らないで葬儀を行っている僧侶も多いと思われる。本講義では、民俗的事例をあげながら、葬式の歴史と構成とを明らかにし、そこにどのような意味があるのかを考える。
  - c. 日本の民俗 日本でみられる多くの民俗的事例を紹介・解説する。日本のシャーマニズムや、各地の祭、都市伝説・噂・怪談などにも触れる予定である。また授業内容に応じてタイムリーな話題もとりあげたい。
- 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思っています。

履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないでください。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中には着信音がならないようにするか電源を切ってください。

成績評価の方法

夏期レポートと学期末の定期試験を中心に、出欠状況とあわせて総合的に評価します。

教 科 書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに 谷 口 貢	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 史 概 説	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、西洋美術史を材料にして、作品記述、作品の意味解釈や様式分析など美術史の技法を学び、美術史学の研究対象や方法論について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は美術史学の歴史をたどることで、美術史のさまざまな傾向を紹介する。後期は西洋美術の流れに沿って、毎回具体的な事例を取り上げて、個々の問題——美術と政治、芸術家の再発見や再評価、複数の芸術家による共作の問題、美術における寓意表現とその解釈など——を検討する。

履修上の留意点

履修希望者は各自、西洋美術史の概説書（高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』美術出版社など）を読んで授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を合わせて評価する予定。

参考書等

参考図書：マルシア・ポイントン著 木下哲夫訳『はじめての美術史』（スカイドア）1,900円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 美 術	矢 野 陽 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

現代美術、すなわち20世紀の美術においてはかつてないほど大胆で革新的な活動が展開されてきた。この授業では、現代美術の多様な動向について、主要な芸術家と作品を紹介しながら、それらのもつ意味や周囲に与えた影響などを考察していく。美術は同時代の社会と共に存在するものであり、したがって美術は戦争、機械文明の著しい発展、マスメディアの発達、大量消費型の生活といった現代社会と深く関わっている。現代美術を知ることは、今日の社会を考えるのに大きな示唆を考えてくれるのである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、20世紀美術のバックグラウンドである19世紀後半の美術から始めていく。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビズムを中心に、後期はシュルレアリスムやポップアートなどを取り上げる。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集、テレビなどを通して、現代美術に積極的に触れてほしい。

成績評価の方法

前期のレポートと後期の定期試験、出席等を総合して評価する予定。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円

そ の 他

授業ではスライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 形 学	し 清 みず 水 ちよう 長 せい 生	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。

1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の動きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）4. 海水の動きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
第 四 紀 学	すず 鈴 き 木 たけ 毅 ひこ 彦	学芸員3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的な概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、人類、海成段丘、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもに前期末と後期末の筆記試験

教科書

特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅰ 〔日本〕	酒井清治	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	日本考古学の現状は、細分化された研究が増加している。しかし、細分化された研究を理解する上にも、自ら卒論テーマとして研究する上にも、考古学の基礎なくしては成り立たない。
講義の内容・授業スケジュール	日本考古学の研究史、最新の発掘調査事例を紹介しながら、日本考古学の概説をしたい。
履修上の留意点	遅刻をしないこと。
成績評価の方法	定期試験で採点。
参考書等	鈴木公雄『考古学入門』（東大出版会） 安藤政雄『考古学キーワード』（有斐閣） 江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）
その他	OHP等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学概説Ⅱ 〔外国〕	飯島武次	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい	東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。
履修上の留意点	欠席・遅刻をしないこと。
成績評価の方法	成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。
参考書等	飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年 飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年 飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年
その他	スライドやビデオを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本文化史Ⅱ	ひろ 廣 せ 瀬 りょう 良 こう 弘	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、平安期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていくが、とくに⑧～⑬の項目に重点を置く。

- ① 日本文化史概観
- ② 平安期の文化と中世文化、中世文化の成立
- ③ 中世文化史研究の動向
- ④ 中世文化の展開
- ⑤ 室町文化（北山・東山文化）
- ⑥ 禅宗と文化
- ⑦ 京都と大名領国の文化
- ⑧ 下剋上の世と文化
- ⑨ 桃山文化
- ⑩ 宣教師たちがみた日本の文化と南蛮文化
- ⑪ 近世文化史研究の動向
- ⑫ 寛永文化
- ⑬ 元禄文化と化政文化

履修上の留意点

日頃、身のまわりにある道具や私たちの“しぐさ”にも歴史・文化がみえかくれするものである。物・道具にも文化・歴史を感じとれる感覚を養ってほしい。また、受講中は、図書館に文化史・美術史などの資料やビデオが所蔵されているので大いに活用してほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、出席状況など。

教科書

とくに指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講 I	たが はま しゅう 高 浜 秀	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

ハンガリーから中国の北にかけて広がるユーラシア北方草原（ステップ）地帯では、古来牧畜を主な生業とする人々が暮らしていた。ここでは農耕に依存する定住民の文化とは異なった文化が発達したが、紀元前1千年紀の初め頃（前10世紀～7世紀頃）に開始された騎馬による遊牧は、この地域の文化を大きく変えた。生活形態や物質文化のきわめて類似した文化がここに数多く形成されたのである。これは西アジアや中国などの定住民に大きな影響を与えるとともに、東西交渉の道としても機能することになった。これらの文化はまとめて初期遊牧民文化、あるいは代表的な民族の名を取って、スキタイ系文化とも呼ばれている。講義では、これらの文化を概観する。

履修上の留意点

この地域の考古学の最新の成果を伝える日本語の参考書はきわめて少ない。講義に出席することが必要である。

成績評価の方法

成績はレポートにより評価する予定。講義に関連した題目を出題する。

教科書・参考書等

教科書はないが、一般的な参考書として、藤川繁彦編『中央ユーラシアの考古学』（世界の考古学⑥ 同成社）1999年6月を挙げるができる。詳しくは、適宜指示する。

その他

講義を中心とし、プリント、スライドおよびビデオを時に応じて使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	矢 野 和 之	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学・歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造隊の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例・文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物。

教科書

なし。

参考書等

適宜指示。

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら み わ こ 松 平 美 和 子	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

中国が漢代以来「西域」と呼んでいた地域はパミール高原の東側の東トルキスタンであるが、後には西トルキスタン、そしてアフガニスタンやイラン以西の諸国も西域と呼ばれるようになる。講義では東トルキスタンからイランまでを広義の西域と考え、いわゆるシルクロードとして大いに繁栄したこの地域の考古美術品の中に東西文化混淆の様子を探りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① イラン装飾文様とその東伝  
イラン美術に見られる「葡萄唐草文」、「花喰鳥文」、「王冠飾り」、「有翼人物像」などの装飾モチーフの変化について。
- ② クシャーナ朝美術とその意義  
東西文化の接点であるクシャーナ朝の遺跡と遺品について。
- ③ タクラマカン砂漠周辺のアアシス都市の美術  
狭義の西域美術であるクチャ、トゥルフアン、ホータン、敦煌などの美術について。

成績評価の方法

学年末と夏期休暇後の二回のレポートで評価する。

教 科 書

講義時にプリントを配布する。

参 考 書 等

講義時に適宜紹介する。

そ の 他

具体的な美術作品を対象とする学問なので、毎時間スライドを多く用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 人 類 学	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	学芸員2・3・4選	4

講義のねらい

宗教は人類文化の最古層に属すると考えられている。宗教人類学は人間の営みとしての宗教文化を文化人類学、社会人類学、民俗学の方法と理論に拠って研究する学問である。人間にとって、人類にとって宗教とはなにかという問題を、人類学や民俗学の研究成果を十分に利用しながら追究し、人間が生きているということの意味の考察につなげていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下のような内容を企図している。1. 文化と人間、2. 社会と世界観、3. 宗教の原辺形態、4. 人間と動物、5. 民族宗教、6. 世界宗教、7. アニミズム・多神教・一神教の関係、8. 仏教・キリスト教・イスラム教、9. 民族問題と宗教、10. 環境問題と宗教、11. 習合宗教、12. アジア宗教の特色、13. 日本宗教の特色、14. 新宗教とは、15. 「ほとけさま」と日本人。

講義には必要に応じて資料を配布し、またスライドやビデオを使用し、理解の助けにしたい。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。  
夏休み中に「故郷の宗教行事」(仮題)のようなりポートを書いてもらうことを考えている。

成績評価の方法

講義内容にそったりレポート作製。400字詰原稿用紙5枚～8枚程度(参考文献名を明記すること)。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力の人類学』(講談社) 840円

参 考 書 等

佐々木宏幹著『宗教人類学』(講談社) 980円

V 社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎



## (1) 必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	社福主事 2 必	4

### 講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、感化救済事業などと呼ばれていたものが、時代とともに拡大し、組織的に発展して、今日では、社会を組み立てていくための不可欠の仕組み、すなわち「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日の時代なりの貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉がこのように変化してきた跡をたどり、なぜ、今日社会福祉が現代社会の生活環境基盤として確立されねばならないのかについてのあらましを述べることに重点をおく。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、他の1年次配当の科目との関連を考慮しつつ、社会福祉についての基礎知識を整理するとともに、社会福祉の今日的な動向と課題についての理解を深めることを主なねらいとする。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の意義
  - 1) 社会福祉の意味
  - 2) 社会福祉と関連する諸概念
  - 3) 社会福祉の対象と主体
  - 4) 社会福祉の補充性
- 2 社会福祉の歴史的発展
  - 1) 欧米における社会福祉の発展
  - 2) わが国における社会福祉の発展
- 3 社会福祉の組織と運営
  - 1) 社会福祉法制
  - 2) 社会福祉法制の体系
  - 3) 社会福祉事業の経営主体
  - 4) 福祉の措置
  - 5) 社会福祉の経費
- 4 社会福祉の分野
  - 1) 公的扶助（生活保護）
  - 2) 児童福祉
  - 3) 老人福祉
  - 4) 障害者福祉
- 5 社会福祉の方法
  - 1) ケースワーク
  - 2) グループワーク
  - 3) コミュニティワーク
- 6 社会福祉における人の問題
  - 1) 人の問題の重要性
  - 2) 社会福祉従事者の動向
  - 3) 職種の問題
  - 4) 社会福祉職員の専門職論
  - 5) ボランティアの問題
- 7 社会保障と社会福祉
  - 1) 社会政策と社会事業
  - 2) 社会保障と社会福祉

### 成績評価の方法

評価は、前期末と年度末の2回の試験の総合評価とする。

### 教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

### 参考書等

講義の内容を上記のテキストのみでは十分にカバーすることができないので、講義の進行にあわせて必要な参考文献を紹介する。なお、本講の内容は極めて広い範囲にわたるので、この参考文献にもとづいて各自学習を深めることを求めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉原論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社福主事2必	4

講義のねらい

「社会福祉」という言葉は、現代社会ではとてもポピュラーな言葉となっている。新聞、テレビ等においても、しばしば目にし、また耳にする。選挙があれば、国政・地方、首長・議員いずれのレベルでも多くの候補者がその充実を公約に掲げる。

しかしながら、改めて「現代社会における社会福祉とは何なのであろうか」とか、「社会福祉の援助や活動とはどのようなものなのであろうか」とか、「社会福祉の基盤となっている考え方はどのようなものなのであろうか」といったことを問われた時、多くの人々はなかなか上手く答えることができないのが現実と思われる。

一方、わが国の社会福祉は、現在、「社会保障構造改革」「社会福祉基礎構造改革」「介護保険の創設」等のキーワードに代表されるように、大きな転換期を迎えている。

本講の主題は、上記にあげたような社会福祉を学んでいくにあたってのベースとなる点を学習し、わが国における社会福祉のあり方を考察していくことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 現代社会における社会福祉の理念とその意義
- 2 社会福祉の対象と援助の形態、方法
- 3 社会福祉サービスの体系
- 4 社会福祉の法体系、実施体制、財政
- 5 社会福祉の動向

成績評価の方法

各学期末の試験、課題レポート、出席状況、等の総合評価により実施します。詳細は、授業時に提示します。

教科書

新・社会福祉双書編集委員会編『新・社会福祉双書1 社会福祉概論I』（全国社会福祉協議会）

参考書等

随時、紹介します。

## (2) 選択科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ( 福 祉 )	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社福主事2・3・4選	4

### 講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

#### [目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法および行政法の基礎を理解させる。

#### [内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
  - 1) 基本原理
  - 2) 基本的人権
  - 3) 地方自治
- 3 民法
  - 1) 総則
  - 2) 物権
  - 3) 契約
  - 4) 不法行為
  - 5) 親族
  - 6) 相続
- 4 行政法
  - 1) 行政行為
  - 2) 行政不服審査
  - 3) 行政訴訟
  - 4) 行政手続き
  - 5) 地方行政組織

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらい、それによって行なう。

教科書・  
参考書等

今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
リハビリテーション論	はら だ しん いち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

総合リハビリテーションの中で、学問的に著しく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。その理由として考えられるのが、この分野は、内蔵する問題が広汎、多岐に亘っているばかりか、いずれも難解な社会福祉問題を抱えていることが、著しい遅滞をもたらす原因となっているといわれている。そこで、とくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえて、障害をめぐる社会問題と諸環境問題、隣接科学と実践問題そして、グローバルな視角から社会リハビリテーションの国際的展望などを主眼において講述する。

講義の内容・  
授業スケジュール

本講は、つぎのような骨子にもとづきすすめる。

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. 社会リハビリテーションの基本問題       | } 前 期 |
| 2. 障害をめぐる社会問題と諸環境問題       |       |
| 3. 社会リハビリテーションの実践とその方法    | } 後 期 |
| 4. 社会リハビリテーションを支える隣接科学と実践 |       |
| 5. 社会リハビリテーションの従事者教育      |       |
| 6. 社会リハビリテーションの国際的展望      |       |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は、筆記試験を実施する。なお、評価は、出席点も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中、随時指示する。

そ の 他

講義形式が中心。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふな 船 みず 水 ひろ 浩 ゆき 行	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保険
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

#### 成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

#### 教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編集『改訂社会福祉士養成講座 5 社会保障論』（中央法規）

#### 参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）  
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 延 宗 之	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面も強調されるように変化してきたことよって起きている近年の社会福祉サービスの領域の拡大は、そのサービス提供を組織的計画に行なわなければ対応できない段階に到達しつつある。このような需要の増大に対応した行政計画の考え方は、建設領域や産業振興領域において戦後の長い蓄積がある。が、福祉領域においては、計画化の歴史は短い。その理由は、福祉には建設や産業振興とは違う要素が多く、計画的展開に馴染みにくかったことや、問題対応的な福祉サービスから抜けきれなかったためである。とすれば、福祉計画を考える時、これらの産業計画や建設計画と、福祉計画の性格がどのようにことなるのかが考察されなければならない。

さらに、計画は実際の市民生活に多大な影響を与える実践である。その意味では、計画をどう作るのか、その手法も大きな問題となる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

上記のような問題意識にもとづいて、福祉を中心のその計画（国家計画、地域計画、地域福祉計画、施設経営計画、市民生活の計画、等々）について学ぶが、その前提としては、福祉運営管理等についてもふれておく必要があるので、ソーシャル・アドミニストレーションの理論についての学習や日本における施設の運営管理上の課題などについても触れる予定である。

理論的内容を前期、実践的な計画技術についての考察や演習を後期に履修する。講義内容やスケジュールの詳細については、開講第1～2回の授業で説明する。なお、受講者数にもよるが、実際の計画立案技術の演習等も行なう予定であるので、それらの演習には、質問や意見の提案など積極的な関わりを期待している。

#### 履修上の留意点

この講義では、開講第1～2回で全体のスケジュール等を説明するので、必ず第1回から出席していただきたい。途中からの受講では事実上単位習得は難しいと理解してほしい。

社会計画はすぐれて実践的に学ばないと理解しがたい点も多い。そのため、授業ごとに資料を探したり読んで来る簡単な課題がだされることも多い。従って、欠席すると授業で何をしているのか理解できなくなる可能性が高いので、なるべく欠席しないように、又、実習等でやむを得ず欠席する場合は、受講する友人に内容を聞いておいてください。

なお、文学部社会学科福祉コースの学生以外の諸君が選択する場合は、この科目が社会福祉原論や社会福祉援助技術総論などで学ぶ福祉に関する基礎的な知識を前提として開講されている点を理解して、関係領域についての文献を読むなどの自己学習を並行して行っていただきたい。特に、社会福祉援助技術総論にでてくるソーシャルワークの基本的な考え方やコミュニティ・オーガニゼーション理論などについては、必ず習得しておいていただきたい。

#### 成績評価の方法

日常的な課題の提出状況、授業への質問や、意見を積極的に出しているかどうか、などに見る授業への参加度、期末に行なわれるレポートの提出、出席状況（最低出席日数の確保）等を配慮して、評価する。

#### 教科書

第1回目の授業時に指定する。

#### 参考書等

- ① 高田真治「社会福祉計画論」(誠信書房) 1979年
- ② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』(全国社会福祉協議会) 1980年
- ③ 全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』(全国社会福祉協議会) 1984年

#### その他

計画の立案演習を行う過程で、若干の資料代やコピー代が必要になると予想される。出来るだけ負担を軽くするようにするが、一部の学習経費の自己負担は止むを得ないので、若干の教材費については予定して選択してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際社会福祉論	やまもと まゐ 山 本 真 実	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

国際社会における福祉、社会福祉における国際化、「国際社会福祉」を捉える視点に定義はない。日本以外の国の生活を通して、社会福祉とは何かを考えること、また国際社会において発生する軋轢や衝突、問題等に対応し解決していくものとして社会福祉をどのように考えるかを考察していくことを目的とする。また、社会福祉を実践サービスとして捉えるよりも、それを支える理念や目的などの概念・考え方を中心にしながら学習していく。「福祉」の意味を諸外国の実態や関係を通して学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

二つの柱を通して国際社会福祉の理解を深めていく。まず、一つは福祉先進国と言われる北欧の社会福祉制度・サービス、ベトナムやフィリピン等の途上国の社会福祉制度、生活等各国の実情を通して、日本の社会福祉の現状や考え方について振り返り、見直すこと。二つ目は、国際社会において発生する貧困、戦争、児童労働、異文化への理解等テーマごとにどのような取り組みがあるかを学習し、生活を支える社会福祉制度の在り方について考察する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験の総合評価により評価する。  
適宜意見・感想を記入するカードを配布。積極的な討議、意見発表を高く評価する。

教科書

特になし。

参考書等

適宜授業中に紹介。

その他

ビデオ使用  
意見交換

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 福 祉 論	なが お じょう じ 長 尾 讓 治	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健福祉学とは、保健学・福祉学、及び関連諸科学を統合し、これまでのように為政者の都合によるサービス提供に代わって、利用者の立場に立ったサービスのあり方を考える新しい社会福祉の分野である。本講義では、保健福祉学の視座に基づいて、従来の社会福祉諸サービスを再構成し、これからの生活関連諸サービスの動向と課題について考えていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 保健福祉とは  
保健福祉の歴史／保健福祉学の視座
- 2 日本のヘルスケア制度の体系  
健康保険／国民健康保険／老人保健／福祉医療／クライアントの人権とこれからのヘルスケア
- 3 ライフサイクルと保健福祉  
児童／成人／老人／ターミナル・ケア／女性と保健福祉
- 4 傷病別に見た保健福祉  
身体障害／知的障害／精神障害／難病・結核／ハンセン病／AIDS
- 5 リハビリテーションと保健福祉  
リハビリテーションの理念と実際／福祉機器・用具サービス
- 6 保健福祉の国際的動向  
先進諸国／開発途上国／日本
- 7 保健福祉の課題  
保健福祉計画／規制と情報公開／バイオエシックスとインフォームド・コンセント

成績評価の方法

年度末試験に出席点を加味して評価する。

参 考 書 等

追って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	い どう しゅう いち 伊 藤 秀 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。併せてイギリスの福祉権運動（Welfare rights work）の動向等にも触れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

成績評価の方法

出席状況、小テスト、学年末定期試験を総合して評価する。

教 科 書

なお、テキスト等については開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
障害者福祉論	はらだ しんいち 原 田 信 一	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者のもつ障害を可能な限り軽減し、一般の人々と同様の生活条件と生活のやすらぎを享受できるようにすることにある。旧来から持ち続けてきた陋習から脱皮し、憲法に明文化されている条文にも合致した、新しい価値観、障害者観を創造し、これを国民の意識の中に定着させることを目指すことにおいて、障害者福祉は、社会福祉の体系の中で、特質あるものとして位置づけることができる。

こうした中で、現代社会においては、ようやく障害者の理解を深めながら、地域を基盤にした援助活動の推進を通して、障害者と「共に生きる」(normalization)という共感関係を育てる方向へと動きつつある。そこで、本講では、障害者の多様で高度化を要するニーズの実態を披瀝し、それらを受容でき得る援助活動のあり方、更に、課題などについても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

障害者福祉の講述は、つぎのような四つの体系化にもとづいて巨視的、微視的な視角から接近し、概説する予定である。

- |                 |      |
|-----------------|------|
| 1. 障害者福祉のとらえ方   | } 前期 |
| 2. 障害者福祉の対象     |      |
| 3. 障害者福祉の主体     | } 後期 |
| 4. 障害者福祉サービスと課題 |      |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート乃至は筆記試験を実施する。なお、評価は出席点も加味する。

教科書

星野他編『障害者福祉論入門』(改訂版)(有斐閣双書)1,900円

参考書等

講義中、随時指示する。

その他

講義形式が中心である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	社福主事2・3・4選	4

#### 講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入決定等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、近未来の21世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その21世紀に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

前期⇒・人口高齢化の意味

- ・高齢者問題の背景  
社会変動、家族変動
- ・高齢者の生活問題
- ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
- ・高齢者の保健福祉ニーズ  
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類

後期⇒・老人保健福祉法制と関連施策

- 近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
- ・老人保健福祉の供給システムと財源  
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
- ・在宅サービスの制度と処遇  
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
- ・施設サービスの制度と処遇  
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
- ・地域及び住環境の整備と福祉機器

#### 履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、毎回受講生を指名して質問に回答してもらったり、意見発表をしてもらう。内職や居眠りは出来ないで、そのつもりで履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点、夏季休暇中のレポート、年度末の定期試験の3つを総合して評価する。しかし、評価は原則的には年度末試験の得点によって行う。出席率が70%を切る（諸実習による公欠は出席扱いとする）場合は、試験そのものの受験を認めない。また、夏季休暇中のレポート点は、定期試験での得点がボーダーラインに位置する学生においてのみ考慮するものである。

#### 教科書

冷水豊編『老人福祉論』（メヂカルフレンド社）1,900円  
冷水豊編『老人福祉－政策・処遇の視点と方法－（第三版）』（海声社）2,000円

#### 参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	この 許 斐 ゆう 有	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「児童福祉」を《社会的子育てシステム》と捉え、現行の児童福祉の法制度を検討しながら、子どもを養育する社会の責任および公的責任、子育てに対する公的・社会的支援・援助のあり方を考察する（子ども家庭福祉論）。また、児童福祉法の成立・展開課程や子どもの権利条約等の検討を通して、子どもの権利の基本的な考え方および児童福祉法の基本理念を学び、《子どもの権利擁護システム》としての児童福祉法制度について理解を深める。なお、これらの参考として、カナダの子ども家庭サービスについても言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 子どもの現状と子どもの人権
- 2) 子ども家庭政策の展開と最近の動向
- 3) 子どもの権利の考え方
- 4) 児童福祉法の理念
- 5) 子ども家庭福祉に関する法制度
- 6) 子ども家庭福祉サービスの現状と課題
- 7) 児童虐待の実態と相談援助の実際
- 8) カナダの子ども家庭サービス

履修上の留意点

受講学生には、児童福祉を知識として学ぶだけでなく、子どもが権利の主体であるという新たな理念を正しく理解し、子どもと家庭に対する支援・援助のあり方を自分なりに考えることを期待している。

成績評価の方法

主として学年末の試験によるが、レポート等の成績を加味することもある。

教 科 書

許斐有『子どもの権利と児童福祉法』（信山社）  
『社会福祉小六法』（出版社は問わない）

参 考 書 等

永井憲一・寺脇隆夫編（許斐共著）『解説・子どもの権利条約』（日本評論社）  
ささやななえ（椎名篤子原作）『凍りついた瞳ー子ども虐待ドキュメンタリー』（集英社）ほか

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 福 祉 論	はやし 林 ち 千 代	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に、社会的・経済的・精神的なしわよせを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活の困難や矛盾に対して、社会福祉がかかわる部分はきわめて大きい。

女性を社会福祉の対象者（利用者）としてとり組んできたのは、婦人保護事業（売春防止法）である。それを基底に据えて、社会福祉の分野における女性問題の把握、その発生と解決について考え、女性のそして当然男性の人権の確立をめざす内容としたい。

成績評価の方法

成績評価は、後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教 科 書

教科書は特に無いが、資料等は必要に応じて配布する。ビデオなども使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 福 祉 論	はる み しず こ 春 見 静 子	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

保健・医療の領域における医療福祉職の実践について理解する。  
医療ソーシャルワークがどのような学問を基礎とし、どこで、いかなる援助技術を用いてなされるかを学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は理論を中心とした講義、後期は実践現場での事例を通して援助技術を学ぶ  
前期

社会福祉とソーシャルワーク  
医療ソーシャルワークの歴史 英国、アメリカ、日本  
専門職としての医療ソーシャルワーカー 倫理綱領と業務基準  
医療について：健康と病気の概念 キュアとケア  
医療機関について  
疾病分類と医学知識 リエゾン精神医学 心身症  
援助手段としての社会資源  
援助関係 面接の技術 援助過程

後期

外来段階のソーシャルワーク  
入院段階のソーシャルワーク  
精神保健の領域  
医療ソーシャルワークの実際 機関別と対象別の実践

履修上の留意点

医療福祉に興味ある人とくに将来、その領域で働きたいと考えている人を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と期末試験で評価します。

教 科 書

山川哲也著『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房） 2,500円

そ の 他

医療機関の見学と、現場の医療ソーシャルワーカーの特別講義を行う。



科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	わたなべ かずくに 渡 辺 一 城	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の社会福祉はいま正に大きな制度的転換期にあるが、この制度改革の基本的考え方となっているのが「地域福祉」である。これは、児童福祉、障害者福祉、老人福祉といった対象別分野論ではなく、人間が生活する圏域つまり地域ないしはコミュニティに焦点を当て、様々な福祉課題の解決に取り組んでいくための視点や方法を内包した実践領域といえることができる。

この講義では、こうした認識の下で、これから社会福祉に関わる上で必要な地域福祉の視点や方法及び課題について学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は主として次の事項を扱う。

- ・現代社会におけるコミュニティと地域福祉
- ・社会福祉制度改革の動向と地域福祉
- ・地域福祉計画の意義と内容
- ・市町村行政や社会福祉協議会などの地域福祉推進組織とその連携
- ・在宅福祉サービスのあり方と供給体制
- ・地域福祉の資源（人材、財源など）の活用と開発
- ・ボランティア活動、NPO 活動とその支援システム など

成績評価の方法

出席、試験、レポートなどにより評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 地域福祉論』（中央法規）2,500円

参考書等

授業時に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（福祉）	はしづめ さとし 橋 爪 敏	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士・社会福祉主事を目指す学生に「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

〔目標〕

- 1 現代社会の特質について理解させる。
- 2 現代社会における家族や地域社会の特徴について理解させる。
- 3 現代社会における社会問題について理解させる。

〔内容〕

- 1 経済社会の変化と国民の生活及び意識の変化
- 2 現代社会と科学技術
  - 1) 科学技術の展開
  - 2) 現代社会と科学技術
  - 3) 情報化社会と国民生活
- 3 現代社会と専門職
- 4 現代社会における家族
  - 1) 構造及び形態
  - 2) 機能
  - 3) 変化
  - 4) 家族と地域社会
- 5 現代社会における地域社会
  - 1) 都市化と地域社会
  - 2) 過疎化と地域社会
  - 3) 地域社会の社会集団・組織
- 6 現代社会における社会問題

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(福祉)	たか 高 はし 橋 よし 良 ひろ 博	社福主事2・3・4選	4

講義のねらい

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。
- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
  - 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
  - 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論；心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
  - 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法（総論） 心理療法の歴史と種類 ②心理療法（各論） 精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『三訂 社会福祉士養成講座 11 心理学』（中央法規）2,500円（税別）

[x 屯]